

令和元年度

佐賀大学授業アンケート・授業改善に関する報告書

令和3年3月

佐賀大学教育委員会
教育質保証専門委員会

はじめに

平成 18 年 10 月 1 日から施行された「佐賀大学学生による授業評価実施要領」に基づき、学部・大学院の全授業科目で授業評価アンケートが実施されるようになってから、今年で 13 年目となりました。本年度の実施率は、学部では医学部を除く学部が 100%、医学部は 97.1%、大学院ではすべての研究科が 100%を達成するなど、元号が令和に代わった記念すべき最初の年度にふさわしい結果を残すことができ、授業アンケートの実施が全学的に浸透して角授業の自己点検が積極的に実施されるようになってきていることが伺えます。

また、本学は平成 18 年度より授業評価結果を用いた授業改善を実施するために、各学部等に組織別授業評価を行うことを義務付けてきました。各学部等は、評価の高かった科目の選考や授業改善への取り組み状況、次年度へ向けた授業改善の目標などを教育委員会に報告するようになっていました。また、各教員には授業点検・改善報告書の提出が義務づけられ、その作成率も 100%でした。

さらに、平成 27 年度からは、授業アンケートを「評価」のためでなく、「教育の質の改善・向上」のために実施することを「佐賀大学学生による授業評価実施要領」に明示するとともに、アンケート項目も大幅に見直し、名称も「授業アンケート」とし、授業アンケートそのものの改善も図っております。

本学では、平成 23 年度にポートフォリオ学習支援統合システムを導入し、その際に教員の教育改善を支援する仕組みとして簡易版ティーチング・ポートフォリオ（TP）作成機能も組み込みました。平成 27 年度には、簡易版 TP 作成率 100%を達成し、授業の 1 回目から教員は自身の教育理念や教育方法について説明することにいたしました。平成 28 年度からは、本学のすべての教員公募要領において、教育業績評価に標準版ティーチング・ポートフォリオを活用することを明記しています。このように全学的な教育改善システムは整って参りましたので、今後は、各部局および教員が、これらの仕組みを十分に活用し、さらなる教育改善に結びつけることを希望します。

本学の教職員の方々には今まで以上にご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

佐賀大学教育委員会委員長

山下 宗利

目次

はじめに	…… 2
目次	…… 3
I.経過	…… 4
II.回答状況	…… 5
III.授業評価アンケートの結果と分析	
III-（1）教育学部の結果と分析	…… 28
III-（2）文化教育学部の結果と分析	…… 35
III-（3）学校教育学研究科の結果と分析	…… 41
III-（4）芸術地域デザイン学部の結果と分析	…… 48
III-（5）地域デザイン研究科の結果と分析	…… 54
III-（6）経済学部の結果と分析	…… 60
III-（7）理工学部・理工学研究科・工学系研究科の結果と分析	…… 73
III-（8）農学部・農学研究科の結果と分析	…… 92
III-（9）先進健康科学研究科の結果と分析	……112
III-（10）全学教育機構の結果と分析	……122
おわりに	……132
資料1 佐賀大学学生による授業評価実施要領	……133
資料2 授業評価結果を用いた授業改善実施要領	……135
資料3 学生による授業アンケート様式	……137
資料4 共通様式以外のアンケート様式	……139
資料5 項目の基礎集計表	……142

I. 経過

佐賀大学では平成 12 年度前学期の「学生による授業評価」の試行的実施を経て、同年度の大学教育委員会で承認された「授業評価実施要領」に基づき平成 13 年度より授業アンケートの本格導入に至っている。さらに佐賀医科大学との統合後には、佐賀大学大学教育委員会（平成 15 年 11 月 26 日開催）で「学生に対する授業評価システムに対応する専門委員会」の設置が承認され、継続的に実施する体制が整えられた。法人化後の平成 17 年度には「授業評価実施要領」を一部改訂し、従来の教員による選択的实施を改め、講義科目（演習、実験、少人数ゼミを除く）を対象に共通アンケートによる 100%の実施を目標に活動を続けてきた。また、翌平成 18 年度後学期より全ての授業科目（大学院も含む）を対象に授業評価を実施することを定めた「佐賀大学学生による授業評価実施要領」（以下、授業評価実施要領とする）（平成 18 年 10 月 1 日施行）（資料 1）が新たに制定された。これにより佐賀大学の全ての授業科目において、基本的に共通アンケートもしくは独自アンケートによって学生の意見を聴く機会が設けられたと言える。また、アンケート結果の教員へのフィードバックについても全学平均や学部平均との比較をレーダーチャートに示し、自らの授業改善に活かせるような工夫が施された。さらに、「授業評価結果を用いた授業改善実施要領」（平成 18 年 12 月 22 日施行）（資料 2）が制定され、この授業評価アンケート結果に基づき、各教員は自らの授業の改善点について授業点検・評価報告書を提出することが義務づけられた。平成 22 年度後学期からはそれまでの共通アンケート用紙に変わり、LiveCampus を利用した共通アンケート形式が導入され、ウェブ上でアンケートが実施された。一方、この授業評価アンケートと並行して学生対象アンケートも実施され、佐賀大学の教育目的、施設、教育システム全般にわたって広く学生の声を取り入れようとする試みも行われた。さらには教員対象アンケートや卒業生対象アンケートも実施され、佐賀大学における教育活動を多面的に分析する準備を整備しつつある。

平成 27 年度からは、授業アンケートを「評価」のためでなく、「教育の質の改善・向上」のために実施することを「佐賀大学学生による授業評価実施要領」に明示するとともに、アンケート項目も大幅に見直し、名称も「授業アンケート」とした。

本報告では令和元年度に実施した授業評価アンケートの結果および授業評価結果を用いた授業改善実施要領に基づいた佐賀大学の授業改善への取り組みについて述べる。なお、医学部および e ラーニングで受講するネット授業については、授業形態の差異に配慮し、本報告書では扱っていない。

II. 回答状況

令和元年度に佐賀大学で行われた授業アンケートは、本学の統合型オンラインコミュニケーションシステム Live Campus 上の共通アンケートシステムを用いて行った。また、科目によっては共通様式を用いない授業アンケートの実施も認めている。そこで、授業アンケートの結果を述べる前にアンケートの実施方法及び実施状況について示す。

本年度に実施した授業評価アンケートは以下の3つに大別される。

- 1) 授業アンケートシステム (資料3)
- 2) 個別授業アンケート
- 3) 医学部授業評価アンケート (資料4)

このうち本報告書では授業アンケートシステムの結果について取り扱う。医学部は統合前の佐賀医科大学時代から先進的な FD 活動を展開しており、授業評価アンケートも科目種毎に分けて通年で実施し、詳しい分析が行われているので本報告では扱わない。ネット授業は授業形態が異なるため質問内容が異なっているため別項とし、概要をまとめ分析を行った。

次に、本年度の授業アンケートの回答率について述べる。表1に部局毎の回答率をまとめた。回答率の高い部局は、学部課程では医学部、理工学部、全学教育機構で、研究科では医学系研究科、学校教育学研究科であった。学部での回答率は医学部の99.3%が最も大きく、科目数では134科目に達する。また、大学院では医学系研究科の実施率が100%に達している。共通アンケートシステムの導入によりアンケートの実施に教員の関与が無くなったため、例年報告している「個別授業評価に係わる情報が一切無い授業科目名」について、平成22年度より掲載していない。

(1) 学生から高い評価を得ている授業科目の選考基準（とその活用方法）

教育学部・学校教育学研究科、文化教育学部

昨年度同様に、教育学部と文化教育学部の読み替え科目や同時開講科目、過年度生のための開講科目などが存在するため、高い評価を得ている授業科目を統一的な基準の元で選定することは困難である。また、教育学部のみで検討する場合も、必修科目は全員受講するため100人程度、科目の選択科目等は10人以下など、受講人数のばらつきが大きいいため比較が困難である。以上のことから選定していない。学校教育学研究科は対象科目が少ないため選定していない。

芸術地域デザイン学部、地域デザイン研究科

特に実施していない。

経済学部

現在のところ経済学部では「学生から高い評価を得ている授業科目」を選定しておらず、その選考基準も作成していない。

理工学部、工学系研究科

(1) 学士課程

数理科学科

以前は、授業評価アンケートの「満足度」を利用して、学生から高い評価を得ている授業科目を選考していたが、授業評価アンケートをwebで収集するようになってから回収率が悪く、参考にならないため、現在、学生から高い評価を得ている授業科目の選考を中止している。

物理科学科

履修者が多く統計的に意味があると思われる必修科目の中から、満足度を中心に、アンケート結果から総合的に判断する。

知能情報システム学科

D-1（学生の満足度）の高い科目を一応の目安としているが、単に易いだけで満足度が上がっているケースもあるのではないかとということで、難易度や負荷度のアンケートと合わせて評価をおこなっている。

機能物質化学科

満足度を中心にアンケート結果も参考にしているが、基本的には、卒業予定者を対象とした学科独自のアンケートを行い、在学中の講義・演習・実験・研究等の中から最も優れていると判断される科目を調査している。

機械システム工学科

特に実施していない

電気電子工学科

前年度のアンケート回答数が 30 以上の専門科目を対象として、以下の 4 項目について平均評価が上位の科目を選出している。4 項目：B-3（教員の意欲や熱意）、C-1（目標の達成度）、C-4（学生自身が考えることを促す配慮）、D-1（満足度）。前期科目と後期科目のそれぞれについて、選出した評価の高い上位科目の授業参観を実施している。

都市工学科

特に実施していない。

理工学科

初年次共通教育においては、学生から高い評価を得ることよりも、基礎学力を涵養するための工夫に重点をおいているため、特に実施していない。

(2) 博士前期課程・修士課程

工学系研究科

数理科学専攻

以前は、授業評価アンケートの「満足度」を利用して、学生から高い評価を得ている授業科目を選考していたが、授業評価アンケートを web で収集するようになってから回収率が悪く、参考にならないため、現在、学生から高い評価を得ている授業科目の選考を中止している。

物理科学専攻

履修者が多く統計的に意味があると思われる必修科目の中から、満足度を中心に、アンケート結果から総合的に判断する。

知能情報システム学専攻

学士課程に準じる。

循環物質化学専攻

満足度を中心にアンケート結果も参考にしているが、基本的には、修了予定者を対象とした専攻独自のアンケートを行い、在学中の講義・演習・実習・研究等の中から最も優れていると判断される科目を調査している。

機械システム工学専攻

特に実施していない

電気電子工学専攻

特に実施していない。

都市工学専攻

特に実施していない。

先端融合工学専攻

特に実施していない。

理工学研究科理工学専攻

数学コース

Web で収集する授業評価アンケートは、回収率が悪く参考にしにくいため、現在、学生から高い評価を得ている授業科目の選考を中止している。

物理学コース

履修者が多く統計的に意味があると思われる必修科目の中から、満足度を中心に、アンケート結果から総合的に判断する。

データサイエンスコース

知能情報システム学専攻での内容を引き継いでおこなっている。

知能情報工学コース

知能情報システム学専攻での内容を引き継いでおこなっている。

機能材料化学コース

特に実施していない。

機械エネルギー工学コース

特に実施していない

機械システム工学コース

特に実施していない

電気電子工学コース

特に実施していない。

都市基盤工学コース

特に実施していない。

建築環境デザインコース

特に実施していない。

(3) 博士後期課程

工学系研究科

博士後期課程については、講座単位では学生の人数が少なく、講義の履修者数も少ないため、講座毎の組織別授業評価は行っていない。

農学部、農学研究科

前年度までの報告でも述べたとおりであるが、学部内・学科内における各学科の内容（必須科目・非必須科目の違いを含む）や受講生数に違いがあるため、授業評価アンケートの回答結果を用いて比較を行うことは現状では困難である。しかし、現状で入手できる資料を用いて基準を精査することは重要である。

選考基準の一つとして、教員の授業に対する熱意や授業に対する全体の満足度などを質問したアンケートの質問事項 B～D において高い評価を得ている科目が挙げられる。次に、

講義だけでなく、自学によって高度な知識や見識を身に付けたり、知的好奇心が満たされたりすることから得られる満足感を評価する必要があると考えられるため、授業時間外学習が確保されている科目も選考基準の一つとして挙げられる。そして、学生によるアンケート入力率が高い科目も選考基準の一つとして考慮すべきであろう。

先進健康科学研究科

「学生から高い評価を得ている授業科目」については、授業評価アンケートの回答結果を用いて比較を行うことは困難であると判断した。学生が授業内容を真に理解するタイミングには専攻によってずれがあるため現時点での統一的な比較は適切ではないと考えられる。

全学教育機構

全学教育機構では、この項目に対する科目の選考は行っていない。

(2) 授業改善の取組状況に係る優れた点及び改善を要する点

教育学部・学校教育学研究科、文化教育学部

令和元年度は教育学部，学校教育学研究科，文化教育学部，教育学研究科の3組織に対する組織別授業評価を実施した。平成30年度の改善目標を基に令和元年度の優れた点と改善を要する点を報告する。

【優れた点】

1) 内部質保証の教育点検システムの構築

全学な取り組みのもと，教育改善を図るために教育学部・学校教育学研究科，それぞれに教育点検システムを構築した。教育学部では教育員会，FD委員会，新設した教育改善員会を中心に，教育質保証のPDCAサイクルを行う。また，教育学部および学校教育学研究科が連携することで，より体系的な教育が行われ，学部と大学院における教育の質が向上することが期待される。

2) FD活動

令和元年度は学部・大学院でFD講演会を開き，授業におけるティーチング・ポートフォリオの利用法やアクティブラーニングの導入について，情報共有を行った。また，ティーチングポートフォリオワークショップの参加し，教員が各自授業の見直し，授業改善を行っている。その結果，学生の授業アンケートの満足度の高さに繋がっている。

【改善を要する点】

1) シラバスの活用度の向上

生の授業選択や授業計画を知ることができるシラバスの活用度が低いため，活用度の向上を図る。シラバスの意義や活用方法について学生に周知する必要がある。

芸術地域デザイン学部、地域デザイン研究科

芸術地域デザイン学部では，ラーニング・ポートフォリオを導入し，学生が自らの学習活動について振り返ることによって，また，チューターの学修・生活指導の一助として，単位の実質化に役立っている。地域デザイン研究科では，研究指導実施計画書を学生と指導教員が作成し，副指導教員2名がチェックし，研究進捗を把握している。

また、平成30年度末に学部の全学生と全教員を対象とした学部独自のWEBアンケート調査を実施し、教育全般にわたる課題抽出をおこない、令和元年にカリキュラム改定に取り

組み、さらに令和 2 年度には P D C A のチェックで明らかとなった通年科目の問題解消に取り組んでいる。

経済学部

授業改善の取り組み状況に関する優れた点は、第 1 に、4 年間の学習成果を測定することを目的とした「コア科目群確認試験」を、平成 30 年度卒業予定者を対象として実施したことである。経済学部では、専門教育を伝統的な経済学・経営学・法学の体系として教育すると同時に、専門教育の入門科目を低学年次に受けさせ、高学年次では自らの進路希望に添ったコア科目群を履修させている。このような体制をとることで、専門教育と総合教育のバランスのとれた教育を行っている。こうした学習成果の最終的な測定が「コア科目群確認試験」であり、同試験を同一日時における一斉試験として、平成 28 年度と同様に 4 年次後学期（11 月）に実施した。コア科目群確認試験の測定結果については、4 年演習の担当教員が確認し、各教員は測定結果にもとづいたより充実したチューター指導に結びつけることができた。令和元年度において特筆すべき点は、前年度に引き続いて各コア科目群における試験結果ならびに得点分布が、FD 会議の実施によって各教員に周知され、科目群間の難易度調整の観点から試験問題の再点検を重ねたことである。

第 2 に、学部全体において計 4 回の FD 活動を令和元年度に実施したことである。「安全輸出保障管理に関する FD (第 1 回)」、「教員活動 DB への入力率向上のための FD (第 2 回)」、「ハラスメントのないキャンパスにするための FD 講習 (第 3 回)」、「佐賀大学情報セキュリティ講習ー標準型攻撃に備える (第 4 回)」をテーマとして、ほぼ全ての教員の参加の下で FD 会議が開催され、活発な意見交換ならびに情報の共有化が行われた。さらに経済・経営・経済法の各学科においても学科 FD 会議が開催され、授業改善・望ましい授業カリキュラムのあり方が複数回にわたり議論および検討された。

第 3 にこれまでの FD 活動やシラバス・授業点検の効果が、令和元年度の授業アンケートに反映されつつある点である。詳細は授業評価 (別紙) に譲るが、授業に対する不満度が前年度に比べやや低下している。

第 4 に後学期より留学生 (SPACE-E) を対象に英語による授業科目 (“Contemporary Social and Economic Issues in Japan”) を展開した点である。この授業は 5 名の教員によるオムニバス形式で実施された。学生からは概ね満足した回答した結果が得られており、概して成功したと考えている。この授業と並行して留学生の個人指導も実施されており、学部の国際化に対応した試みも続けられている。

改善すべき点として、第 1 に前年度に引き続いて学部改組の成果に関する FD 活動を開催することである。学部改組から時間が経っている今、改組の効果が改めて学生の能力向

上につながっているか検討する必要がある。第 2 に「コア科目群確認試験」についても継続的に FD 活動を実施することである。試験問題の範囲や難易度等について各教員間での調整や情報共有を行い、同試験がよりよく 4 年間の学習成果を測定できるものとなるように、継続的に議論していくことが必要と考えている。第 3 に新しく開設した授業の検討を実施することである。上述したように SPACE-E の科目を新設したが、まだ手探りの部分が多く、改善の余地は残されている。適宜 FD を開催したり、ワーキンググループを発足させたりしながら、改善点を検討する必要がある。

理工学部、工学系研究科

理工学部

(1) 学士課程

数理科学科

学科として組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから授業改善にもれなく取り組んでいる。

物理科学科

学科として、個別の授業の改善は行っていないが、教員各自が共通および独自アンケート等の情報から、授業改善に取り組んでいる。

知能情報システム学科

- ・ラーニングポートフォリオシステム、自作の教務判定システムを活用して、学生の細かいケアを行った。
- ・オンライン授業用の教材作成を行った。
- ・予習・復習用の解説ビデオを作成し、毎週、予習課題を LiveCampus で通知した。
- ・授業時間外の課題などを整備し、学生の予習復習の利便性を高めた。
- ・一部科目では、毎回の小テスト・宿題により講義内容の理解度・出席率を高めるとともに、採点結果を返却し復習に役立たせている。
- ・予習確認テストで学生の理解度を把握し、授業時間では、最小限の解説にとどめ、演習時間を多くとった。
- ・PC 環境を使った実習を行い、実習を通して実体験することで、理解を深めさせた。
- ・授業を進める中で問題を出し学生に解かせることで、学生自身が考える時間を設けた。
- ・授業中に解いた問題の解答を発表させ、発表者に授業評価点を与えることで、積極的に取り組むように促した。
- ・プログラミング演習支援システムによるプログラミングの自学自

習（問題数 200 題程度，回答し正解した問題総数が半期で約 1000 題ほど，1 人平均で年間 30 問ぐらい解いている）。

- ・ e ラーニングシステムを活用することで課題提出の管理を向上させた。
- ・ 演習の電子化を進めることでフィードバックが改善された。
- ・ クラウド環境を利用し，学生が大学でも自宅でも同一の環境で演習が行えるよう工夫した。
- ・ e ラーニングや紙での独自アンケート・コミュニケーションカード・小テスト時の自由記述欄などで学生の意見を吸い上げ，授業改善を行っている。
- ・ 毎回の授業後に Moodle 小テストを用いた「確認テスト」を実施した。これにより学生の理解度を把握するとともに，学生が確実に復習を行うように工夫した。小テストの答えは自動採点され，学生にフィードバックされるとともに，成績にも反映される。・「Moodle 版大福帳」を活用して，学生の質問やコメントを毎回の授業後に収集し，次回の授業までに教員が回答する仕組みを運用している。教官室を訪問するのと比較すると，学生が質問する際のハードルは低い。また，教員の側も，質問を収集することで学生の理解状況が分かる。
- ・ 毎週，全学生からの質問を収集し，それらの中の代表的な質問，おもしろい質問に回答することをし，学生の理解度を高めた。
- ・ ほぼすべてのレポート課題にアンケートをつけ，要望・意見についてコメントを返すとともに対応可能なものは講義に取り入れた。
- ・ 開講した全ての講義に対して，講義資料をオンライン公開した。
- ・ PowerPoint スライドで授業をしているが，一部を空欄にして学生に書き取りをさせる方法は，学生の評判も良い。居眠りを減らす効果もある。
- ・ 提示資料を講義終了後にホームページにアップロードしたことで，講義中にノートを取る学生が多くいるなど，意欲を高める効果があったと考える。
- ・ 授業の難易度が多少高くても，意味のある内容であることをきちんと説明すれば，学生は納得もするし，ついてきている。
- ・ 学習アドバイザーや TA と連携し，履修者のケアを行った。
- ・ 学習アドバイザー（プログラミング系・数学系）による学習支援を行っている。成績不振の学生を優先して指定しており，成績に反映させている。
- ・ オフィスアワーの設定時間以外でも，学生からの質問などに積極的に応じた。

（改善を要する点）

- ・ 数学科目では，なかなか学習到達目標の達成を実感させるのが難しいが，内容を精査し，講義順序も再検討して「わかった」ことを実感させられるように講義設計を見直したい。

・時間外学習の課題を与えているが、その進行状況の把握が十分ではなかった。時間外の学習に関する改善方法を検討する。

・学習到達目標の達成や、学生自身が考えることを促す配慮の項目の評価がやや低くなっている科目があった。学生にシラバスや到達目標をしっかりと意識させ、学生が考えるよう配慮していくよう授業の改善を行っていききたい。

・学生による授業評価アンケートの回答率が低い。一部学生の意見のみで授業を変更するのは、必ずしも望ましくないため、回答率の向上を図りたい。

・学生の学力低下や学習意欲の低下が目立つため、できるだけ学生に作業を行わせ、手を動かすことを通じて授業内容を理解させることに努めたい。

・自学自習があまり行われなかった。自学自習を促す方法としてレポート課題などを再検討する。

・グループ学習・アクティブ・ラーニングを導入する。教員側から質問するなどし、より講義に参加する形を作る。

・講義の難易度が上がると学生の興味が薄れる傾向にある。これを克服すべく、改善が必要と考える。

機能物質化学科

学生による授業アンケートの結果を基に、各教員が授業点検・改善を実施し、ポートフォリオ学習支援統合システムで報告を行っている。また、実験科目や卒業研究等の実験や実習に対する授業評価において、平成 19 年度より独自形式アンケートを作成・実施している。学科内における教育点検システムとして設置している教育プログラム委員会、分野別教員会議および教育 FD 委員会にて授業科目を複数の教員でチェックし、点検・改善を行っている。平成 23 年度からは教育改善委員会を新たに設置し、要改善の科目については、次年度の授業改善を担当教員に報告してもらい、教育改善委員会での妥当性についてチェックしている。

機械システム工学科

学期ごとに提出する FD レポートにおいて各教員が各講義の改善点をあげ、改善に取り組んでいる。また FD 委員が FD レポートを取りまとめ、学科内で合格率等の低い講義に関しては改善を行うようにしている。

電気電子工学科

学生による授業評価の高い授業を選出し、その授業を公開してもらい学科教員が参観し

ている。参観した教員はその授業の良い点などを書いた報告書を FD 委員に提出し、FD 委員が取りまとめている。これによって、学科の全教員に対して、評価の高い授業の授業方法を参考にして自身の授業を改善する機会を提供している。

都市工学科

教員各自で学生による授業アンケートの結果に基づいて授業の点検及び改善に取り組んでおり、学期毎にポートフォリオ学習支援統合システムで授業の優れた点及び改善を要する点について報告する。部門の教育システム委員会・教育点検委員会・教育改善委員会を開催し、学生の学習状況の把握や教育方法の検討などを行っている。

理工学科

初年次共通教育においては、共通教育委員会の各科目部会において改善点の抽出を行い、必要であれば、教務委員会、教育質委員会と連携して改善案の策定および実施のプロセスを踏むことにしている。

なお、JABEE を実施している 4 学科に関しては、JABEE の基準に従い、定期的に教育の改善に関する会議を開催し、逐次、教育改善を進めているはずである。

(2) 博士前期課程

数理科学専攻

学科として組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから授業改善にもれなく取り組んでいる。

物理科学専攻

専攻として、個別の授業の改善は行っていないが、教員各自が共通および独自アンケート等の情報から、授業改善に取り組んでいる。

知能情報システム学専攻

学士課程での工夫は博士前期課程でも用いられている。

循環物質化学専攻

学生による授業アンケートの結果を基に、各教員が授業点検・改善を実施し、ポートフォリオ学習支援統合システムで報告を行っている他、分野別教員会議や教育 FD 委員会において、専門の近い教員グループにより授業の改善を続けている。

機械システム工学専攻

専攻として組織的には行なっておらず、各教員がライブキャンパスから個別に次年度の授業改善目標を設定している。

電気電子工学専攻

ライブキャンパスを利用した授業点検・改善報告による授業改善が行われている。

都市工学専攻

教員各自で学生による授業アンケートの結果に基づいて授業の点検及び改善に取り組んでおり、学期毎にポートフォリオ学習支援統合システムで授業の優れた点及び改善を要する点について報告する。また、専攻の教育システム委員会を定期的開催し、学生の学習状況の把握や教育方法の検討などを行っている。

先端融合工学専攻

各教員により、ライブキャンパスを利用した授業点検・改善報告による授業改善が行われている。

理工学研究科理工学専攻

数学コース

コースとして組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから授業改善にもれなく取り組んでいる。

物理学コース

専攻として、個別の授業の改善は行っていないが、教員各自が共通および独自アンケート等の情報から、授業改善に取り組んでいる。

データサイエンスコース

知能情報システム学専攻と同様に学士課程での工夫を博士前期課程に用いている。

知能情報工学コース

知能情報システム学専攻と同様に学士課程での工夫を博士前期課程に用いている。

機能材料化学コース

学生による授業アンケートの結果を基に、各教員が授業点検・改善を実施し、ポートフォリオ学習支援統合システムで報告を行っている他、分野別教員会議や教育 FD 委員会において、専門の近い教員グループにより授業の改善を続けている。

機械エネルギー工学コース

コースとして組織的には行なっておらず、各教員がライブキャンパスから個別に次年度の授業改善目標を設定している。

機械システム工学コース

コースとして組織的には行なっておらず、各教員がライブキャンパスから個別に次年度の授業改善目標を設定している。

電気電子工学コース

ライブキャンパスを利用した授業点検・改善報告による授業改善が行われている。

都市基盤工学コース

教員各自で学生による授業アンケートの結果に基づいて授業の点検及び改善を取り組んでおり、学期毎にポートフォリオ学習支援統合システムで授業の優れた点及び改善を要する点について報告する。教育システム委員会・教育点検委員会・教育改善委員会を開催し、都市基盤工学コース及び建築環境デザインコースの学生の学習状況の把握や教育方法の検討などを行っている。

建築環境デザインコース

教員各自で学生による授業アンケートの結果に基づいて授業の点検及び改善を取り組んでおり、学期毎にポートフォリオ学習支援統合システムで授業の優れた点及び改善を要する点について報告する。教育システム委員会・教育点検委員会・教育改善委員会を開催し、建築環境デザインコース及び都市基盤工学コースの学生の学習状況の把握や教育方法の検討などを行っている。

(3) 博士後期課程

優れた点として、授業アンケートに対する回答があった科目に関しては良好な評価を得ていることが挙げられる。一方、改善すべき点としては、回答率が低いことが挙げられる。

農学部、農学研究科

出席率は、出席率 80%以上の学生が、前期、後期とも 93%以上と高く、教員の授業に対する意欲や熱意、並びに授業の全体としての満足度も良好であった。授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮があったかという問いに関しては、83%以上であり、比較的良好な結果が得られたが、アクティブラーニングをより浸透させる点から、この割合を今後も一層高めている努力が必要であると考えられる。一方、授業時間外学習については、全くしていない、あるいは 1 時間未満と答えた学生が、依然として一定数存在することが明らかになった。大学院が自ら学ぶ場であることを考えた場合、この割合は満足できる値とは言い難いため、今後も引き続き時間外学習を促すような指導を行っていく必要があると考えられる。シラバスの活用状況は前年度より改善が見られた。今後も活用に関する周知を呼びかけ、更なる改善を図ることが必要であると考えられる。

先進健康科学研究科

先進健康科学研究科には社会人の学生もいるため、出席率が低いコースがあったのは問題ではないと考えている。

授業時間外学習時間が少ない学生が一定割合いたことは、学生に勉学を促すという意味では改善を要すると思われる。

今後も引き続き時間外学習を促すような指導を行っていく必要があると考えられる。

全学教育機構

アンケートの回答をポイント化した平均値を表に示す。平均値が「4 以上」の項目を青字、「2 以下」の科目を赤字表記としている。

優れた点：

表から分かるように、A-1（出席率）、B-3（教員の熱意）、D-1（満足度）は高い。昨年度結果と比較すると、「文化と共生コース」の伸びが著しく、B-1（教育方法の説明）、B-2（教員の対応）、C-3（教材）、C-4（グループワーク）の評点は他と比べて非常に高い。他の分野においても、微増ではあるが全体的にポイントは上昇傾向にあり、あらゆる面での教育改善が行われていることをうかがわせる。なかでも A-2（授業外学習時間）のポイント上昇が大きく、主体的な学修の促進に向けて全学教育機構はしっかりと取り組んでいる結果であると評価できる。

改善すべき点：

組織的な授業改善に対する取り組みとして、シラバス組織的な点検、非常勤講師を対象としたシラバス作成と授業評価に関するFD講演会、教員会議におけるFD講演会の開催、授業評価アンケートの実施、TA実施報告書の作成、および授業点検・改善報告書のオンライン入力を行った。全体的に授業評価結果の向上が見られてはいるものの、否定的な評価がなくなっているわけではない点は無視できない。一過性のものであるかもしれないが、他の科目に比べて「情報リテラシー科目」や「大学院教養科目」の満足度評価にこの傾向が強く表れている点は注視しておかなければならない

R01年度	A-1	A-2	A-3	A-4	B-1	B-2	B-3	C-1	C-2	C-3	C-4	D-1
外国語科目	4.85	2.89	2.70	3.86	3.96	3.66	4.21	3.67	3.65	4.04	4.30	4.11
体育実技	4.95	1.55	2.07	3.79	4.11	3.77	4.48	3.81	3.49	3.33	3.87	4.51
情報リテラシー科目	4.90	2.80	2.47	3.62	3.71	3.54	3.92	3.49	3.43	4.00	3.40	3.88
自然科学と技術の分野	4.82	2.55	2.83	3.78	3.91	3.35	4.15	3.52	3.65	3.96	3.51	4.12
文化の分野	4.78	2.51	2.61	3.74	3.86	3.39	4.22	3.55	3.53	3.99	3.78	4.19
現代社会の分野	4.79	2.49	2.74	3.76	3.87	3.19	4.11	3.56	3.60	3.88	3.53	4.06
環境コース	4.88	2.59	2.96	3.76	3.92	3.69	4.19	3.67	3.71	3.92	4.15	4.01
文化と共生コース	4.82	3.26	3.13	4.05	4.22	4.33	4.41	3.95	4.02	4.30	4.40	4.40
生活と科学コース	4.84	2.64	2.87	3.86	3.91	3.39	4.09	3.70	3.79	4.04	3.94	4.08
医療・福祉と社会コース	4.94	2.24	2.59	3.71	3.97	3.56	4.34	3.80	3.70	4.02	4.03	4.38
地域・佐賀学コース	4.87	2.96	2.99	4.02	4.19	3.89	4.41	4.01	3.91	4.15	4.30	4.33
サブスペシャルティコース	4.89	2.88	3.04	3.85	4.04	3.62	4.39	3.75	3.77	4.15	4.30	4.38
人間と社会コース	4.79	2.96	2.94	4.01	4.18	4.20	4.38	3.91	3.95	4.10	4.33	4.31
大学院教養科目	4.62	3.04	3.01	4.03	3.94	3.63	4.17	3.90	4.00	4.04	4.13	4.02

(3) 次年度の授業改善目標

教育学部・学校教育学研究科、文化教育学部

1) シラバスの活用度の向上

授業評価アンケートシラバスによると、「シラバスを見ていない」「全く活用しなかった」「あまり活用しなかった」を合わせると、学校教育学研究科では20%以下となっているが、教育学部では40%前後となっており、昨年度と同様にあまり活用されていない結果となった。シラバスは学生の授業選択や授業計画を知る上で重要な資料となるため、教員が学生にシラバスの意義を説明し、シラバスの活用を促す必要がある。

2) 授業改善のための授業内容や資料等の共有

授業アンケートによると授業満足度は教育学部および学校教育学研究科とも高い満足度

を得ている。しかし、教員はより学生が理解し、主体的に学習するような授業改善が必要である。お互いの授業内容や使用資料等を共有することで、その授業の創意工夫点を知り、客観的に自己の授業を見つめ、授業改善を図る。

芸術地域デザイン学部、地域デザイン研究科

平成 30 年度末に実施した学部の全学生と全教員を対象とした学部独自のWEBアンケート調査の結果を整理して教育に関する課題を抽出し、改善の4つ方針を立てている。その方針を柱として、年次ごとにカリキュラムの見直しに取り組んでおり、令和2年度には通年科目の改善を目標とする。

また一方で学部・研究科ともラーニング・ポートフォリオの入力率向上に取り組み、学生および各教員に対してラーニング・ポートフォリオのより積極的な活用を促すことを目標とする。さらにルーブリック評価の導入を図る。

経済学部

第1に、上記の「授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点」に示された改善点の改善を目標とする。

第2に、前年度に引き続いて学生による授業評価アンケートの回答率が低水準にあることから、学生への周知の徹底などにより授業評価アンケートの入力率向上に取り組むことを目標とする。また学生アンケートの自由記述欄に書かれた意見を適宜取り入れ、これまで以上に学生にとって意義のある授業内容を提供していきたい。

第3に、ラーニング・ポートフォリオの入力率向上に取り組み、学生および各教員に対してラーニング・ポートフォリオのより積極的な活用を促すことを目標とする。またティーチング・ポートフォリオの更新も適宜、実施する。ルーブリック評価についてはこの評価を実施している教員から意見を伺い、この評価がもたらす教育効果を検証しながら、今後の改善点や反省点を明らかにしていく。

理工学部、工学系研究科、理工学研究科

(1) 学士課程

数理科学科

学科として組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから次年度の授業改善目標をもれなく設定している。

物理科学科

定期的に教育点検委員会を開催し、物理科学科および物理科学専攻での科目の教育点検を行い、授業改善を検討する。

知能情報システム学科

学生による授業評価アンケートの回答率が低い。一部学生の意見のみで授業を変更するのは、必ずしも望ましくないため、回答率の向上を図りたい。

機能物質化学科

教育プログラム委員会、分野別教員会議、教育 FD 委員会および教育改善委員会による授業点検結果と改善指針に基づき、学科全体で継続的に行う。

機械システム工学科

個別の授業改善目標というよりは、専攻・学科内で組織的な授業改善が行えるよう、専攻内の教務・JABEE グループ会議で検討を行う。

電気電子工学科

平成 28 年度から授業参観を授業評価の高い授業を参観する形にしているため、具体的に参考になる授業方法を見つけて来年度以降も蓄積してゆき、学科内に周知するようにする。

都市工学科

各教員がポートフォリオ学習支援統合システムで授業点検・改善を報告する際、次年度の授業改善目標も挙げられる。前年度に掲げた目標を達成できるように授業を工夫し、学期末の学生による授業アンケートの結果に基づいて授業点検・改善を繰り返すことにより授業改善を継続的に実施する。また、部門の教育システム委員会・教育点検委員会・教育改善委員会を開催し、新カリキュラムの科目に関する問題点及び優れた点を収集し、教員間で情報共有及び問題点の改善を図り、授業改善を努める。

理工学科

初年次共通教育においては、共通教育委員会の各科目部会において不断に改善点の抽出と点検を行う。また、2 年次以上の専門教育において、基礎学力としての初年次共通教育の教育効果について、各部門・コースのフィードバックを教務委員会および教育質保証委員会にて検証し、必要であれば、共通教育委員会において改善策を実施する。

(2) 博士前期課程

数理科学専攻

専攻として組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから次年度の授業改善目標をもれなく設定している。

物理科学専攻

定期的に教育点検委員会を開催し、物理科学科および物理科学専攻での科目の教育点検を行い、授業改善を検討する。

知能情報システム学専攻

学生による授業評価アンケートの回答率が低い。一部学生の意見のみで授業を変更するのは、必ずしも望ましくないため、回答率の向上を図りたい。

循環物質化学専攻

教育プログラム委員会、分野別教員会議、教育 FD 委員会および教育改善委員会による授業点検結果と改善指針に基づき、専攻全体で継続的に行う。

機械システム工学専攻

個別の授業改善目標というよりは、専攻・学科内で組織的な授業改善が行えるよう、専攻内の教務・JABEE グループ会議で検討を行う。

電気電子工学専攻

授業点検・改善報告に入力することにより、各教員が授業の改善に取り組む。

都市工学専攻

各教員がポートフォリオ学習支援統合システムで授業点検・改善を報告する際、次年度の授業改善目標も挙げられる。前年度に掲げた目標を達成できるように授業を工夫し、学期末の学生による授業アンケートの結果に基づいて授業点検・改善を繰り返すことにより授業改善を継続的に実施する。また、部門の教育システム委員会を開催し、授業の問題点を収集し、教員間で情報共有及び問題点の改善を図り、授業改善を努める。

先端融合工学専攻

各教員により、ライブキャンパスを利用した授業点検及び改善目標の設定が行われている。

る。

理工学研究科理工学専攻

数学コース

コースとして組織的には行っていないが、各自ライブキャンパスから授業改善にもれなく取り組んでいる。

物理学コース

定期的に教育点検委員会を開催し、物理科学科および物理科学専攻での科目の教育点検を行い、授業改善を検討する。

データサイエンスコース

知能情報システム学専攻と同様にアンケート回収率の向上を図る。

知能情報工学コース

知能情報システム学専攻と同様にアンケート回収率の向上を図る。

機能材料化学コース

教育プログラム委員会、分野別教員会議、教育 FD 委員会および教育改善委員会による授業点検結果と改善指針に基づき、専攻全体で継続的に行う。

機械エネルギー工学コース

個別の授業改善目標というよりは、コース内および関連の機械システム工学コースと連携を取りながら組織的な授業改善が行えるよう、コース内の教務・JABEE グループ会議で検討を行う。

機械システム工学コース

個別の授業改善目標というよりは、コース内および関連の機械システム工学コースと連携を取りながら組織的な授業改善が行えるよう、コース内の教務・JABEE グループ会議で検討を行う。

電気電子工学コース

授業点検・改善報告に入力することにより、各教員が授業の改善に取り組む。

都市基盤工学コース

各教員がポートフォリオ学習支援統合システムで授業点検・改善を報告する際、次年度の授業改善目標も挙げられる。前年度に掲げた目標を達成できるように授業を工夫し、学期末の学生による授業アンケートの結果に基づいて授業点検・改善を繰り返すことにより授業改善を継続的に実施する。また、教育システム委員会・教育点検委員会・教育改善委員会を開催し、新カリキュラムの科目に関する問題点及び優れた点を収集し、教員間で情報共有及び問題点の改善を図り、授業改善を努める。

建築環境デザインコース

各教員がポートフォリオ学習支援統合システムで授業点検・改善を報告する際、次年度の授業改善目標も挙げられる。前年度に掲げた目標を達成できるように授業を工夫し、学期末の学生による授業アンケートの結果に基づいて授業点検・改善を繰り返すことにより授業改善を継続的に実施する。また、教育システム委員会・教育点検委員会・教育改善委員会を開催し、新カリキュラムの科目に関する問題点及び優れた点を収集し、教員間で情報共有及び問題点の改善を図り、授業改善を努める。

(3) 博士後期課程

授業アンケートに基づいて授業改善を進める。

農学部、農学研究科

上記に示した改善を要する点の改善を目標とする。また、授業評価アンケートの入力率向上とポートフォリオシステム（研究指導実施報告）の効果的活用に取り組む。また、該当する科目（特別研究）について、引き続きルーブリック評価の導入・定着を図る。

先進健康科学研究科

上記に示した改善を要する点の改善を目標とする。また、授業評価アンケートの入力率向上とポートフォリオシステム（研究指導実施報告）の効果的活用に取り組む。また、該当する科目（特別研究）について、引き続きルーブリック評価の導入・定着を図る。

全学教育機構

今年度よりインターフェース科目群は一部整理され、新たに「サブスペシャルティコース」が追加されるなどしているため、経年での厳密な比較はできないとはいえ、アンケート結果からわかるように全学教育機構の授業点検・改善は良い結果を残していると判断で

きる。ただ一方で、基本教養科目の開講数が減少しているなどの課題は残されているため、開講数の調整を図りながら満足度の高い授業の提供に取り組んでいく。

表1 部局別の授業アンケート回答率(独自形式アンケートは除く)

	令和元年度前学期			令和元年度後学期			合計
	回答数	対象数	回答率	回答数	対象数	回答率	回答率
教育学部	167	206	81.1%	153	179	85.5%	83.1%
文化教育学部	7	35	20.0%	5	26	19.2%	19.7%
芸術地域デザイン学部	91	101	90.1%	72	89	80.9%	85.8%
経済学部	143	159	89.9%	95	114	83.3%	87.2%
理工学部	243	260	93.5%	220	232	94.8%	94.1%
農学部	87	103	84.5%	93	108	86.1%	85.3%
全学教育機構	237	262	90.5%	286	309	92.6%	91.6%
学士課程全体	975	1,126	86.6%	924	1,057	87.4%	87.0%
学校教育学研究科	55	60	91.7%	29	32	90.6%	91.3%
地域デザイン研究科	39	54	72.2%	45	59	76.3%	74.3%
工学系研究科	21	45	46.7%	37	87	42.5%	43.9%
理工学研究科	79	89	88.8%	85	99	85.9%	87.2%
農学研究科	70	104	67.3%	58	90	64.4%	66.0%
先進健康科学研究科	45	71	63.4%	49	82	59.8%	61.4%
大学院教養教育プログラム	5	5	100.0%	10	10	100.0%	100.0%
自然科学系研究科共通科目	15	15	100.0%	10	10	100.0%	100.0%
大学院課程全体	329	443	74.3%	323	469	68.9%	71.5%

通年の講義については後期に含めている。

受講者が一人でも回答していれば回答している科目数とする。

表2 医学部の授業アンケート実施率(独自形式アンケートは除く)

	令和元年度		
	実施数	対象数	実施率
医学部	135	134	99.3%
医学系研究科	46	46	100%

表3 部局別の独自形式アンケート実施科目数

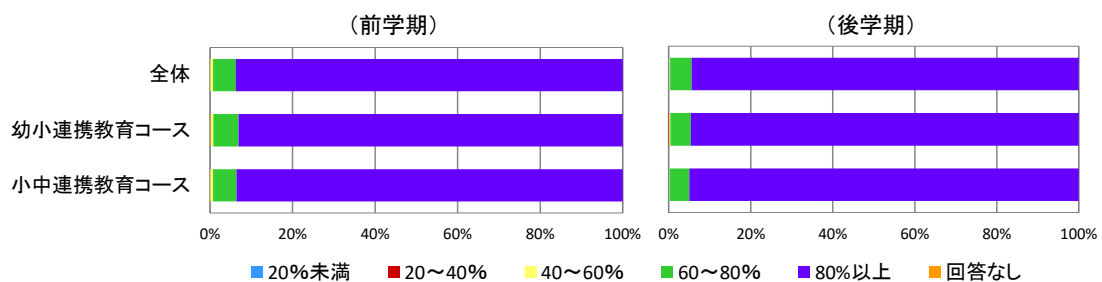
	前学期	後学期
経済学部	1	2
理工学部	2	1
全学教育機構	1	0
全体	4	3

佐賀大学教育学部
令和元年度「学生による授業評価アンケート」
組織別分析結果報告

このデータは R 元年度在籍した教育学部全学年のすべての科目を対象に 4 学年の学生からのアンケートを集計したものである。データは幼小連携教育, 小中連携教育コースと区分けをしており, 全体は 2 つを総合したものであるが共通科目もあるので全体のデータ数は幼小連携教育コースと小中連携教育コースの総数とはならない。前期においては幼小連携教育コース 1974 科目, 小中連携教育コースでは 2778 科目で, 全体数 3200 科目程度である。後期においては幼小連携教育コース科目, 小中連携教育コースでは 1013 科目で, 全体数 1278 科目である。

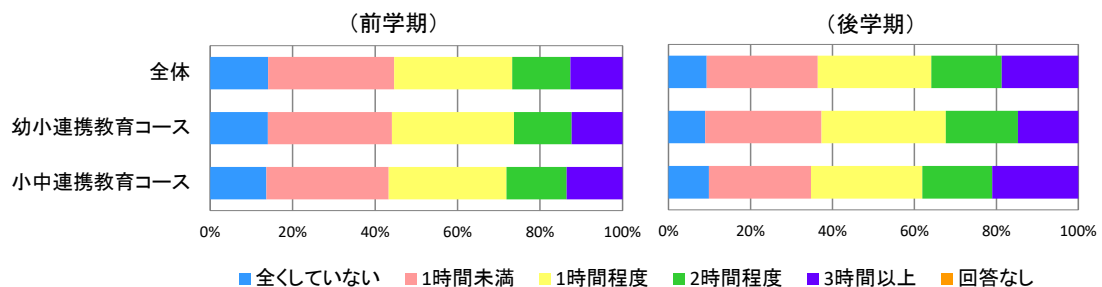
A. あなた自身について

A-1 出席率はどのくらいですか



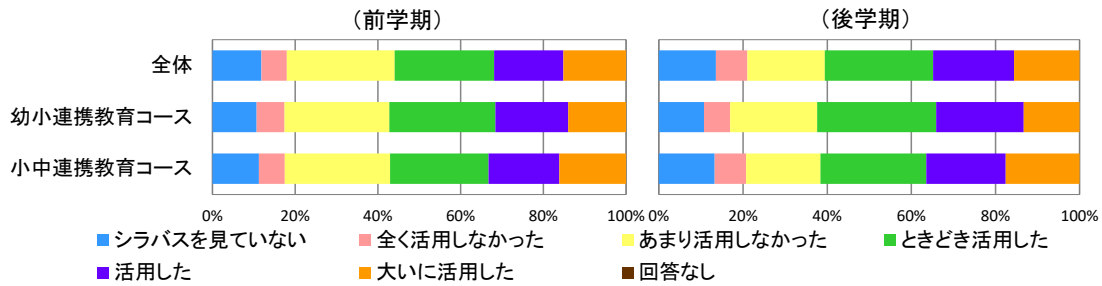
95%が 80%以上の出席をしており, 残り 5%が 60~80%以上の出席率となっている。コースによる違いは見あたらない。5%の内訳で 80%近い出席率か 60%に近い出席率かで大きく異なるが, 休みが多くなると成績不振や不登校になる可能性があり注意を要する。

A-2 授業時間外学習 (予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など) は、1 回の授業ごとにどの程度しましたか



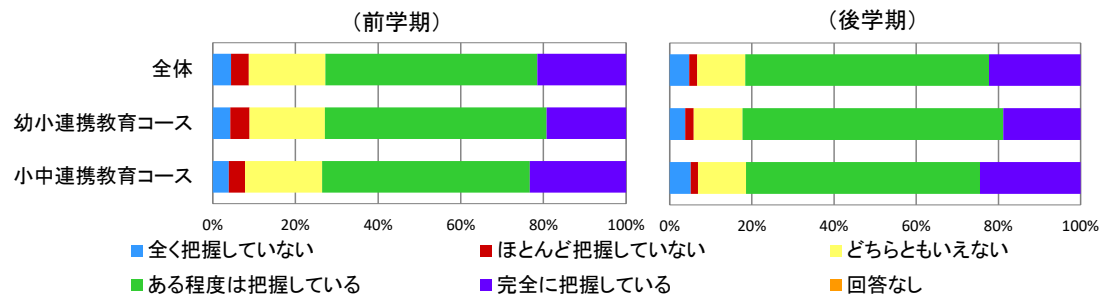
“全くしていない”の科目が前期では 10%強, 後期では 10%弱あり, コースによる違いは全くない。全くしていない科目は課題がなく, 比較的授業時間だけで理解できる内容であると推察する。

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか



前期においては全体で“シラバスを見ていない”と“全く活用していない”と20%弱ある。自発的に閲覧してもらうのはなかなか難しい。後期においては慣れたせいかな全体では20%を超えた科目が閲覧されていないことになる。ただ、設問形式が選択や予習・復習のために活用と厳密にとらえると否定的回答がでるかもしれない。

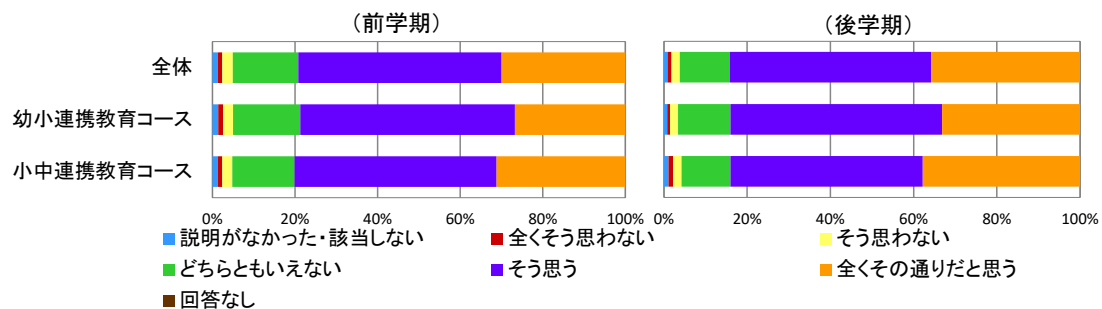
A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか



“全く把握していない”と“ほとんど把握していない”が10%弱の科目が該当している。後期はやや減少しているが、5%以上は否定的項目に該当している。授業初回にシラバスを配布して説明をするなどの工夫が必要で0%にすることが可能ではなかろうか。

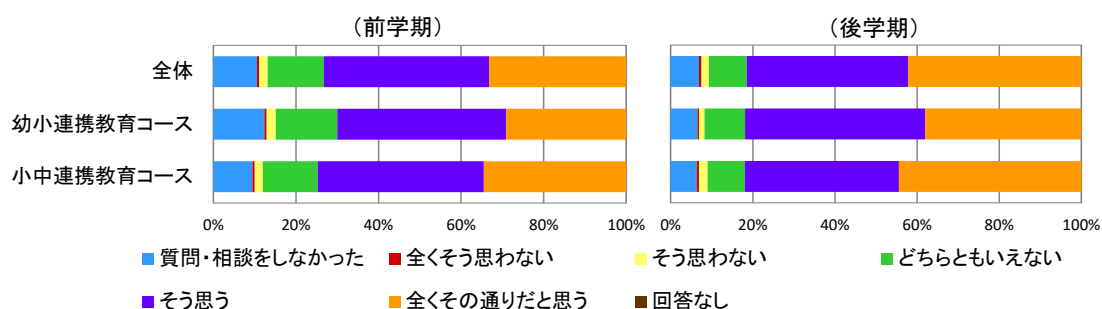
B. 教員の対応

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



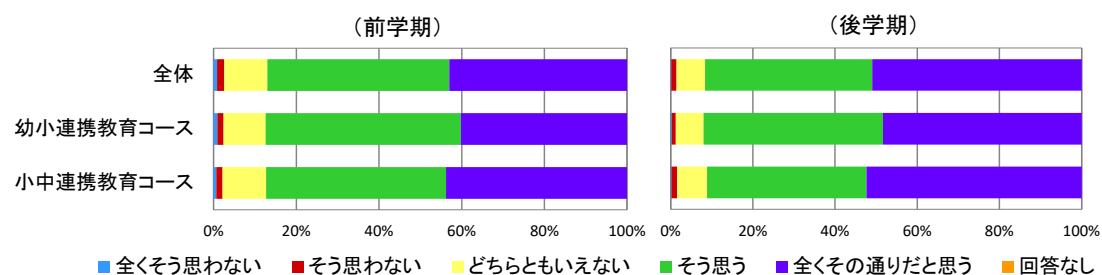
前期の“説明がなかった・該当しない”，“全くそう思わない”の否定的な意見と“どちらともいえない”を除いた肯定的意見は80%程度である。否定的回答は5%程度であり，妥当であると考えられる。後期においては幼小連携教育コースと小中連携教育コースは80%を超える肯定的回答である。ほぼコースによる違いはない。

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



前学期において肯定的回答“そう思う”と“全くその通りだと思う”の総和は70%程度の科目で適切に対応している。後期においては幼小連携教育コースと小中連携教育コース80%越えの教員が学生に適切に対応をしていることになる。10%の学生は質問・相談をしていない。

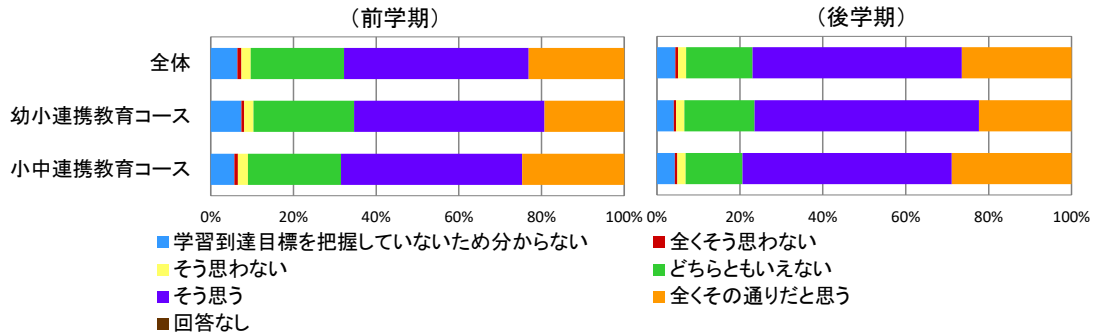
B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか



前・後学期において肯定的回答“そう思う”と“全くその通りだと思う”の総和は90%程度でほとんどの教員が熱意をもって授業に取り組んでいることがわかる。否定的回答は前期・後期とも2%以下の“全くそう思わない”と“そう思わない”があり，少数の科目が残念な結果で改善が必要である。

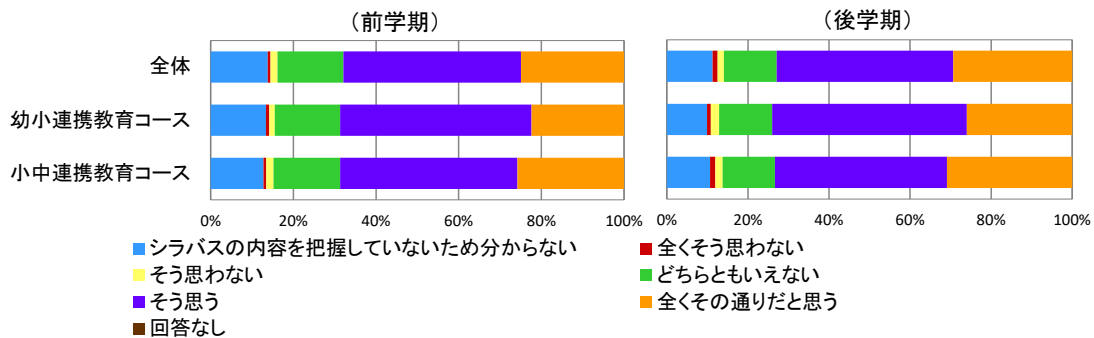
C. 授業内容および授業方法について

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか



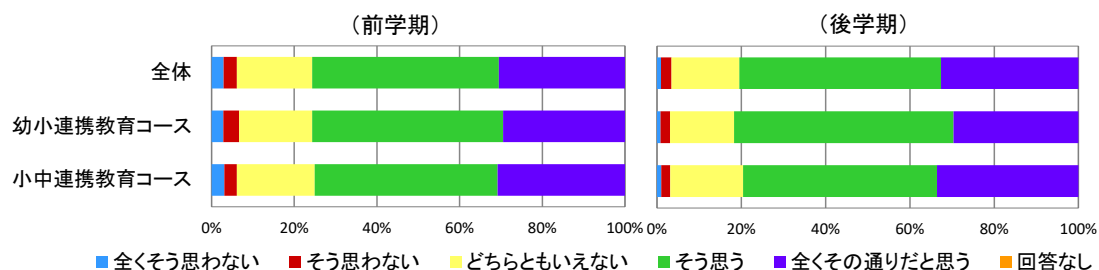
前学期において肯定的回答“そう思う”と“全くその通りだと思う”の総和は70%程度が学習目標が達成できたと感じている。否定的回答は“学習到達目標を把握していないため分からない”，“全くそう思わない”と“そう思わない”が合わせて10%程度あり，特に“学習到達目標を把握していないため分からない”が5%以上あり顕著である。シラバスをちゃんと説明していないことが原因であるかもしれない。後期は前期よりも達成率が80%に近い値を示している。

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか



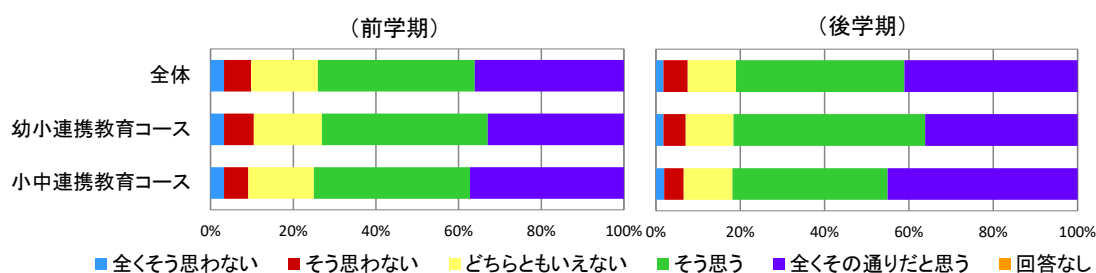
前学期において肯定的回答“そう思う”と“全くその通りだと思う”の総和は70%程度である。もともとA-3項でシラバスを“見ていない”と“全く活用しなかった”という回答が20%弱あったので，それに対応する結果がでていると思う。少なくとも70%の科目は確実にシラバスとおりに授業がやられている。この場合“全くそう思わない”と“そう思わない”が2%程度あり，シラバスどおりにやっていない教員もいるということで該当者は改善を要する。

C-3 教材（教科書、配布資料）やICT環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか



前学期において肯定的回答“そう思う”と“全くその通りだと思う”の総和は75%程度で教材やICT環境が授業の理解に役立っていることがわかる。否定的回答は“全くそう思わない”と“そう思わない”が合わせて10%程度あり後期に比べ顕著である。原因は思い当たらない。後期においては肯定的回答が80%を超えており、後期の科目の方が有効にそれらを使っていることがわかる。

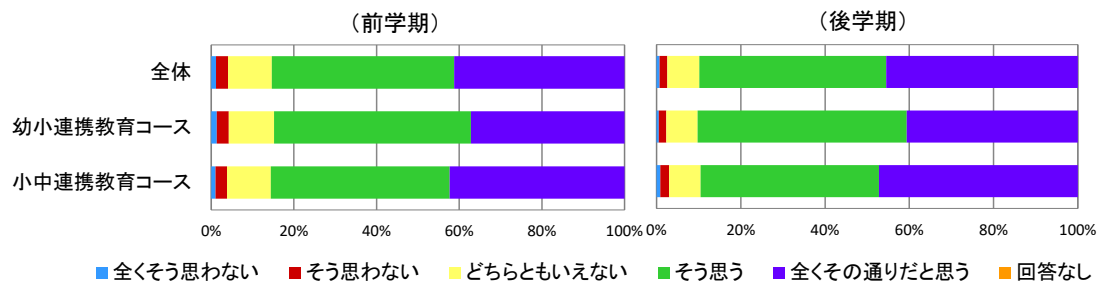
C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか



前学期において各コースおよび全体で、肯定的回答“そう思う”と“全くその通りだと思う”の総和は70%程度科目で学生自身が考える配慮があっている。後期においては80%を超えている。約10%は前後期において配慮を感じられていないという結果である。

D. 満足度

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか



前期において満足度は各コースおよび全体をみても、肯定的回答“そう思う”と“全くその通りだと思う”の総和が85%を超えている。後期では90%を超えている。ほぼ良好な授業が行われていることが読み取れた。否定的意見がどちらも5%程度の該当者科目担当者に通知を行うような改善も考える必要がある。

佐賀大学文化教育学部
令和元年度「学生による授業評価アンケート」
組織別分析結果報告

令和2年9月

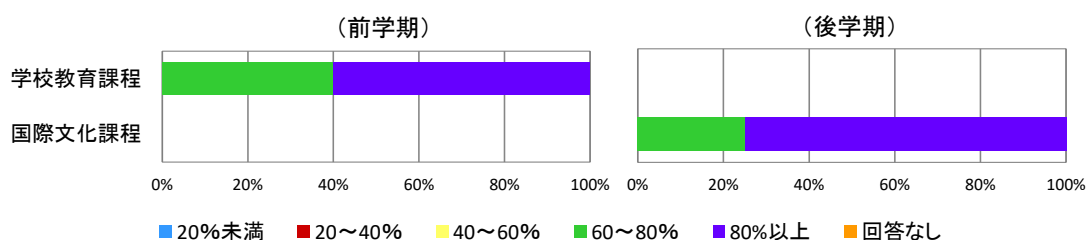
佐賀大学教育学部 FD 委員会

分析の仕方

R 元年度の文化教育学部は過年度生のみとなり在校生総数は44名であるが、授業を受講する学生数はその人数ではないと推定される。学校教育課程、国際文化課程、人間環境課程、美術・工芸課程の4課程があるが今回のアンケート数は学校教育課程10名、国際文化課程4名の結果である。あまり統計的分析には意味がないことを考慮しておいていただきたい。

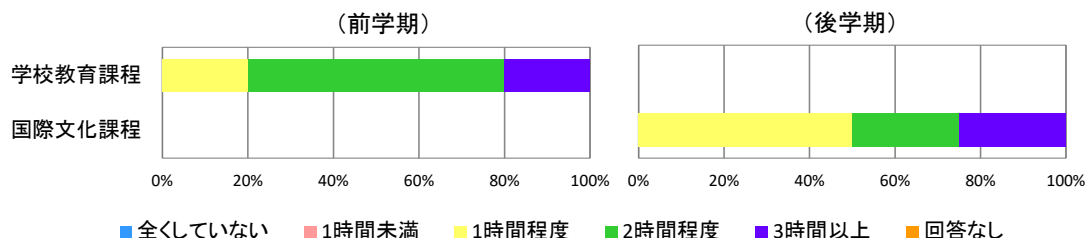
A. あなた自身について

A-1 出席率はどのくらいですか



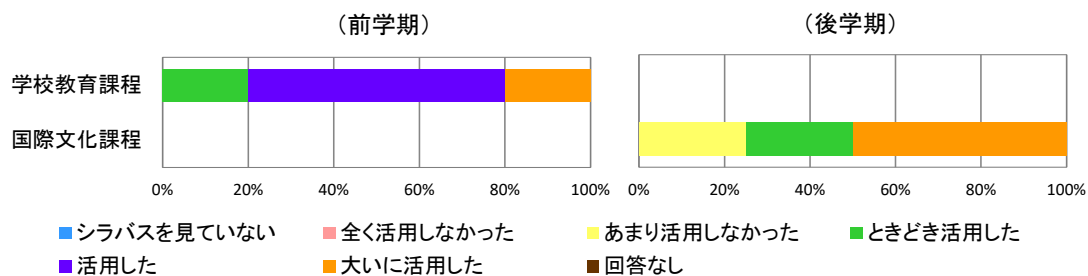
学校教育課程は前期のみの授業で4名が60~80%、6名が80%以上の出席率である。後期は国際文化のみの授業で1名が60~80%、3名が80%以上の出席率であった。やはり80%以上の出席率は望みたいところである。

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか



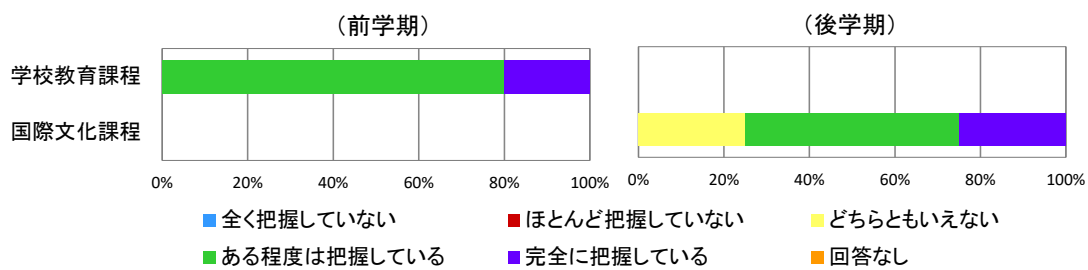
学校教育課程は10名中8名が、国際文化は4名中2名が2時間以上の時間外学習をしており、全くしていないに該当する者は誰もいなかった。

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか



学校教育課程の学生はシラバスを積極的に活用しているということがわかる。国際文化課程の学生は1名があまり活用しなかったということになるが、活用状況は良好であった。

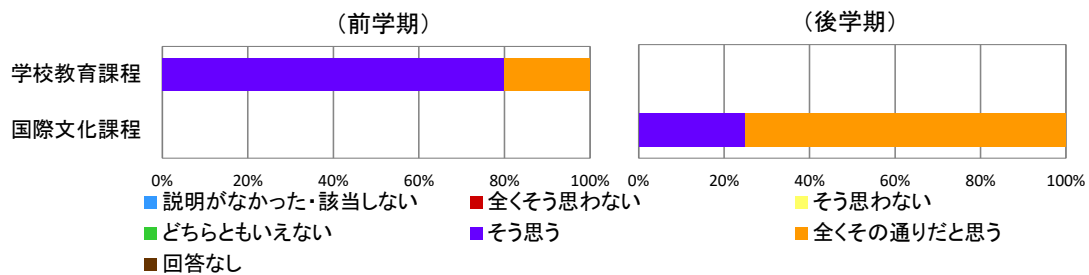
A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか



学校教育課程の意識が高くよく把握していることがわかる。国際文化課程においても25%の1名を除いて肯定的結果である。

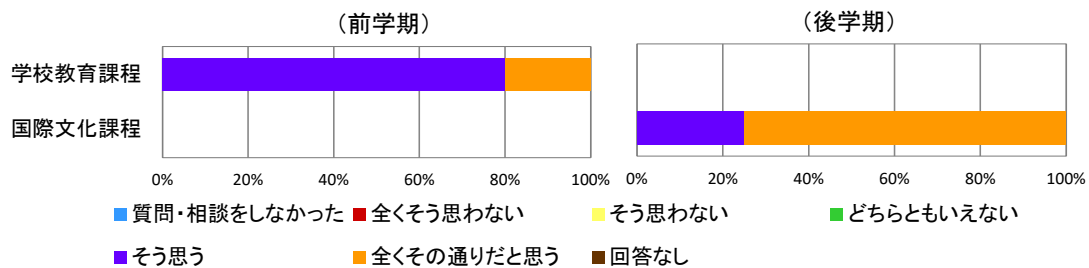
B. 教員の対応

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



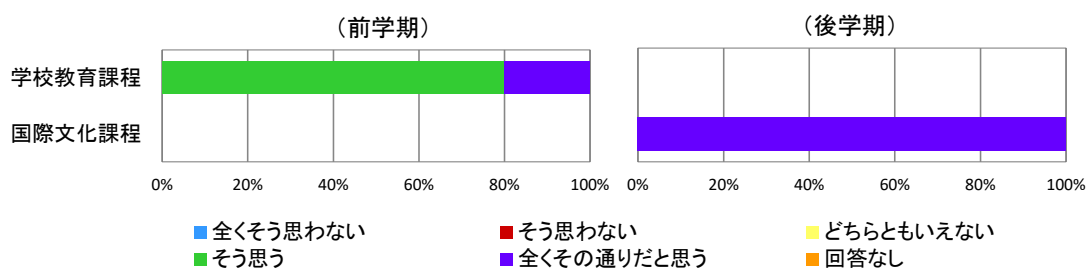
質問の教育方法と成績評価方法を並列でたずねているのでどちらに対応する回答かが不明であるが、説明はよくなされ、学生に有益だったことが推察される。

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



両課程とも受講者の人数が少ないため、教員が適切に対応していることが伺える。全体において肯定的回答のみになっている。

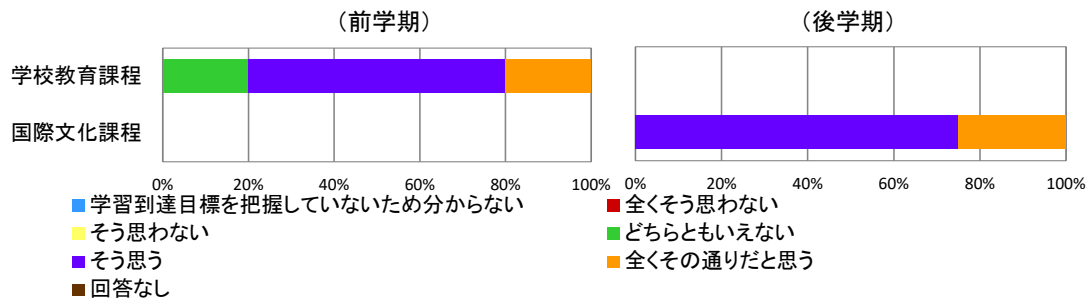
B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか



文教の学生について責任をもって卒業させるという教員の意識が高いため、授業に対する意欲や熱意が対応に表れており学生もそういうとらえ方になっていることがわかる。

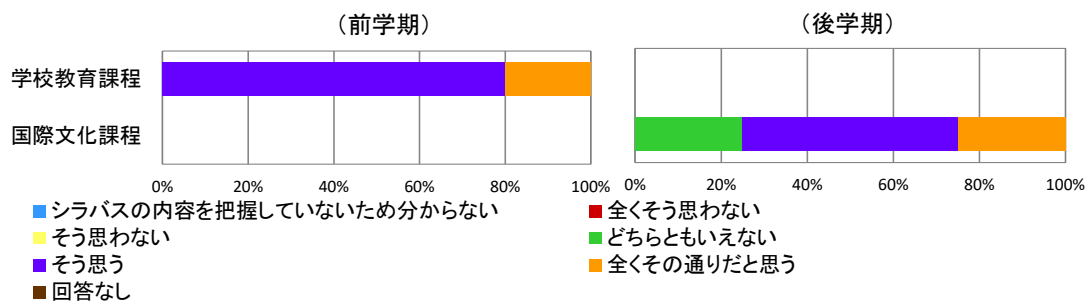
C. 授業内容および授業方法について

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか



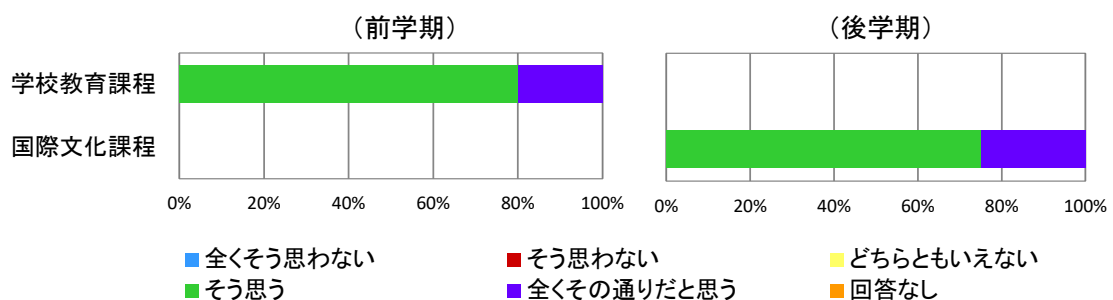
学校教育課程の 20% (2 名) が学習到達目標を到達したかしないかわからないとなっているが、国際文化課程の 4 名は到達できたことがよくわかる結果になっている。概して肯定的回答である。

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか



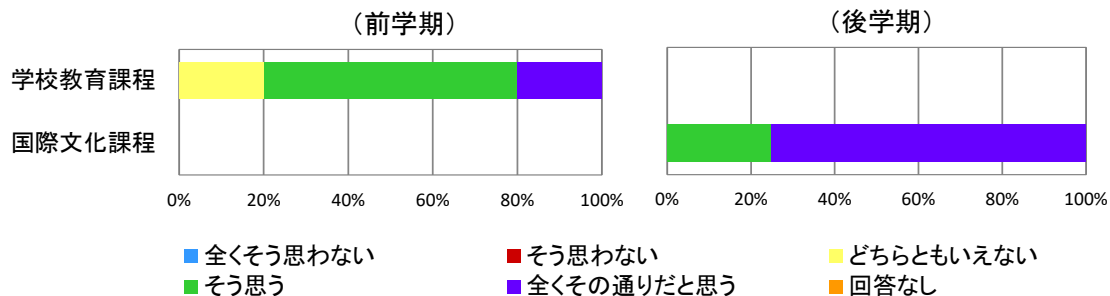
国際文化課程の 25% (1 名) がどちらともいえないという回答ではあるが、学校教育課程の 10 名と国際文化課程の 75% (3 名) はシラバスに基づいていると回答している。

C-3 教材 (教科書、配布資料) や ICT 環境 (LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用 Web ページ、ネット授業、e ラーニングなど) は授業の理解に役立ちましたか



どちらの課程の学生も教材や ICT 環境が授業の理解に役立っていたことがよくわかる。

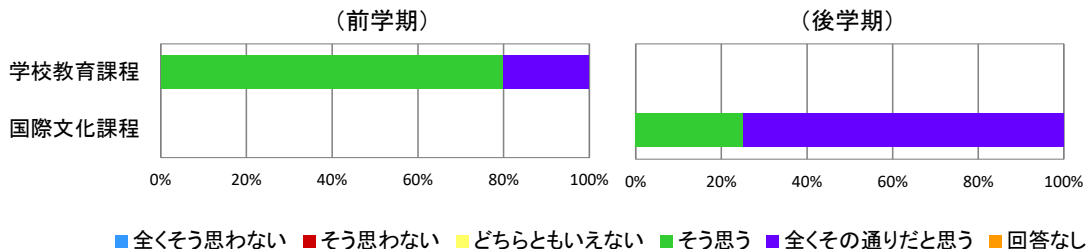
C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか



国際文化課程の 25%(1 名)がどちらともいえないという回答ではあるが、学校教育課程の 9 名と国際文化課程の 4 名は配慮があったと回答しており、シラバスに書いたことが実現されていると思われる。

D. 満足度

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか



国際文化課程の 100%(10 名)と国際文化課程の 4 名はともに満足していると回答しており、文化教育学部の学生にとっても十分な授業が実施されていたことが明らかになった。

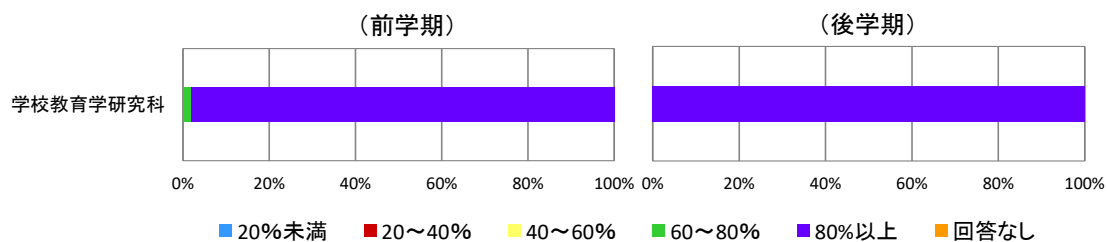
佐賀大学大学院学校教育学研究科(教職大学院)

令和元年度「学生による授業評価アンケート」

組織別分析結果報告

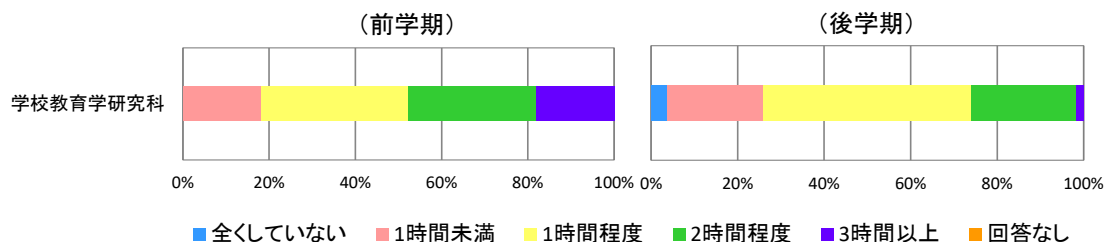
A. あなた自身について

A-1 出席率はどのくらいですか



前学期 80%以上出席が 98.1% (前年度 99.1%), 60~80%が 1.9% (同じく, 0.9%), 後学期は 100.0% (前年度: 97.8%) の出席率であり, 院生数が少ないということを除いても, 非常に良好な出席率となっている。

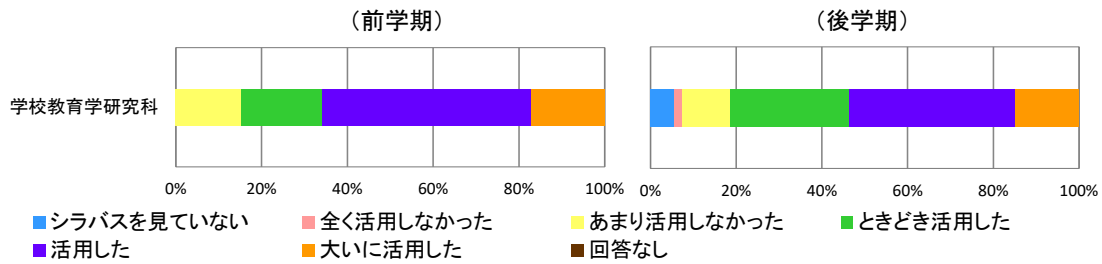
A-2 授業時間外学習 (予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など) は、1 回の授業ごとにどの程度しましたか



授業時間外学習時間としては前学期が 1 回の授業につき 1 時間未満が 18.1% (前年度 25.7%、以下同)、1 時間程度が 34.3% (38.9%)、2 時間程度が 29.5% (26.5%)、3 時間以上が 18.1% (8.8%) であった。後学期はそれぞれ、25.9% (37.8%)、48.1% (51.1%)、24.1% (4.4%)、1.9% (6.7%) であった。前年度と比べた場合の当該年度の特徴としては、①学習時間 1 時間以下の回答率が減少していること (前・後学期共通)、②前学期・後学期とも 3 時間以上の回答率が増加している点が挙げられる。このことから、本年度においては、授業外学習を促すような、必修科目やコース科目での課題設定が効果的になされたものと考えられる。また、増加が著しい後期は、より専門的な授業内容も含まれるため、授業内容の理解のために、授業外学習の時間が伸びたものとも考えられる。

なお、後期に関して、時間外学習を「全くしていない」とした回答が見られた。教職大学院の授業を受講するにあたり、授業外学習を全くしていない状況は想定しづらいが、改めて各授業での授業外学習の指示の方法について確認を行う必要がある。

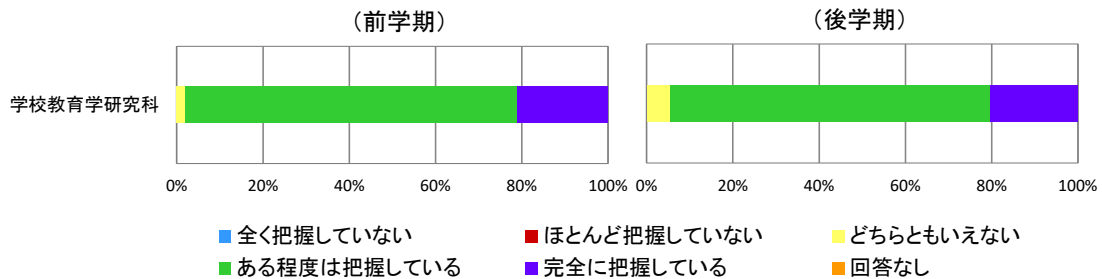
A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか



シラバスの活用率に関しては、前学期（84.8%）・後学期（82.4%）ともに80%以上が肯定的な回答をしている。教職大学院において全員習得が求められる共通必修の授業が3コースにまたがって開講され、教員も各院生の所属コースの教員ではない場合も多いことから、シラバスが積極的に参照されているものと考えられる。

ただし、少数ではあるが、前・後学期ともにシラバスを参照していない大学院生が存在する。授業が始まる前、あるいは初回のアナウンスで、シラバスを参照することを指示することで、受講者が授業の趣旨や、各回の構成を理解した上で、円滑に授業を受講することができるものと考えられる。

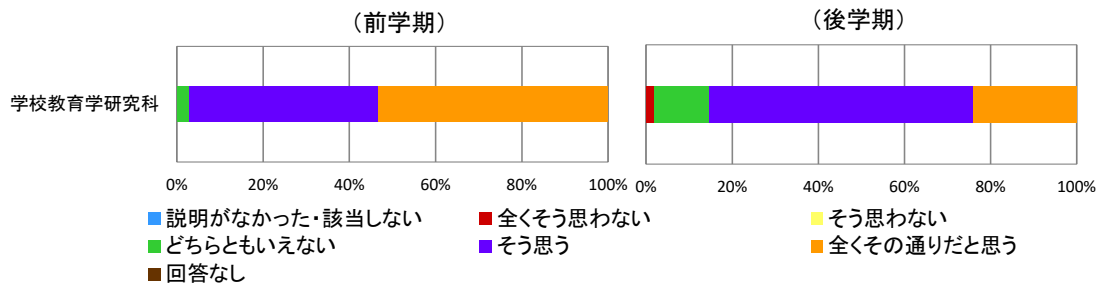
A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか



学習到達目標や成績評価基準の把握度としては、前学期は肯定的な回答をしている者が98.1%、後学期は若干94.5%となっており、十分に到達目標や成績評価基準の説明が行われ、受講側の理解が示されていることがわかる。強いて課題を挙げるとすれば、「完全に把握している」という回答が前・後学期とも2割程度であるため、この割合を上げていくことである。このためには、授業の初回だけでなく、授業内でトピックごとに到達目標を確認したりすることが考えられる。

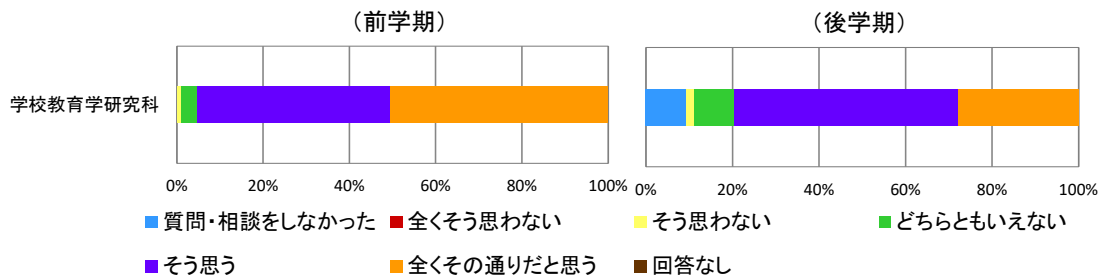
B. 教員の対応

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



この質問項目に対しては、前学期が97.1%（前年度：91.5%）、後学期が85.2%（同じく80.0%）が肯定的な回答をしている。前年度よりもそれぞれ割合が上昇しており、改善が見られる。ただし、後学期は、「全くそう思わない」「どちらとも言えない」という回答が15%程度見られ、後学期にも前学期と同じような丁寧な説明を実施することが望まれる。

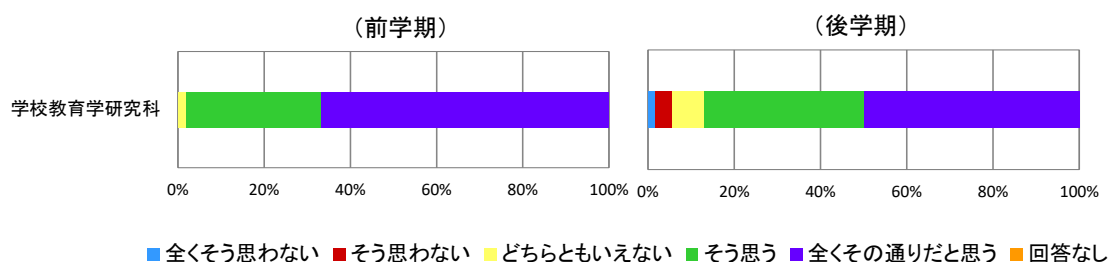
B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



この質問項目に対しては、前学期が97.1%（前年度：88.5%）、後学期も79.6%（同じく84.4%）が肯定的な回答をしており、特に前学期においては肯定的な回答が目立つ。教職大学院では、前学期、後学期それぞれで、授業や大学生活に関する大学院生の意見を聴取する機会を設けており、そのことも一因であると考えられる。

なお、後学期は肯定の割合が高いものの、前学期よりも割合が低くなっており、「質問・相談をしなかった」も少数であるが存在している。前学期は、新入生に対するオリエンテーションや、実習関連科目で各指導教員が丁寧に指導を行なっているが、後学期はそういった節目の機会が若干少ないためと考えられる。その意味で、後学期にも質問や相談を行う機会を積極的に設定していくことも重要である。

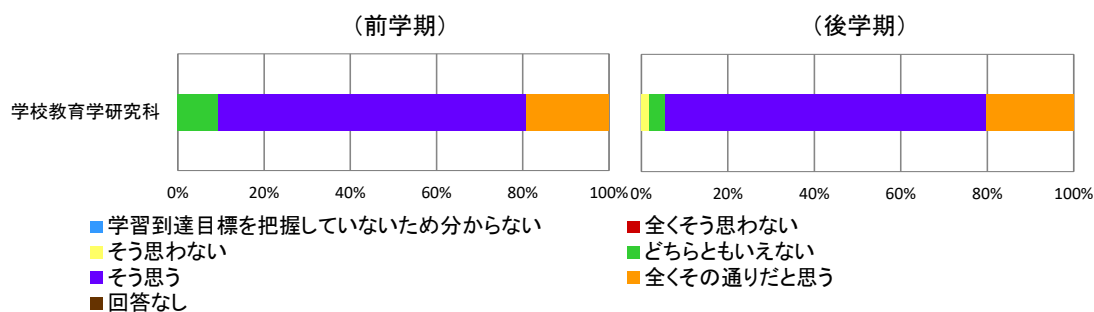
B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか



教員の意欲等についても、肯定的な回答が前学期で98.1%（前年度：96.5%）、後学期で87.0%（同じく91.1%）と、ともに高い割合を示している。前年度と同等の高い割合を示していることから、現在の水準を維持していくことが重要であると思われる。ただし、後学期には、否定の回答もわずかながら見られる。前学期からの「慣れ」が1つの要因かもしれないが、後学期においても、授業の資料準備や、丁寧な進め方を行うことにより、教員の意欲や熱意を明確に示すことが必要である。

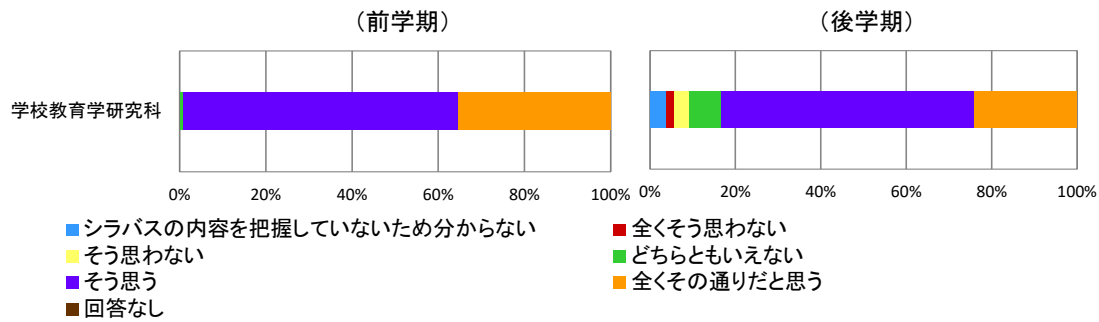
C. 授業内容および授業方法について

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか



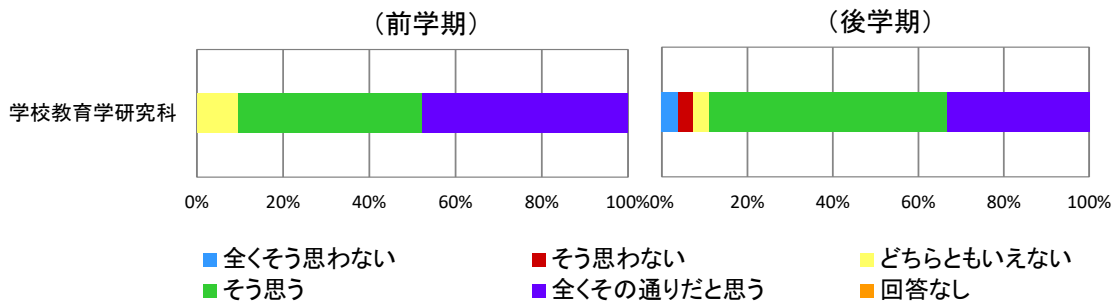
学習到達目標達成に関する自己認識に関して、肯定的な回答が前学期は90.4%（前年度：74.3%）、後学期は94.5%（同じく86.6%）と高い比率を示している。まず、前後期とも前年度の水準を大きく上回り、学習到達目標が十分に達成されていると見ることができる。また、前年度同様、前学期よりも後学期の方が、割合が高くなっている。この理由としては、前学期はコース共通の必修科目が多く、それゆえに自分の専門とは異なる領域の学修に多く従事することとなり、結果として到達目標達成度に関する自己認識が低かったが、後学期は自分の専門領域の授業が多いため、より達成度が高いと認識できたことが考えられる。

G-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか



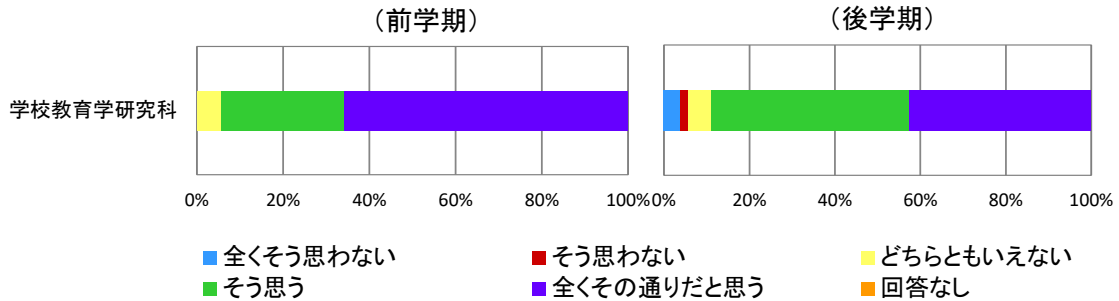
授業内容がシラバスに基づいているかに関しては、前学期は99.0%、後学期は83.4%となっており、肯定の割合が高い。前年度は、前・後学期ともに肯定的な回答が70%台後半であったことを比較すると、大きな改善が見られる。教職大学院も4年目に入り、各授業の内容が体系化され、シラバスに反映されており、概ねそのシラバスに沿った授業が行われていると見ることができる。ただし、後学期においては、把握していない、あるいは、否定の回答も若干見られる。後学期の方が前学期よりもコース別の専門的な内容が増えることとも関連すると思われるが、後学期にもシラバスに授業の内容を明示することが重要である。

G-3 教材（教科書、配布資料）やICT環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか



教材等の有効度についても、今年度は肯定的な回答の割合が前学期で90.5%（前年度：87.6%）、後学期で88.9%（同じく86.6%）と、前年度同様の高水準であった。教職大学院では、スマートボード（電子黒板）や、調べ学習のためのコンピュータやタブレット端末、スマートフォン等を活用した授業を多く行っている。受講者による発表でもICTの活用を積極的に推進しているため、高い割合で肯定的な回答を得ることができたものと思われる。

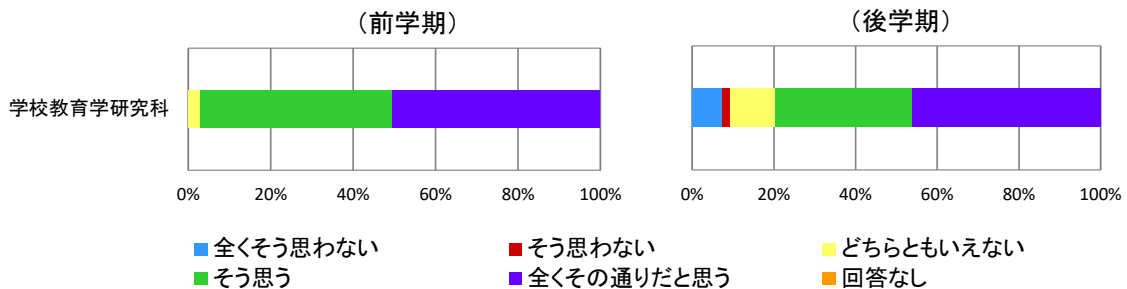
C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか



肯定的な回答は、前年度は前学期で 94.3%（前年度：91.2%）、後学期 88.9%（同じく 84.4%）と、前年度同様の高い水準を維持し、しかもさらに肯定の割合が高くなっている。教職大学院の授業では、現職教員とストレートマスターのペアでの発表やグループワークを実施し、現職教員は現任校の課題分析も行うなど、ほぼ全ての授業で、アクティブ・ラーニングの手法を導入している。この状況を反映して、このような回答になったものと思われる。

D. 満足度

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか



授業の全体の満足度に関しては、前学期が 97.2%（前学期：95.5%）、後学期が 79.6%（同じく 86.7%）と、前学期から後学期にかけて肯定的な割合の減少が見られる。後学期は、より専門性の高い内容も含まれるためなのか、満足度が下がっている点には注意が必要である。内容の深化に伴って、前学期以上に、理解を促すような働きかけ（適切な目標設定やアクティブ・ラーニングの導入、自身の経験との関連づけ）などを意識して行うことが必要である。

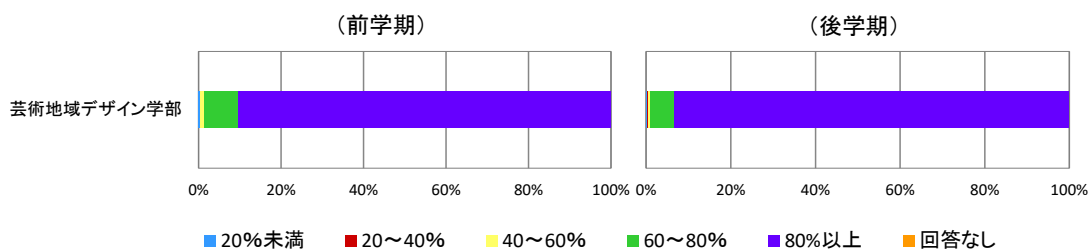
佐賀大学大学芸術地域デザイン学部
令和元年度「学生による授業評価アンケート」
組織別分析結果報告

令和 2 年

佐賀大学芸術地域デザイン学部 FD 委員会

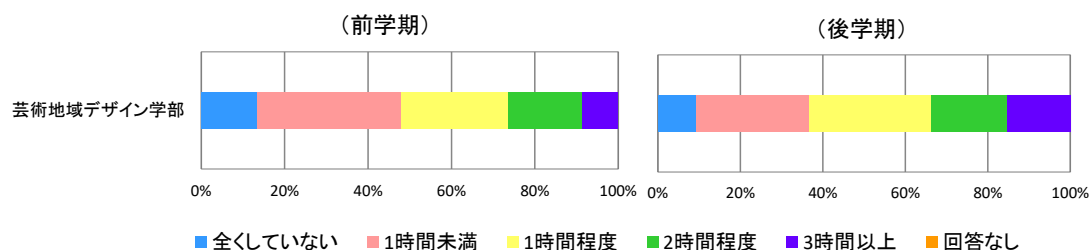
A. あなた自身について

A-1 出席率はどのくらいですか



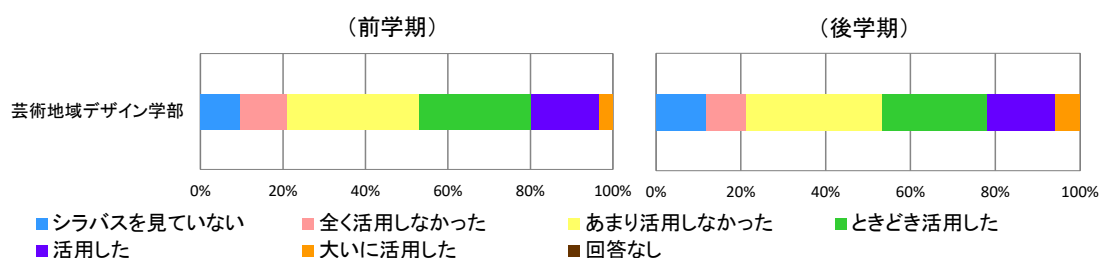
概ね出席しており、良好である。

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか



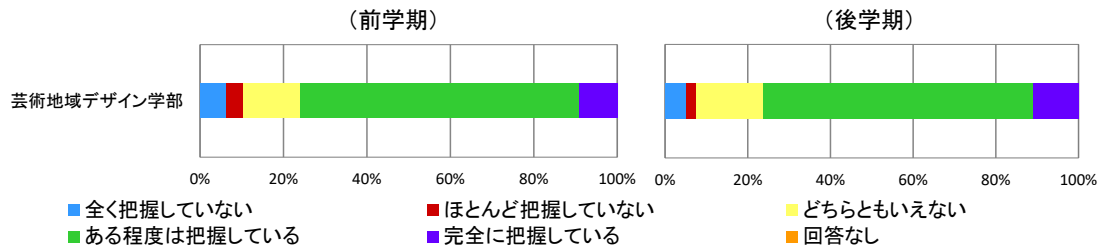
前期・後期ともに授業時間外学習については8割近くが実施しており、概ね良好である。昨年度に比べ、後期では「全くしていない」の回答割合が減少している。

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか



シラバスの活用に関してみると、後期における「シラバスをみていない」「全く活用しなかった」「あまり活用しなかった」の合計が昨年度の後期の割合よりも少なく、やや改善が見られた。しかし引き続きの改善が求められる。

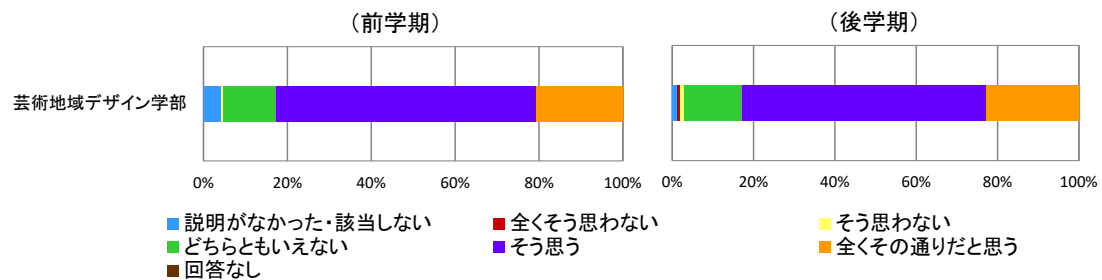
A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか



「完全に把握している」「ある程度は把握している」の割合が8割近くを占めており、概ね良好と言えるが、その一方で「全く把握していない」という学生も僅かながら見られ、目標や評価基準の周知が必要である。

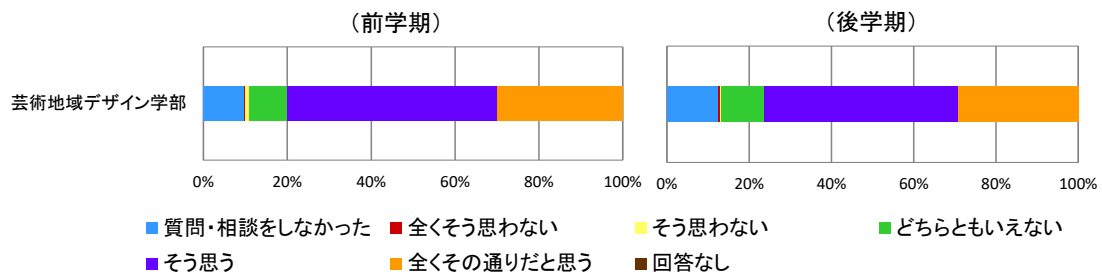
B. 教員の対応

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



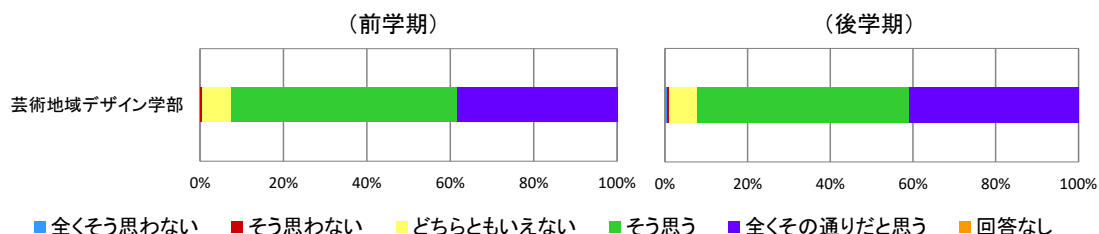
「全くその通りだと思う」「そう思う」の計が概ね8割近くあり、教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は学生に評価されていると言える。評価は良好である。

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



「全くその通りだと思う」「そう思う」の計が概ね8割近くあり、担当教員は学生に対して適切に相談に応じていた実態が明らかになっている。評価は良好である。

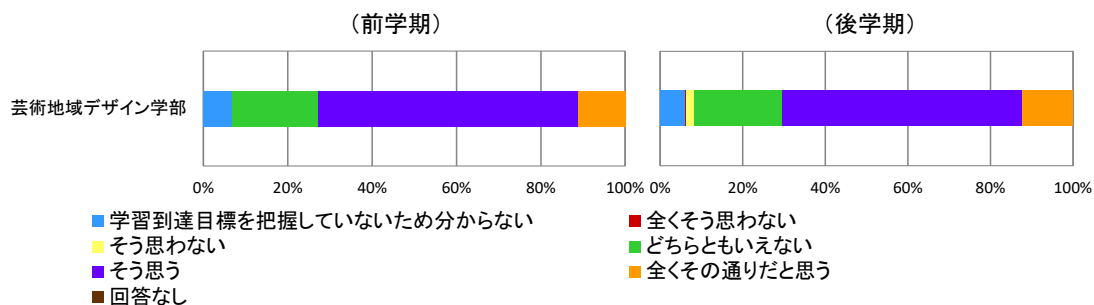
B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか



「全くその通りだと思う」「そう思う」の計が概ね9割近くあり、他の質問項目と比較しても教員の授業に対する意欲や熱意は学生に高い評価を得ていると言える。

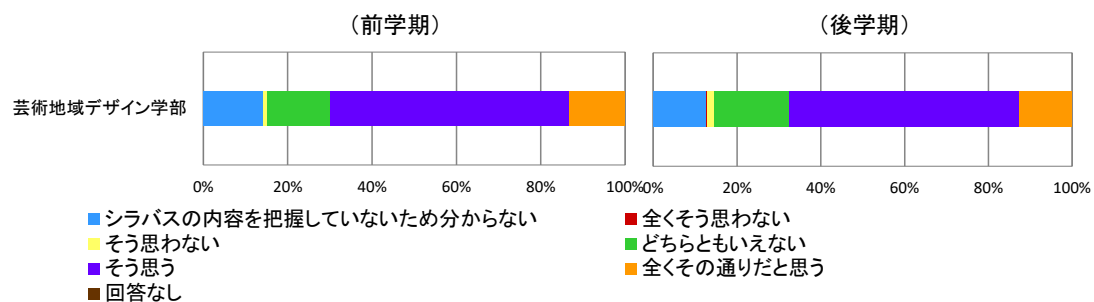
G. 授業内容および授業方法について

G-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか



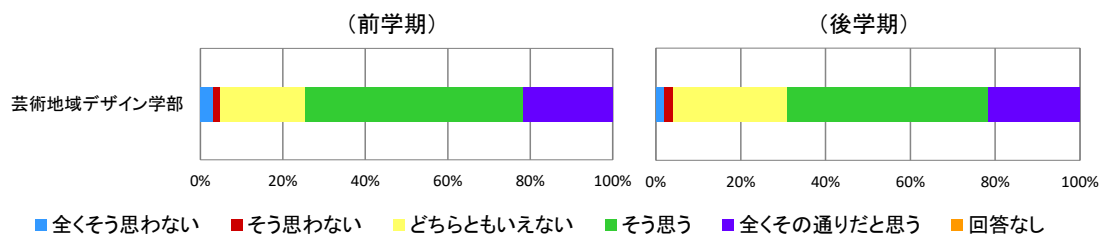
「全くその通りだと思う」「そう思う」の計が概ね7割近くあり、7割近くは授業の目標を達成できていると言えるが、残りの3割近くは、学習達成目標に対して否定的な回答をしており、改善が求められる。

G-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか



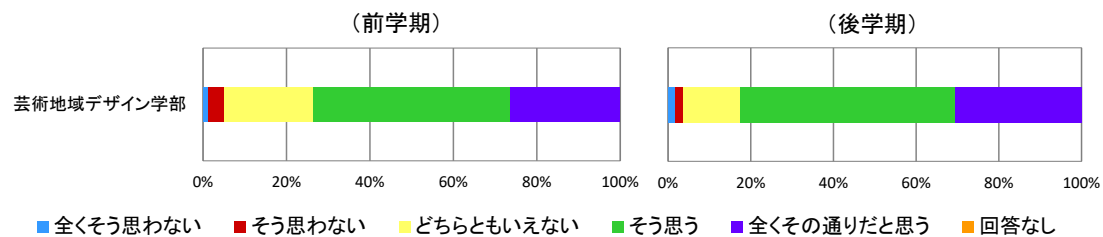
「全くその通りだと思う」「そう思う」の計が概ね7割近くあり、授業内容については多くの科目についてシラバスに基づいた授業が行われていたと言えるであろう。その一方で、「シラバス内容を把握していないため分からない」の回答が前期・後期ともは1割程度存在し、改善が求められる。

G-3 教材（教科書、配布資料）やICT環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか



「全くその通りだと思う」「そう思う」の計が前期・後期とも概ね7割近くあり、教材（教科書、配布資料）やICT環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど）の活用が学生に評価されている。しかしこのような傾向は昨年度とほぼ変わらない。

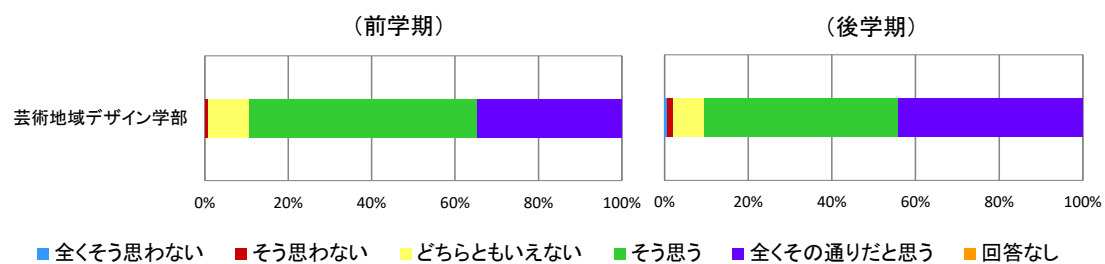
G-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか



「全くその通りだと思う」「そう思う」の計が前期は概ね8割近くあり、アクティブラーニングを多くの科目で実施している実態を反映している結果であると言える。

D. 満足度

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか



「全くその通りだと思う」「そう思う」の計が概ね9割近くある。概ね良好であると言える。

佐賀大学大学院地域デザイン研究科
令和元年度「学生による授業評価アンケート」
組織別分析結果報告

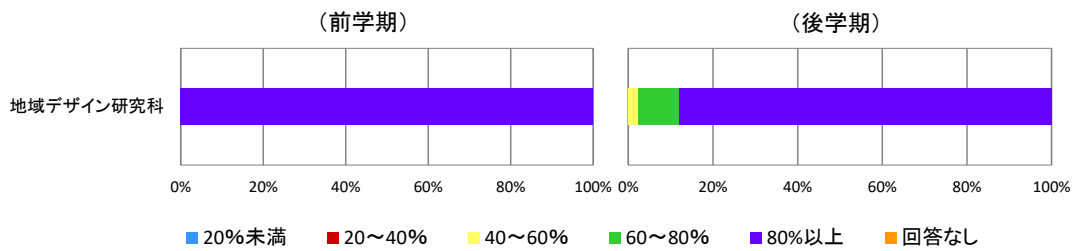
令和 2 年 12 月

佐賀大学大学院地域デザイン研究科 FD 委員会

規模の小さな研究科であるため、アンケート回答数が少なく統計的に表現することに不安な面もあるが、ある程度の傾向はつかめたと考えられる。

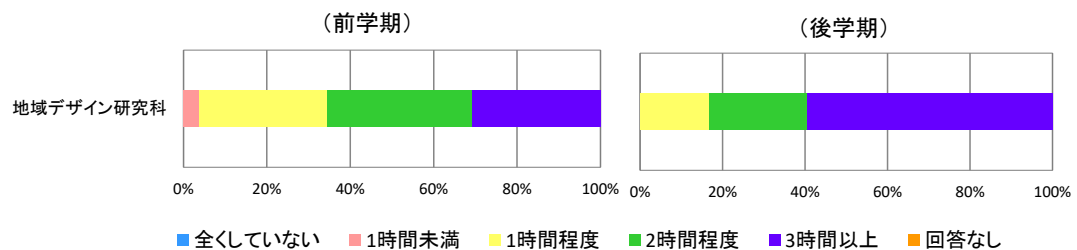
A. あなた自身について

A-1 出席率はどのくらいですか



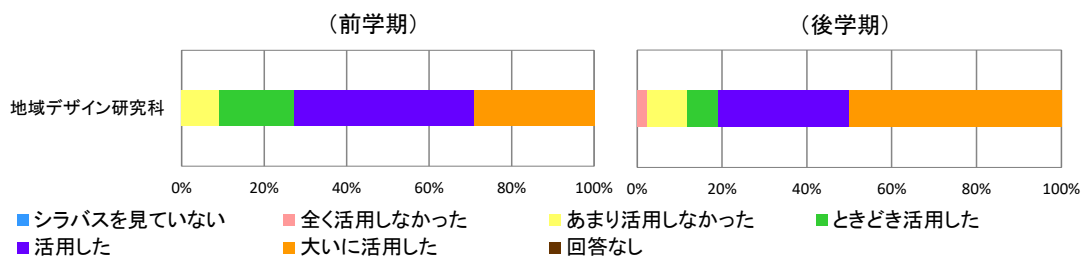
・概ね出席しており、良好である。後学期での出席率低下の向上が課題である。

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか



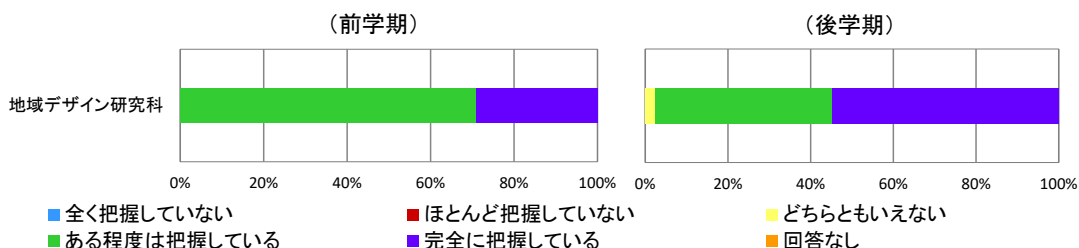
・前期・後期とも2時間以上と答えた割合が前期は約6割程度、後期は約8割と高く、前期の改善が必要である。

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか



・昨年度のデータに比べてみると、前期では、昨年度年よりも「大いに活用した」「活用した」の割合が減少しており課題である。

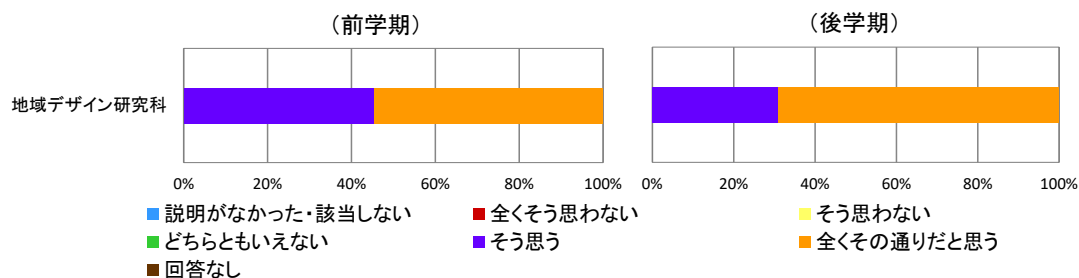
A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか



・「完全に把握している」「ある程度は把握している」の割合が高く、概ね良好と言える。

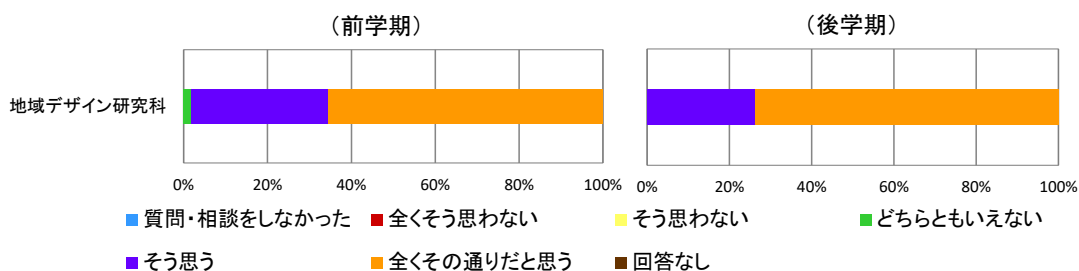
B. 教員の対応

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



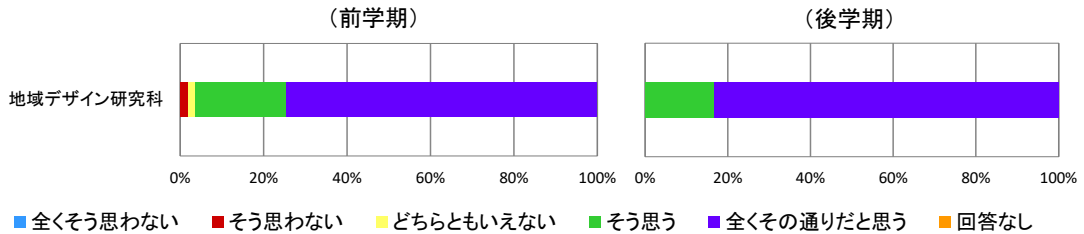
・「全くその通りだと思う」と「そう思う」の計が概ね10割であることから、評価は良好と言える。前年度と比較すると、前期・後期とも「全くその通りだと思う」が増加しており、さらなる改善がみられる。

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



・「全くその通りだと思う」と「そう思う」の計が概ね9割以上であることから、評価は良好と言える。

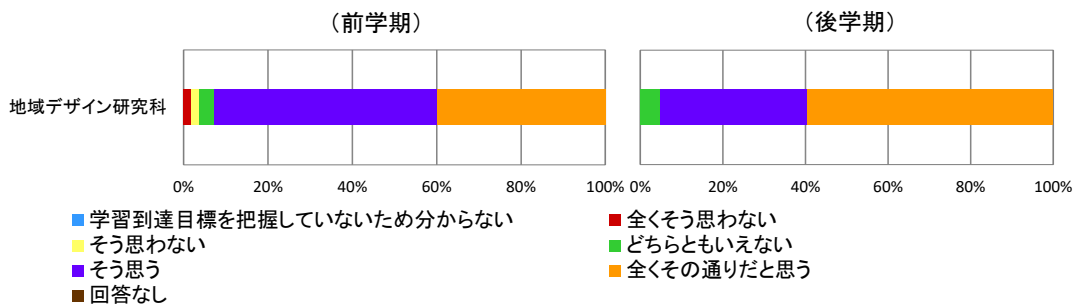
B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか



・「全くその通りだと思う」と「そう思う」の計が概ね9割以上であることから、評価は良好と言える。前年度と比較すると、前期・後期ともに「全くその通りだと思う」の割合が増加している。

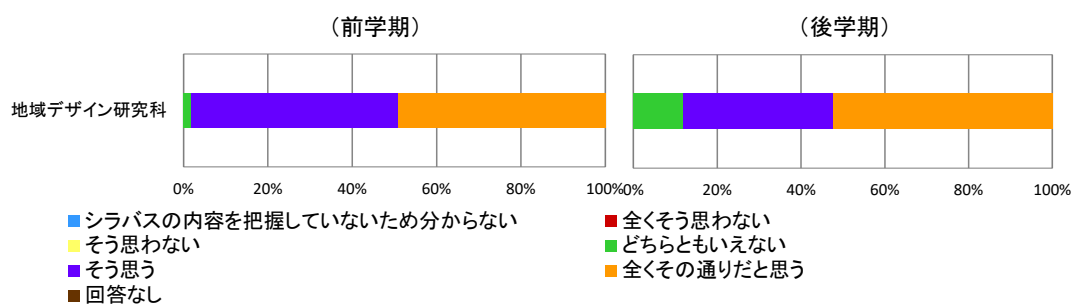
G. 授業内容および授業方法について

G-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか



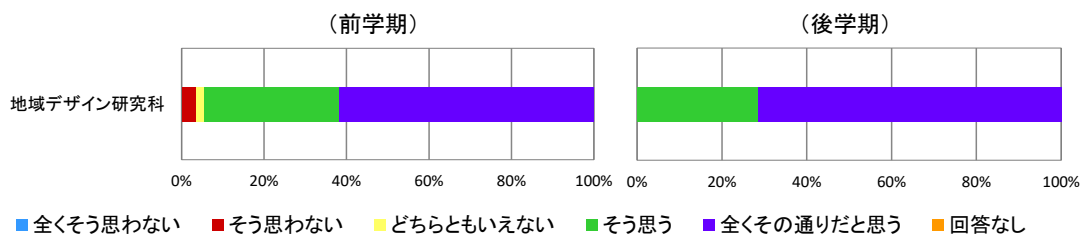
・「全くその通りだと思う」と「そう思う」の計が概ね9割以上であることから、評価は良好と言える。前年度と比較して、評価は改善されている。

G-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか



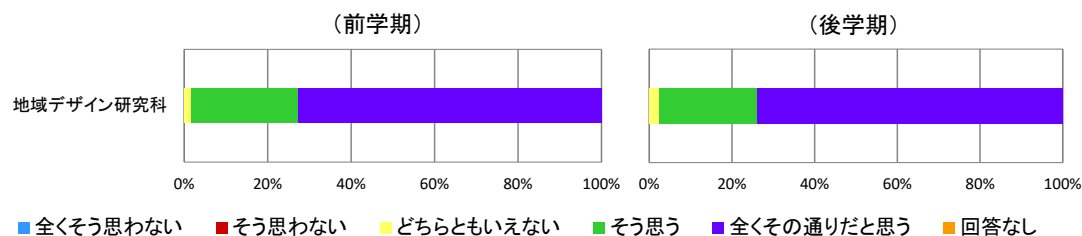
・「全くその通りだと思う」と「そう思う」の計が昨年度より下がっている。改善が必要である。

G-3 教材（教科書、配布資料）やICT環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか



・前年度と比較すると、前期の「全くその通りだと思う」の割合が減少しており、改善が必要である。

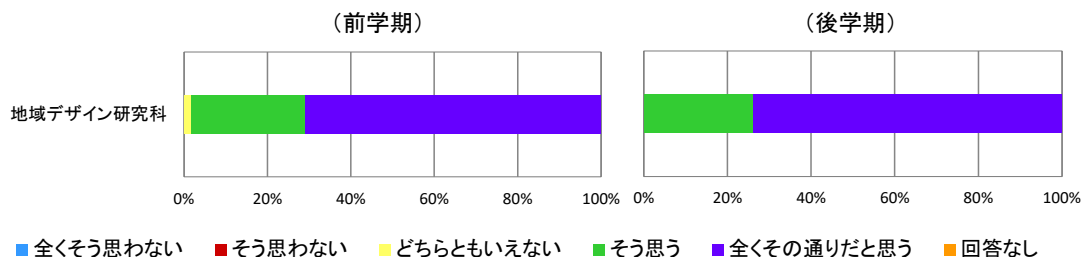
G-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか



・若干であるが、前年度と比較すると、前期・後期ともに「全くその通りだと思う」の割合が増加しており、改善がみられる。

D. 満足度

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか



- ・前年度と比較すると、前期・後期ともに「全くその通りだと思う」の割合に変化はなく、「そう思う」「全くその通りだと思う」を合わせると90%以上が満足している。

佐賀大学経済学部
令和元年度「学生による授業評価アンケート」
組織別分析結果報告

令和2年7月

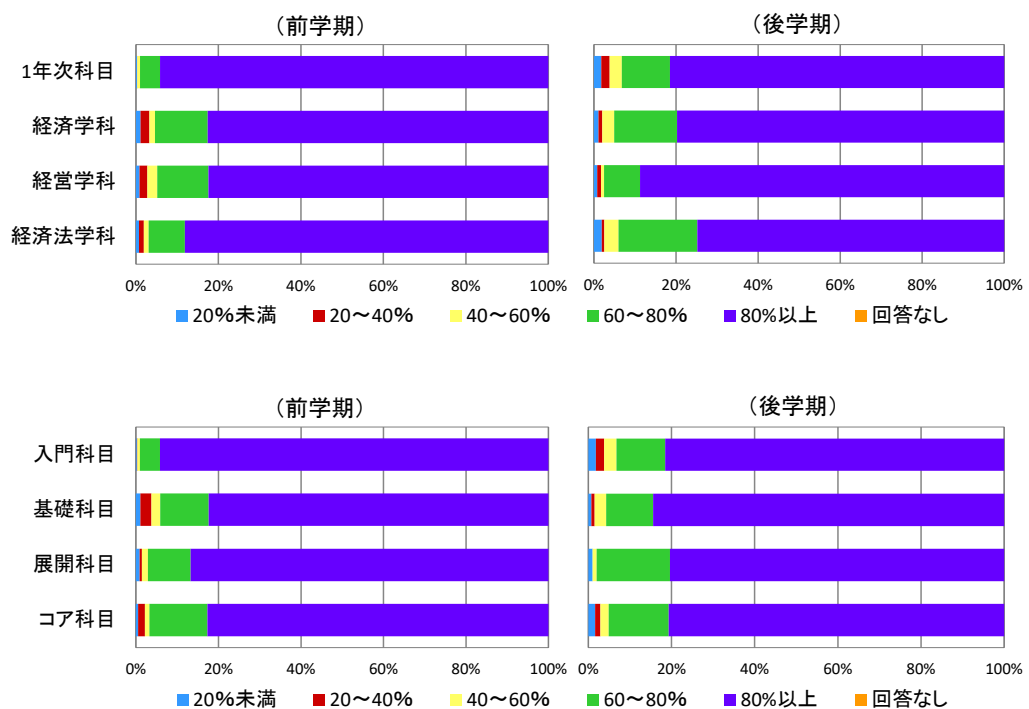
佐賀大学経済学部

経済学部組織別授業評価分析結果

経済学部では、授業を学年および学科別に1年次科目（全学科）、2年次以上の科目（経済学科科目、経営学科科目、経済法学科科目）に大別するとともに、科目分類別に入門科目（1年次科目）、基礎科目（2年次科目）、展開科目（3・4年次科目）、コア科目（2年次後学期以上の科目）に細かく分けて、アンケートを集計している。以下では令和元年度（以下、今年度）において、各アンケート項目の結果について平成30年度（以下、前年度）と比較分析を行い、評価すべき点と改善すべき点を明らかにしていく。

A. あなた自身について

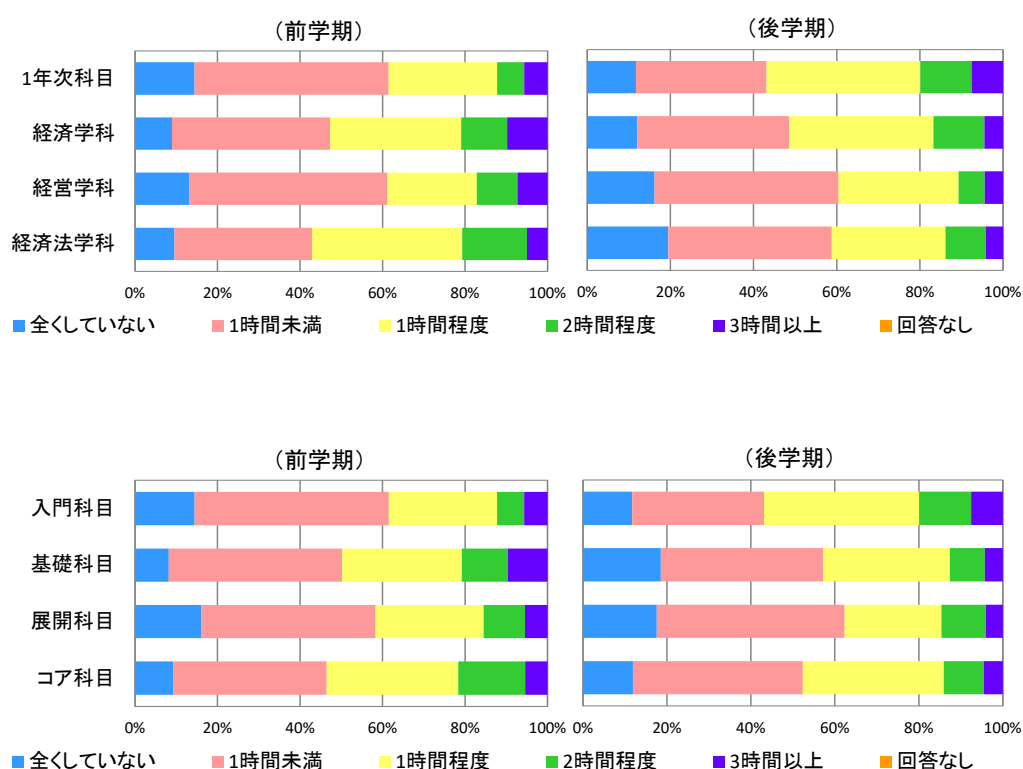
A-1 出席率はどのくらいですか



上記の上半分のグラフは、1年次科目から経済法学科の前・後学期を通した出席率を示している。このグラフをみるかぎり、80%以上出席している学生の割合は多く、前年度（平成30年度）と比較しても大きな違いは観察されていない。下半分のグラフは科目別にみた出席率である。入門科目については出席率が80%以上の学生が8割以上を占め、前年度とほぼ同じ傾向がみられている。しかし後学期において入門科目に80%以上出席した学生の割合は前学期のそれよりも減少しており、学部1年生が中だるみしている可能性が示唆されている。基礎科目の出席率の分布は前・後学期を通して前年度と大差がなかった一方で、展開科目とコア科目の出席率の割合に差異がみられた。つまり前年度は前・後学期を通してこ

の2科目の出席率が80%を下回る学生が約30%いたものの、今年度は20%程度まで下がっていた。この結果より、前年度より行ってきた出席を促す取り組み（時事問題のピックアップなど）が徐々に効果を上げてきていると解釈できる。

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか



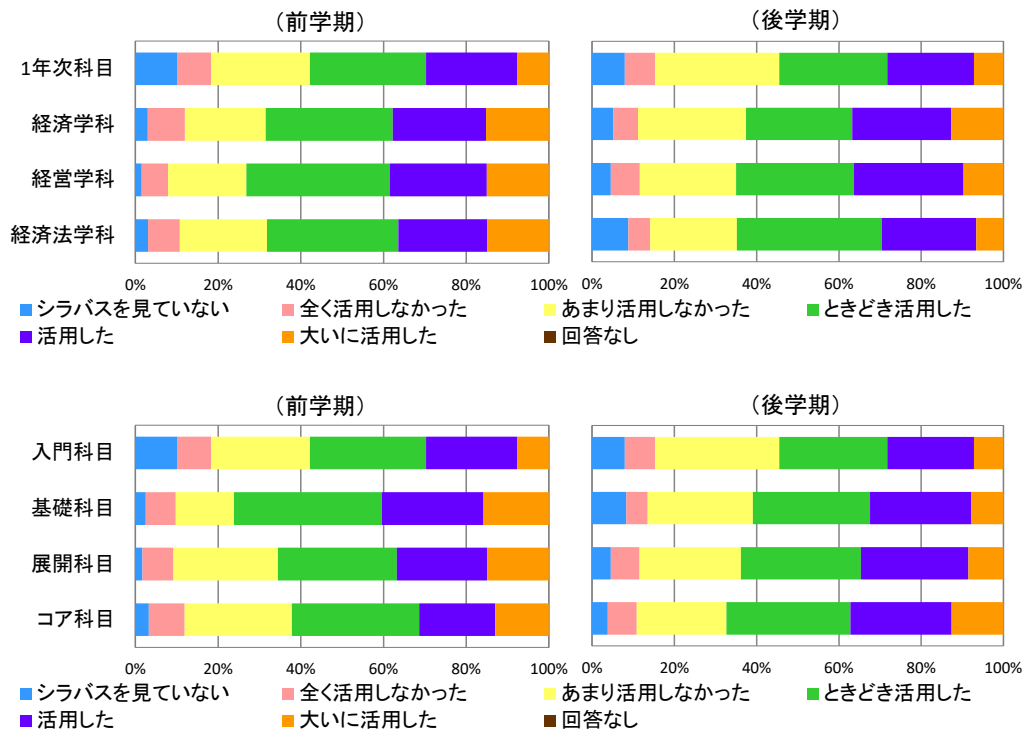
前年度と今年度の前期に関しては、1年次科目の授業時間外学習の内訳に大きな差は表れていなかった。しかし後学期に関しては、「1時間未満」と回答した学生の割合が前年度よりもおよそ20%減少する代わりに、「1時間程度」または「2時間程度」と回答した学生がそれぞれ10%程度増加している。この結果は、1年次科目の講義で課題が提出され、学生がそれに取り組んだことを反映している。しかし授業外学習時間が1時間を下回る学生の割合は今年度も一定数存在しており、決して少ないとは言えない状況にある。

下段は、授業時間外学習の内訳を科目別に集計したグラフである。前学期のコア科目、後学期の入門科目と展開科目を除くと、授業時間外学習の内訳は前年度と同じような傾向がみられた。前学期のコア科目と後学期の入門科目において、授業時間外学習が「1時間未満」と回答する学生が前年度よりも大幅に増加している。後学期の展開科目に関しては、授業時間外学習が「1時間未満」とした学生は前年度よりもやや増加傾向にある。しかし1時間以上の学習を行っている学生の割合は低いことを示唆し、授業時間外学習時間の少なさは、科

目別でみたほうが顕著に表れている。

以上をまとめると、授業外学習を総じて増やす工夫について継続して検討する余地があると言える。特に1年生の頃から学習習慣を身につけさせることが肝要であり、各科目でレポートや復習問題を課すなどの取り組みを続ける必要がある。

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

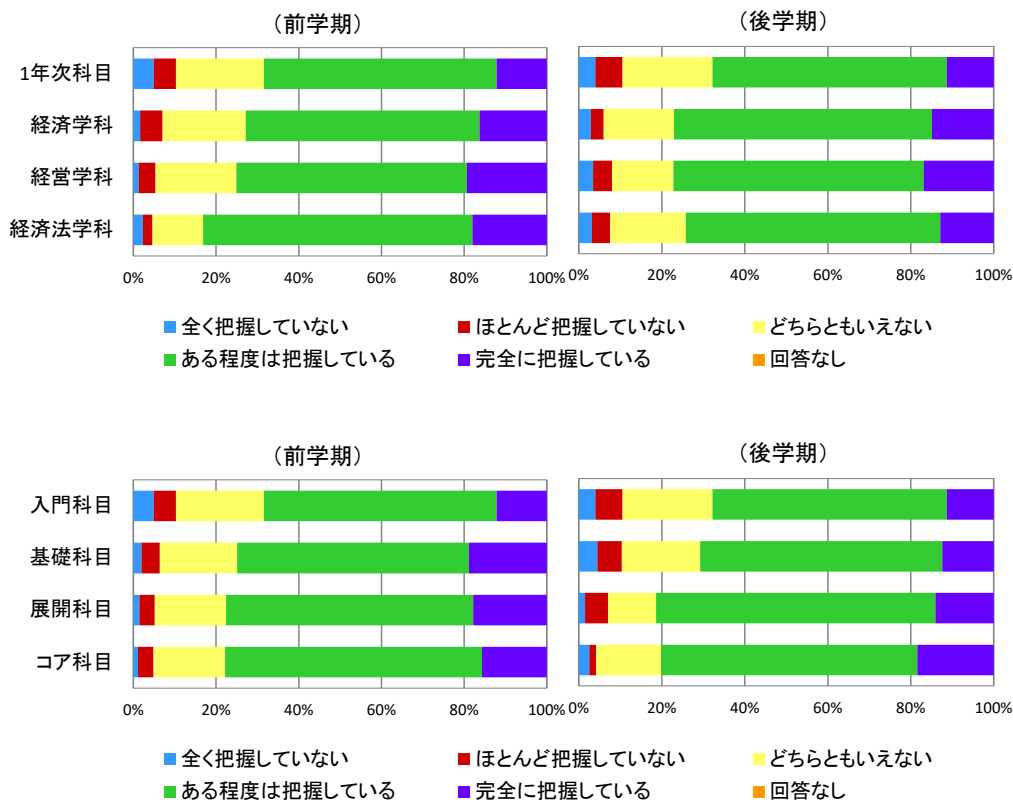


最初に1年次科目に注目すると、授業の選択や予習・復習に「シラバスをときどき活用した」と答える学生の割合は前・後学期で減少していた。しかし学科別(経済・経営・経済法学科)に検討すると、「活用した」または「大いに活用した」と回答する学生の割合が前年度よりも総じて増加していることが確認できた。

しかし科目別にみると、今年度の前・後学期のコア科目と展開科目において、「シラバスを見ていない」、「全く活用しなかった」、「あまり活用しなかった」とした学生の割合は合計でおよそ4割に上っており、「ときどき活用した」とした学生まで含めると6割近くを占めている。この背景には、科目の位置づけや時間割の影響があると予想される。まずコア科目は必修科目であり、展開科目についても卒業までに必要な単位数が決められている。さらに時間割の関係で、学生は自分の選好と関係なく特定のコア・展開科目しか選択できなかった可能性もある。この結果、学生は科目の履修自体を重視する必要に迫られ、授業の選択や予習・復習においてシラバスを有効かつ積極的に活用できなかったと予想される。この反省として、今後も学生が履修しやすい時間割の作成に最新の注意を払う必要がある。またシラバ

スの活用頻度を高める取り組みやシラバス点検によるシラバス内容の充実といった活動も継続していくべきである。

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

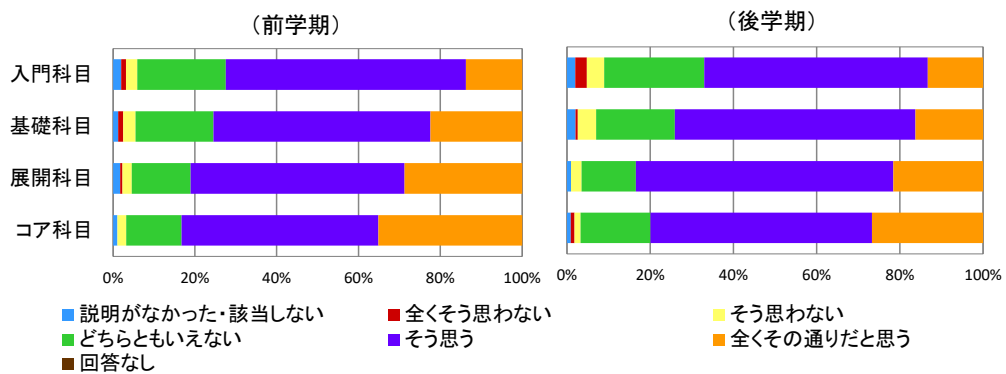
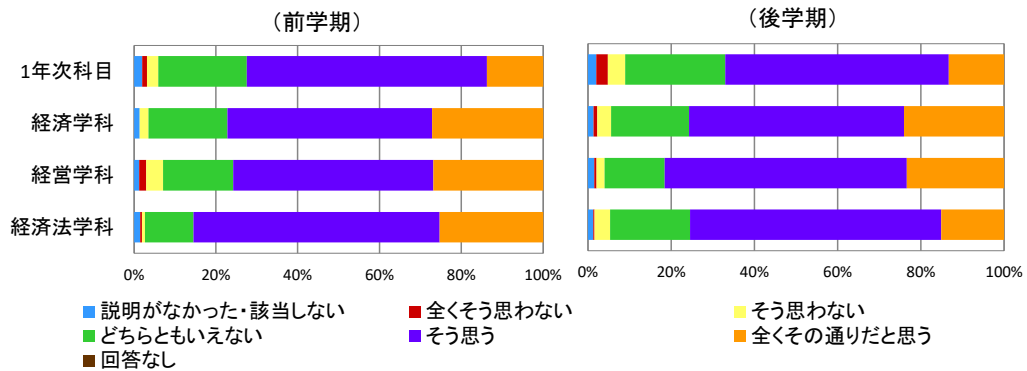


前年度と同様に令和元年度においても、学習到達目標や成績評価基準を「完全に把握している」、あるいは「ある程度は把握している」学生は1年次科目、学科全体を通して4分の3を超えていることが確認できる。特に展開科目、コア科目で「全く把握していない」、または「ほとんど把握していない」と回答した学生は前年度よりも減少し、今年度ではほとんど見受けられなかった。この傾向は前年度からも続いており、シラバス点検によるシラバス内容の改善や授業点検が奏功していると考えられる。今後もシラバス点検や授業点検を継続し、学生にとってイメージしやすい授業を提供していきたい。

ただし入門科目と基礎科目では「全く把握していない」、「ほとんど把握していない」とする学生の割合は前年度と大きく変わっていなかった。これらの科目は1、2年生の受講者が多い点を踏まえると、1、2年生の段階で学習到達目標や成績評価基準をあまり理解していない可能性がある。この可能性が正しいとすれば、今後の履修や就職活動に悪影響が出ると予想される。よって入門科目と基礎科目では、特に1年生に向けてこれらの点を繰り返し強調するなどの措置を講じる必要があると考えられる。

B. 教員の対応

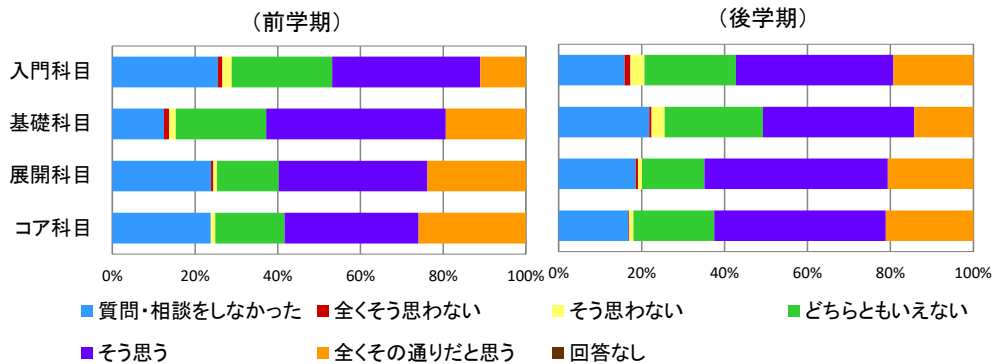
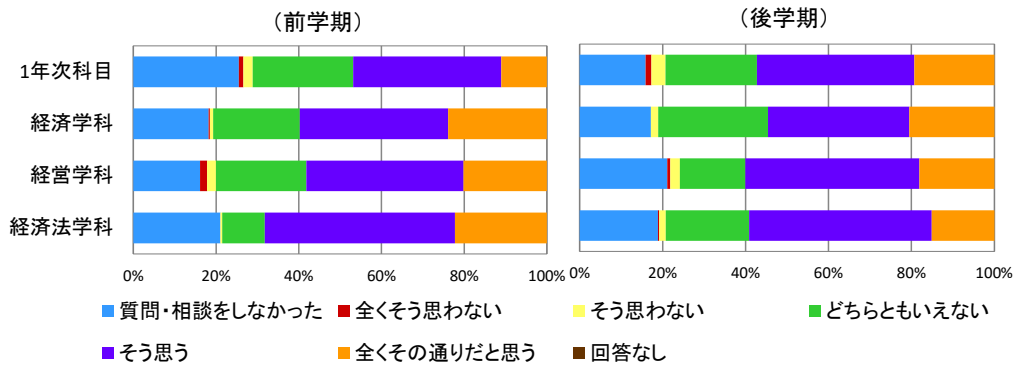
B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



令和元年度において、教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法などの説明が有益だったかという質問に対し、学科別に見て「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生は前・後学期を通して平均的に7割を超えていた。科目別においてもほぼ同様の傾向がみられ、シラバスや授業時間内での説明が多く、多くの学生にとって概ね好意的に受け取られているように見受けられる。今後もこれらの割合を維持できるように、学生に教育方法や成績評価方法をわかりやすく伝えていくべきである。

ただし「どちらともいえない」、「そう思わない」、「全くそう思わない」、「説明がなかった・該当しない」と回答する学生も一定数存在している。とりわけ「どちらともいえない」と回答する学生の割合は前年度と大差がなかった。これらの学生に教育方法や成績評価方法などを理解してもらえるように、教員がシラバスや授業時間内に説明を徹底していくことが重要となる。

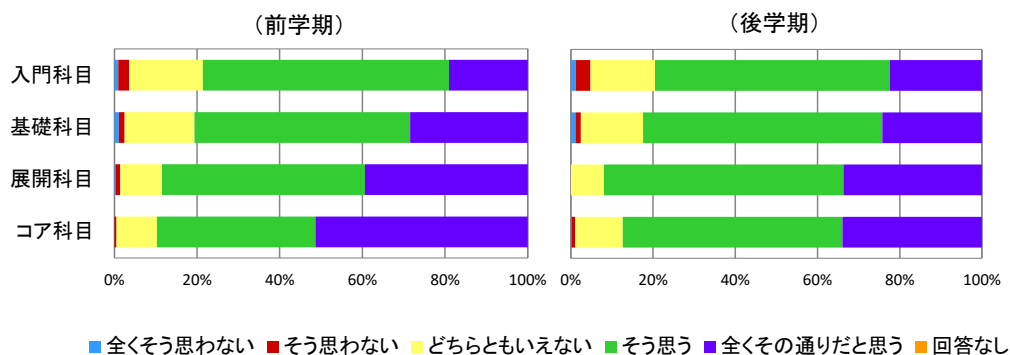
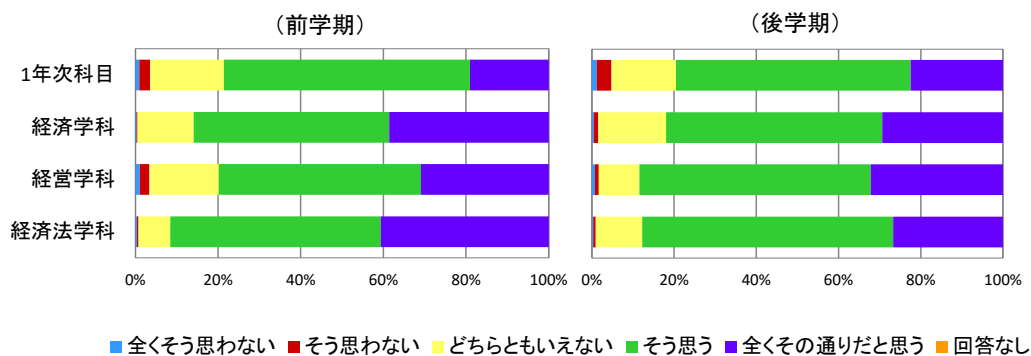
B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



今年度、担当教員が学生の質問や相談に適切に対応したかという質問に対し、「全くその通り」、「そう思う」と回答した学生は6割超を記録しており、前年度と同じような傾向が表れていた。この点は、授業点検の効果が出ていることの証左であり、授業改善の効果が継続しているものとして評価してもよいと考える。

しかし学科別、科目別にみても、前・後学期を通じて「質問・相談をしなかった」と回答する学生は2割程度存在しており、「どちらともいえない」と回答した学生を含めると40%近くを占めている。この結果は前年度と大して変化がなく、検討の余地があると言える。特に「質問・相談をしなかった」と学生のうち、質問・相談をしたくてもできなかったケースもあり得るとすれば、学生が授業中・授業前後に質問・相談をしやすいような環境を作っていくことが重要となる。現在、経済学部では他学部と同様にオフィスアワーを設け、学生と対面で質問・相談に応じられるように配慮している。加えてシラバスにメールアドレスを掲載・公表し、対面を好まない学生に対してはメールでの質問・相談ができる手段を提供している。当該学生が質問・相談しやすくなるように、これらの手段を再度周知していくべきであると思われる。またこれらの手段以外の手段を講じる必要もあるであろう。例えば、ラーニングポートフォリオの指導の際に、質問・相談ができず困っている学生がいれば、ゼミ教員が科目担当の教員と学生の仲介役を担うなどの対策が挙げられる。いずれにせよ当該学生が質問・相談を通して悩みを解消できるように、取り組んでいきたい。

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

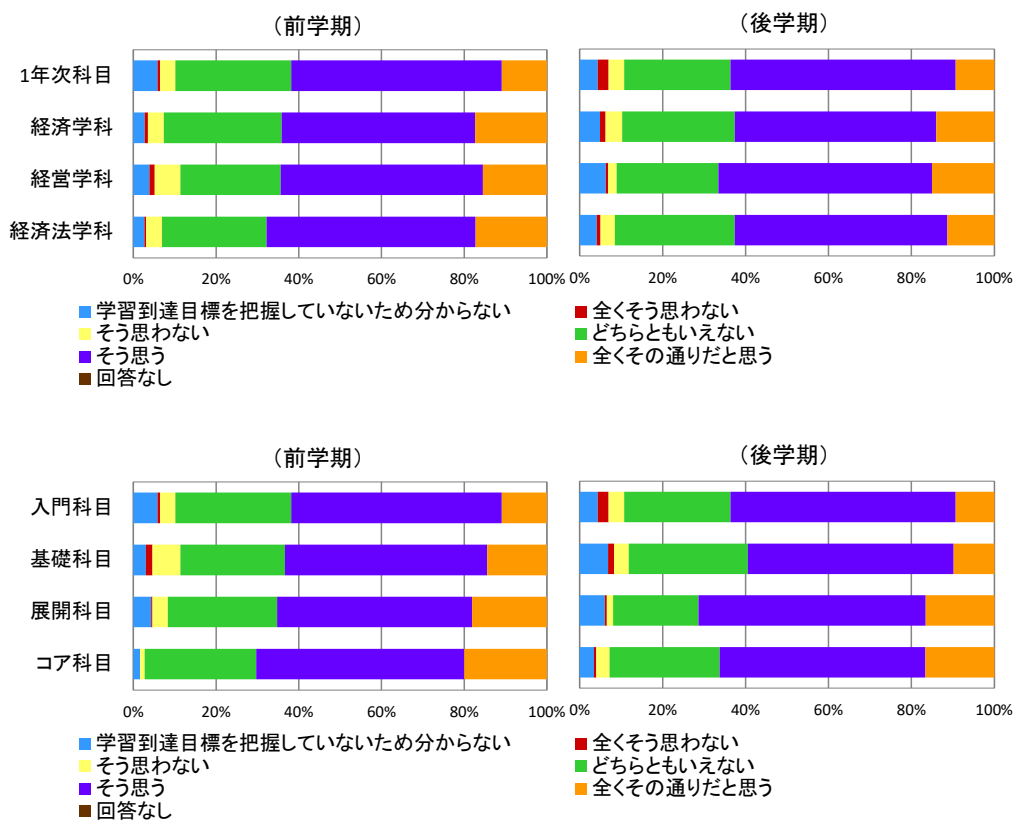


令和元年度において、教員の授業に対する意欲や熱意を感じたかという質問に対し、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と答えた学生は学科全体で8割に上っている。この傾向は前年度と変わっておらず、学生が前年度に引き続き肯定的な回答を寄せている。とりわけ展開科目、コア科目といった2年次・3年次を主な対象とした授業で、肯定的な回答が得られており、この点は授業点検の効果が好影響をもたらしていると予想される。

しかし前年度のように「そう思わない」または「どちらともいえない」と回答する学生は20%弱存在している。特に入門科目で「そう思わない」と述べた学生が数%存在している。この結果は、科目の履修者の大部分が1年生だとすると、1年生の段階で教員の熱意に疑問を持つ学生がいることを示唆している。1年生が残りの在学期間を有意義に過ごしてもらうためにも、教員の熱意や意欲が伝わるようにさらなる授業改善に努める必要がある。例えば授業改善に関するFDを適宜開催し、教員の熱意が伝わる工夫や方法について意見交換を重ねていきたい。

C. 授業内容および授業方法について

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

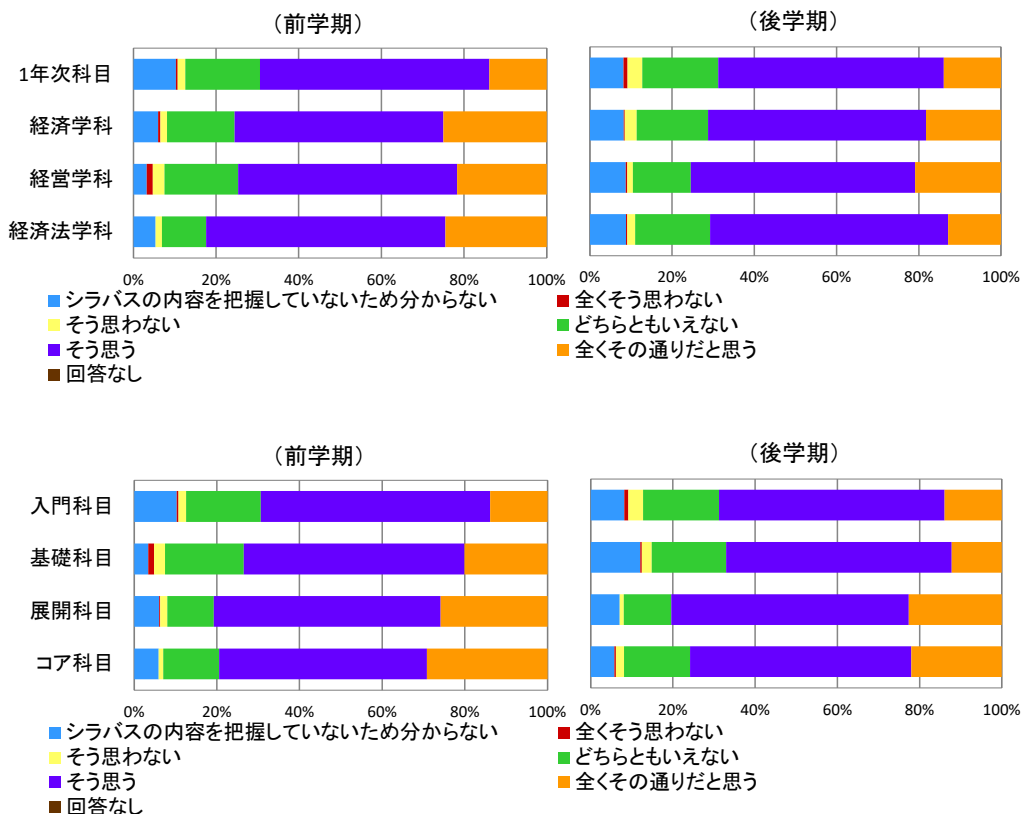


令和元年度の1年次科目については、学習目標を達成できたかという問いに対し、肯定的な回答（「全くその通りだと思う」、「そう思う」）をした学生は6割近くを占め、前年度と同様の結果が得られた。学科別にみても前年度と同様に、肯定的な回答が6割を超えていた。さらに下段のグラフより入門科目の受講者の約6割は、上記の問いに対し肯定的な回答を出している。

しかし上段・下段のグラフより、否定的な回答（「学習到達目標を把握していない」、「そう思わない」）や「どちらともいえない」という回答をした学生は30%強存在していることが明らかになっている。この傾向も前年度と大きく変わっておらず、一部の学生に対して学習到達目標を理解させる必要があることを意味している。

上記の結果を受けて、今後は学年に関係なく授業の学習到達目標を学生と共有していくべきであると考えます。具体的な方法として、授業中に達成目標を明確に、かつ繰り返し学生に伝えるだけでなく、課題（レポート、発表、中間テストなど）への取り組みを通して、この目標を意識させることが必要となる。そして授業点検の継続を怠らずに行い、学生に目標達成を意識させる方法を学部全体で追求していかなければならない。

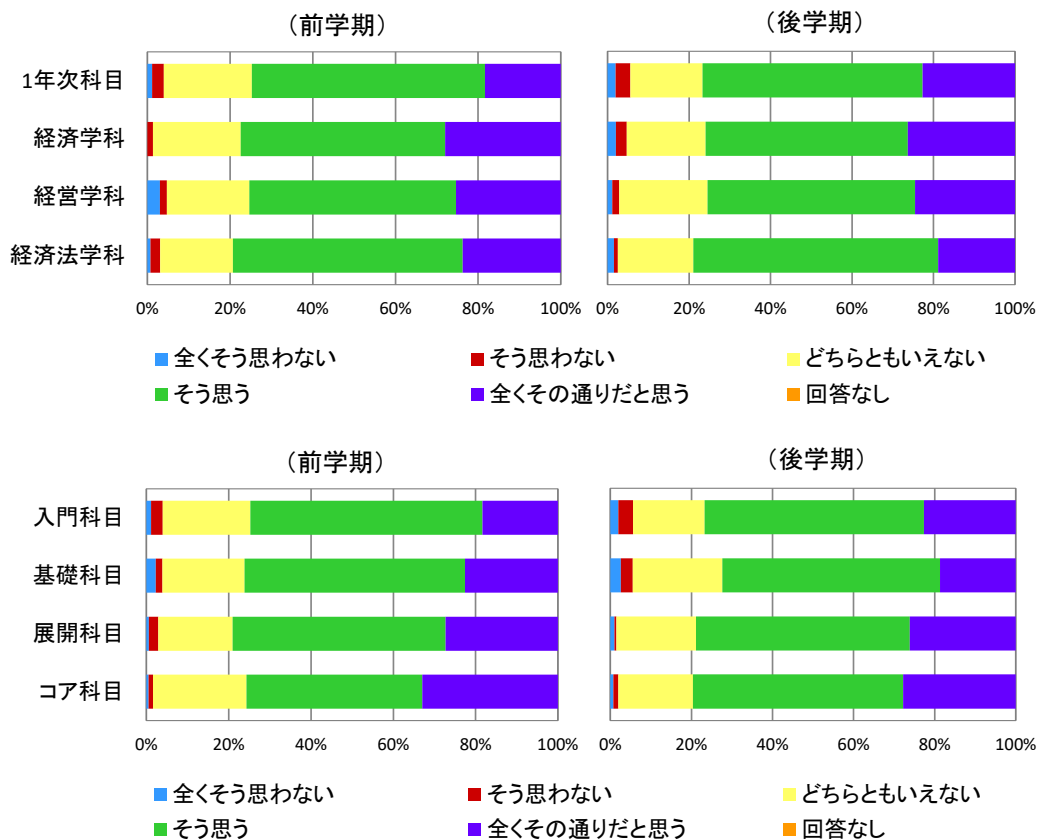
C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか



令和元年度において、シラバスに基づいて授業を行っているかという質問に対し肯定的に（「全くその通りだと思う」、「そう思う」）回答した学生は科目別・学科別にみても、7割を上回っており、前年度と変化はみられなかった。他方で「シラバスの内容を把握していたため分からない」、「そう思わない」という回答をした学生の割合は科目別・学科別にみても前年度よりも低下していた。これらの結果より、経済学部全体で実施している授業改善の効果が表れていると解釈できる。

しかし一部で否定的な回答（「シラバスの内容を把握していないため分からない」、「そう思わない」）も見受けられ、「どちらともいえない」という回答を含めるとおよそ2割の学生が否定的な評価を寄せている。とりわけ「シラバスの内容を把握していないため分からない」という結果は、アンケート項目 A-3（この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか）でシラバスを積極的に活用しない学生が4割に上っているという結果を反映していると解釈できる。このグループの割合を引き下げるには、①授業中に再度シラバスを提示する時間を設ける、②レポートや小テストを課す際に、その内容がシラバスのどの部分に該当するか説明するなどの工夫が求められる。

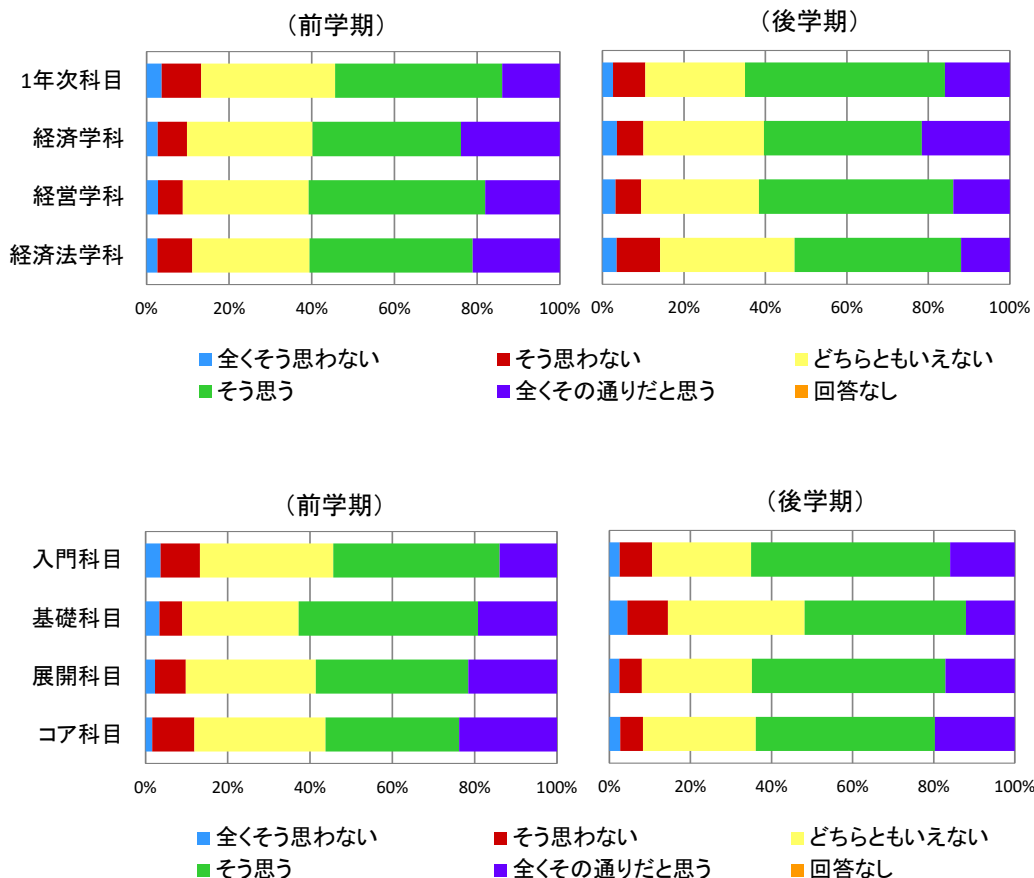
C-3 教材（教科書、配布資料）や ICT 環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用 Web ページ、ネット授業、e ラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか



上段・下段のグラフから明らかなように、令和元年度において教材や ICT 環境が授業の理解に役立ったかという設問に対し、約 80%の学生が「全くその通りだと思う」、「そう思う」という肯定的な回答を出している。この傾向は、平成 30 年度から引き続き観察されている。

しかし裏を返せば、2 割近くの学生が教材や ICT 環境は授業の理解に役立っていない、あるいは役立っているのかわからないと考えている。実際に先述の設問に対し、「全くそう思わない」、「そう思わない」、「どちらともいえない」とした回答者は学科全体および科目別に検討しても、5 分の 1 以上を占めている。今後は授業中に教材や ICT 環境の活用方法についても説明し、学生にその方法をしっかり理解させるべきであろう。特に 1 年生は大学に入学して日が浅いので、LiveCampus などの ICT の基本的な使い方を入門ゼミなどで取り上げ、マスターさせることが重要になると考える。

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか



令和元年度の1年次科目や入門科目については、C-4の問いに対し「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した受講者の割合は、総じて前年度と変わっていません。この背景には、この科目の一部がアクティブラーニング（授業中の質疑応答、グループワーク、ディスカッション）を中心とした内容で組み立てられていることがある。しかし「全くそう思わない」、「そう思わない」、「どちらともいえない」とする回答も依然として半数近く見受けられるので、アクティブラーニングの導入をいっそう進める必要がある。

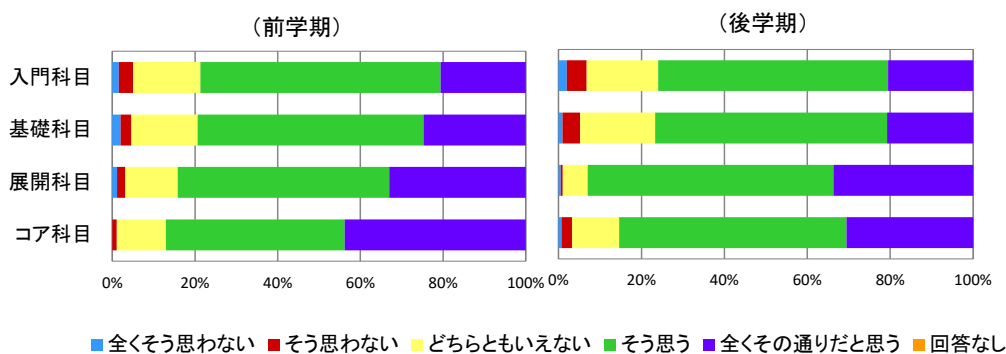
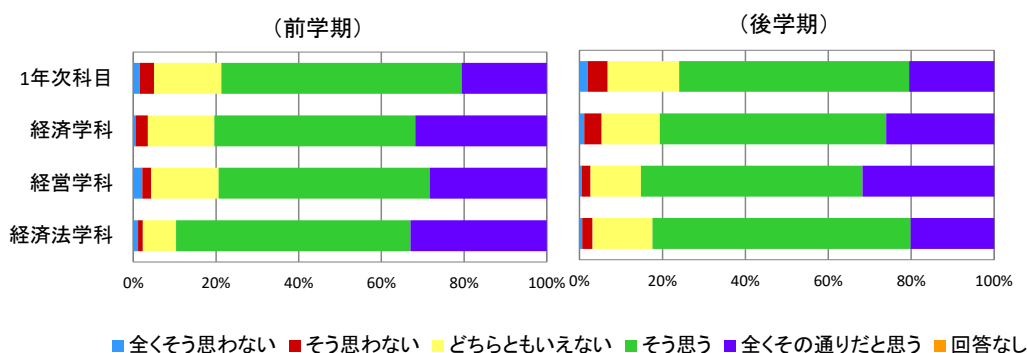
上段のグラフが示す通り、学部全体では、C-4の問いに対し「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した受講者の割合は6割程度であった。下段のグラフより、科目別に検討すると、各科目でアクティブラーニングの導入が進み、「全くそう思わない」、「そう思わない」と回答した学生の割合も平成30年度と同程度を占めていた。これらの結果より、アクティブラーニングに関する学部FDの効果が徐々に浸透していると判断できる。

しかし「どちらともいえない」とした回答者の割合を加算すると、「全くそう思わない」、「そう思わない」と回答した学生の割合は4割超に上り、アクティブラーニングをさらに進める対策を講じていかなければならない。例えば教員側は学部FDを開催し、教員間でア

クティブラーニングの具体的な実施方法について意見交換し、参考になるべき点を積極的に取り入れていく。他方で学生側には、アクティブラーニングを進める旨をシラバスや授業中に通知し、学生からの協力が得られるように努力する。

D. 満足度

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか



令和元年度において D-1 の設問に対し肯定的な回答（「全くその通りだと思う」、「そう思う」）が得られた受講者は学科全体で前・後学期を通じて 80%強であり、平均的にみると前年度と変わっていない。また「そう思わない」とした回答者の割合も前年度と同様であった。科目別にみても前年度と同じで、肯定的な回答が 8 割以上を占めていた。これらの結果は、学部 FD や授業点検が効果をもたらしていることを示唆している。

ただし否定的な回答（「全くそう思わない」、「そう思わない」）を寄せる学生もごく少数ではあるが存在し、「どちらともいえない」とした回答者と合わせると、約 20%が授業に対し強い満足度を得ていないと考えられる。今後の対策の 1 つとして学部 FD を開催し、学生に高い満足度が提供できる方法について意見交換していく。特に教員間で満足度の高かった授業を提供した教員から話を聞くなどして、各教員が参考にすべき方法を適宜取り入れていくなどの対応をとっていきたい。

佐賀大学理工学部

佐賀大学大学院理工学研究科・工学系研究科

令和元年度「学生による授業評価アンケート」

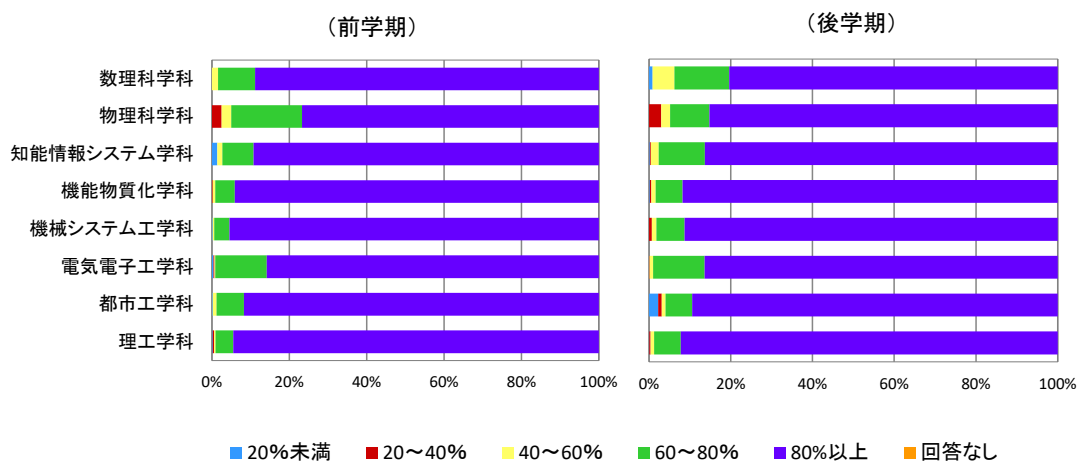
組織別分析結果報告

理工学部

理工学部の全科目数は 485 件であり、授業評価アンケートの回答数は 457 件であり、回答率は 94%であった。ほとんどの科目について学生による授業アンケートが実施されたものと考えられる。以下に各項目における分析を行う。

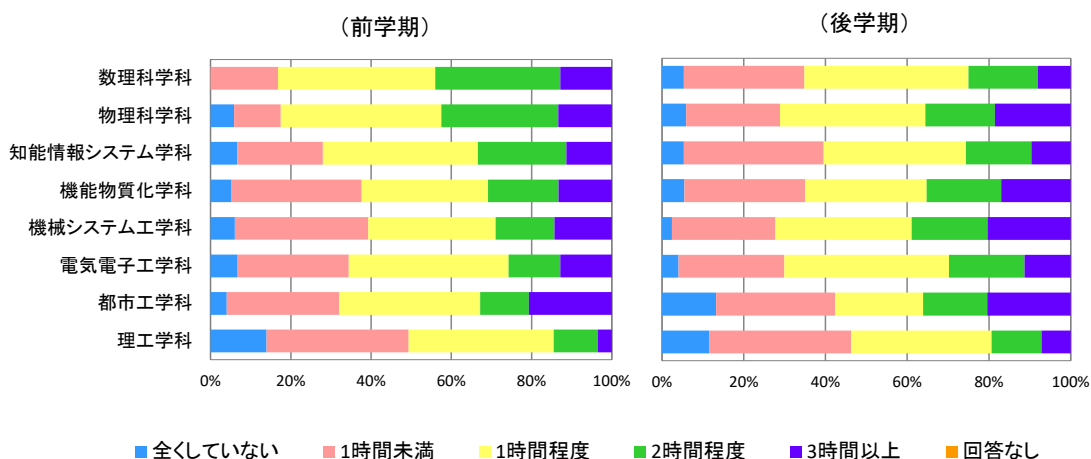
A. あなた自身について

A-1 出席率はどのくらいですか



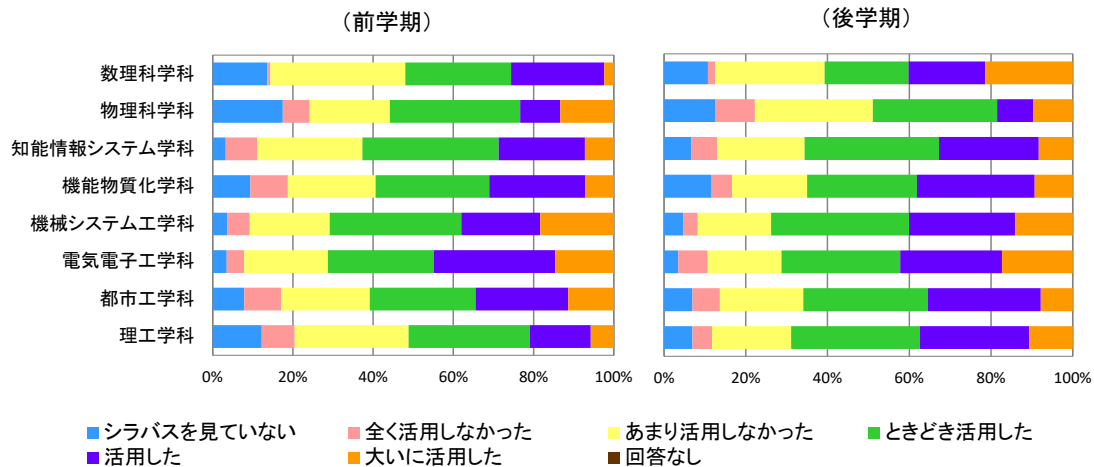
一部を除いて、出席率 80%以上の学生がほとんどであることがわかる。

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1 回の授業ごとにどの程度しましたか



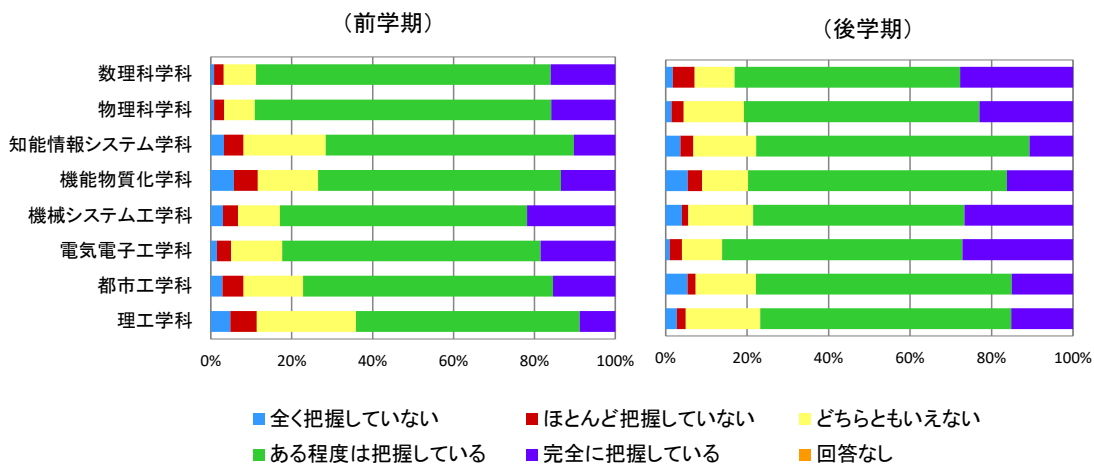
一部の学科を除いて、60%以上の学生が、1 時間以上の授業時間外学習を行っている。しかしながら、1 コマ 2 単位の授業科目に対して、予習・復習をそれぞれ 1 時間以上行う必要があることを考えると、かなり少ない時間数である。課題を課す方法にも工夫が必要であると考えられる。

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか



学科によってばらつきがあるが、60%の学生が授業の選択・予習・復習などにシラバスを活用している。

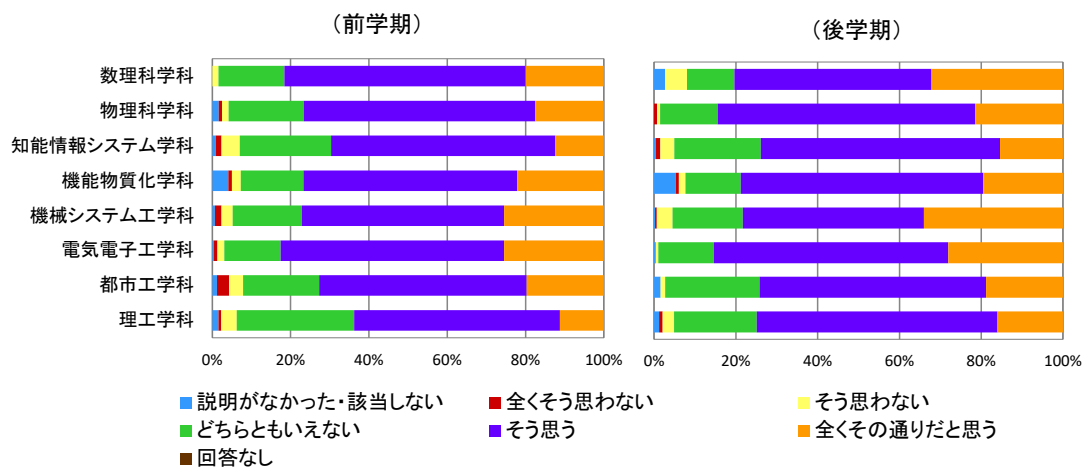
A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか



一部の学科の特定の学期を除き、学習到達目標や成績評価基準を70%以上の学生が把握している。

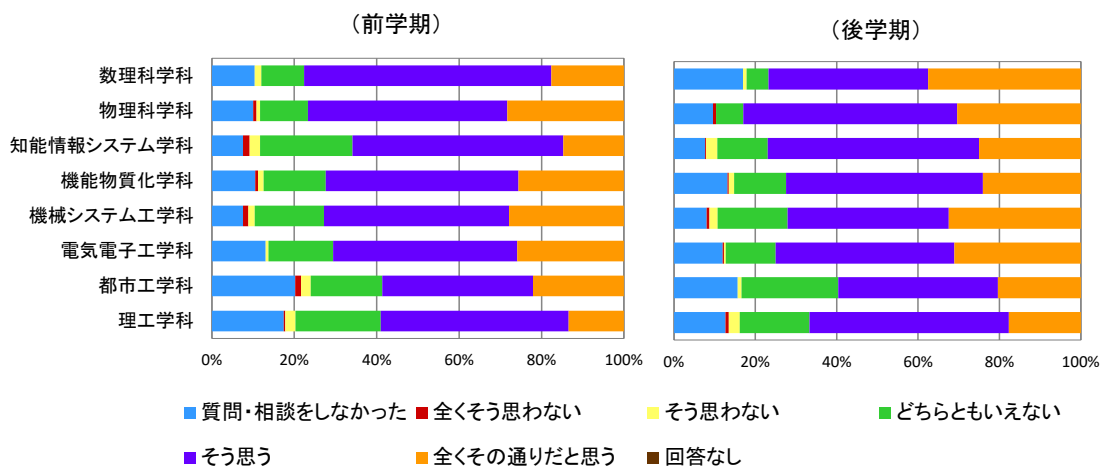
B. 教員の対応

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



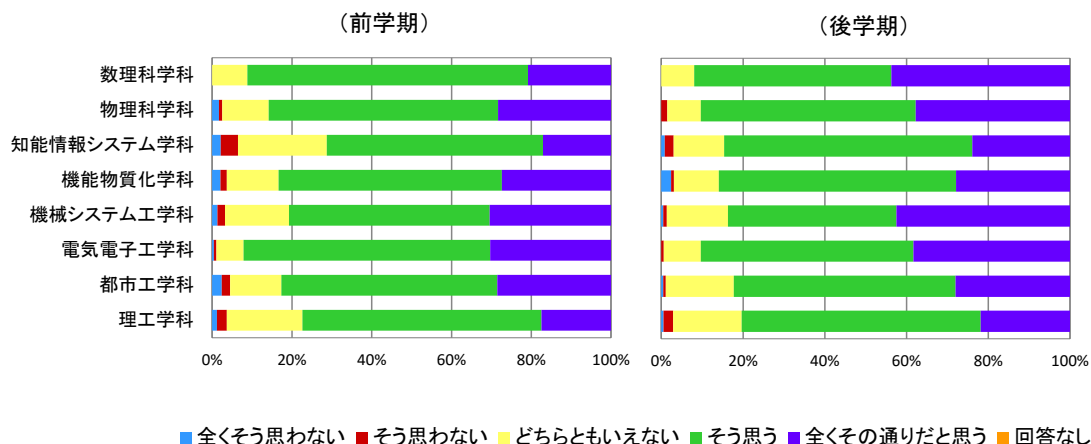
学科によって多少ばらつきはあるが、70%以上の学生が教員による教育方法や成績評価方法などの説明が有益であると答えている。教員による説明が適切に行われている。

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



各学科によって多少ばらつきがあり、15%程度の学生が質問や相談をしていないが、60%以上の学生は質問や相談に適切に対応してくれたと回答している。したがって、教員の対応は概ね適切に行われていると判断できる。

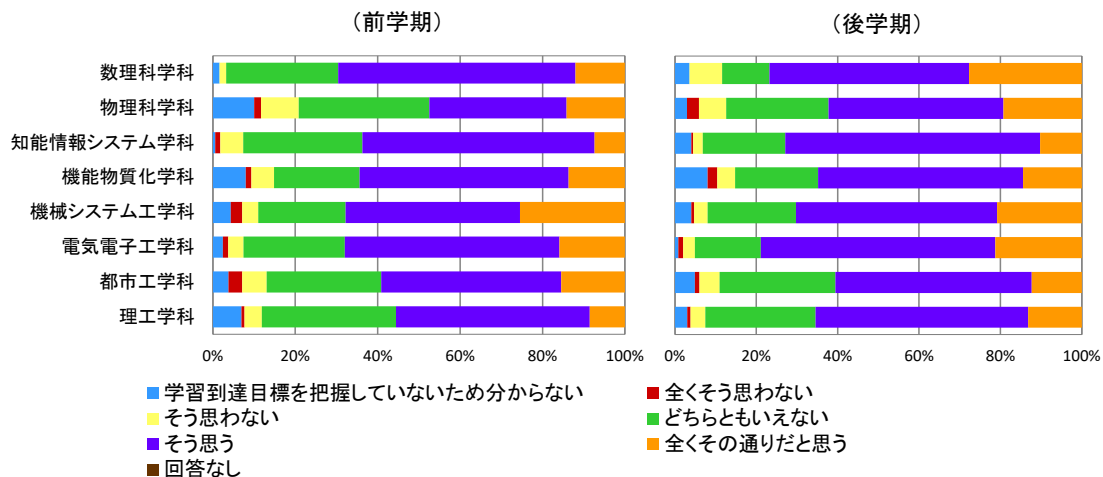
B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか



一部の学科の特定の学期を除き、80%程度の学生が教員の授業に対する意欲や熱意が感じられたと回答している。このことから、多くの教員は授業に対して意欲や熱意をもって取り組んでいることがわかる。

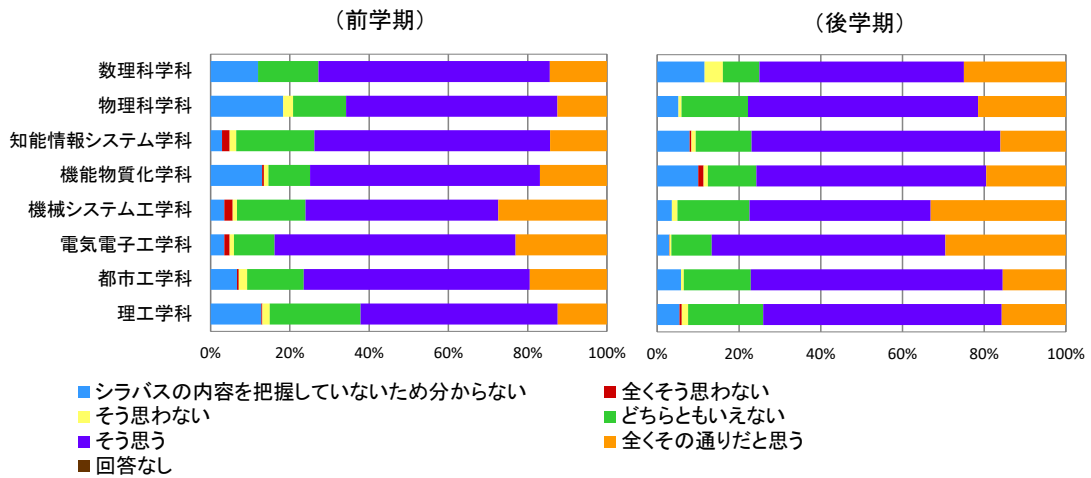
G. 授業内容および授業方法について

G-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか



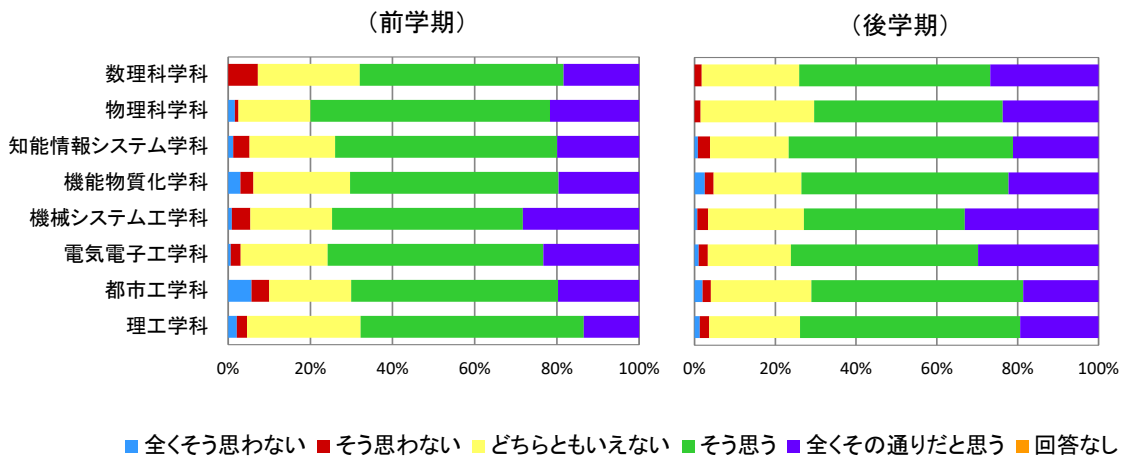
学科によって多少ばらつきはあるが、一部を除いて60%程度の学生が学習到達目標を達成できたと回答している。どちらともいえないと回答している学生が20%程度はいることから、学習到達目標の周知を繰り返し行う必要があると思われる。

G-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか



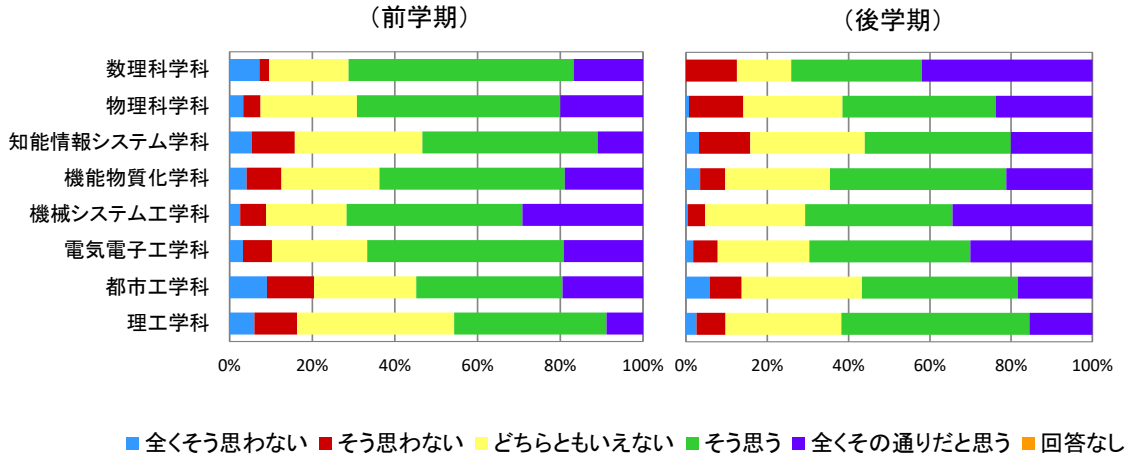
学科によって多少のばらつきはあるが、60～80%程度の学生が、授業内容がシラバスに基づいていたと回答している。一部の学科において、20%弱の学生がシラバスの内容を把握していないと回答しているため、毎回の講義時に授業内容を周知する必要性も残されている。

G-3 教材（教科書、配布資料）やICT環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか



70%程度の学生が教材やICT環境が授業の理解に役立っていると回答している。概ね、適切に教材やICT環境が授業で利用されていると言える。

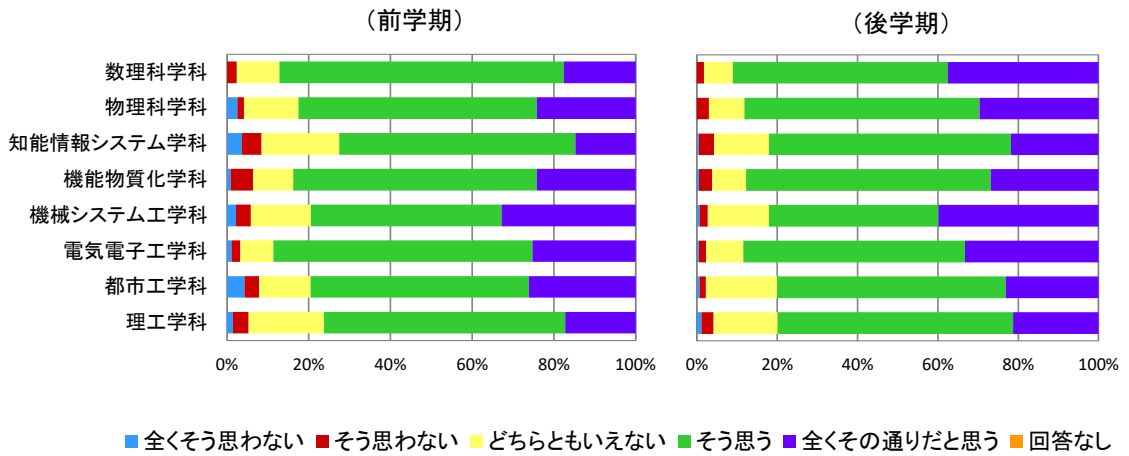
C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか



学科によって多少ばらつきはあるが、60%程度の学生がそう思うと回答している。実験や演習などで、適切にアクティブラーニングが実施されていることがわかる。

D. 満足度

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか



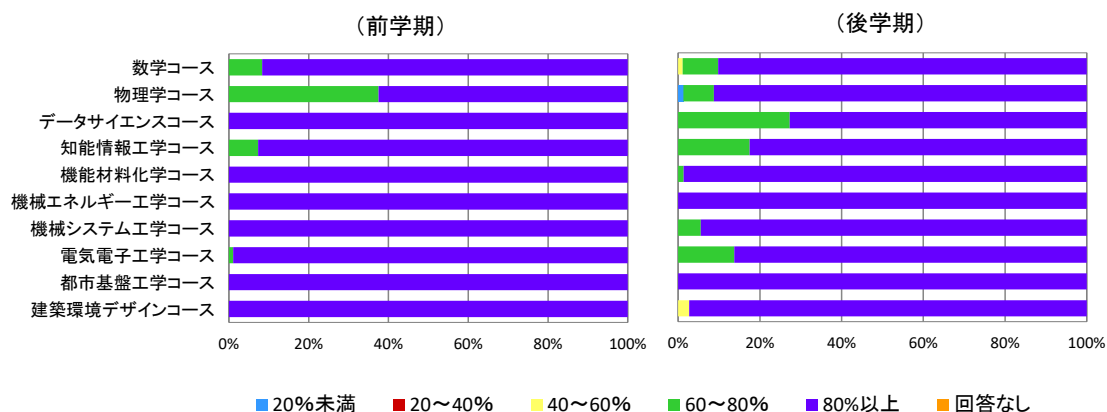
一部の学科を除いて、80%程度の学生が授業全体としては満足していると回答している。したがって、教員は適切に授業を行っていると考えられる。

理工学研究科の状況

理工学研究科で開講している科目数は 217 件あり、授業評価アンケートが行われた科目数は 184 件あり、回答率は 85%であった。2018 年度の工学系研究科の 67%に比べて提出率が高く、学生の授業評価への関心が高いことを表している。以下の各項目について分析を行う。

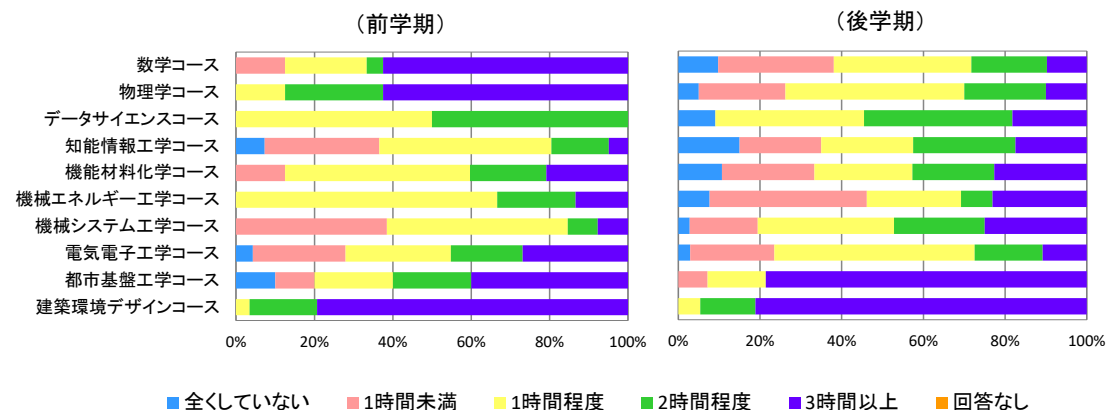
A. あなた自身について

A-1 出席率はどのくらいですか



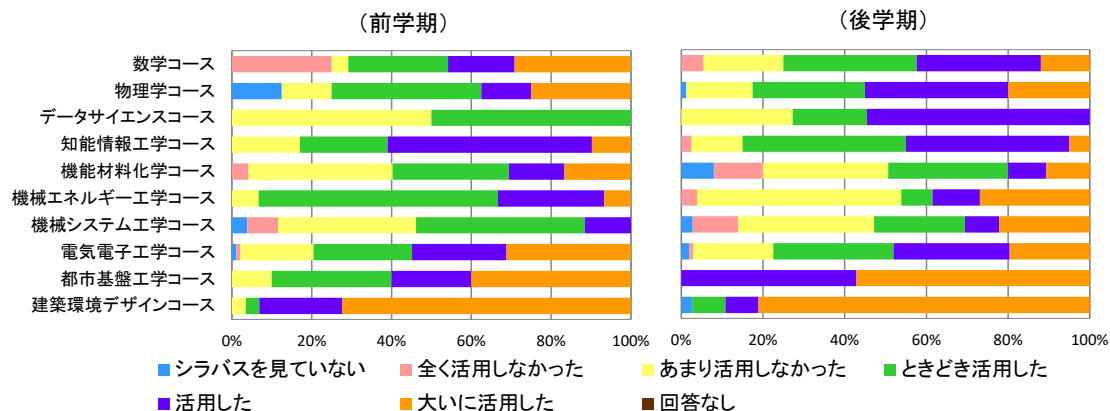
一部のコースを除き、85%以上の学生が 80%以上出席している。

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1 回の授業ごとにどの程度しましたか



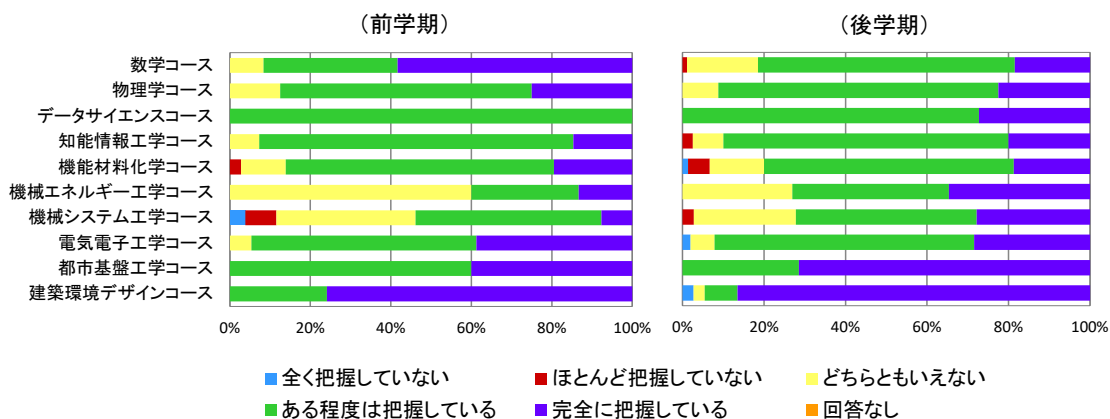
授業時間外学習の時間は、コースによってばらつきがある。大半のコースにおいて、1 時間以上を行っている学生の割合が 70%以上である。特定のコースでは、学生の 60%以上が 3 時間以上学習している。

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか



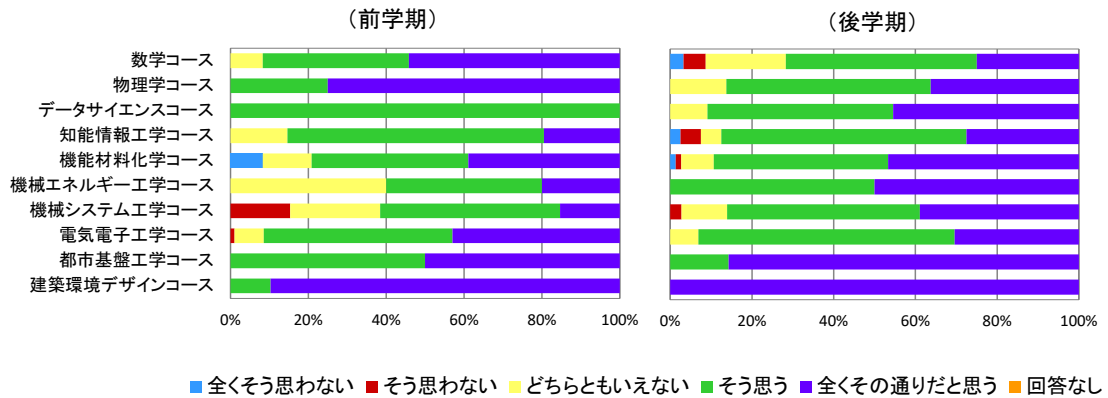
一部のコースを除いて、授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用した学生は、70%以上である。しかしながら、講義等でシラバスの活用について引き続き周知する必要があると考えられる。

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか



学習到達目標や成績評価基準については、一部のコースを除いて80%以上の学生が把握している。シラバス活用の程度の割には高い値である。

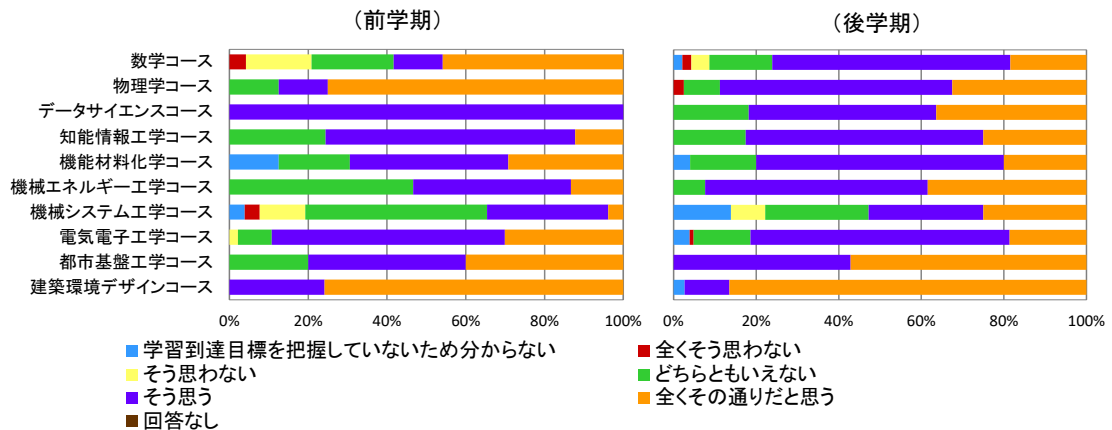
B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか



各コースの教員は、授業に対して概ね意欲や熱意をもって取り組んでいることがわかる。

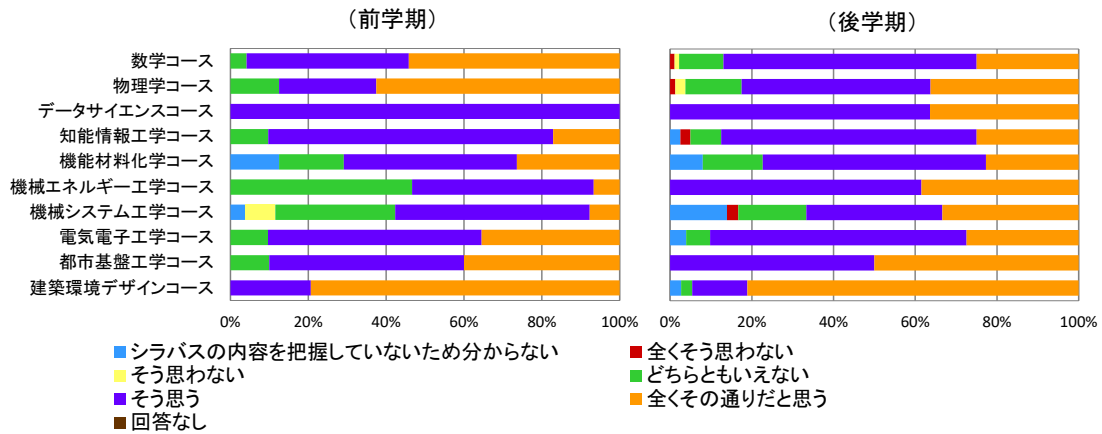
G. 授業内容および授業方法について

G-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか



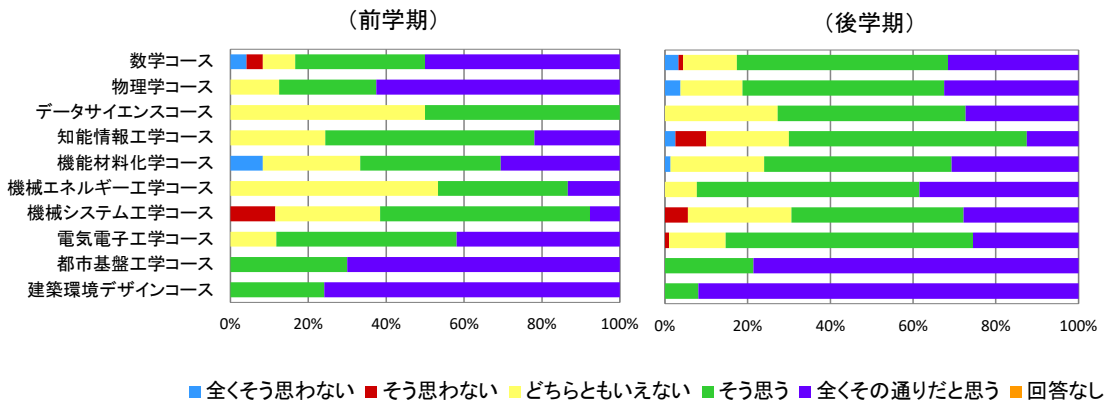
大半のコースにおいて、80%以上の学生が学習到達目標を達成できたと回答している。これはB-3の教員の授業への取り組みの成果と考えられる。

G-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか



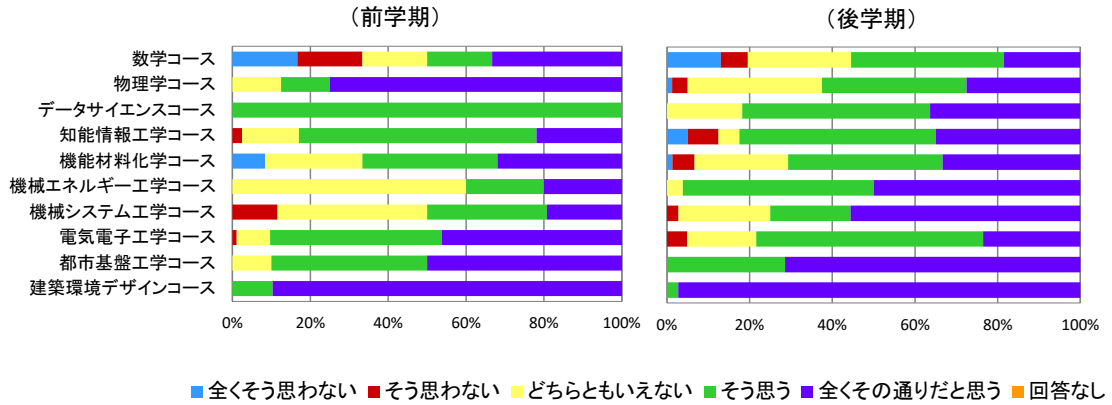
一部のコースを除いて、80%以上の学生が、授業内容はシラバスとおりに行われていると回答している。

G-3 教材（教科書、配布資料）やICT環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか



一部のコースを除いて、80%以上の学生が、教材やICT環境は授業の理解に役立ったと回答している。各教員が教材やICT環境を授業にうまく活用している成果と考えられる。

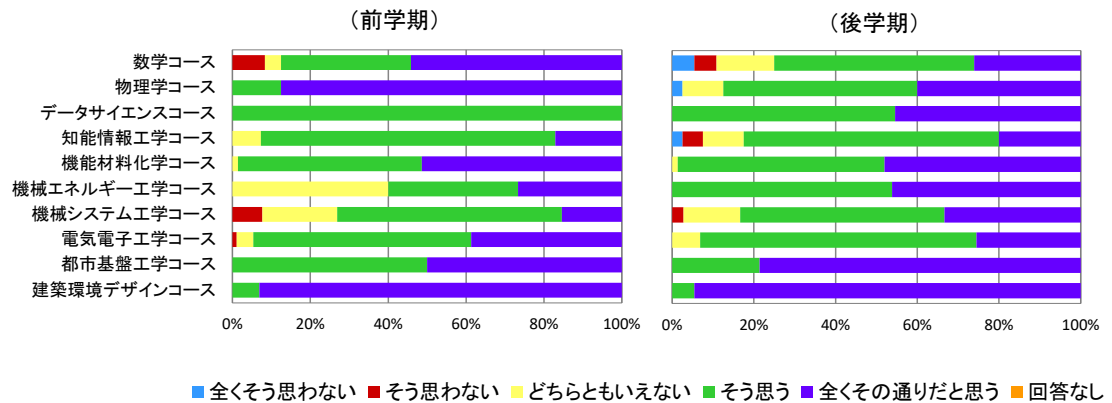
C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか



コースによって、ばらつきがあるが、大学院科目についても、学生の理解度を促すために、アクティブラーニングを多く取り入れられていることがわかる。

D. 満足度

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか



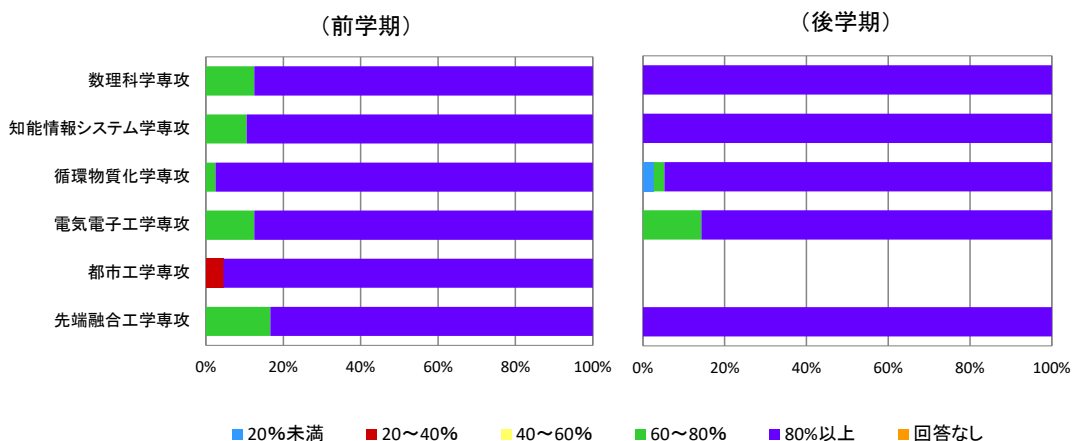
いずれのコースにおいても、授業に対する学生の満足度は比較的高いことがわかる。

工学研究科の状況

工学研究科で開講している科目数は95件あり、授業評価アンケートが行われた科目数は87件あり、回答率は92%であった。2018年度の67%に比べて提出率が向上している。学生の授業評価への関心が高くなっていることを表している。以下の各項目について分析を行う。

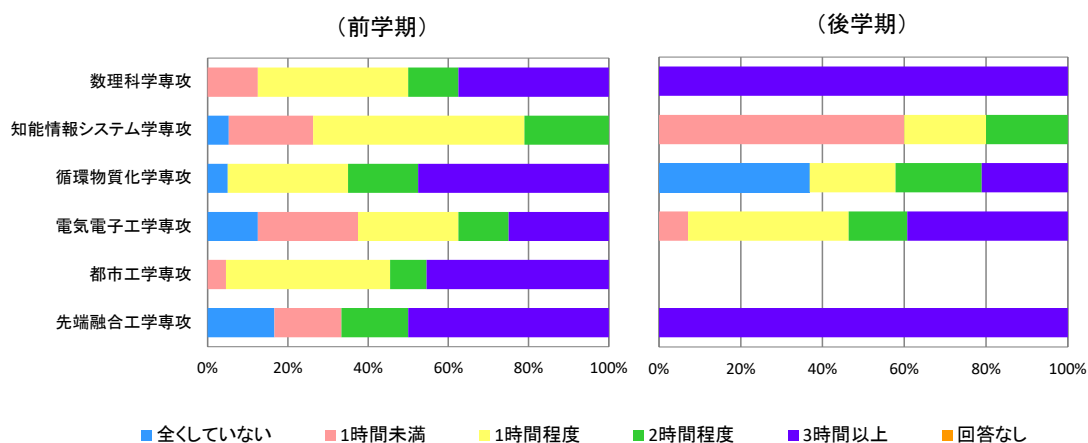
A. あなた自身について

A-1 出席率はどのくらいですか



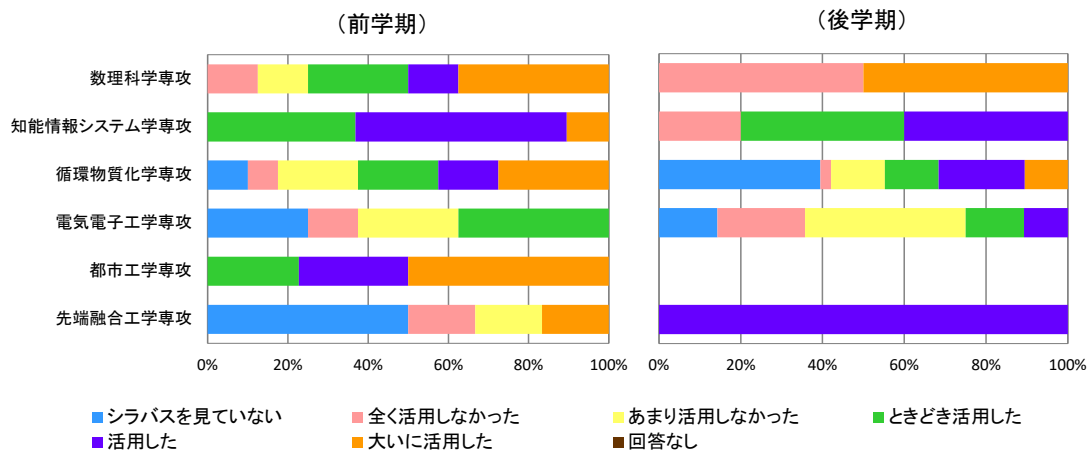
全ての専攻において、80%以上の学生が80%以上出席している。

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか



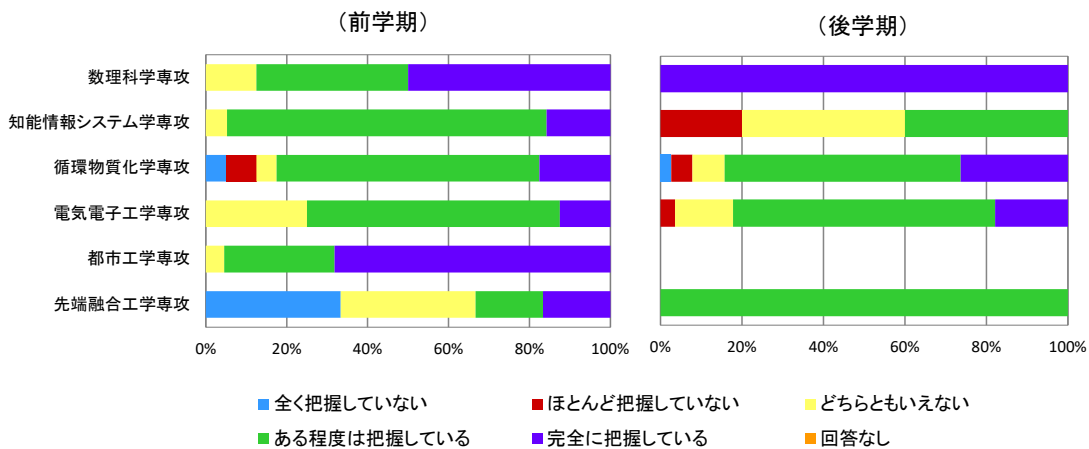
授業時間外学習の時間は、専攻によってばらつきがある。多くの専攻において、1時間以上を行っている学生の割合が70%以上である。

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか



一部の専攻を除いて、授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用した学生は、60%以上である。しかしながら、講義等でシラバスの活用について引き続き周知する必要があると考えられる。

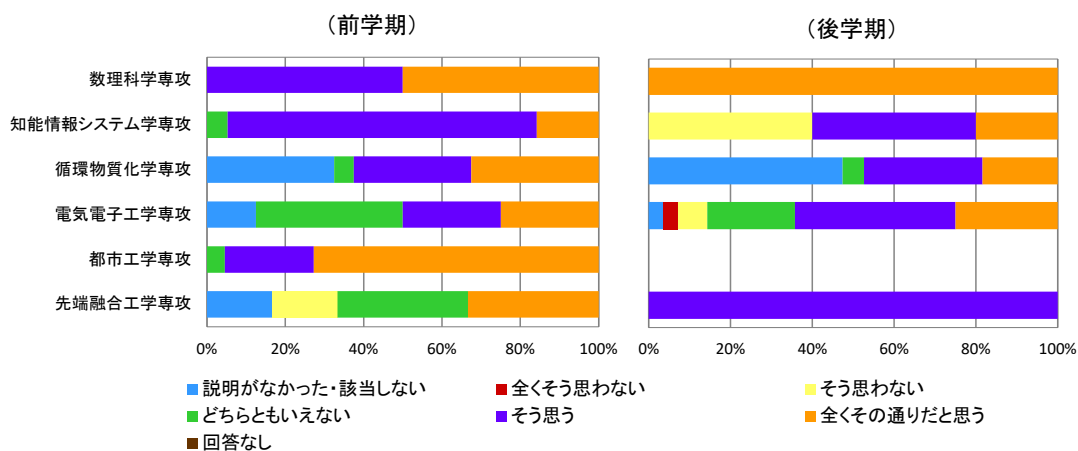
A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか



学習到達目標や成績評価基準については、一部の専攻を除いて80%以上の学生が把握している。シラバス活用の程度の割には高い値である。

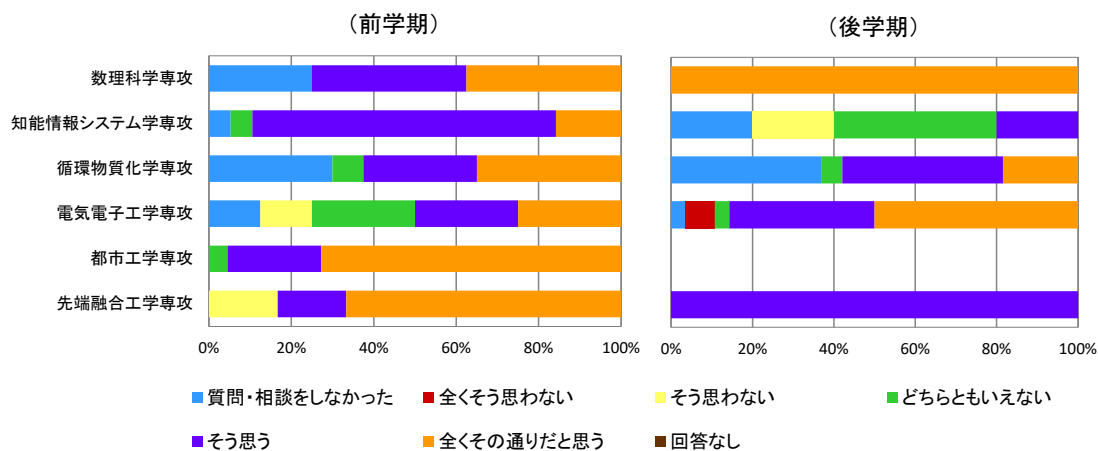
B. 教員の対応

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



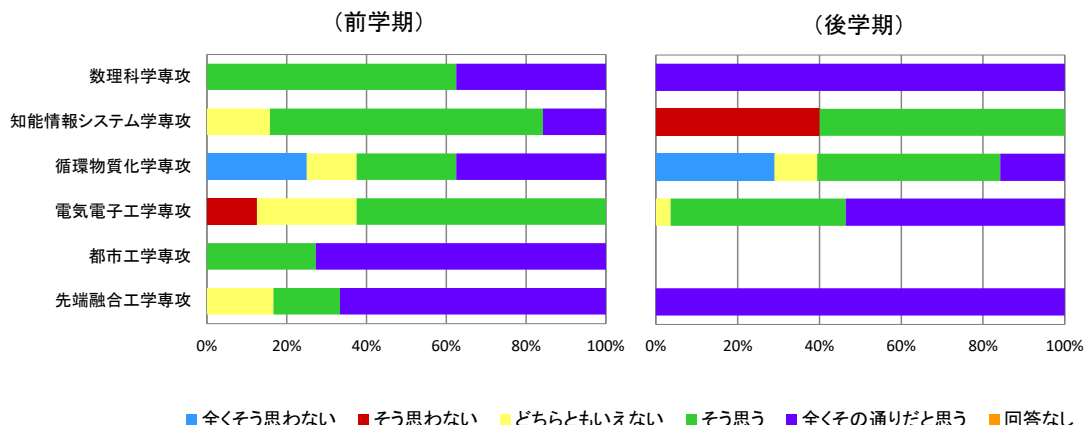
多くの専攻において、教員による教育方法や成績評価方法などの説明については、80%以上の学生が有益であったと回答している。しかしながら、一部の選考では説明が充分なされていないと言えない状況であり、講義等での対応が必要であると考えられる。

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



一部の専攻の特定の学期を除き、各専攻の教員は学生の質問や相談に対して概ね適切に対応している。

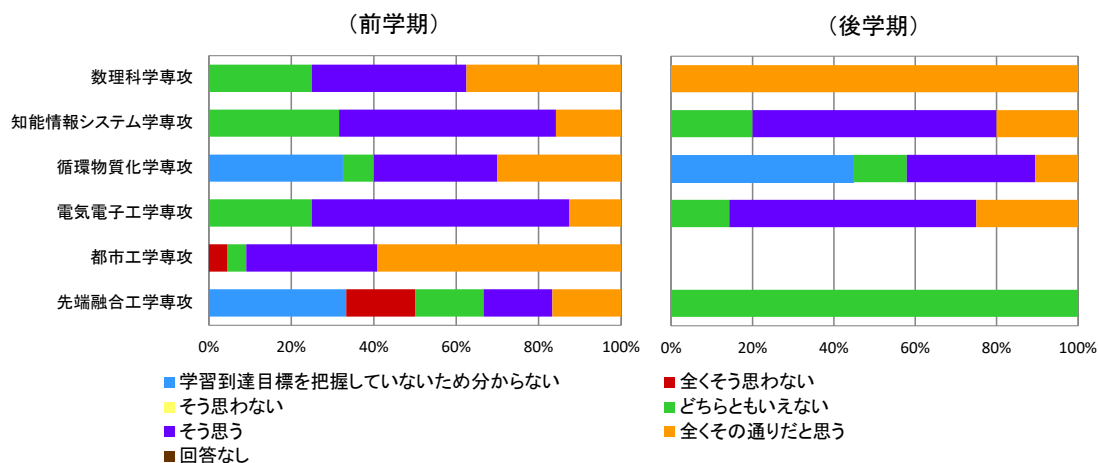
B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか



各専攻の教員は、授業に対して概ね意欲や熱意をもって取り組んでいることがわかる。

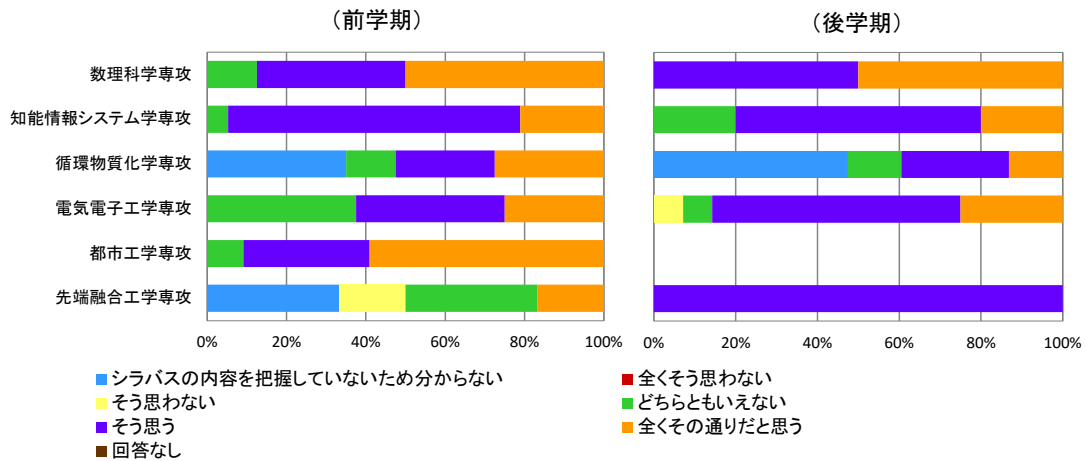
G. 授業内容および授業方法について

G-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか



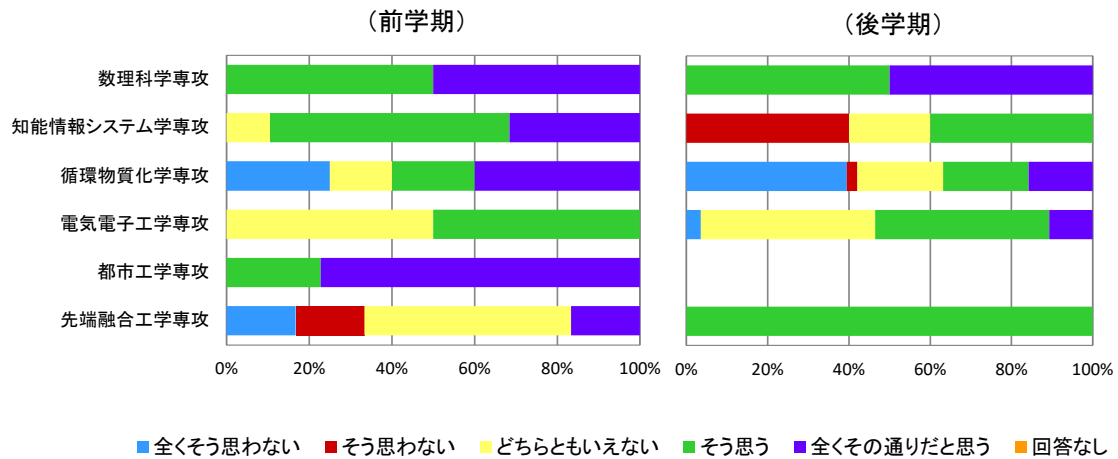
多くの専攻において、80%以上の学生が学習到達目標を達成できたと回答している。これはB-3の教員の授業への取り組みの成果と考えられる。しかしながら、一部の専攻では学習到達目標を把握していない学生が一定数存在するため、これまで以上に講義等で周知する必要があると考えられる。

G-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか



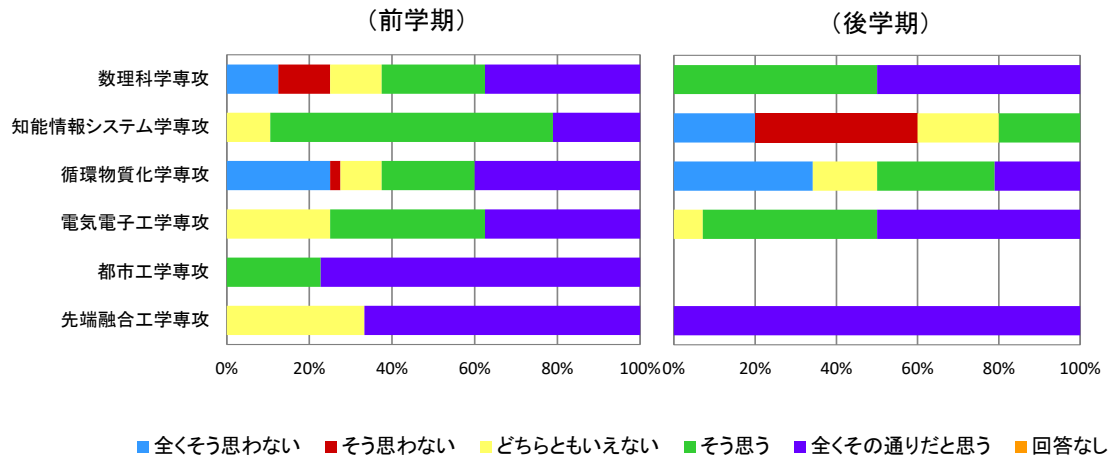
大半の学生が授業内容はシラバスとおりに行われていると回答しているが、一部の専攻ではシラバスの内容を把握していない学生が一定数存在する。したがって、講義等でシラバスの活用について引き続き周知する必要があると考えられる。

G-3 教材（教科書、配布資料）やICT環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか



一部の専攻の特定の学期除いて、大半の学生が、教材やICT環境は授業の理解に役立ったと回答している。各教員が教材やICT環境を授業に活用している成果と考えられる。

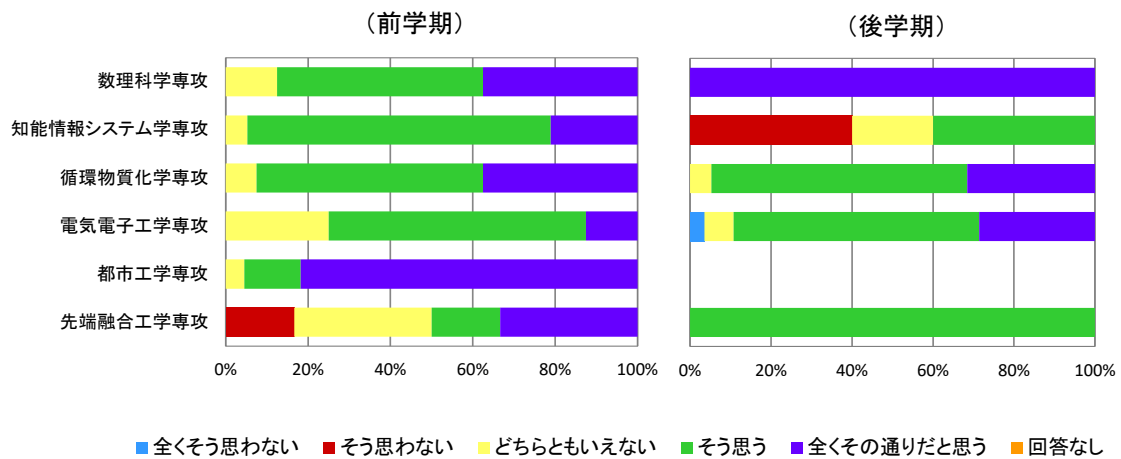
C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか



専攻によって、ばらつきがあるが、大学院科目についても、学生の理解度を促すために、アクティブラーニングを多く取り入れられていることがわかる。

D. 満足度

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか



一部の専攻の特定の学期除き、いずれのコースにおいても授業に対する学生の満足度は比較的高いことがわかる。

令和元年度 授業評価報告書

佐賀大学農学部

佐賀大学大学院農学研究科

令和2年9月

佐賀大学農学部FD委員会

佐賀大学大学院農学研究科 FD 委員会

はじめに

大学法人化後、佐賀大学は、高等教育機関としての機能を強化・充実することで社会的責任を果たすことを求められてきた。その方策のひとつとして、教育活動の実態を適確に把握し、課題を整理し、問題を解決するために、全ての授業科目について全学共通の様式を用いた「学生による授業評価アンケート」とその集計結果をうけての「科目担当教員による授業点検評価報告」による授業改善システムを構築し、運用を行ってきた。

農学部および農学研究科では、カリキュラムの見直しや単位実質化に関する改善など、教育改革や内部質保証のためのさまざまな取り組みとともに、平成18年度から授業評価アンケートを実施し、アンケート結果の集計・公表と、授業改善への利活用を進めている。

本報告には、平成30年度農学部及び農学研究科の開講科目に関する授業評価アンケートの結果（旧カリキュラム学科・コース別、新カリキュラムコース別）取り纏めと、アンケート結果の分析に基づく授業改善を進めるための提言を記している。アンケートでは、学生側の課題として、学習到達目標や成績評価基準の理解度、出席率、授業時間外学習の時間、シラバスの活用度、満足度などについて調査し、分析した。教員側の課題としては、教育方法や成績評価方法の説明、シラバスに準拠した授業の実施、教材の満足度、アクティブラーニングへの配慮、質問や相談への対応などについて調査し、分析した。授業評価アンケートは、大学院農学研究科（修士課程）についても学部開講科目と同様の内容のアンケートを行い、取り纏めと結果の分析を行った。

以上の様な取り組みを通して、活力のある教育システムを構築・実践し、農学部・農学研究科で掲げる教育目標の実質化及び質の向上を達成することによって、教育・研究活動に貢献することを目指している。

令和2年9月

農学部FD委員会

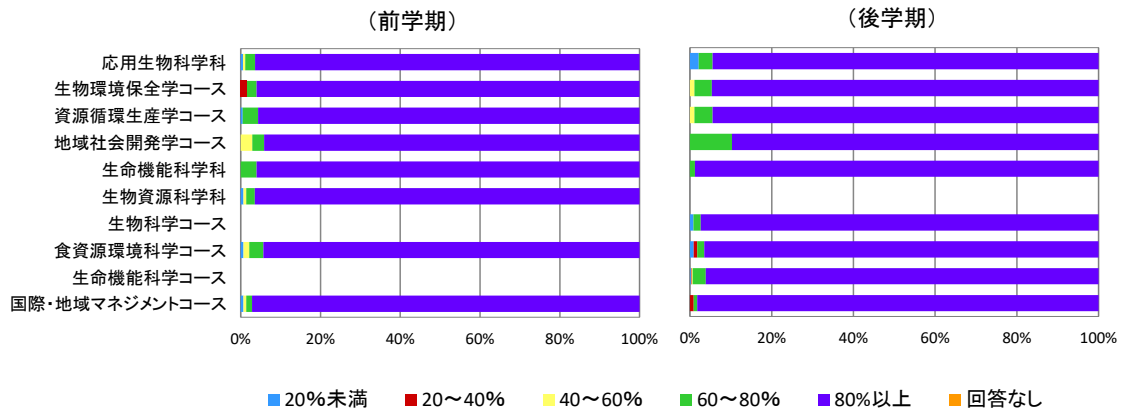
大学院農学研究科 FD 委員会

農学部組織別授業評価分析結果

旧カリキュラム(2年次生以上が在籍)、新カリキュラム(1年生が在籍)のいずれにおいても、講義主担当の教員の所属によってデータの取りまとめを行った。

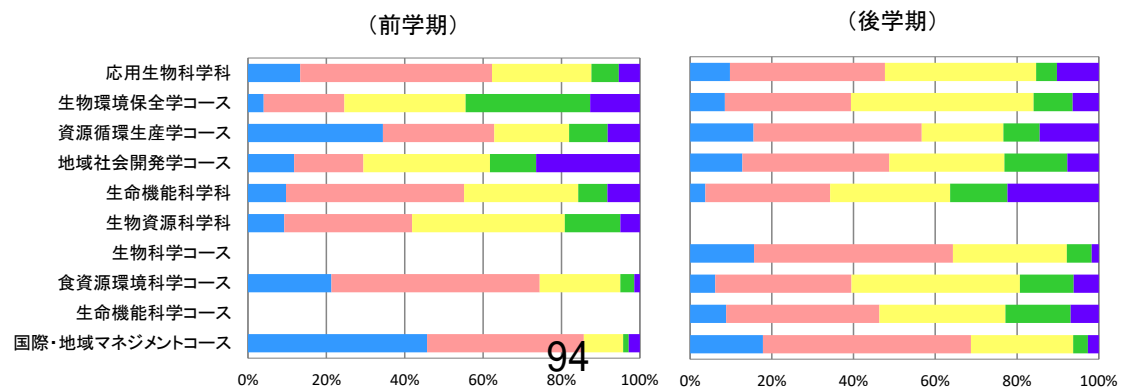
A. あなた自身について

A-1 出席率はどのくらいですか



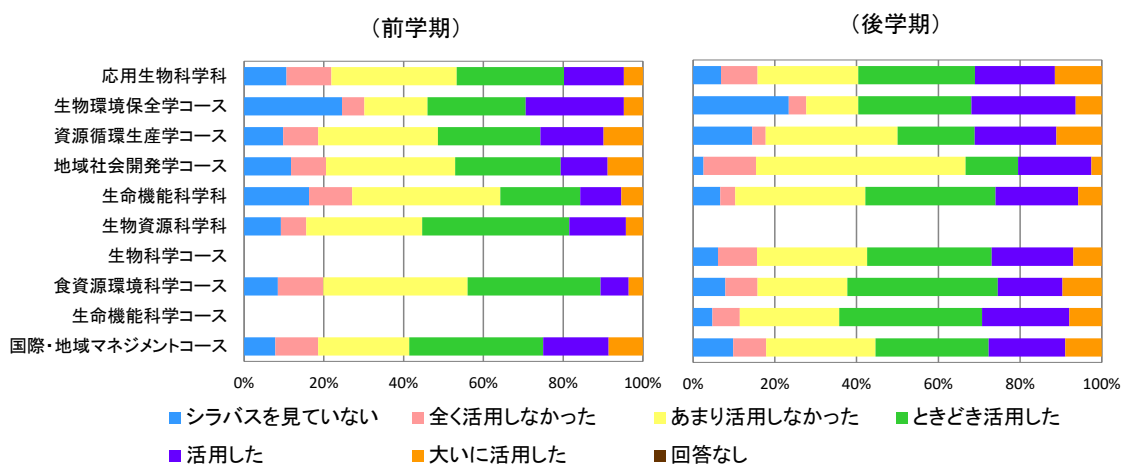
出席率が80%以上の学生は、前期では、旧カリキュラムにおいて応用生物科学科が96.4%、生物環境保全学コースが96.0%、資源循環生産学コースが95.6%、地域社会開発学コースが94.1%、生命機能科学科が96.0%であり、昨年度と比較していずれも増加した。新カリキュラムの生物科学コースでは97.4%、食資源環境科学コースで94.3%、生命機能科学コースではデータなし、国際・地域マネジメントコースで97.1%であった。後期では、旧カリキュラムにおいて応用生物科学科が94.5%、生物環境保全学コースが94.7%、資源循環生産学コースが94.4%、地域社会開発学コースが89.7%、生命機能科学科が98.8%であり、後期においてもほぼすべての学科・コースで増加しており、出席状況は良好であったと言える。一方、新カリキュラムの生物科学コースでは97.4%、食資源環境科学コースで96.5%、生命機能科学コースでは96.1%、国際・地域マネジメントコースで98.2%であり、いずれも高い水準であった。

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか



「全くしていない」と回答した学生は、前期では旧カリキュラムにおいて、応用生物科学科が13.3%、生物環境保全学コースが4%、資源循環生産学コースが34.4%、地域社会開発学コースが11.8%、生命機能科学科が9.7%であった。新カリキュラムの生物科学コースではデータなし、食資源環境科学コースで21.3%、生命機能科学コースではデータなし、国際・地域マネジメントコースで45.7%であった。後期では、応用生物科学科が9.8%、生物環境保全学コースが8.5%、資源循環生産学コースが15.6%、地域社会開発学コースが12.8%、生命機能科学科が3.7%であり、いずれも減少した。新カリキュラムの生物科学コースでは15.7%、食資源環境科学コースで6.1%、生命機能科学コースでは8.8%、国際・地域マネジメントコースで17.9%であった。一部のコースでは、前期よりも後期で割合が顕著に低下する傾向が認められ、講義内容の専門化が進むのに伴い学修意欲が喚起された可能性が考えられた。

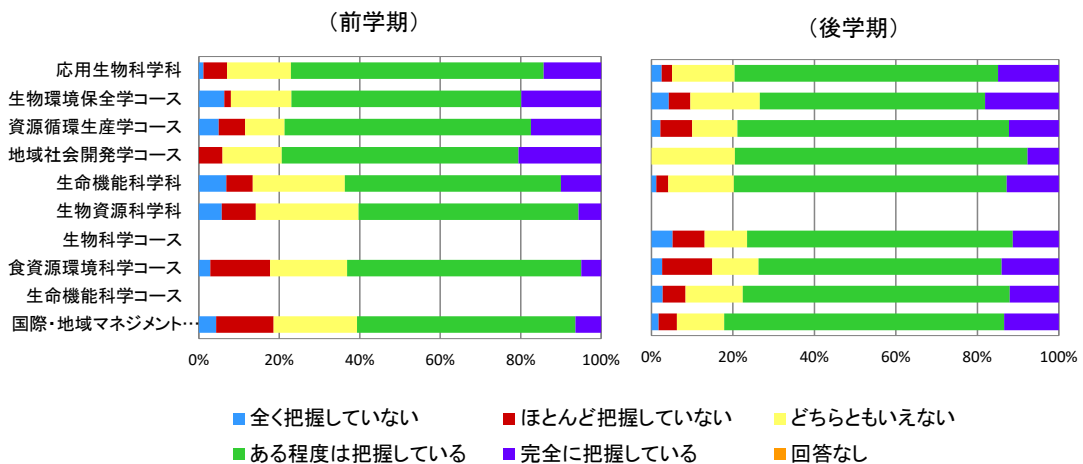
A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか



シラバスを「大いに活用した」、「活用した」、「ときどき活用した」と回答した学生の合計は、前期では旧カリキュラムにおいて、応用生物科学科が59.6%、生物環境保全学コースが59.6%、資源循環生産学コースが50.0%、地域社会開発学コースが33.3%、生命機能科学科が57.9%であった。新カリキュラムの生物科学コースではデータなし、食資源環境科学コースで44.0%、生命機能科学コースではデータなし、国際・地域マネジメントコースで58.6%であった。後期では、応用生物科学科が59.6%、生物環境保全学コースが59.6%、資源循環生産学コースが50.0%、地域社会開発学コースが33.3%、生命機能科学科が57.9%

であった。新カリキュラムの生物科学コースでは 57.4%、食資源環境科学コースで 62.3%、生命機能科学コースでは 64.2%、国際・地域マネジメントコースで 55.4%であった。いずれもほぼ前年度の水準でありシラバス活用の定着が伺えるが、今後をさらに利用を促すよう取り組む余地がある。

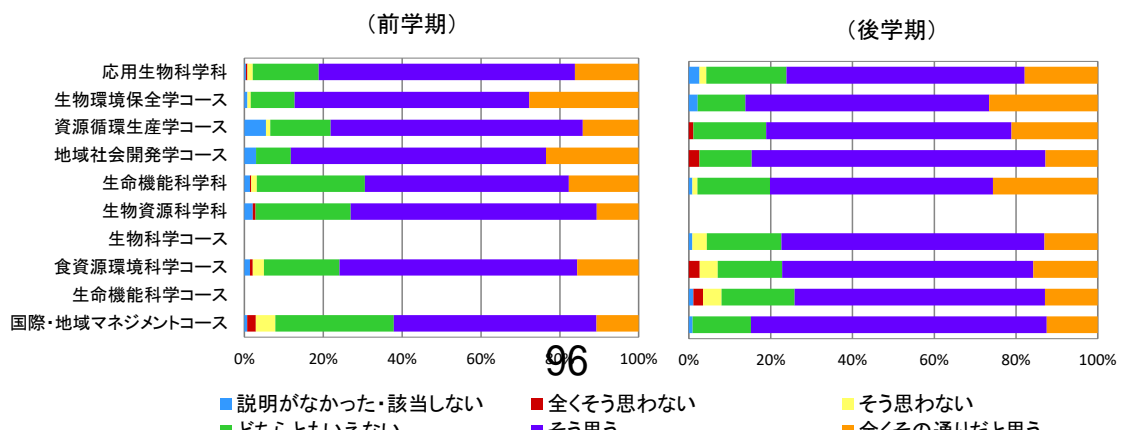
A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか



学習到達目標や成績評価基準を「完全に把握している」、「ある程度は把握している」と答えた学生の合計は、前期では旧カリキュラムにおいて応用生物科学科が 77.1%、生物環境保全学コースが 77.0%、資源循環生産学コースが 78.7%、地域社会開発学コースが 79.4%、生命機能科学科が 63.7%、新カリキュラムの生物科学コースではデータなし、食資源環境科学コースで 63.1%、生命機能科学コースではデータなし、国際・地域マネジメントコースで 60.7%であった。後期では、応用生物科学科が 79.6%、生物環境保全学コースが 73.4%、資源循環生産学コースが 78.9%、地域社会開発学コースが 79.5%、生命機能科学科が 79.7%であった。新カリキュラムの生物科学コースでは 57.4%、食資源環境科学コースで 62.3%、生命機能科学コースでは 64.2%、国際・地域マネジメントコースで 55.4%であった。ほぼ全ての学・コースで前年度と比べ上昇しており、また、学科・コースによっては後期で増加した。教員による学習到達目標や成績評価基準の周知が行き届きつつあると考えられる。

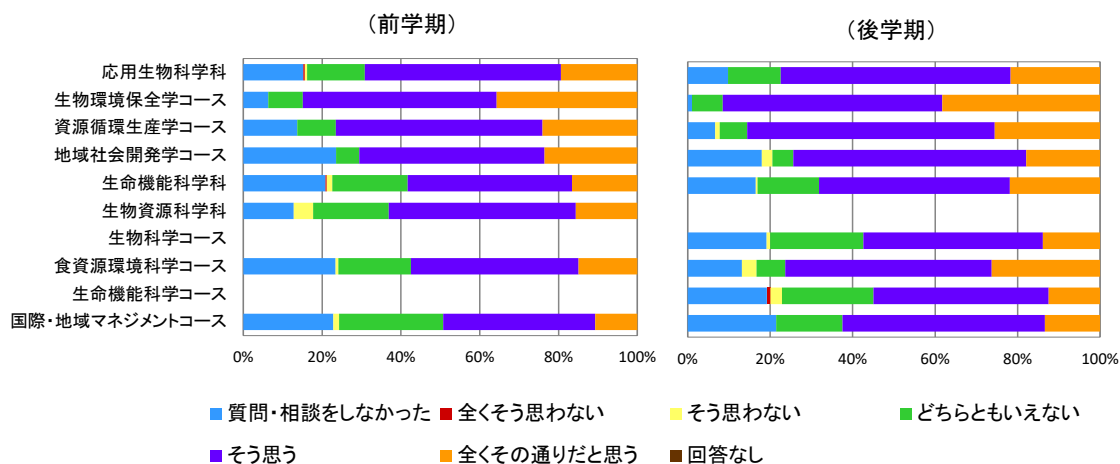
B. 教員の対応

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



教育方法や成績評価方法等の説明が有益でしたかという問いに、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と答えた学生の合計は、前期では旧カリキュラムにおいて応用生物科学科が81.1%、生物環境保全学コースが87.3%、資源循環生産学コースが78.1%、地域社会開発学コースが88.2%、生命機能科学科が69.4%、新カリキュラムの生物科学コースではデータなし、食資源環境科学コースで75.9%、生命機能科学コースではデータなし、国際・地域マネジメントコースで62.1%であった。後期では、旧カリキュラムにおいて応用生物科学科が76.2%、生物環境保全学コースが86.2%、資源循環生産学コースが81.1%、地域社会開発学コースが84.6%、生命機能科学科が80.2%であった。新カリキュラムの生物科学コースでは77.4%、食資源環境科学コースで77.2%、生命機能科学コースでは74.1%、国際・地域マネジメントコースで84.8%であった。概ね前年度と同程度であり、教員による教育方法や成績評価方法等の説明が丁寧になされたと判断される。

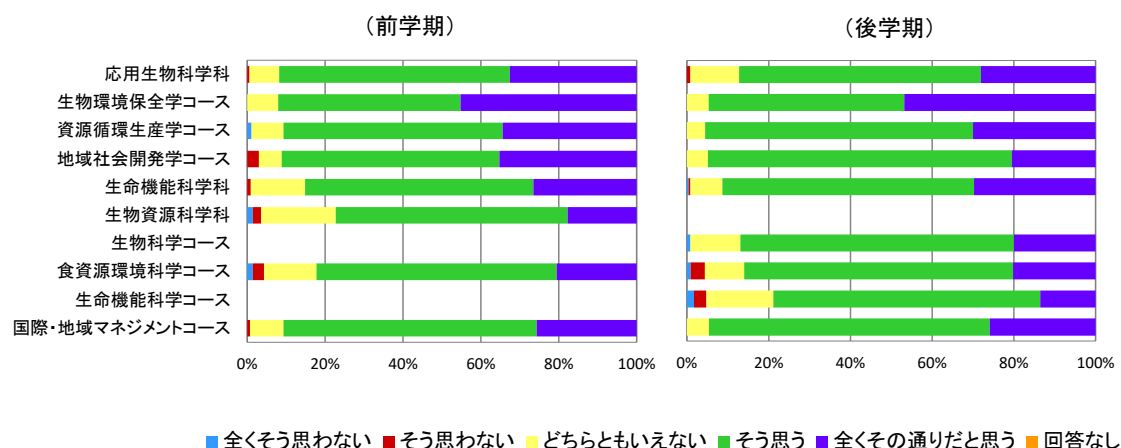
B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



質問や相談に適切に対応してくれたかという問いに対し、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の合計は、前期では旧カリキュラムにおいて応用生物科学科が 69.1%、生物環境保全学コースが 84.9%、資源循環生産学コースが 76.5%、地域社会開発学コースが 70.6%、生命機能科学科が 65.3%、新カリキュラムの生物科学コースではデータなし、食資源環境科学コースで 57.5%、生命機能科学コースではデータなし、国際・地域マネジメントコースで 49.3%であった。後期では、旧カリキュラムにおいて応用生物科学科が 77.5%、生物環境保全学コースが 91.5%、資源循環生産学コースが 85.6%、地域社会開発学コースが 74.4%、生命機能科学科が 68.2%であり、前年度とほぼ同様の値であった。新カリキュラムの生物科学コースでは 57.4%、食資源環境科学コースで 76.3%、生命機能科学コースでは 55.0%、国際・地域マネジメントコースで 62.5%であった。

一方、「質問・相談をしなかった」学生の割合が、前期では旧カリキュラムにおいて応用生物科学科が 15.2%、生物環境保全学コースが 6.3%、資源循環生産学コースが 13.7%、地域社会開発学コースが 23.5%、生命機能科学科が 20.9%、新カリキュラムの生物科学コースではデータなし、食資源環境科学コースで 23.4%、生命機能科学コースではデータなし、国際・地域マネジメントコースで 22.9%であった。後期では、旧カリキュラムにおいて応用生物科学科が 9.8%、生物環境保全学コースが 1.1%、資源循環生産学コースが 6.7%、地域社会開発学コースが 17.9%、生命機能科学科が 16.5%おり、新カリキュラムの生物科学コースでは 0.9%、食資源環境科学コースで 0%、生命機能科学コースでは 1.1%、国際・地域マネジメントコースで 21.4%であった。後期に減少する傾向にあった。引き続き、学生の積極性を高めるとともに、質問しやすい環境を整えることによりこの割合を減らしていくことも重要である。

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

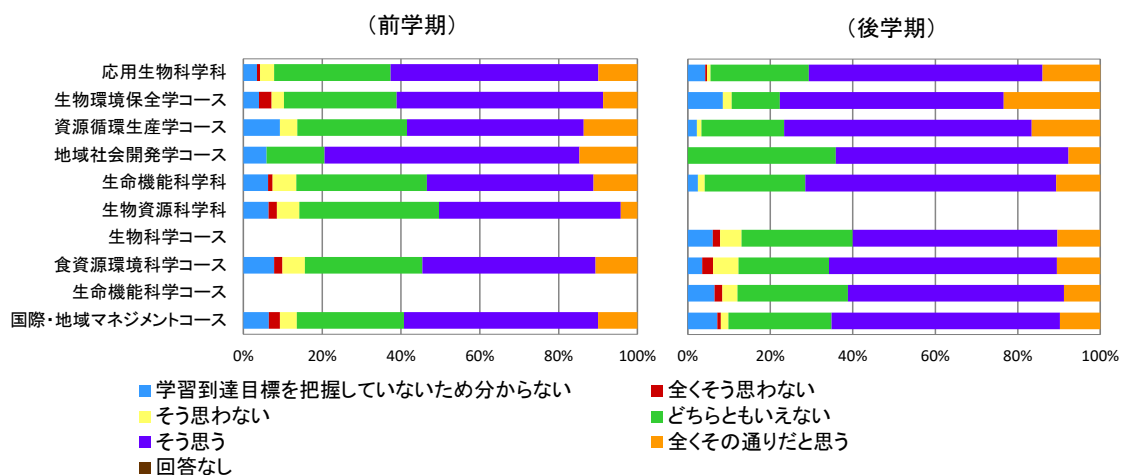


意欲や熱意が感じられたという問いに対し、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の合計は、前期では旧カリキュラムにおいて応用生物科学科が91.8%、生物環境保全学コースが92.1%、資源循環生産学コースが90.7%、地域社会開発学コースが

91.2%、生命機能科学科が85.1%、新カリキュラムの生物科学コースではデータなし、食資源環境科学コースで82.3%、生命機能科学コースではデータなし、国際・地域マネジメントコースで90.7%であった。後期では、旧カリキュラムにおいて応用生物科学科が87.2%、生物環境保全学コースが94.7%、資源循環生産学コースが95.6%、地域社会開発学コースが94.9%、生命機能科学科が91.3%であった。新カリキュラムの生物科学コースでは87.0%、食資源環境科学コースで86.0%、生命機能科学コースでは78.9%、国際・地域マネジメントコースで94.6%であった。前年度とほぼ同様の値となっており、学生に対して教員の意欲や熱意は伝わっていると判断される。一方で、「全くそう思わない」、「そう思わない」とした学生もわずかではあるが存在するため、現状に満足せず、引き続き改善に努めることが必要である。

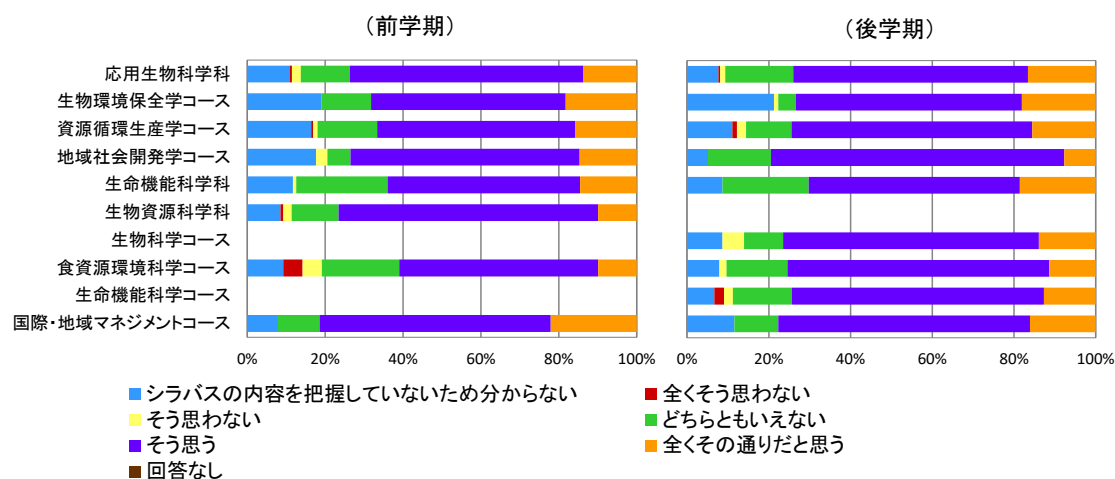
C. 授業内容および授業方法について

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか



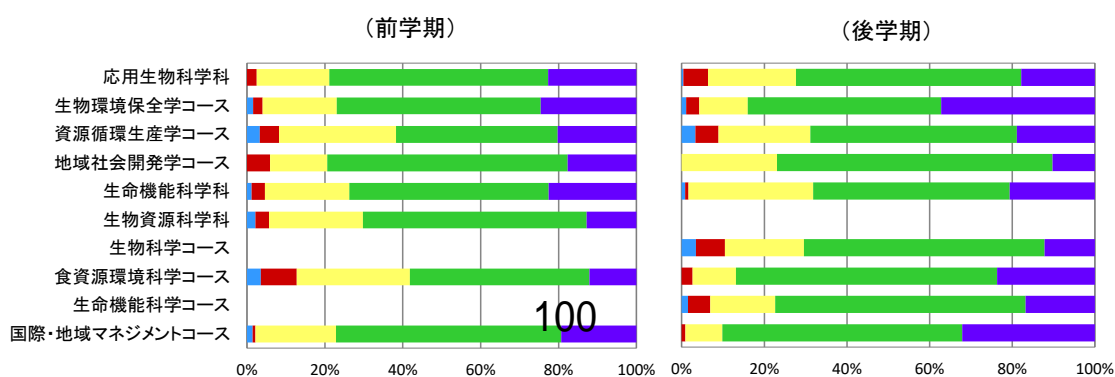
学習到達目標を達成できたかという問いに対し、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の合計は、前期での旧カリキュラムにおいては応用生物科学科が62.7%、生物環境保全学コースが61.1%、資源循環生産学コースが58.5%、地域社会開発学コースが79.4%、生命機能科学科が53.4%、新カリキュラムの生物科学コースではデータなし、食資源環境科学コースで54.6%、生命機能科学コースではデータなし、国際・地域マネジメントコースで59.3%であった。後期では、旧カリキュラムにおいて応用生物科学科が80.4%、生物環境保全学コースが66.0%、資源循環生産学コースが80.0%、地域社会開発学コースが92.3%、生命機能科学科が85.1%であった。新カリキュラムの生物科学コースでは60.0%、食資源環境科学コースで65.8%、生命機能科学コースでは61.2%、国際・地域マネジメントコースで65.2%であった。前期は前年度とほぼ同様であったが、後期は全般的に割合が増加した。一方、「学習到達目標を把握していないため分からない」という回答も一定数見られ、目標の十分な周知も重要であると考えられる。

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか



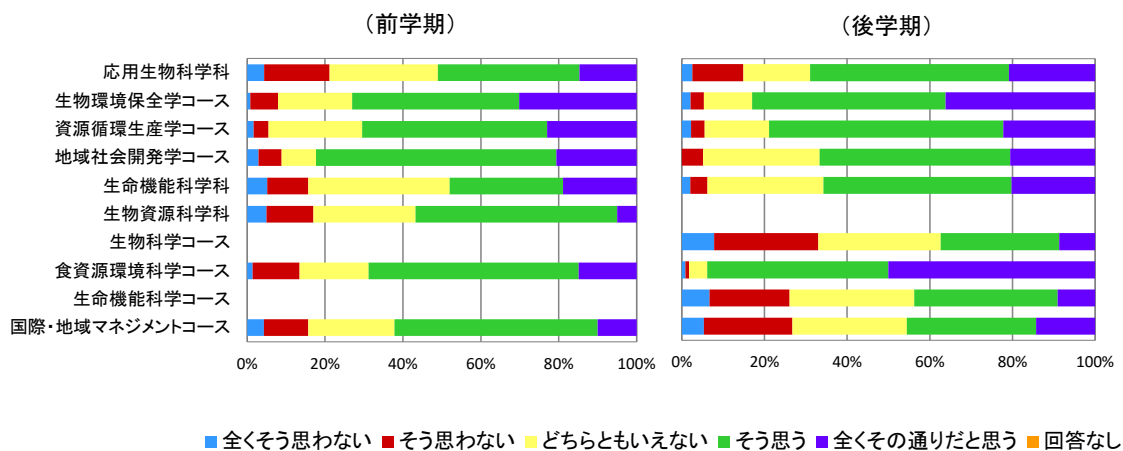
授業内容がシラバスに基づいていたかという問いに対し、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の合計は、前期の旧カリキュラムでは応用生物科学科が 73.7%、生物環境保全学コースが 68.3%、資源循環生産学コースが 66.7%、地域社会開発学コースが 73.5%、生命機能科学科が 64.0%、新カリキュラムの生物科学コースではデータなし、食資源環境科学コースで 61.0%、生命機能科学コースではデータなし、国際・地域マネジメントコースで 81.4%であった。後期では、旧カリキュラムにおいて応用生物科学科が 74.0%、生物環境保全学コースが 59.6%、資源循環生産学コースが 70.0%、地域社会開発学コースが 87.2%、生命機能科学科が 72.7%であった。新カリキュラムの生物科学コースでは 76.5%、食資源環境科学コースで 75.4%、生命機能科学コースでは 74.4%、国際・地域マネジメントコースで 77.7%であった。前期は前年度とほぼ同様であったが、後期は全般的に割合が増加した。一方、「シラバスの内容を把握していないため分からない」と回答した学生も一定数いたことから、今後もシラバス活用の周知を一層図っていく必要がある。

C-3 教材（教科書、配布資料）や I C T 環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用 Web ページ、ネット授業、e ラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか



教材や ICT 環境が授業の理解に役立ったかという問いに対し、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の合計は、前期では旧カリキュラムにおいて応用生物科学科が 78.9%、生物環境保全学コースが 77.0%、資源循環生産学コースが 61.8%、地域社会開発学コースが 79.4%、生命機能科学科が 73.7%、新カリキュラムの生物科学コースではデータなし、食資源環境科学コースで 58.2%、生命機能科学コースではデータなし、国際・地域マネジメントコースで 77.1%であった。後期では、旧カリキュラムにおいて応用生物科学科が 72.3%、生物環境保全学コースが 84.0%、資源循環生産学コースが 68.9%、地域社会開発学コースが 76.9%、生命機能科学科が 68.2%であった。新カリキュラムの生物科学コースでは 70.4%、食資源環境科学コースで 86.8%、生命機能科学コースでは 77.4%、国際・地域マネジメントコースで 90.2%であった。前年度に引き続き、概ね満足は得られているようであるが、学生の理解を高める資料の作成など、各教員が引き続き取り組む必要がある。

G-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

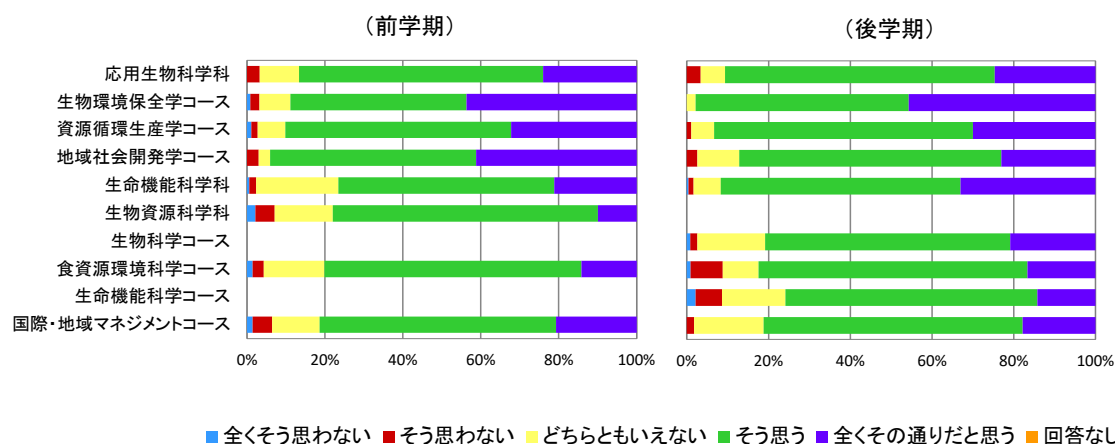


授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮があったかという問いに対し、

「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の合計は、前期では旧カリキュラムにおいて応用生物科学科が 51.1%、生物環境保全学コースが 73.0%、資源循環生産学コースが 70.49%、地域社会開発学コースが 82.4%、生命機能科学科が 48.0%、後期では、応用生物科学科が 51.3%、生物環境保全学コースが 74.4%、資源循環生産学コースが 68.8%、地域社会開発学コースが 68.3%、生命機能科学科が 61.7%であり、新カリキュラムの生物科学コースではデータなし、食資源環境科学コースで 68.8%、生命機能科学コースではデータなし、国際・地域マネジメントコースで 62.1%であった。概ね前年度よりと同様か、やや増加する傾向が見られた。引き続き、各教員がアクティブラーニングの積極的な導入を意識して授業に取り組む必要がある。

D. 満足度

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか



授業に全体として満足できた（「全くその通りだと思う」、「そう思う」）と答えた学生の割合は、前期では旧カリキュラムにおいて応用生物科学科が 86.7%、生物環境保全学コースが 88.9%、資源循環生産学コースが 90.2%、地域社会開発学コースが 94.1%、生命機能科学科が 76.6%、新カリキュラムの生物科学コースではデータなし、食資源環境科学コースで 80.1%、生命機能科学コースではデータなし、国際・地域マネジメントコースで 81.4%であった。後期では、旧カリキュラムにおいて応用生物科学科が 90.6%、生物環境保全学コースが 97.9%、資源循環生産学コースが 93.3%、地域社会開発学コースが 87.2%、生命機能科学科が 91.7%であった。新カリキュラムの生物科学コースでは 80.9、食資源環境科学コースで 82.5%、生命機能科学コースでは 75.9%、国際・地域マネジメントコースで 81.3%であった。いずれも前年度とほぼ同様の割合であり、大部分の学生が授業に満足していると

判断できる。引き続きこの割合を高める努力をしていく必要がある。

総括

「学生から高い評価を得ている授業科目の選考基準」

前年度までの報告でも述べたとおりであるが、学部内・学科内における各学科の内容（必須科目・非必須科目の違いを含む）や受講生数に違いがあるため、授業評価アンケートの回答結果を用いて比較を行うことは現状では困難である。しかし、現状で入手できる資料を用いて基準を精査することは重要である。

選考基準の一つとして、教員の授業に対する熱意や授業に対する全体の満足度などを質問したアンケートの質問事項B～Dにおいて高い評価を得ている科目が挙げられる。次に、講義だけでなく、自学によって高度な知識や見識を身に付けたり、知的好奇心が満たされたりすることから得られる満足感を評価する必要があると考えられるため、授業時間外学習が確保されている科目も選考基準の一つとして挙げられる。そして、学生によるアンケート入力率が高い科目も選考基準の一つとして考慮すべきであろう。

「授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点」

出席率に関しては、出席率80%以上の学生が前後期通じて94.1%～98.8%となり、前年度よりもさらに高い値を示した。授業時間外学習に関しては、「全くしていない」と回答した学生は、平均すると前年度とほぼ同じような少ない割合であり、各教員が予習復習の重要性を説明している結果がでていいると考えられる。これは、各教員が学生意欲を高める取り組みを意識している結果だと考えられる。今後も、時間外学修を行わない学生の割合を減らし、長時間の学修を行っている学生の割合を、より高めていくことが望まれる。また、学習到達目標や成績評価基準を「完全に把握している」、「ある程度は把握している」、と答えた学生や教員の意欲や熱意が感じられたと答えた学生の割合も維持できていた。これらの点は評価できる。しかし、一方で、シラバスの活用度に関しては、以前課題が残っており、授業内での積極的活用をより一層促すなどの改善を行う必要があると考えられる。

「次年度の授業改善目標」

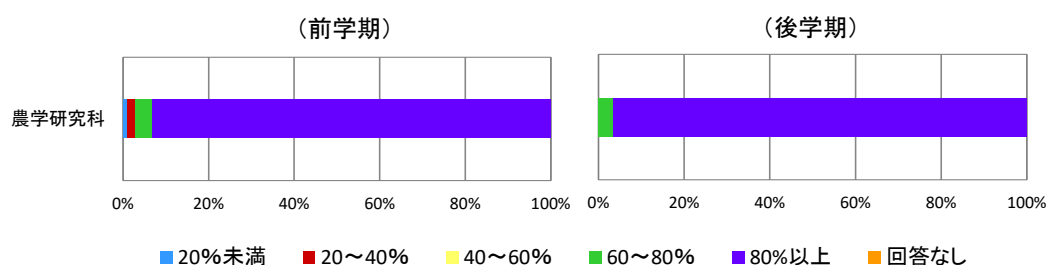
上記に示した改善を要する点の改善を目標とする。また、授業評価アンケートの入力率向上に取り組み、学習管理を支援するラーニングポートフォリオの活用を促す。また、引き続き、該当する科目についてルーブリック評価の導入・定着を図る。

大学院農学研究科授業評価分析結果

農学研究科は、旧カリキュラム（2年次学生が在籍）においては応用生物科学、生物環境保全学、資源循環生産学、地域社会開発学、生命機能科学の5コースから構成される。新カリキュラム（1年次学生が在籍）においては生物科学コース、食資源環境科学コース、生命機能科学コース、国際・地域マネジメントコースの4コースから構成される。授業評価アンケートは旧カリキュラム5コースと新カリキュラム4コースの教員が担当する授業科目を一つに集約した結果に基づいて報告する。

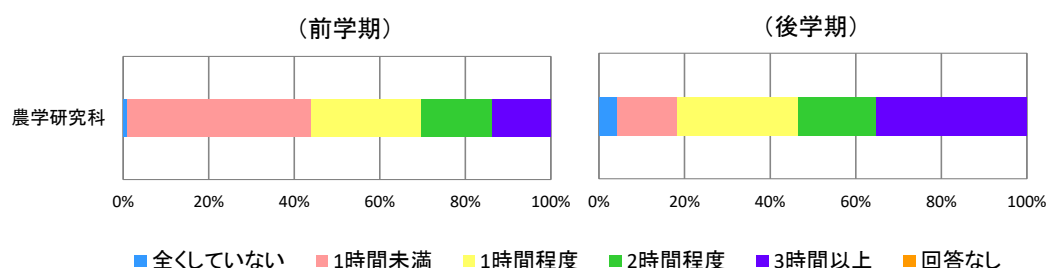
A. あなた自身について

A-1 出席率はどのくらいですか



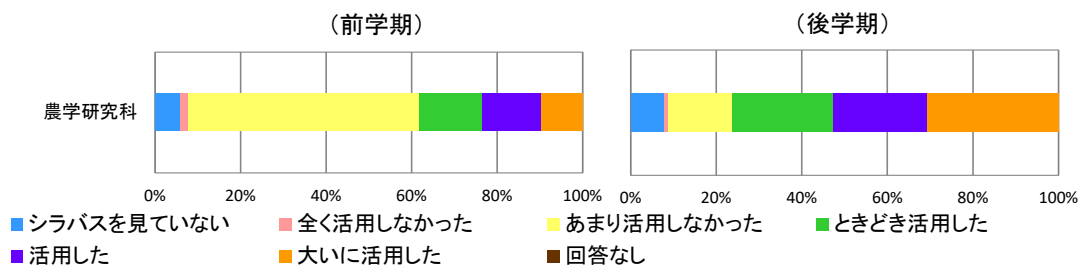
出席率が80%以上の学生は、前期は93.1%であったのに対し、後期は96.5%と増加した。

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか



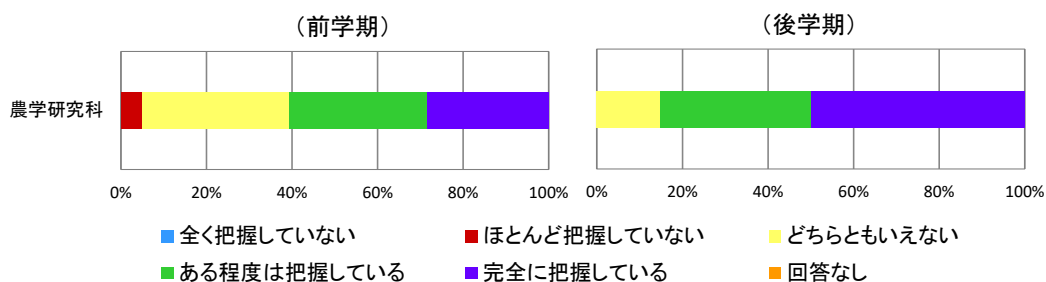
3時間以上と答えた学生は、前期では13.7%、後期では35.1%と前年度に比べ上昇していた。一方で、全くしていないと答えた学生が前期では1.0%、後期では4.4%であった。また、1時間未満と答えた学生は、前期では43.1%、後期では14.0%であった。1時間未満の学生が前期で大幅に増加しており、授業時間外学習が不足している学生が、依然として一定数存在していることが明らかになった。

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか



シラバスを「大いに活用した」、「活用した」、「ときどき活用した」、と回答した学生の合計は、前期では 38.2%、後期では 76.3%であり、後期は前年度と変わらなかったものの、前期は大幅に低下した。今後も学生に対してシラバスの活用を促す努力を継続する必要がある。

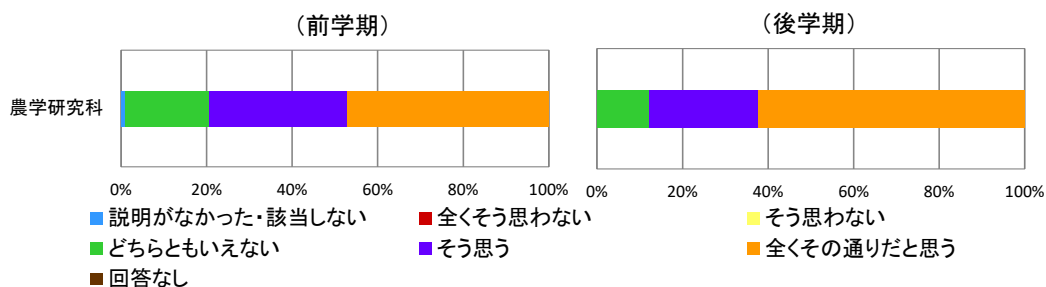
A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか



学習到達目標や成績評価基準を「完全に把握している」、「ある程度は把握している」、と答えた学生の合計は、前期では 60.8%、後期では 85.1%であった。多くの学生がこれらの情報を把握していると考えられるが、前期開始時によりこれらを意識させる必要がある。

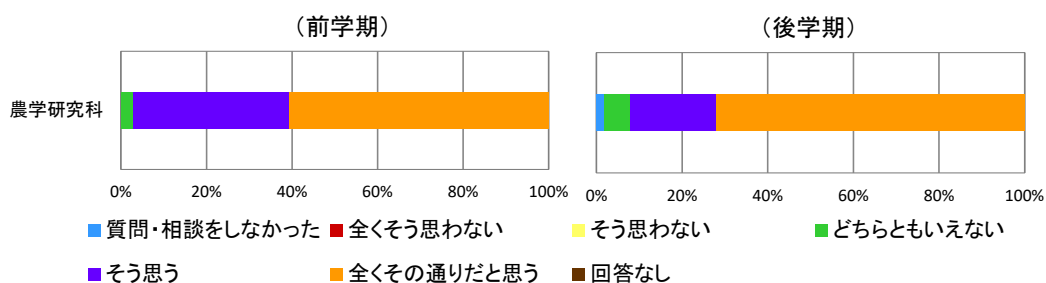
B. 教員の対応

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



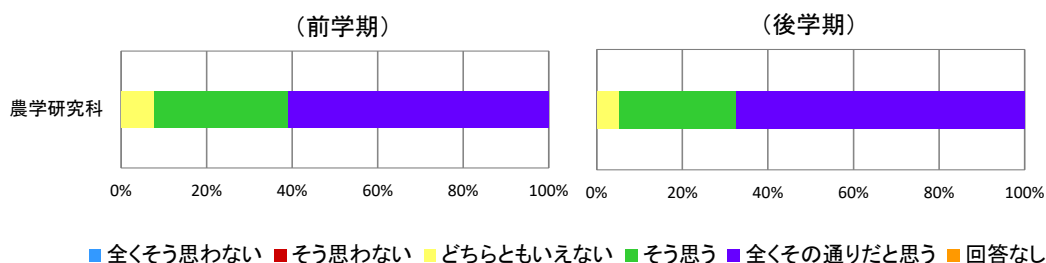
教育方法や成績評価方法等の説明が有益でしたかという問いに、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と答えた学生の合計は、前期では79.4%、後期では87.7%であった。後期は前年度とほぼ同様の値であり、満足が得られていると考えられたが、前期については前年度よりも低下しており、より適切な説明を行う必要があると考えられた。

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



質問や相談に適切に対応してくれたかという問いに対し、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の合計は、前期では97.1%、後期では92.1%であり、いずれも前年度よりも高い値となった。学生には概ね満足感が得られていると考えられた。一方で、質問・相談をしなかった学生の割合が前期では0%、後期では1.8%であり、学生が積極的に質問や相談できる環境が整備されてきていると推察される。

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

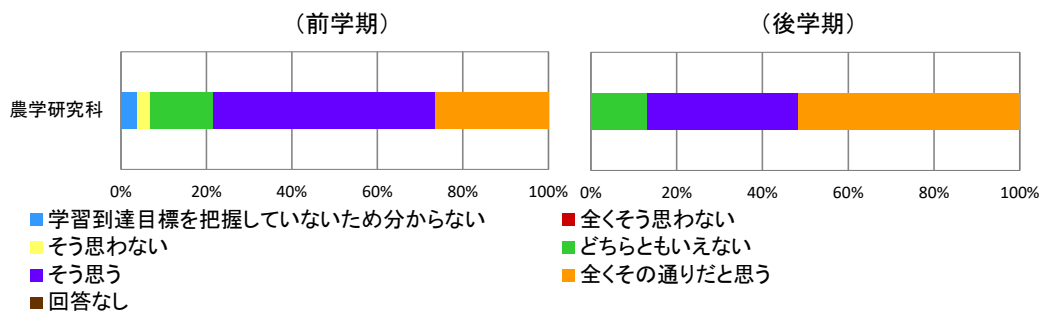


意欲や熱意が感じられたという問いに対し、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の合計は、前期では92.2%、後期では94.7%であり、前年度に引き続き、高い満

足感が得られていることがわかった。また、「全くそう思わない」、「そう思わない」とした学生は皆無であった。今後もこのような状況を継続していくことが重要である。

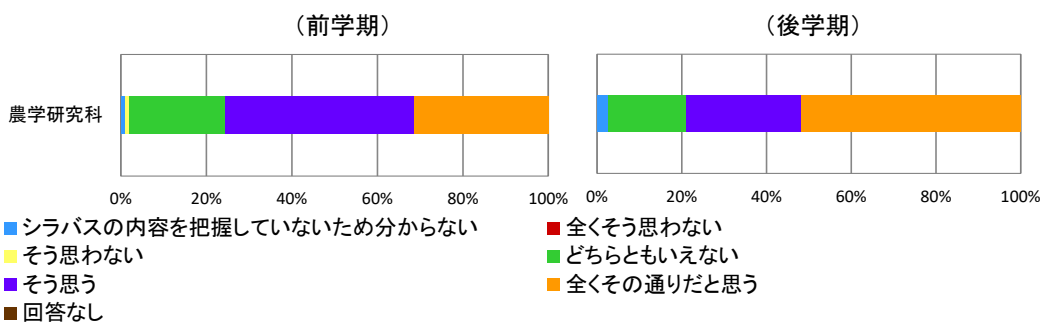
C. 授業内容および授業方法について

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか



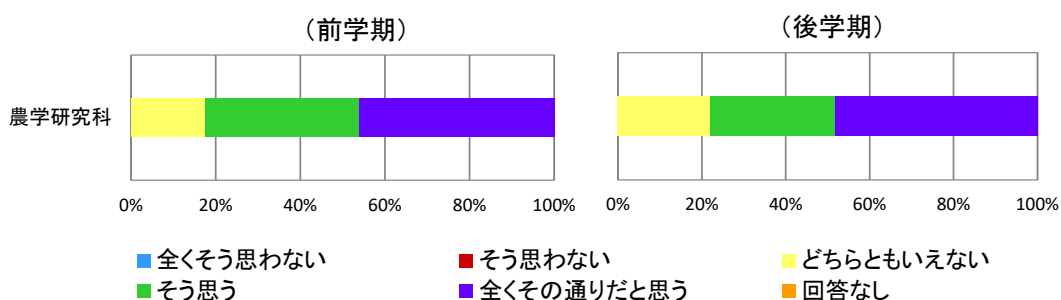
学習到達目標を達成できたかという問いに対し、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の合計は、前期では 78.4%、後期では 86.8%であり、ほとんどの学生が目標を達成できたと考えていることが判明した。

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか



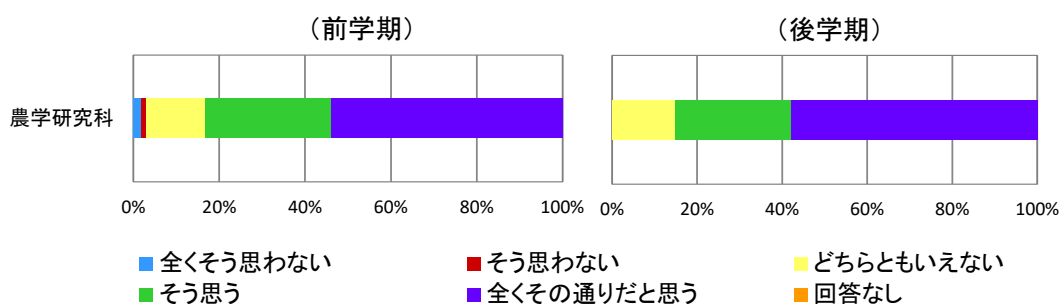
授業内容がシラバスに基づいていたかという問いに対し、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の合計は、前期では 75.5%、後期では 78.9%であり、昨年度よりも低下したものの、一定の学生がシラバスを活用していることがわかった。

G-3 教材（教科書、配布資料）やICT環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか



教材やICT環境が授業の理解に役立ったかという問いに対し、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の合計は、前期では82.4%、後期では78.1%であり、前年度に引き続き、かなり高い満足感が得られていることがわかった。

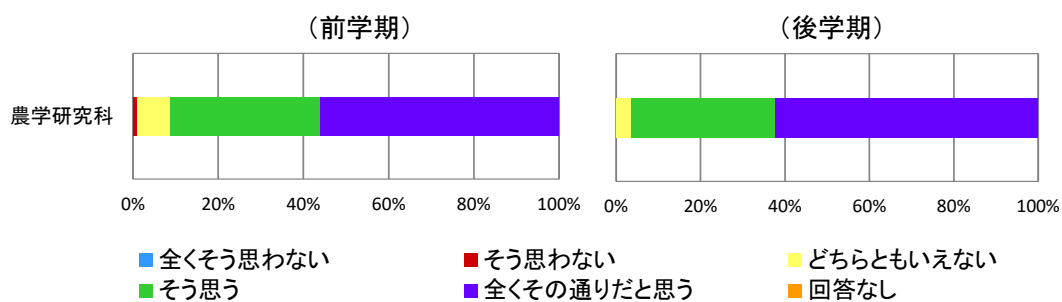
G-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか



授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮があったかという問いに対し、「全くその通りだと思う」、「そう思う」と回答した学生の合計は、前期では83.3%、後期では85.1%であり、前年度に引き続き、おおむね良好な結果だと考えられる。今後、一層、この割合を高めていく必要がある。

D. 満足度

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか



授業に全体として満足できた（「全くその通りだと思う」、「そう思う」）と答えた学生の割合は、前期では91.2%、後期では96.5%であり、前年度に引き続き、ほぼ全ての学生が高い満足度を得ていることがわかった。

総括

「学生から高い評価を得ている授業科目の選考基準」

「学生から高い評価を得ている授業科目」については、学部の総括でも述べたとおり、授業評価アンケートの回答結果を用いて比較を行うことは困難であると判断した。特に、農学研究科では1科目の受講者数が少ないため、授業科目を選択することは適切ではないと考えられる。

「授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点」

出席率は、出席率80%以上の学生が、前期、後期とも93%以上と高く、教員の授業に対する意欲や熱意、並びに授業の全体としての満足度も良好であった。授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮があったかという問いに関しては、83%以上であり、比較的良好な結果が得られたが、アクティブラーニングをより浸透させる点から、この割合を今後も一層高めている努力が必要であると考えられる。一方、授業時間外学習については、全くしていない、あるいは1時間未満と答えた学生が、依然として一定数存在することが明らかになった。大学院が自ら学ぶ場であることを考えた場合、この割合は満足できる値とは言い難いため、今後も引き続き時間外学習を促すような指導を行っていく必要があると考えられる。シラバスの活用状況は前年度より改善が見られた。今後も活用に関する周知を呼びかけ、更なる改善を図ることが必要であると考えられる。

「次年度の授業改善目標」

上記に示した改善を要する点の改善を目標とする。また、授業評価アンケートの入力率向上とポートフォリオシステム（研究指導実施報告）の効果的活用に取り組む。また、該当する科目（特別研究）について、引き続きルーブリック評価の導入・定着を図る。

令和元年度 授業評価報告書

佐賀大学大学院先進健康科学研究科

令和2年9月

佐賀大学大学院先進健康科学研究科 FD 委員会

はじめに

大学法人化後、佐賀大学は、高等教育機関としての機能を強化・充実することで社会的責任を果すことを求められてきた。その方策のひとつとして、教育活動の実態を適確に把握し、課題を整理し、問題を解決するために、全ての授業科目について全学共通の様式を用いた「学生による授業評価アンケート」とその集計結果をうけての「科目担当教員による授業点検評価報告」による授業改善システムを構築し、運用を行ってきた。

先進健康科学研究科では、カリキュラムの見直しや単位実質化に関する改善など、教育改革や内部質保証のためのさまざまな取り組みとともに、授業評価アンケートを実施し、アンケート結果の集計・公表と、授業改善への利活用を進めている。

本報告には、令和元年度先進健康科学研究科の開講科目に関する授業評価アンケートの結果取り纏めと、アンケート結果の分析に基づく授業改善を進めるための提言を記している。アンケートでは、学生側の課題として、学習到達目標や成績評価基準の理解度、出席率、授業時間外学習の時間、シラバスの活用度、満足度などについて調査し、分析した。教員側の課題としては、教育方法や成績評価方法の説明、シラバスに準拠した授業の実施、教材の満足度、アクティブラーニングへの配慮、質問や相談への対応などについて調査し、分析した。

以上の様な取り組みを通して、活力のある教育システムを構築・実践し、先進健康科学研究科で掲げる教育目標の実質化及び質の向上を達成することによって、教育・研究活動に貢献することを目指している。

令和2年9月

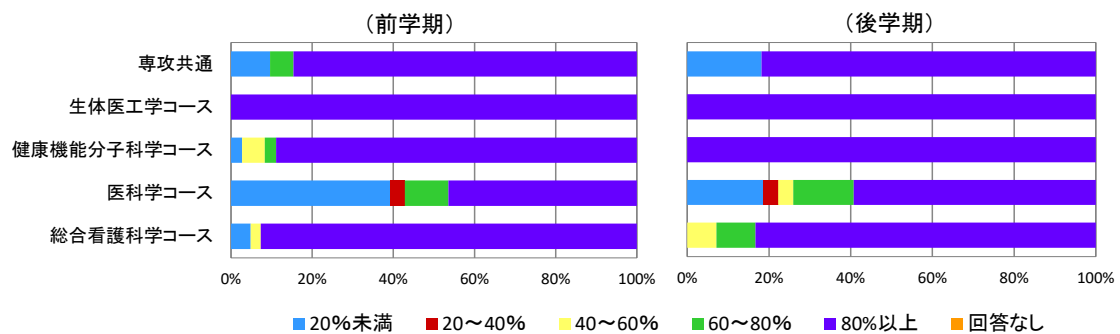
大学院先進健康科学研究科 FD 委員会

大学院先進健康科学研究科授業評価分析結果

先進健康科学研究科は、 の 5 コースから構成される。5 コースの教員が担当する授業科目を一つに集約した結果に基づいて報告する。

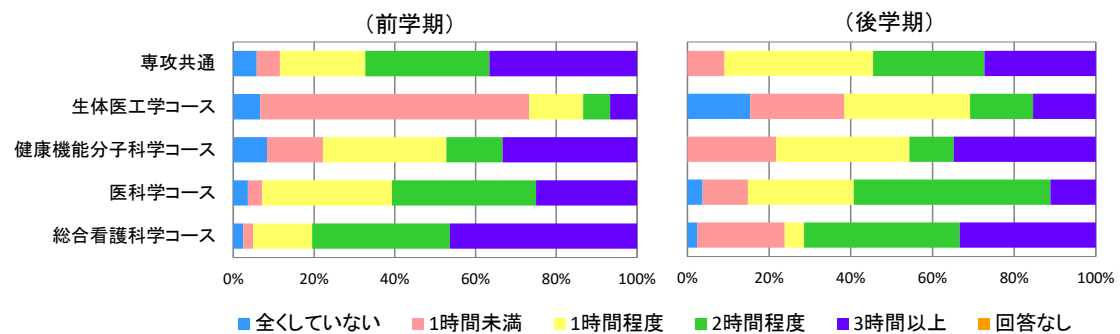
A. あなた自身について

A-1 出席率はどのくらいですか



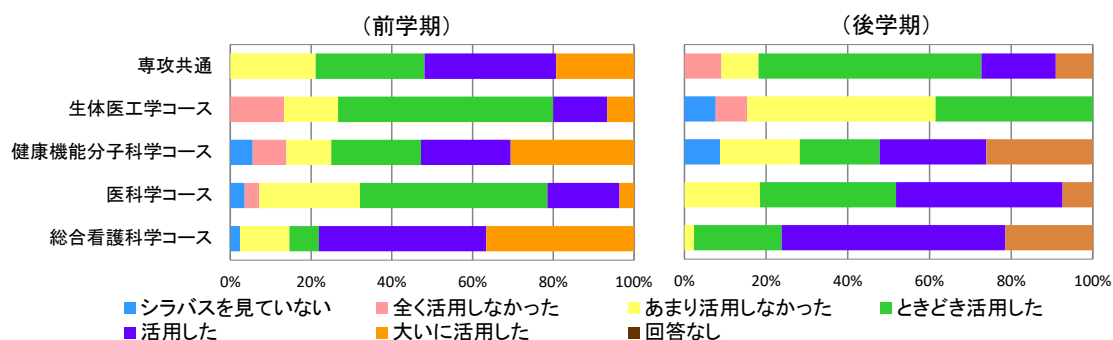
医科学コースで出席率 20%未満の割合が高かったが、社会人学生が多いことを考えると問題ではないと思われる。

A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1 回の授業ごとにどの程度しましたか



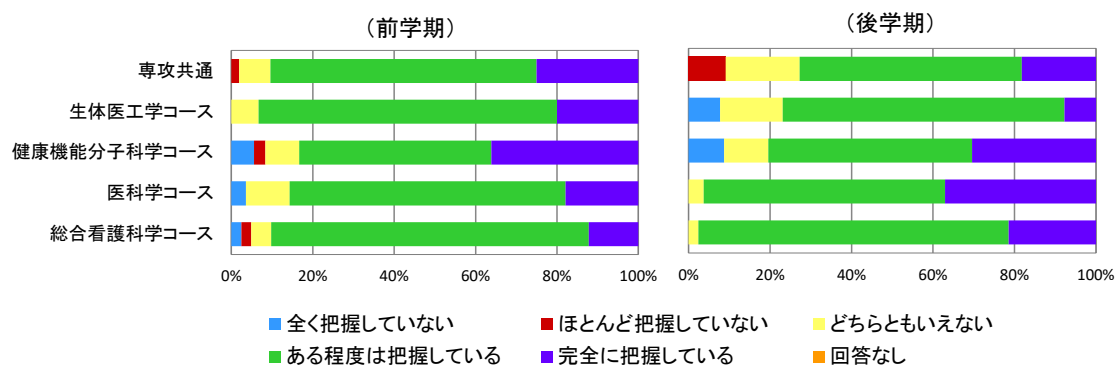
総合看護科学コースで 3 時間以上費やした割合が高かったが他のコースではばらつきが大きく統一的な傾向を抽出することは難しかった。

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか



どのコースでもときどき以上活用した割合が高かった。

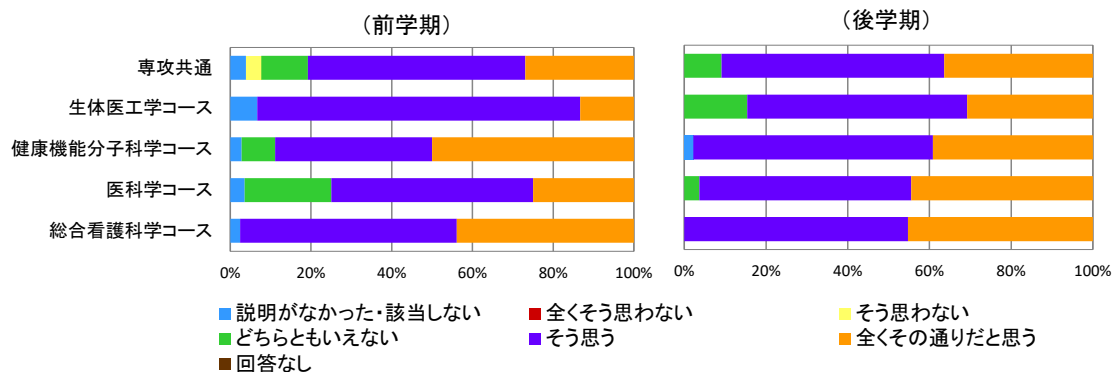
A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか



ある程度把握しているという意見がどのコースも多かった。

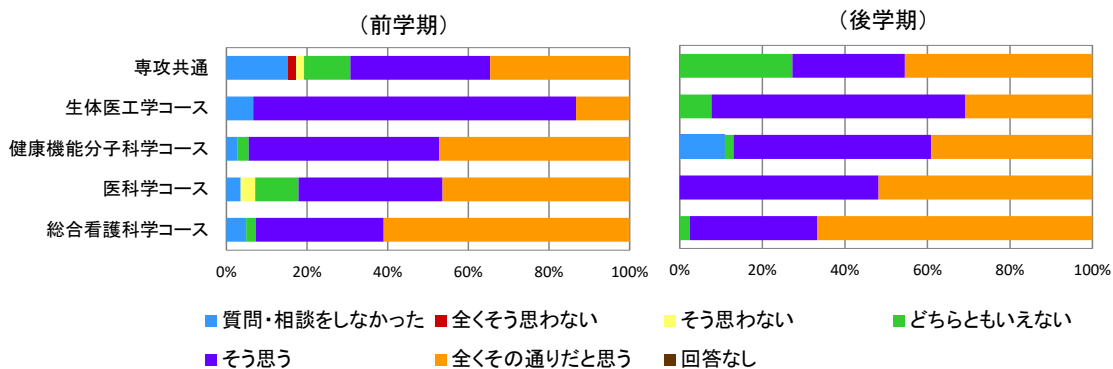
B. 教員の対応

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



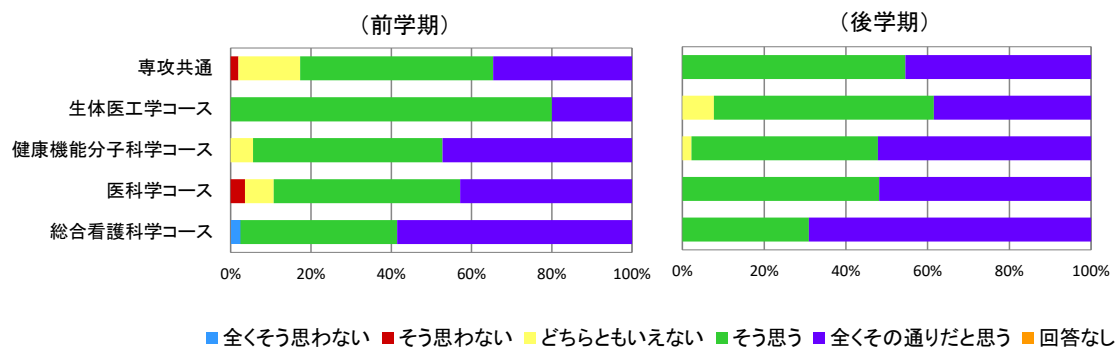
概ね有益であるという意見が多かった。

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



概ね適切に対応してくれたという意見が多かった。

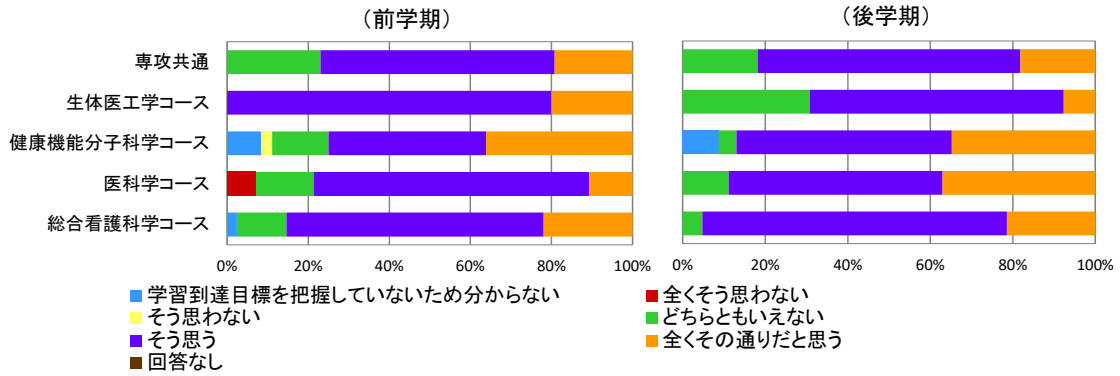
B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか



概ねそう思うという意見が多かった。

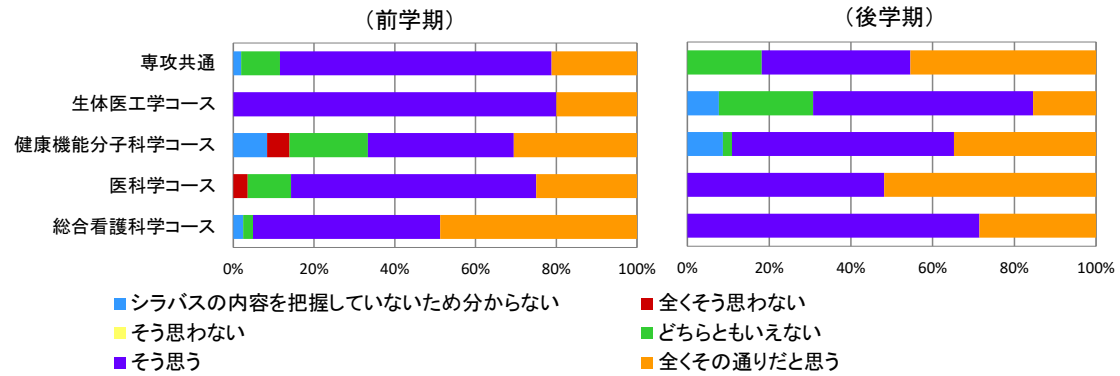
C. 授業内容および授業方法について

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか



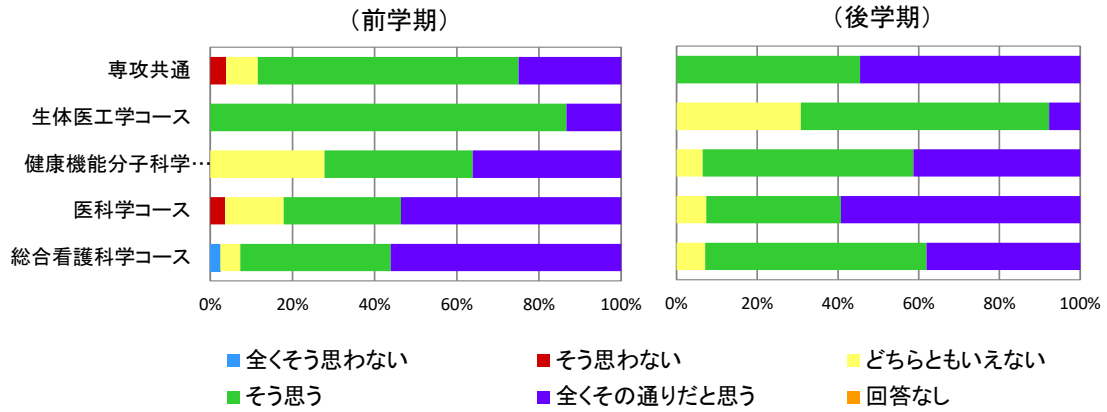
概ね達成できたという意見が多かった。

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか



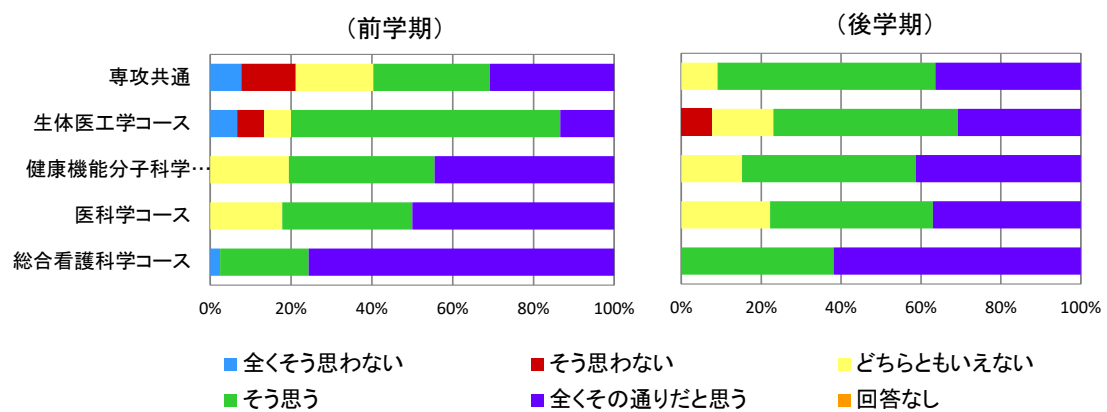
概ねシラバスに基づいているという意見が多かった。

C-3 教材（教科書、配布資料）やICT環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか



概ね授業の理解に役立つという意見が多かった。

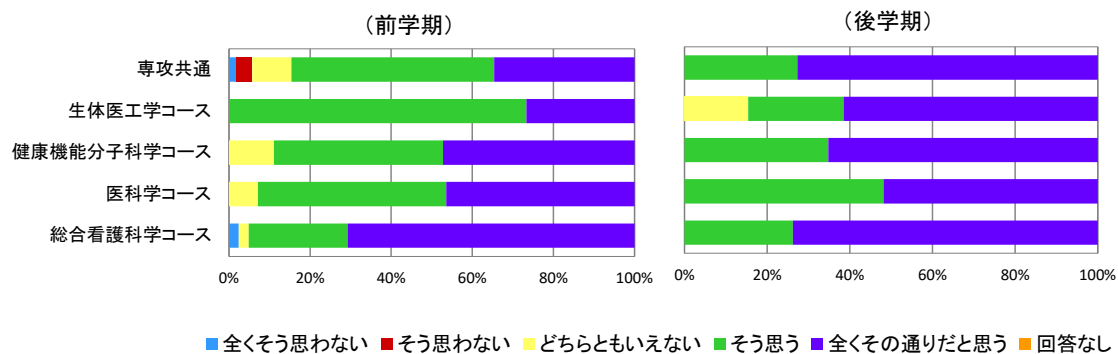
C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか



概ねそう思うという意見が多かった。

D. 満足度

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか



概ねそう思うという意見が多かった。

総括

「学生から高い評価を得ている授業科目の選考基準」

「学生から高い評価を得ている授業科目」については、授業評価アンケートの回答結果を用いて比較を行うことは困難であると判断した。学生が授業内容を真に理解するタイミングには専攻によってずれがあるため現時点での統一的な比較は適切ではないと考えられる。

「授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点」

先進健康科学研究科には社会人の学生もいるため、出席率が低いコースがあったのは問題ではないと考えている。

授業時間外学習時間が少ない学生が一定割合いたことは、学生に勉学を促すという意味では改善を要すると思われる。

今後も引き続き時間外学習を促すような指導を行っていく必要があると考えられる。

「次年度の授業改善目標」

上記に示した改善を要する点の改善を目標とする。また、授業評価アンケートの入力率向上とポートフォリオシステム（研究指導実施報告）の効果的活用に取り組む。また、該当する科目（特別研究）について、引き続きルーブリック評価の導入・定着を図る。

佐賀大学全学教育機構
令和元年度 組織別授業評価報告書

令和2年9月

佐賀大学全学教育機構質保証委員会

1. 全学教育機構の状況

全学教育機構の授業評価と分析は、下記の分類に基づいて行われる。

共通基礎科目	<ul style="list-style-type: none">・外国語科目・健康・スポーツ科目（現：共通教職科目）・情報リテラシー科目
基本教養科目	<ul style="list-style-type: none">・自然科学と技術の分野・文化の分野・現代社会の分野
インターフェース科目	<ul style="list-style-type: none">・環境コース・文化と共生コース・生活と科学コース・医療・福祉と社会コース・地域・佐賀学コース

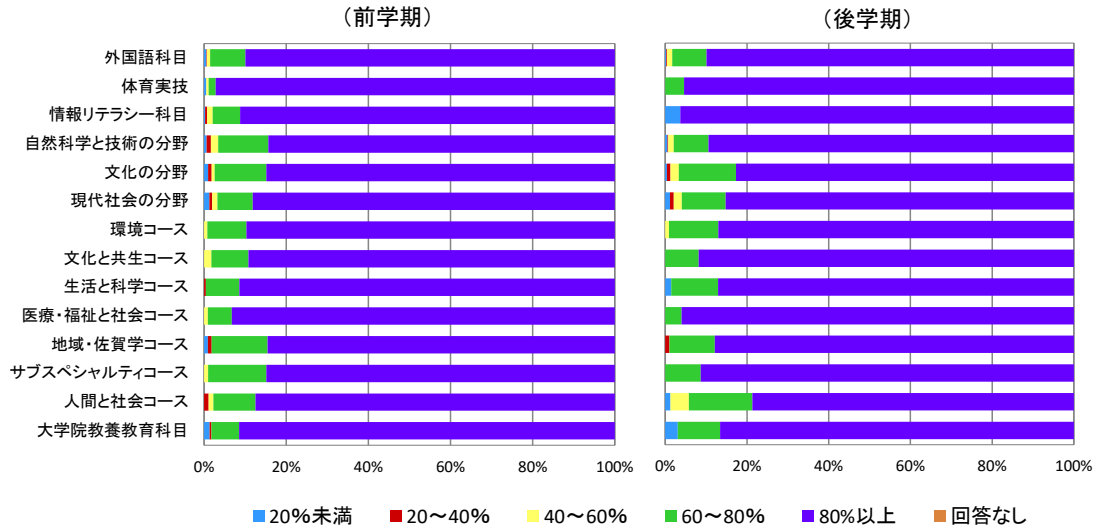
全学教育機構では、2019年度前・後期合わせて587科目が開講され、のべ受講者数は14,817名であった。教員の移動などに伴い、開講数が例年に比べて減少傾向となっている。授業アンケートは全学的にオンラインにより全授業科目で行われている。前後期合わせた科目単位での回答率は94%と高いが、受講者数から見た回答率は約5割程度である。より精度の高い分析につなげるためにも、紙媒体で実施していた時点での回答率に近づくよう、組織的な取り組みが必要である。

回答の傾向としては、設問項目によっては分野による特徴が大きく現れる場合があるものの、いずれの分野・コースとも学生の授業への取り組みは良好であると思われる。特に、「出席率」や「教員の熱意」などの回答が良好であり、結果として「授業の満足度」が高く評価されている。一方で、授業時間外学習時間については演習的科目以外の分野では十分でないため、引き続き授業課題の設定などの見直しなどによる教育改善が必要だと思われる。

2. 授業アンケート結果と分析

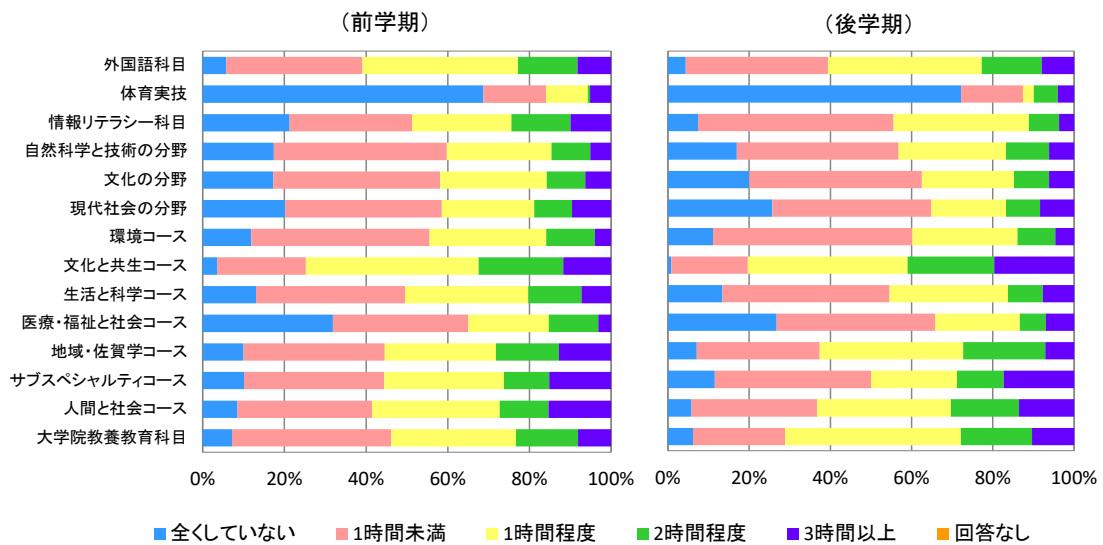
A. あなた自身について

A-1 出席率はどのくらいですか



出席率は概ね 80%以上となっていて例年同様である。後期の「情報リテラシー科目」で「20%未満」が急増しているように見えるが、後期の「情報リテラシー科目」は履修者が少なく、実数としては回答者 26 名中の 1 名であるため、科目の問題ではないと判断される。

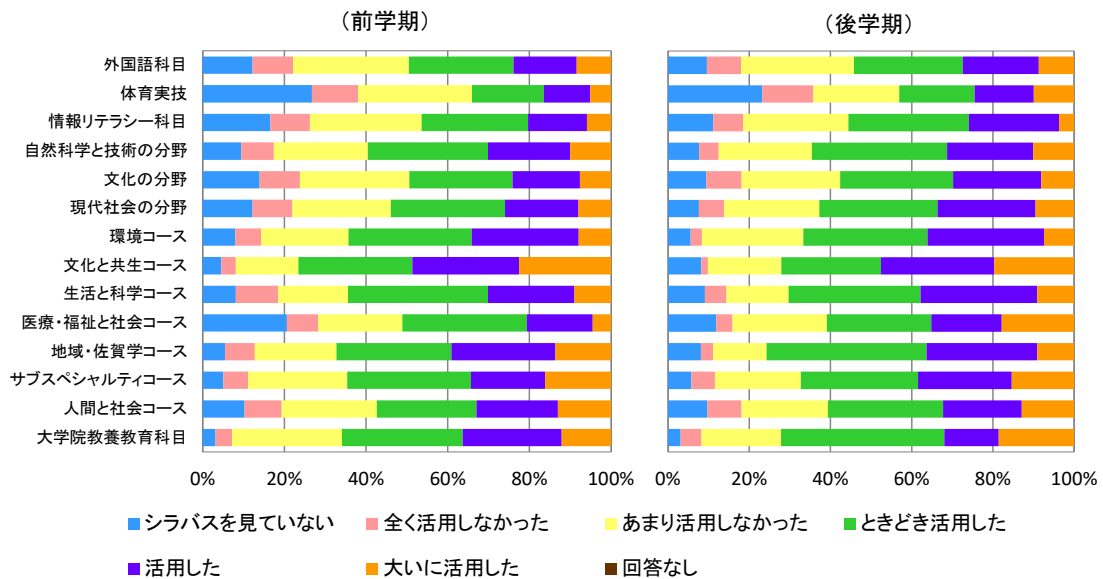
A-2 授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1 回の授業ごとにどの程度しましたか



傾向としてはあまり変化は無く、1 時間未満の割合がほぼ半分を占めている。「体育実技」

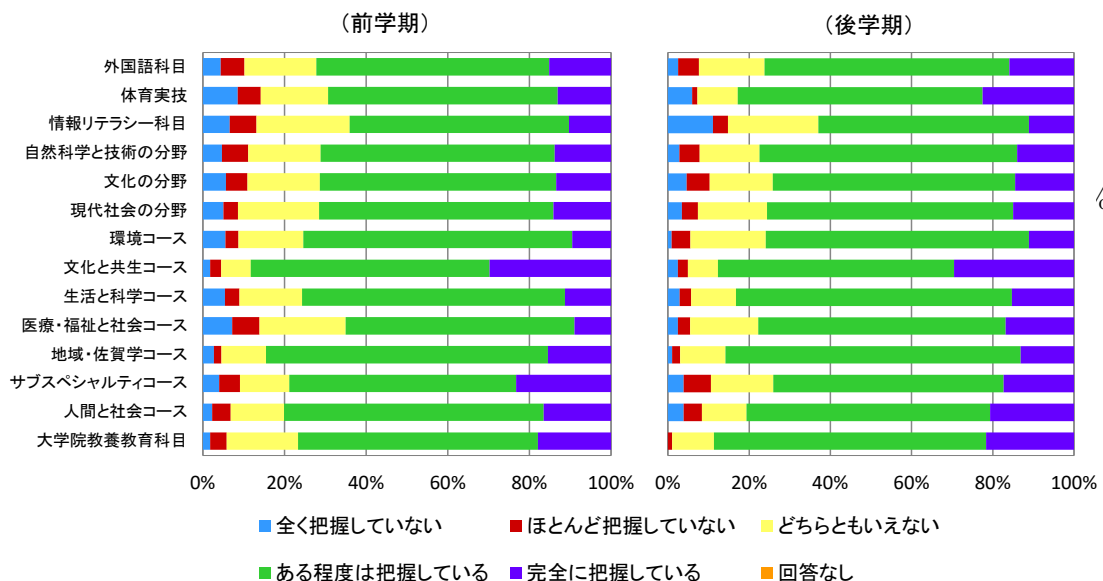
については、ある程度仕方がない面もあるが、「医療・福祉と社会コース」で「全くしていない」の比率が他科目群と比べて高い点は今後も改善を要する。一方で、「文化と共生コース」では毎年改善が見られ、今年度は1時間以上の時間外学習を行っている学生の割合が8割程度となっている。

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか



全体的に、6割程度の学生はシラバスを活用していると判断できる。しかしながら、逆に学生の1割はシラバスを見てもおらず、受け身で授業を履修している学生も一定数存在していると判断される。

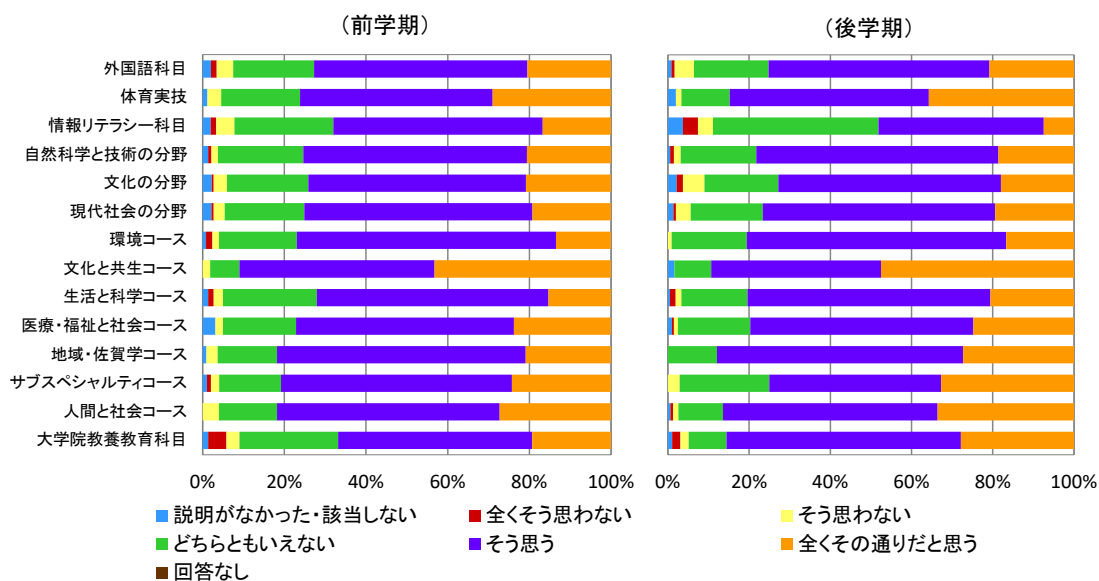
A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか



A-3 と A-4 の回答は連動するように思えるが、A-4 の方が毎回把握率が高く、今回も約 8 割の学生は学習到達目標・成績評価基準を理解しているという結果である。逆に言えば、3 割ほどの学生は「シラバスは見えていないけど成績評価基準は知っている」ということになる。このような学生の評点を分析して、シラバスの活用度と成績の相関を調べることで、シラバス改善につながるかもしれない。

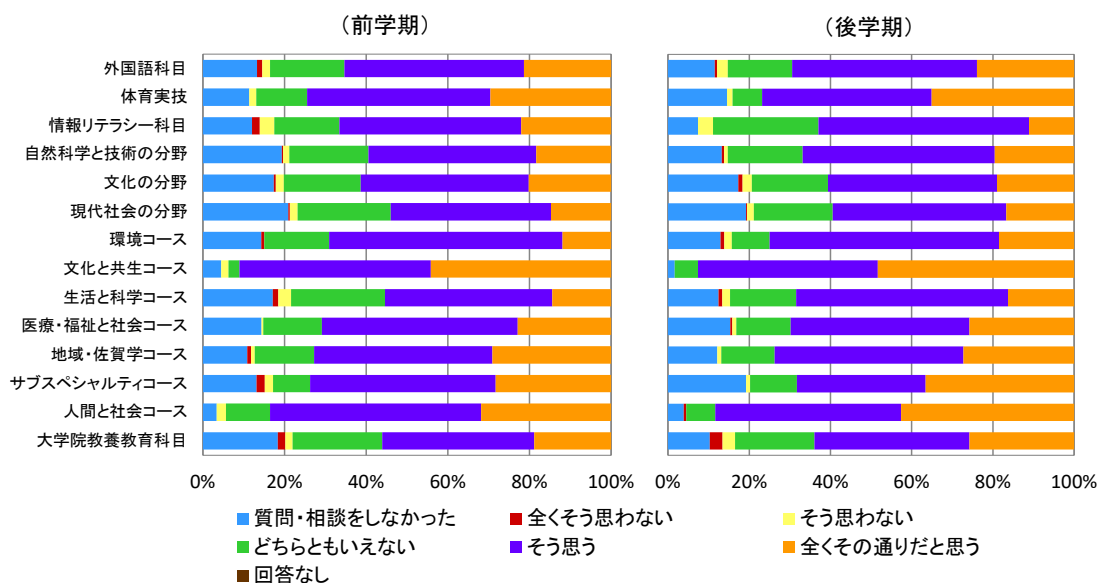
B. 教員の対応

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか



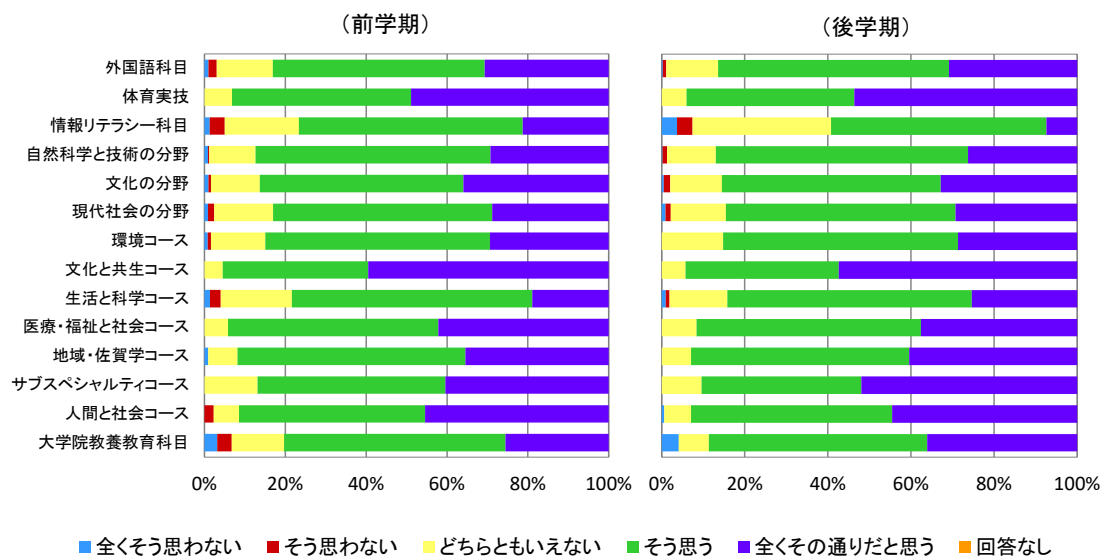
有益だと思われる回答が 8 割程度を占め、批判的な少なかった。

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか



相談をしなかった人が約20%で、専門科目の動向に比べると質問者数が少ない傾向がある。全体的には約6割（質問者の約8割）が教員の対応は適切であったと回答しており、丁寧な学習指導が行われていることがわかる。特に顕著なのは「文化と共生コース」で、時間外学習時間の増加傾向と合わせて、主体的な学びが上手に生み出されていると判断できる。

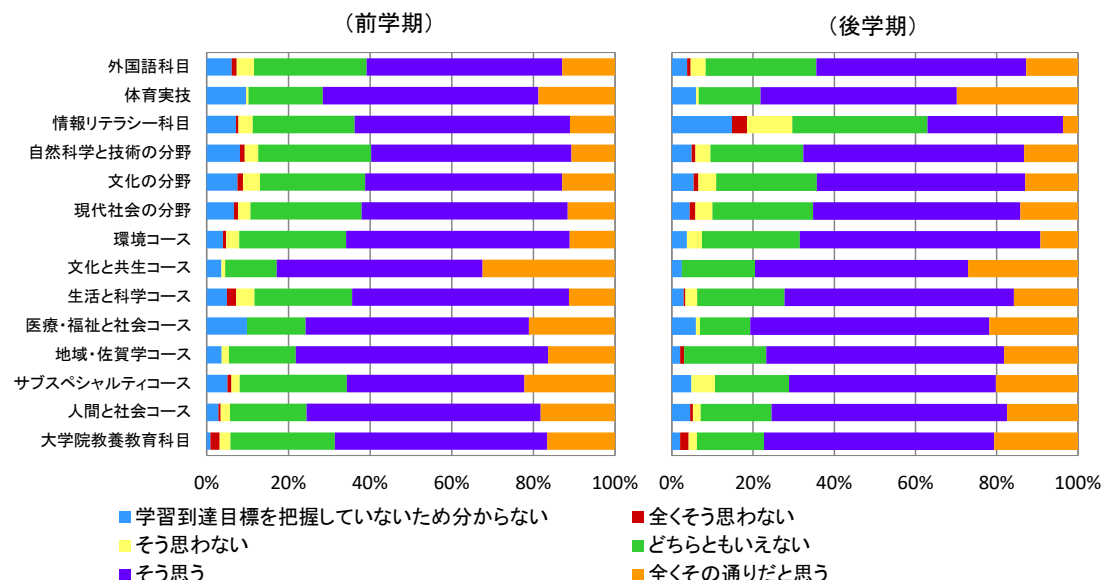
B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか



8割以上の学生が、好意的な回答をしており、批判的な回答は数%であることから教員のお授業に対する熱意は十分であると判断できる。ここでも「文化と共生コース」は、回答者のほとんどが好意的であるため、教員と受講者の良好な関係が構築されていることが伺える。

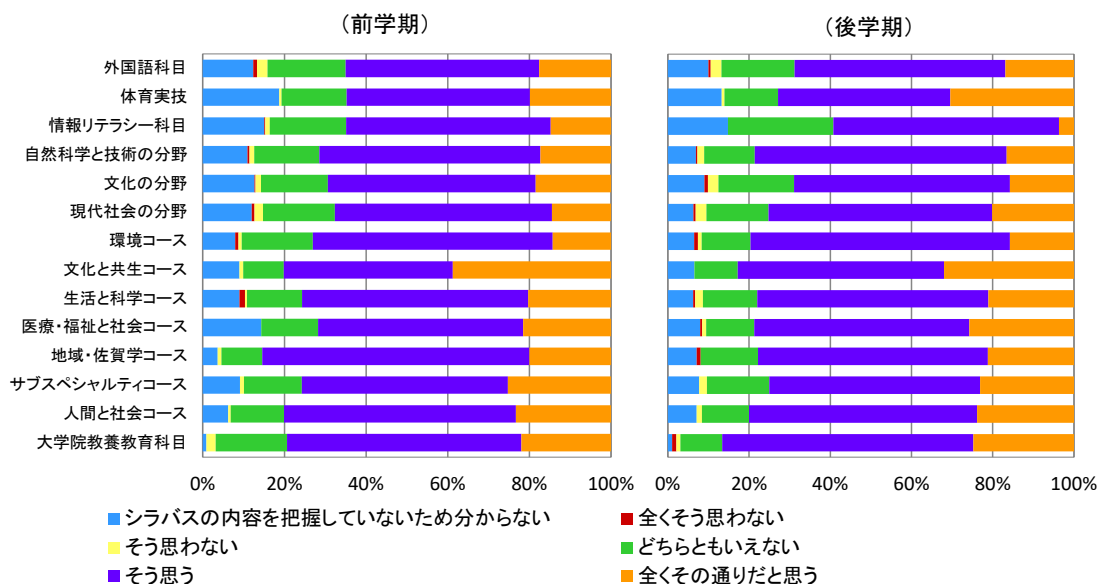
G. 授業内容および授業方法について

G-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか



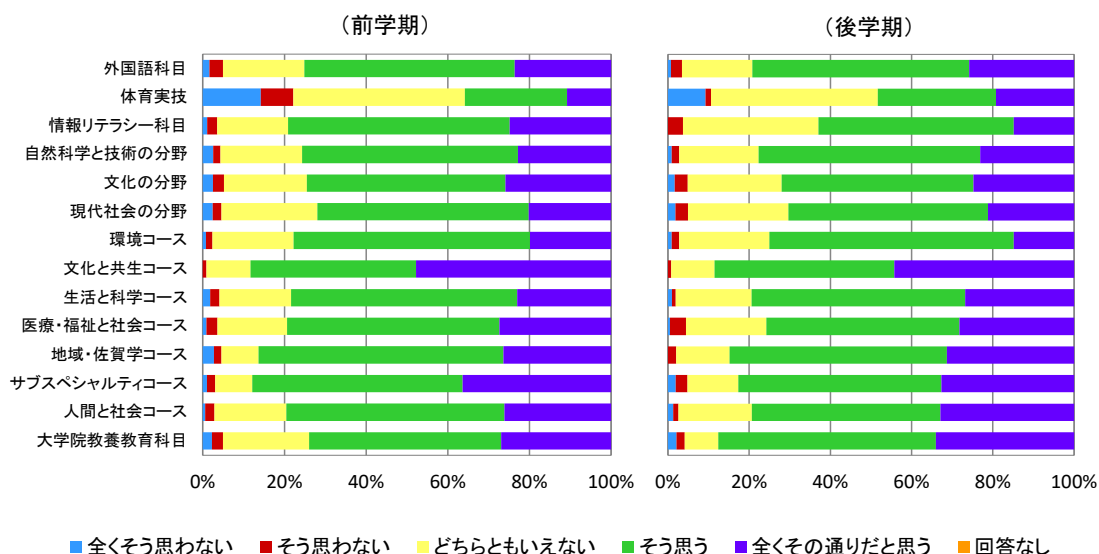
概ね7割の学生が学習到達目標を達成できたという実感しているようである。「全くその通りだと思う」の割合が増えて2割ほどになっているため、全分野で授業改善が浸透していることが示唆される。

G-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか



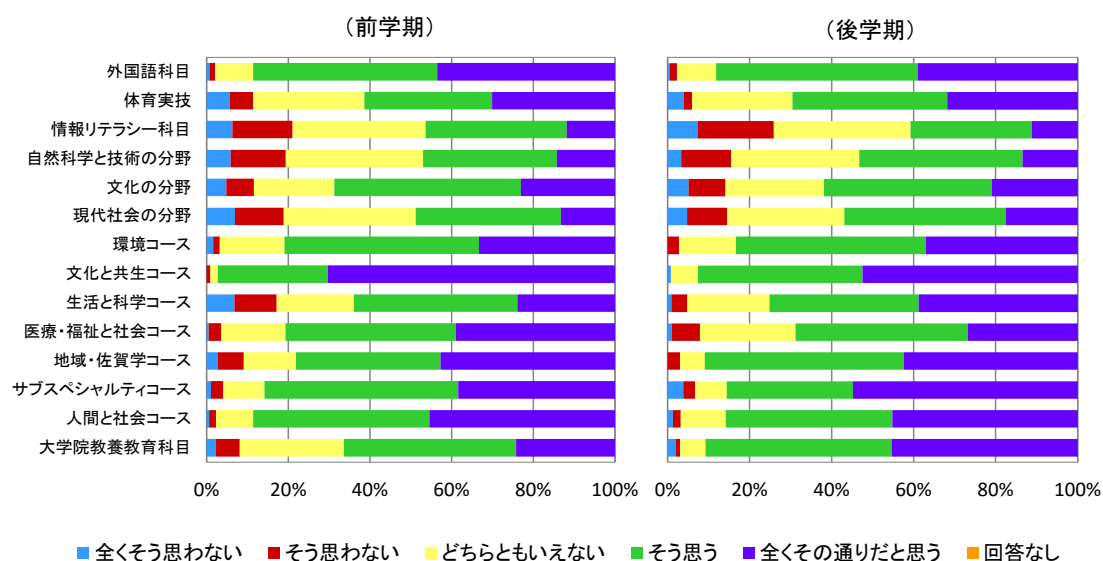
設問 A-4 と相関が良く出ており、到達目標の理解度の割合とほぼ同じ分布である。

G-3 教材（教科書、配布資料）やICT環境（LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど）は授業の理解に役立ちましたか



全体的に概ね良好ではあるが、「体育実技」の評価が突出してよくない。教材や環境面で何かあった可能性もあるが、今後も注視する必要がある。

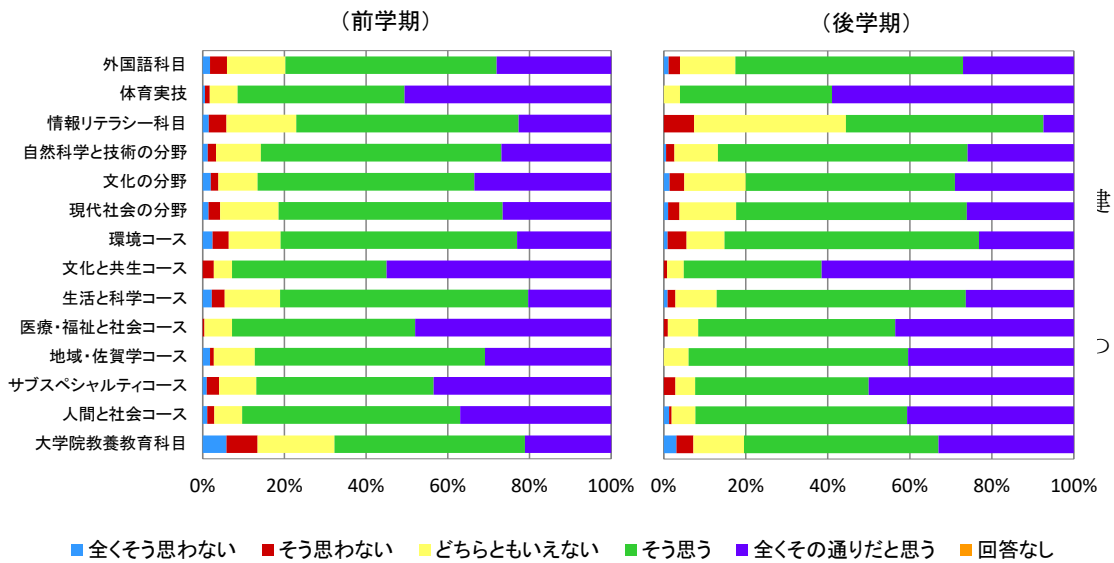
C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか



全学的にアクティブ・ラーニングの導入を進めているところであり、年々「そう思う」「全くその通りだと思う」の割合が増加している。しかし、「情報リテラシー科目」だけは昨年度比で悪くなっている。PC 端末での単独作業が中心であるため、どうしてもグループワーク等への展開は進まないのが現状と思われる。一方で、前期の「文化と共生コース」では、「全くその通り」の回答が7割を超えており、グループワークやディスカッションなどによる主体的な学びの場が授業を通して形成されていたと判断できる。

D. 満足度

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか



全体を通してどの分野とも8～9割の学生が授業に対して満足しており、特に「体育実技」や「文化と共生コース」の受講者は5割以上の受講者が「全くその通りだと思う」と回答しており非常に満足度の高さがうかがえる。一方で、満足できなかった一定数存在しており、特に前期の「大学院教養科目」や後期の「情報リテラシー科目」でその傾向が強い。各部会で分析を進めて改善につなげてもらいたい。

3. 学生から高い評価を得ている授業科目の選定基準

全学教育機構では、この項目に対する科目の選考は行っていない。

4. 授業改善の取り組み状況に係る優れた点及び改善を要する点

アンケートの回答をポイント化した平均値を表に示す。平均値が「4以上」の項目を青字、「2以下」の科目を赤字表記としている。

優れた点：

表から分かるように、A-1（出席率）、B-3（教員の熱意）、D-1（満足度）は高い。昨年度結果と比較すると、「文化と共生コース」の伸びが著しく、B-1（教育方法の説明）、B-2（教

員の対応), C-3 (教材), C-4 (グループワーク) の評点は他と比べて非常に高い。他の分野においても、微増ではあるが全体的にポイントは上昇傾向にあり、あらゆる面での教育改善が行われていることをうかがわせる。なかでも A-2 (授業外学習時間) のポイント上昇が大きく、主体的な学修の促進に向けて全学教育機構はしっかりと取り組んでいる結果であると評価できる。

改善すべき点：

組織的な授業改善に対する取り組みとして、シラバス組織的な点検、非常勤講師を対象としたシラバス作成と授業評価に関する FD 講演会、教員会議における FD 講演会の開催、授業評価アンケートの実施、TA 実施報告書の作成、および授業点検・改善報告書のオンライン入力を行った。全体的に授業評価結果の向上が見られてはいるものの、否定的な評価がなくなっているわけではない点は無視できない。一過性のものであるかもしれないが、他の科目に比べて「情報リテラシー科目」や「大学院教養科目」の満足度評価にこの傾向が強く表れている点は注視しておかなければならない

R01 年度	A-1	A-2	A-3	A-4	B-1	B-2	B-3	C-1	C-2	C-3	C-4	D-1
外国語科目	4.85	2.89	2.70	3.86	3.96	3.66	4.21	3.67	3.65	4.04	4.30	4.11
体育実技	4.95	1.55	2.07	3.79	4.11	3.77	4.48	3.81	3.49	3.33	3.87	4.51
情報リテラシー科目	4.90	2.80	2.47	3.62	3.71	3.54	3.92	3.49	3.43	4.00	3.40	3.88
自然科学と技術の分野	4.82	2.55	2.83	3.78	3.91	3.35	4.15	3.52	3.65	3.96	3.51	4.12
文化の分野	4.78	2.51	2.61	3.74	3.86	3.39	4.22	3.55	3.53	3.99	3.78	4.19
現代社会の分野	4.79	2.49	2.74	3.76	3.87	3.19	4.11	3.56	3.60	3.88	3.53	4.06
環境コース	4.88	2.59	2.96	3.76	3.92	3.69	4.19	3.67	3.71	3.92	4.15	4.01
文化と共生コース	4.82	3.26	3.13	4.05	4.22	4.33	4.41	3.95	4.02	4.30	4.40	4.40
生活と科学コース	4.84	2.64	2.87	3.86	3.91	3.39	4.09	3.70	3.79	4.04	3.94	4.08
医療・福祉と社会コース	4.94	2.24	2.59	3.71	3.97	3.56	4.34	3.80	3.70	4.02	4.03	4.38
地域・佐賀学コース	4.87	2.96	2.99	4.02	4.19	3.89	4.41	4.01	3.91	4.15	4.30	4.33
サブスペシアルティコース	4.89	2.88	3.04	3.85	4.04	3.62	4.39	3.75	3.77	4.15	4.30	4.38
人間と社会コース	4.79	2.96	2.94	4.01	4.18	4.20	4.38	3.91	3.95	4.10	4.33	4.31
大学院教養科目	4.62	3.04	3.01	4.03	3.94	3.63	4.17	3.90	4.00	4.04	4.13	4.02

5. 次年度の授業改善目標

今年度よりインターフェース科目群は一部整理され、新たに「サブスペシアルティコース」が追加されるなどしているため、経年での厳密な比較はできないとはいえ、アンケート結果からわかるように全学教育機構の授業点検・改善は良い結果を残していると判断できる。ただ一方で、基本教養科目の開講数が減少しているなどの課題は残されているため、開講数の調整を図りながら満足度の高い授業の提供に取り組んでいく。

おわりに

令和元年度も、授業評価アンケートはLive Campusによる共通アンケートシステムを用いて実施された。全学平均を俯瞰すると、B2「質問や相談への対応」、B3「担当教員の熱意」の項目の向上傾向が続いており、引き続き各教員が授業改善に熱意をもって取り組んでいる様子が伺える。特筆すべき点として、C4「グループワーク」の項目にも上昇傾向が表れていることから、全学をあげて取り組んでいるアクティブ・ラーニングの成果が出始めているのではないかとということが伺える。結果として、総合評価のD1「授業の満足度」も良い数値を継続しているといえるだろう。平成22年度よりLiveCampusによるアンケート実施体制に移行したが、各部局とも「改善すべき事項」として取り上げているように、全学的にアンケート回答率の向上に喫緊の課題として取り組まなければならない。

平成20年度から義務化されたFD活動においても、単なるFD講演会の開催・聴講に留まらず、平成24年度のティーチング・ポートフォリオ実施要項および実施要領の策定や参加型FDワークショップの開催など、FD活動全般の改善を図っている。しかしながら、佐賀大学の全教員がその趣旨を理解し、授業改善に利用しているかと問われれば、まだまだ不十分であると言わざるを得ない。数字だけ見れば、簡易版ティーチング・ポートフォリオの作成率については、平成28年度末時点で100%を達成し、「授業評価結果を用いた授業改善実施要領」に基づき実施されている「授業点検・評価報告書」の作成率も100%となっているが、この数字が実質的なものとなるよう、これらの活動を有機的に結び付け、大学全体として教育力の向上を図る必要がある。

令和元年度は、前年度に規定された教育コーディネーターを中心とした組織的な教育点検システムの構築が進められ、各教育課程では「教育課程点検・改善実施要項」を定め、教育課程の計画（P）、実行（D）、点検・評価（C）、改善（A）を担当する組織を要項に沿って規定し、組織的な内部質保証体制の構築を行った。令和元年度は点検サイクルの試行に終わったが、令和2年度からは各教育課程で実施要項に従った教育点検・改善が積極的に進められることが期待される。

[最上位](#) > [第17編 学務](#)

佐賀大学学生による授業評価実施要項

(趣旨)

第1条 授業改善を目的とする学生による授業評価（以下「授業評価」という。）の実施に関する事項は、この要項に定めるところによる。

(評価の実施)

第2条 授業を担当する教員（非常勤講師を含む。）は、学期毎、授業科目毎に授業評価（以下「個別授業評価」という。）を実施する。

2 学部及び学科等の教育組織（以下「教育組織」という。）は、前項の個別授業評価等を分析し、教育組織毎に授業評価（以下「組織別授業評価」という。）を実施する。

(評価の支援)

第3条 大学は、授業評価の実施に必要な全学共通のアンケートシステム（以下「授業評価アンケートシステム」という。）を提供し、集計を行うなどの方法により、前条の授業評価の実施を支援する。

(個別評価結果の利用)

第4条 個別授業評価の結果は、授業担当者に提供し、授業担当者は、個別授業評価の結果を授業の改善等に利用するものとする。

2 前項の規定は、各授業担当者による評価結果の公表又は提供及び組織別授業評価のための集計を妨げはない。

3 個別授業評価の結果は、教員個人の評価には用いない。

4 個別授業評価の結果は、学生個人の成績評価に利用してはならない。

(組織別評価結果の利用)

第5条 教育改善のための調査研究を行う組織は、佐賀大学教育委員会の了承を得て、授業評価の結果を利用することができる。

(調査項目等)

第6条 授業評価アンケートシステムを利用した調査項目等は別紙のとおりとする。

2 前項に規定する調査項目等を変更する場合（次項の規定により調査項目等を追加する場合を除く。）は、佐賀大学教育委員会において審議する。

3 前項の規定は、教員又は教育組織が調査項目等を追加することを妨げない。

(調査対象)

第7条 個別授業評価の対象となる授業科目は、次の各号に掲げるとおりとする。

(1) 学部が開設する授業科目

(2) 全学教育機構が開設する授業科目

(3) 研究科が開設する授業科目

2 授業科目を開設する学部等（全学教育機構及び研究科を含む。）の長が、授業科目の特性により、授業評価アンケートシステムを用いて調査することが適切でないと判断した場合は、他の方法により調査することができるものとする。この場合において、授業評価アンケートシステムを用いない授業担当者は、佐賀大学教育委員会が指定する日までに当該授業科目名を教務課に届け出るものとする。

(実施方法)

第8条 個別授業評価の実施，集計及び集計結果の公表の方法については，佐賀大学教育委員会の議を経て，委員長が別に定める。

2 前項の規定は，教員又は教育組織が，独自の調査を実施することを妨げない。

(雑則)

第9条 この要項に定めるもののほか，授業評価の実施に関して必要な事項は，佐賀大学教育委員会の議を経て，委員長が定める。

附 則

1 この要項は，平成18年10月1日から実施する。

2 この要項は，当分の間，医学部・医学系研究科には適用しない。

附 則（平成22年11月22日改正）

この要項は，平成22年11月22日から実施する。

附 則（平成25年2月5日改正）

この要項は，平成25年4月1日から実施する。

附 則（平成26年2月18日改正）

この要項は，平成26年4月1日から実施する。

附 則（平成26年4月25日改正）

この要項は，平成26年4月25日から実施し，平成26年4月1日から適用する。

附 則（令和元年8月21日改正）

この要項は，令和元年8月21日から実施し，平成31年4月1日から適用する。

[別紙（第6条関係）](#)

[最上位](#) > [第17編 学務](#)

佐賀大学学生による授業評価結果を用いた授業改善実施要項

(平成18年12月22日制定)

(趣旨)

第1条 佐賀大学学生による授業評価実施要項（平成18年6月27日制定。以下「授業評価実施要項」という。）第2条に定める個別授業評価及び組織別授業評価の結果は、授業評価実施要項に定めるもののほか、この要項の定めるところにより、授業の改善を通じて教育の質の向上に利用する。

(報告)

第2条 授業を担当する教員（非常勤講師を含む。）は、授業科目ごとに実施する授業評価の結果及び授業の改善目標について、学期ごとに、ポートフォリオ学習支援統合システムを利用して、授業全体について又は授業科目別に報告する。

2 前項の規定にかかわらず、非常勤講師については、同項中「ポートフォリオ学習支援統合システムを利用して」とあるのを「別紙様式に定める授業点検・評価報告書に準じて」と読み替えて適用する。

3 学部又は学科等（以下「教育組織」という。）は、個別授業評価及び組織別授業評価の結果に基づき、次に掲げる事項について組織別授業点検・評価報告書を作成する。

- (1) 各種アンケートの学科等別及び授業科目別の集計結果
- (2) 各種アンケートの結果から総合的に判断して、学生から高い評価を得ていると教育組織が認定する授業科目
- (3) 個別授業評価に係る情報が一切ない授業科目
- (4) 教育組織の授業改善の取組状況に係る優れた点及び改善を要する点
- (5) 次年度の学部又は学科等の授業改善目標

(報告書等の利用)

第3条 教育組織の長は、前条第3項に定める組織別授業点検・評価報告書に基づき、必要に応じて教育課程の見直し等の具体的かつ継続的な方策を講じる。

2 前条第1項及び第2項の規定による個別授業点検・評価報告書及び同条第3項の組織別授業点検・評価報告書は、教育組織が実施する研修会等に利用し、オンラインで公表する。

3 前条第3項第2号に該当する授業科目における取組は、授業の改善に広く資するよう、教育組織が実施する研修会等又は公開授業により周知する。

附 則

- 1 この要項は、平成18年12月22日から実施する。
- 2 この要項は、当分の間、医学部及び医学系研究科において実施される授業評価には適用しない

附 則

この要項は、平成20年2月8日から実施する。

附 則（平成25年9月12日改正）

この要項は、平成25年9月12日から実施する。

附 則（令和元年8月21日改正）

この要項は、令和元年8月21日から実施し、平成31年4月1日から適用する。

別紙（第6条関係）

設問Aあなた自身について

設問A-1

出席率はどのくらいですか。/ What is the percentage of your own class attendance during the whole class?

選択肢A-1

・20%未満 (under 20%) ・20～40%未満 (20～40%) ・40～60%未満 (40～60%) ・60～80%未満 (60～80%) ・80%以上 (more than 80%)

設問A-2

授業時間外学習（予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など）は、1回の授業ごとにどの程度しましたか。/ How many hours did you spend doing your homework (the preparation and review of lessons, the writing of research papers, etc.) for each lesson?

選択肢A-2

・全くしていない (0 hours) ・1時間未満 (under 1 hour) ・1時間程度 (about 1 hour) ・2時間程度 (about 2 hours) ・3時間以上 (more than 3 hours)

設問A-3

この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか。/ Did you make use of a syllabus to choose this class or to prepare and review the lessons?

選択肢A-3

・シラバスを見ていない (no idea) ・全く活用しなかった (never) ・あまり活用しなかった (little) ・ときどき活用した (sometimes) ・活用した (to some extent) ・大いに活用した (much)

設問A-4

この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか。/ I understand the objectives and assessment of academic achievement of this class.

選択肢A-4

・全く把握していない (Strongly Disagree) ・ほとんど把握していない (Disagree) ・どちらともいえない (Neutral) ・ある程度は把握している (Agree) ・完全に把握している (Strongly Agree)

設問B教員の対応

設問B-1

教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか。/ The teacher's explanation of his/her teaching methods and information about the assessment based on his/her teaching philosophy was useful.

選択肢B-1

説明がなかった・該当しない (no idea) ・全くそう思わない (Strongly Disagree) ・そう思わない (Disagree) ・どちらともいえない (Neutral) ・そう思う (Agree) ・全くその通りだと思う (Strongly Agree)

設問B-2

担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか。/ The teacher's responsiveness to students' questions and concerns was appropriate.

選択肢B-2

・質問・相談をしなかった (no idea) ・全くそう思わない (Strongly Disagree) ・そう思わない (Disagree) ・どちらともいえない (Neutral) ・そう思う (Agree) ・全くその通りだと思う (Strongly Agree)

設問B-3

教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか。 / The teacher appeared enthusiastic and interested.

選択肢B-3

・全くそう思わない (Strongly Disagree) ・そう思わない (Disagree) ・どちらともいえない (Neutral) ・そう思う (Agree) ・全くその通りだと思う (Strongly Agree)

設問C授業内容および授業方法について

設問C

この授業を主としてどの授業形態で受講しましたか。 / Which of the following was closest type for this lecture?

選択肢C-1

資料配布型・・・メールやファイルサービスなどを用いて、資料が配布される方法です (資料・教材の動画や音声などによる解説を含まないもの) / Material distribution type・・・Materials distributed using email, file service, or etc.

授業録画型・・・講義自動録画システムなどを用いて録画した講義を視聴する方法です (Streamによる動画の配信、音声付きPowerPointを含む) / Video on-demand type・・・Content provided through watching a recorded lecture.

同時中継型・・・Webexなどのライブ配信ツールを用いて生放送される講義を受講する方法です / Live lecture type・・・ Content received by joining in a lecture using a live distribution tool such as Webex.

その他の遠隔授業方式 / Other online lecture type.

対面授業だった / It was a face-to-face lecture type.

設問C授業内容および授業方法について

設問C-2

この授業の学習到達目標を達成できましたか。 / I reached the class objectives.

選択肢C-2

・学習到達目標を把握していないため分からない (no idea) ・全くそう思わない (Strongly Disagree) ・そう思わない (Disagree) ・どちらともいえない (Neutral) ・そう思う (Agree) ・全くその通りだと思う (Strongly Agree)

設問C-3

授業の内容はシラバスに基づいていましたか。 / The class was conducted based on the syllabus.

選択肢C-3

・シラバスの内容を把握していないため分からない (no idea) ・全くそう思わない (Strongly Disagree) ・そう思わない (Disagree) ・どちらともいえない (Neutral) ・そう思う (Agree) ・全くその通りだと思う (Strongly Agree)

設問C-4

教材 (教科書、配布資料) や I C T 環境 (LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど) は授業の理解に役立ちましたか。 / The learning materials (textbooks, handouts, etc.) and the ICT environment (LiveCampus, Web pages for each class, e-learning, etc.) were useful.

選択肢C-4

・全くそう思わない (Strongly Disagree) ・そう思わない (Disagree) ・どちらともいえない (Neutral) ・そう思う (Agree) ・全くその通りだと思う (Strongly Agree)

設問C-5

この授業では、学生が主体的に学べるよう他者と一緒に「書く」、「話す」、「発表する」といった活動が行われていましたか。 / To support learning autonomy, the teacher prepared "writing", "speaking", and "presentation" activities with other students.

選択肢C-5

・全くそう思わない (Strongly Disagree) ・そう思わない (Disagree) ・どちらともいえない (Neutral) ・そう思う (Agree) ・全くその通りだと思う (Strongly Agree)

設問D 満足度

設問D-1

・この授業は全体として満足できるものでしたか。 / Overall, the class was satisfactory.

選択肢D-1

・全くそう思わない (Strongly Disagree) ・そう思わない (Disagree) ・どちらともいえない (Neutral) ・そう思う (Agree) ・全くその通りだと思う (Strongly Agree)

自由記述欄

この授業科目について気づいたことがあれば、何でもお書き下さい。 / Please give your comments about this class freely.

※学籍番号(8ケタ)を記入し、鉛筆で数字をマークしてください。

実施年月日：平成 年 月 日

資料4 共通様式以外のアンケート様式 〈医学部アンケート様式〉

※ 学 籍 番 号							
0	0	0	0	0	0	0	0
1	1	1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9	9	9

授 業
科目名

〔 注 意 事 項 〕

- 折り曲げたり、汚したりしないで下さい。
- 記入にはHBの黒鉛筆を使用して下さい。
- 訂正はプラスチック消しゴムで完全に消して下さい。
- の枠をはみ出さないようにぬりつぶして下さい。

良い例 悪い例

1. この授業に関して、あなた自身を5段階（5高い・4やや高い・3中間・2やや低い・1低い）で自己評価した数値をマークして下さい。	高 い	やや 高い	中 間	やや 低い	低 い
1) 講義に対する出席の程度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
2) 復習や関連事項の自己学習の程度(1回あたり、5[3時間以上]4[2時間程度]3[1時間程度]2[1時間未満]1[全くしていない])	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
3) 授業内容の修得，理解度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>

2-1. この授業科目全般の内容について5段階（5高い・4やや高い・3中間・2やや低い・1低い）で評価した数値をマークして下さい。	高 い	やや 高い	中 間	やや 低い	低 い
1) この授業に対する総合的満足度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
2) あなたが感じたこの教科目の重要性の程度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
3) 授業内容に対して抱いた興味の種類	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
4) 講義の編成や内容における一貫性，統合性の程度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
5) 講義の工夫，講義資料等の活用・有効性の程度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
6) この授業に対する配分時間の妥当性	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>

2-2. 上記の評価に関連して、以下の項目で該当するものがあれば（複数選択可），その記号をマークして下さい。		
<A> 学習要項(シラバス)と講義の内容が一致していない	 講義の内容がばらばらである	<C> 講義内容に無意味な重複がある
<D> 一方的な講義で追いついていけない	<E> 講義資料が分かりにくい	<F> スライド，OHPなどが分かりにくい
<G> 講義内容が多すぎる	<H> 授業時間が多すぎる	<I> もっと授業時間を増やして欲しい
<J> 現行より早い時期に開講して欲しい	<K> 現行より遅い時期に開講して欲しい	

2-3. この授業科目について、上記以外で改善すべきと思うことを書いて下さい。

.....

.....

2-4. この授業科目について、よかったと思うことを書いて下さい。

.....

.....

※このアンケートと成績は関係ありません。

学生による授業評価アンケートⅡ (実習科目)

※学籍番号(8ケタ)を記入し、鉛筆で数字をマークしてください。

実施年月日：平成 年 月 日

氏名	
----	--

授業科目名	
-------	--

※学籍番号							
<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>
<1>	<1>	<1>	<1>	<1>	<1>	<1>	<1>
<2>	<2>	<2>	<2>	<2>	<2>	<2>	<2>
<3>	<3>	<3>	<3>	<3>	<3>	<3>	<3>
<4>	<4>	<4>	<4>	<4>	<4>	<4>	<4>
<5>	<5>	<5>	<5>	<5>	<5>	<5>	<5>
<6>	<6>	<6>	<6>	<6>	<6>	<6>	<6>
<7>	<7>	<7>	<7>	<7>	<7>	<7>	<7>
<8>	<8>	<8>	<8>	<8>	<8>	<8>	<8>
<9>	<9>	<9>	<9>	<9>	<9>	<9>	<9>

〔注意事項〕

- (1) 折り曲げたり、汚したりしないで下さい。
- (2) 記入にはHBの黒鉛筆を使用して下さい。
- (3) 訂正はプラスチック消しゴムで完全に消して下さい。
- (4) < > の枠をはみ出さないようにぬりつぶして下さい。



1. この実習に関して、あなた自身を5段階（5高い・4やや高い・3中間・2やや低い・1低い）で自己評価した数値をマークして下さい。	高	やや高い	中	やや低い	低
1) 実習に対する出席の程度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
2) 復習や関連事項の自己学習の程度(1回あたり, 5[3時間以上]4[2時間程度]3[1時間程度]2[1時間未満]1[全くしていない])	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
3) 実習内容の修得, 理解度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>

2-1. この実習全般の内容について5段階（5高い・4やや高い・3中間・2やや低い・1低い）で評価した数値をマークして下さい。	高	やや高い	中	やや低い	低
1) この実習に対する総合的満足度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
2) あなたが感じたこの実習の重要性の程度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
3) 実習内容に対して抱いた興味	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
4) 実習の編成や内容における一貫性, 統合性の程度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
5) 実習の工夫, 実習書や配布資料の活用・有効性の程度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
6) この実習に対する配分時間の妥当性	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
7) 実習環境の充実性	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>

2-2. 上記の評価に関連して、以下の項目で該当するものがあれば（複数選択可）、その記号をマークして下さい。
<A> 学習要項(シラバス)と実習の内容が一致していない 実習内容が多すぎる <C> 実習時間が多すぎる <D> もっと実習時間を増やして欲しい <E> 現行より早い時期に開講して欲しい <F> もっと遅い時期に開講して欲しい <G> もっと指導教員の数を増やして欲しい <H> 実習書が分かりにくい <I> 機材が不足している <J> グループの人数が多すぎる

2-3. この実習について、上記以外で改善すべきと思うことを書いて下さい。

2-4. この実習について、よかったと思うことを書いて下さい。

学生による授業評価アンケートⅢ (PhaseⅢ授業科目)

※学籍番号(8ケタ)を記入し、鉛筆で数字をマークしてください。

実施年月日：平成 年 月 日

氏名	
----	--

授業科目名	
-------	--

※学籍番号							
<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>
<1>	<1>	<1>	<1>	<1>	<1>	<1>	<1>
<2>	<2>	<2>	<2>	<2>	<2>	<2>	<2>
<3>	<3>	<3>	<3>	<3>	<3>	<3>	<3>
<4>	<4>	<4>	<4>	<4>	<4>	<4>	<4>
<5>	<5>	<5>	<5>	<5>	<5>	<5>	<5>
<6>	<6>	<6>	<6>	<6>	<6>	<6>	<6>
<7>	<7>	<7>	<7>	<7>	<7>	<7>	<7>
<8>	<8>	<8>	<8>	<8>	<8>	<8>	<8>
<9>	<9>	<9>	<9>	<9>	<9>	<9>	<9>

〔注意事項〕

- 折り曲げたり、汚したりしないで下さい。
- 記入にはHBの黒鉛筆を使用して下さい。
- 訂正はプラスチック消しゴムで完全に消して下さい。
- < > の枠をはみ出さないようにぬりつぶして下さい。



1. この授業に関して、あなた自身を5段階（5高い・4やや高い・3中間・2やや低い・1低い）で自己評価した数値をマークして下さい。	高	やや高い	中	やや低い	低
	い		間		い
1) 講義に対する出席の程度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
2) 復習や関連事項の自己学習の程度(1回あたり、5[3時間以上]4[2時間程度]3[1時間程度]2[1時間未満]1[全くしていない])	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
3) 授業内容の修得，理解度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>

2-1. この授業科目全般の内容について5段階（5高い・4やや高い・3中間・2やや低い・1低い）で評価した数値をマークして下さい。	高	やや高い	中	やや低い	低
	い		間		い
1) この授業に対する総合的満足度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
2) あなたが感じたこの教科目の重要性の程度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
3) 授業内容に対して抱いた興味の種類	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
4) 講義の編成や内容における統一性，統合性の程度	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
5) シナリオに対する興味の種類	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>
6) この授業に対する配分時間の妥当性	<5>	<4>	<3>	<2>	<1>

2-2. 上記の評価に関連して、以下の項目で該当するものがあれば（複数選択可）、その記号をマークして下さい。

<A> 講義の内容がばらばらである	 講義内容に重複がある	<C> 講義内容が少なすぎる
<D> 講義分担教員が多すぎる	<E> シラバスが統一されていない	<F> シナリオが複雑すぎる
<G> シナリオが単純すぎる	<H> もっと授業時間を増やして欲しい	<I> もっと実習時間を増やして欲しい
<J> 現行より早い時期に開講して欲しい	<K> もっと遅い時期に開講して欲しい	

2-3. この授業科目について、上記以外で改善すべきと思うことを書いて下さい。

2-4. この授業科目について、よかったと思うことを書いて下さい。

※このアンケートと成績は関係ありません。

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
全体	0.0%	0.1%	0.7%	5.5%	93.8%	0.0%
幼小連携教育コース	0.0%	0.1%	0.7%	6.1%	93.1%	0.0%
小中連携教育コース	0.0%	0.1%	0.6%	5.7%	93.6%	0.0%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
全体	14.1%	30.6%	28.6%	14.1%	12.6%	0.0%
幼小連携教育コース	14.0%	30.1%	29.6%	14.0%	12.4%	0.0%
小中連携教育コース	13.6%	29.7%	28.6%	14.6%	13.5%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
全体	11.8%	6.2%	26.1%	24.0%	16.8%	15.1%	0.0%
幼小連携教育コース	10.6%	6.8%	25.3%	25.6%	17.6%	14.0%	0.0%
小中連携教育コース	11.2%	6.3%	25.4%	23.8%	17.1%	16.1%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
全体	4.4%	4.3%	18.5%	51.3%	21.5%	0.0%
幼小連携教育コース	4.3%	4.7%	18.2%	53.6%	19.3%	0.0%
小中連携教育コース	3.9%	4.0%	18.6%	50.2%	23.3%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	1.3%	1.1%	2.6%	15.9%	49.2%	30.0%	0.0%
幼小連携教育コース	1.4%	1.1%	2.4%	16.3%	52.0%	26.7%	0.0%
小中連携教育コース	1.3%	1.1%	2.4%	15.0%	49.0%	31.2%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	10.6%	0.6%	2.0%	13.6%	40.0%	33.2%	0.0%
幼小連携教育コース	12.4%	0.5%	2.2%	14.9%	40.9%	29.1%	0.0%
小中連携教育コース	9.4%	0.6%	1.9%	13.3%	40.2%	34.5%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	0.8%	1.8%	10.4%	44.0%	43.0%	0.0%
幼小連携教育コース	0.9%	1.5%	10.1%	47.2%	40.2%	0.0%
小中連携教育コース	0.6%	1.5%	10.5%	43.6%	43.8%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	6.5%	0.9%	2.2%	22.6%	44.7%	23.1%	0.0%
幼小連携教育コース	7.4%	0.7%	2.2%	24.3%	46.1%	19.3%	0.0%
小中連携教育コース	5.7%	0.9%	2.4%	22.5%	43.8%	24.7%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	13.8%	0.7%	1.7%	15.9%	42.9%	25.0%	0.0%
幼小連携教育コース	13.4%	0.8%	1.3%	15.8%	46.3%	22.4%	0.0%
小中連携教育コース	12.7%	0.7%	1.7%	16.1%	42.9%	25.8%	0.0%

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	2.9%	3.2%	18.2%	45.2%	30.5%	0.0%
幼小連携教育コース	2.8%	3.9%	17.6%	46.2%	29.5%	0.0%
小中連携教育コース	3.1%	3.0%	18.8%	44.3%	30.8%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	3.2%	6.5%	16.2%	38.0%	36.1%	0.0%
幼小連携教育コース	3.2%	7.2%	16.5%	40.1%	32.9%	0.0%
小中連携教育コース	3.2%	5.9%	15.8%	37.8%	37.2%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	1.2%	2.9%	10.6%	44.1%	41.2%	0.0%
幼小連携教育コース	1.3%	2.9%	10.9%	47.6%	37.2%	0.0%
小中連携教育コース	1.0%	2.8%	10.6%	43.3%	42.3%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
全体	0.1%	0.1%	0.2%	5.2%	94.4%	0.0%
幼小連携教育コース	0.0%	0.1%	0.3%	5.0%	94.6%	0.0%
小中連携教育コース	0.1%	0.0%	0.1%	4.8%	95.0%	0.0%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
全体	9.3%	27.1%	27.7%	17.2%	18.7%	0.0%
幼小連携教育コース	8.9%	28.4%	30.3%	17.6%	14.7%	0.0%
小中連携教育コース	9.9%	24.9%	27.1%	17.1%	21.0%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
全体	13.5%	7.5%	18.4%	25.7%	19.2%	15.6%	0.0%
幼小連携教育コース	10.7%	6.2%	20.7%	28.3%	20.8%	13.3%	0.0%
小中連携教育コース	13.2%	7.5%	17.7%	25.2%	18.9%	17.6%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
全体	4.8%	2.0%	11.7%	59.3%	22.3%	0.0%
幼小連携教育コース	3.8%	2.0%	11.9%	63.5%	18.8%	0.0%
小中連携教育コース	5.1%	1.8%	11.6%	57.0%	24.5%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	0.9%	0.9%	2.0%	12.0%	48.4%	35.8%	0.0%
幼小連携教育コース	0.8%	0.7%	1.9%	12.6%	50.9%	33.2%	0.0%
小中連携教育コース	1.1%	1.1%	2.1%	11.7%	46.2%	37.8%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	6.9%	0.6%	1.8%	9.2%	39.3%	42.2%	0.0%
幼小連携教育コース	6.5%	0.4%	1.4%	9.9%	43.8%	38.0%	0.0%
小中連携教育コース	6.3%	0.6%	2.1%	9.1%	37.5%	44.4%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	0.2%	1.3%	7.0%	40.7%	50.9%	0.0%
幼小連携教育コース	0.3%	0.9%	6.8%	43.7%	48.3%	0.0%
小中連携教育コース	0.2%	1.4%	7.3%	38.8%	52.3%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分らない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	4.5%	0.6%	2.0%	16.0%	50.5%	26.4%	0.0%
幼小連携教育コース	4.1%	0.5%	2.0%	16.9%	54.1%	22.3%	0.0%
小中連携教育コース	4.3%	0.6%	2.0%	13.7%	50.4%	28.9%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分らない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	11.3%	1.3%	1.6%	13.0%	43.6%	29.3%	0.0%
幼小連携教育コース	9.9%	0.9%	2.0%	13.1%	48.0%	26.0%	0.0%
小中連携教育コース	10.7%	1.3%	1.8%	12.9%	42.4%	30.9%	0.0%

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	0.9%	2.5%	16.1%	47.8%	32.6%	0.0%
幼小連携教育コース	0.8%	2.3%	15.2%	52.1%	29.6%	0.0%
小中連携教育コース	1.0%	2.2%	17.3%	46.0%	33.6%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	1.8%	5.7%	11.5%	39.9%	41.1%	0.0%
幼小連携教育コース	1.8%	5.3%	11.4%	45.5%	36.1%	0.0%
小中連携教育コース	2.0%	4.6%	11.5%	36.8%	45.0%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
全体	0.7%	1.9%	7.6%	44.4%	45.5%	0.0%
幼小連携教育コース	0.5%	1.8%	7.4%	49.7%	40.6%	0.0%
小中連携教育コース	0.9%	2.1%	7.5%	42.3%	47.2%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
学校教育課程	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	60.0%	0.0%
国際文化課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
学校教育課程	0.0%	0.0%	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%
国際文化課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
学校教育課程	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%
国際文化課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
学校教育課程	0.0%	0.0%	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%
国際文化課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%
国際文化課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%
国際文化課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	0.0%	0.0%	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%
国際文化課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%
国際文化課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%
国際文化課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	0.0%	0.0%	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%
国際文化課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	0.0%	0.0%	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%
国際文化課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	0.0%	0.0%	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%
国際文化課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
学校教育課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
国際文化課程	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
学校教育課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
国際文化課程	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
学校教育課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
国際文化課程	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	50.0%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
学校教育課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
国際文化課程	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
国際文化課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
国際文化課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
国際文化課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
国際文化課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
国際文化課程	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
国際文化課程	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
国際文化課程	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育課程	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
国際文化課程	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%	98.1%	0.0%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	18.1%	34.3%	29.5%	18.1%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	15.2%	19.0%	48.6%	17.1%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	1.9%	77.1%	21.0%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	43.8%	53.3%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	1.0%	3.8%	44.8%	50.5%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	1.9%	31.4%	66.7%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分らない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	0.0%	9.5%	71.4%	19.0%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分らない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	63.8%	35.2%	0.0%

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	9.5%	42.9%	47.6%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	5.7%	28.6%	65.7%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	2.9%	46.7%	50.5%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
学校教育学研究科	3.7%	22.2%	48.1%	24.1%	1.9%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
学校教育学研究科	5.6%	1.9%	11.1%	27.8%	38.9%	14.8%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	5.6%	74.1%	20.4%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	1.9%	0.0%	13.0%	61.1%	24.1%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	9.3%	0.0%	1.9%	9.3%	51.9%	27.8%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	1.9%	3.7%	7.4%	37.0%	50.0%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	0.0%	0.0%	1.9%	3.7%	74.1%	20.4%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	3.7%	1.9%	3.7%	7.4%	59.3%	24.1%	0.0%

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	3.7%	3.7%	3.7%	55.6%	33.3%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	3.7%	1.9%	5.6%	46.3%	42.6%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
学校教育学研究科	7.4%	1.9%	11.1%	33.3%	46.3%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
芸術地域デザイン学部	0.3%	0.0%	1.1%	8.3%	90.3%	0.0%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
芸術地域デザイン学部	13.5%	34.4%	25.8%	17.8%	8.6%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
芸術地域デザイン学部	9.7%	11.5%	31.8%	27.2%	16.6%	3.2%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
芸術地域デザイン学部	6.3%	4.0%	13.8%	66.8%	9.2%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	4.3%	0.0%	0.3%	12.6%	62.2%	20.6%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	9.7%	0.3%	0.9%	9.2%	49.9%	30.1%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	0.0%	0.6%	6.9%	54.2%	38.4%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	6.9%	0.0%	0.0%	20.3%	61.6%	11.2%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	14.0%	0.0%	1.1%	14.9%	56.7%	13.2%	0.0%

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	3.2%	1.7%	20.6%	52.7%	21.8%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	1.1%	4.0%	21.2%	47.3%	26.4%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	0.0%	0.9%	9.7%	54.7%	34.7%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
芸術地域デザイン学部	0.2%	0.2%	0.4%	5.9%	93.3%	0.0%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
芸術地域デザイン学部	9.3%	27.3%	29.7%	18.2%	15.4%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
芸術地域デザイン学部	11.9%	9.3%	32.3%	24.6%	16.2%	5.7%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
芸術地域デザイン学部	5.1%	2.4%	16.2%	65.3%	10.9%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	1.2%	0.8%	1.0%	14.3%	60.0%	22.8%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	12.5%	0.4%	0.4%	10.5%	46.9%	29.3%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	0.6%	0.4%	6.9%	51.1%	41.0%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	6.1%	0.2%	2.0%	21.2%	58.2%	12.3%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	12.7%	0.2%	1.8%	17.8%	54.9%	12.7%	0.0%

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	2.0%	2.2%	26.7%	47.5%	21.6%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	1.8%	2.0%	13.7%	52.1%	30.5%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
芸術地域デザイン学部	0.6%	1.4%	7.5%	46.3%	44.2%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	3.6%	30.9%	34.5%	30.9%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	9.1%	18.2%	43.6%	29.1%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	70.9%	29.1%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	45.5%	54.5%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	32.7%	65.5%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	1.8%	1.8%	21.8%	74.5%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	1.8%	1.8%	3.6%	52.7%	40.0%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	49.1%	49.1%	0.0%

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	3.6%	1.8%	32.7%	61.8%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	1.8%	25.5%	72.7%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	1.8%	27.3%	70.9%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	2.4%	9.5%	88.1%	0.0%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	16.7%	23.8%	59.5%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	2.4%	9.5%	7.1%	31.0%	50.0%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	2.4%	42.9%	54.8%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	31.0%	69.0%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	26.2%	73.8%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	83.3%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分らない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	35.7%	59.5%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分らない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	11.9%	35.7%	52.4%	0.0%

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	71.4%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	2.4%	23.8%	73.8%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
地域デザイン研究科	0.0%	0.0%	0.0%	26.2%	73.8%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
1年次科目	0.2%	0.1%	0.6%	4.9%	94.2%	0.0%
経済学科	1.1%	2.2%	1.4%	12.8%	82.6%	0.0%
経営学科	0.9%	1.9%	2.4%	12.4%	82.4%	0.0%
経済法学科	0.8%	1.1%	1.1%	8.8%	88.1%	0.0%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
1年次科目	14.4%	47.1%	26.3%	6.6%	5.7%	0.0%
経済学科	9.0%	38.3%	31.8%	11.1%	9.8%	0.0%
経営学科	13.1%	48.1%	21.7%	9.9%	7.3%	0.0%
経済法学科	9.6%	33.3%	36.4%	15.7%	5.0%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
1年次科目	10.0%	8.3%	23.9%	28.0%	22.0%	7.7%	0.0%
経済学科	3.0%	9.0%	19.6%	30.7%	22.6%	15.2%	0.0%
経営学科	1.5%	6.4%	18.9%	34.8%	23.4%	15.0%	0.0%
経済法学科	3.1%	7.7%	21.1%	31.8%	21.5%	14.9%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
1年次科目	4.9%	5.3%	21.2%	56.3%	12.2%	0.0%
経済学科	1.6%	5.4%	20.1%	56.5%	16.3%	0.0%
経営学科	1.3%	4.1%	19.5%	55.8%	19.3%	0.0%
経済法学科	2.3%	2.3%	12.3%	65.1%	18.0%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次科目	2.0%	1.1%	2.8%	21.6%	58.7%	13.8%	0.0%
経済学科	1.4%	0.0%	2.2%	19.3%	50.0%	27.2%	0.0%
経営学科	1.3%	1.7%	4.1%	17.2%	48.9%	26.8%	0.0%
経済法学科	1.5%	0.4%	0.8%	11.9%	60.2%	25.3%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次科目	25.5%	1.1%	2.3%	24.3%	35.8%	11.0%	0.0%
経済学科	18.2%	0.3%	0.8%	20.9%	35.9%	23.9%	0.0%
経営学科	16.1%	1.7%	2.1%	21.9%	38.0%	20.2%	0.0%
経済法学科	21.1%	0.0%	0.4%	10.3%	46.0%	22.2%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次科目	1.0%	2.6%	17.8%	59.6%	19.0%	0.0%
経済学科	0.3%	0.3%	13.6%	47.3%	38.6%	0.0%
経営学科	1.1%	2.4%	16.7%	48.9%	30.9%	0.0%
経済法学科	0.4%	0.4%	7.7%	51.0%	40.6%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次科目	5.8%	0.6%	3.7%	28.0%	50.9%	10.9%	0.0%
経済学科	2.7%	0.8%	3.8%	28.5%	46.7%	17.4%	0.0%
経営学科	3.9%	1.3%	6.2%	24.2%	48.9%	15.5%	0.0%
経済法学科	2.7%	0.4%	3.8%	25.3%	50.6%	17.2%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次科目	10.3%	0.4%	1.9%	18.1%	55.5%	13.9%	0.0%
経済学科	6.0%	0.5%	1.6%	16.3%	50.5%	25.0%	0.0%
経営学科	3.2%	1.5%	2.8%	17.8%	53.0%	21.7%	0.0%
経済法学科	5.4%	0.0%	1.5%	10.7%	57.9%	24.5%	0.0%

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次科目	1.1%	2.8%	21.3%	56.4%	18.3%	0.0%
経済学科	0.0%	1.4%	21.2%	49.5%	28.0%	0.0%
経営学科	3.0%	1.7%	20.0%	50.0%	25.3%	0.0%
経済法学科	0.8%	2.3%	17.6%	55.6%	23.8%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
--	----------	--------	-----------	------	------------	------

1年次科目	3.6%	9.6%	32.4%	40.4%	13.9%	0.0%
経済学科	2.7%	7.1%	30.4%	35.9%	23.9%	0.0%
経営学科	2.8%	6.0%	30.5%	42.7%	18.0%	0.0%
経済法学科	2.7%	8.4%	28.4%	39.5%	21.1%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次科目	1.5%	3.5%	16.3%	58.1%	20.6%	0.0%
経済学科	0.5%	3.0%	16.0%	48.6%	31.8%	0.0%
経営学科	2.1%	2.1%	16.3%	51.1%	28.3%	0.0%
経済法学科	1.1%	1.1%	8.0%	56.7%	33.0%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
1年次科目	1.8%	2.0%	3.0%	11.7%	81.5%	0.0%
経済学科	1.1%	0.9%	2.9%	15.4%	79.7%	0.0%
経営学科	0.8%	1.0%	0.8%	8.7%	88.8%	0.0%
経済法学科	1.9%	0.6%	3.5%	19.2%	74.8%	0.0%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
1年次科目	11.7%	31.4%	37.0%	12.3%	7.6%	0.0%
経済学科	12.0%	36.5%	34.7%	12.2%	4.5%	0.0%
経営学科	16.2%	44.3%	28.9%	6.3%	4.4%	0.0%
経済法学科	19.5%	39.3%	27.4%	9.7%	4.1%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
1年次科目	8.0%	7.4%	30.2%	26.2%	21.1%	7.2%	0.0%
経済学科	5.1%	6.0%	26.3%	25.8%	24.1%	12.7%	0.0%
経営学科	4.6%	7.0%	23.4%	28.7%	26.6%	9.7%	0.0%
経済法学科	8.8%	5.3%	21.1%	35.2%	23.0%	6.6%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
1年次科目	4.0%	6.6%	21.7%	56.5%	11.3%	0.0%
経済学科	2.9%	3.1%	16.9%	62.1%	14.9%	0.0%
経営学科	3.4%	4.6%	14.8%	60.3%	16.9%	0.0%
経済法学科	3.1%	4.4%	18.2%	61.3%	12.9%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次科目	2.0%	2.8%	4.2%	24.1%	53.7%	13.3%	0.0%
経済学科	1.3%	0.9%	3.3%	18.7%	51.7%	24.1%	0.0%
経営学科	1.5%	0.6%	1.9%	14.4%	58.2%	23.4%	0.0%
経済法学科	1.3%	0.3%	3.8%	19.2%	60.4%	15.1%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次科目	15.9%	1.4%	3.4%	22.1%	38.0%	19.3%	0.0%
経済学科	17.1%	0.0%	1.8%	26.5%	34.1%	20.5%	0.0%
経営学科	21.1%	0.8%	2.3%	15.8%	42.0%	18.1%	0.0%
経済法学科	18.9%	0.3%	1.6%	20.1%	44.0%	15.1%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次科目	1.2%	3.6%	15.7%	57.1%	22.5%	0.0%
経済学科	0.4%	1.1%	16.5%	52.6%	29.4%	0.0%
経営学科	0.8%	1.0%	9.9%	56.3%	32.1%	0.0%
経済法学科	0.3%	0.6%	11.3%	61.0%	26.7%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次科目	4.4%	2.6%	3.8%	25.6%	54.3%	9.3%	0.0%
経済学科	4.9%	1.3%	4.0%	27.2%	48.6%	14.0%	0.0%
経営学科	6.3%	0.6%	2.1%	24.5%	51.5%	15.0%	0.0%
経済法学科	4.1%	0.9%	3.5%	28.9%	51.3%	11.3%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次科目	8.2%	1.0%	3.6%	18.5%	54.9%	13.9%	0.0%
経済学科	8.2%	0.2%	2.9%	17.4%	53.0%	18.3%	0.0%
経営学科	8.7%	0.4%	1.3%	14.1%	54.6%	20.9%	0.0%
経済法学科	8.8%	0.3%	1.9%	18.2%	57.9%	12.9%	0.0%

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次科目	2.0%	3.6%	17.7%	54.1%	22.7%	0.0%
経済学科	2.0%	2.7%	19.4%	49.7%	26.3%	0.0%
経営学科	1.1%	1.7%	21.7%	51.0%	24.5%	0.0%
経済法学科	1.6%	0.9%	18.6%	60.1%	18.9%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
--	----------	--------	-----------	------	------------	------

1年次科目	2.6%	8.0%	24.5%	49.1%	15.9%	0.0%
経済学科	3.6%	6.5%	29.6%	38.8%	21.6%	0.0%
経営学科	3.2%	6.3%	28.9%	47.7%	13.9%	0.0%
経済法学科	3.5%	10.7%	33.0%	40.9%	11.9%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
1年次科目	2.0%	4.8%	17.3%	55.5%	20.5%	0.0%
経済学科	1.1%	4.2%	14.0%	54.6%	26.1%	0.0%
経営学科	0.6%	2.1%	12.2%	53.4%	31.7%	0.0%
経済法学科	0.6%	2.5%	14.5%	62.3%	20.1%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20~40%	40~60%	60~80%	80%以上	回答なし
数理科学科	0	0	4	24	222	0
物理科学科	0	6	6	44	184	0
知能情報システム学科	16	0	14	90	994	0
機能物質化学科	0	2	6	44	824	0
機械システム工学科	2	0	4	36	884	0
電気電子工学科	4	2	2	122	788	0
都市工学科	2	0	8	60	772	0
理工学科	16	20	28	308	6324	0

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
数理科学科	0	42	98	78	32	0
物理科学科	14	28	96	70	32	0
知能情報システム学科	74	238	430	246	126	0
機能物質化学科	46	284	276	154	116	0
機械システム工学科	56	308	294	136	132	0
電気電子工学科	62	254	366	118	118	0
都市工学科	34	236	296	102	174	0
理工学科	936	2368	2422	736	234	0

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
数理科学科	34	2	84	66	58	6	0
物理科学科	42	16	48	78	24	32	0
知能情報システム学科	36	88	292	378	240	80	0
機能物質化学科	82	82	192	248	210	62	0
機械システム工学科	34	52	184	304	182	170	0
電気電子工学科	32	40	192	242	278	134	0
都市工学科	66	78	186	222	194	96	0
理工学科	818	552	1902	2024	1016	384	0

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
数理科学科	2	6	20	182	40	0
物理科学科	2	6	18	176	38	0
知能情報システム学科	36	54	226	684	114	0
機能物質化学科	50	52	130	526	118	0
機械システム工学科	28	34	96	566	202	0
電気電子工学科	14	32	116	586	170	0
都市工学科	24	44	124	520	130	0
理工学科	324	438	1640	3704	590	0

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	0	0	4	42	154	50	0
物理科学科	4	2	4	46	142	42	0
知能情報システム学科	10	16	52	260	638	138	0
機能物質化学科	36	8	20	140	478	194	0
機械システム工学科	6	16	26	164	478	236	0
電気電子工学科	4	8	16	132	524	234	0
都市工学科	10	26	30	164	446	166	0
理工学科	106	48	266	2006	3516	754	0

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	26	0	4	26	150	44	0
物理科学科	24	2	2	28	116	68	0
知能情報システム学科	84	18	28	250	570	164	0
機能物質化学科	92	6	12	132	410	224	0
機械システム工学科	70	12	14	156	416	258	0
電気電子工学科	120	0	6	144	410	238	0
都市工学科	170	12	20	146	308	186	0
理工学科	1166	28	162	1388	3054	898	0

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	0	0	22	176	52	0
物理科学科	4	2	28	138	68	0
知能情報システム学科	24	48	248	604	190	0
機能物質化学科	18	14	114	490	240	0
機械システム工学科	12	18	148	466	282	0
電気電子工学科	4	6	62	568	278	0
都市工学科	20	18	108	456	240	0
理工学科	78	166	1270	4014	1168	0

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していない/分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	4	0	4	68	144	30	0
物理科学科	24	4	22	76	80	34	0
知能情報システム学科	6	14	62	322	628	82	0
機能物質化学科	70	12	48	182	444	120	0
機械システム工学科	40	26	36	196	392	236	0
電気電子工学科	22	12	34	226	478	146	0
都市工学科	32	28	50	234	368	130	0
理工学科	464	48	284	2180	3146	574	0

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバス内容把握していない/分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	30	0	0	38	146	36	0
物理科学科	44	0	6	32	128	30	0
知能情報システム学科	32	22	18	220	662	160	0
機能物質化学科	114	4	10	92	508	148	0
機械システム工学科	32	20	10	160	450	254	0
電気電子工学科	32	12	10	94	558	212	0
都市工学科	56	4	18	120	480	164	0
理工学科	860	16	122	1534	3332	832	0

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	0	18	62	124	46	0
物理科学科	4	2	42	140	52	0
知能情報システム学科	14	44	232	602	222	0
機能物質化学科	26	28	206	444	172	0

機械システム工学科	8	42	184	430	262	0
電気電子工学科	6	22	194	482	214	0
都市工学科	48	36	168	424	166	0
理工学科	140	168	1850	3636	902	0

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	18	6	48	136	42	0
物理科学科	8	10	56	118	48	0
知能情報システム学科	60	116	344	472	122	0
機能物質化学科	36	74	208	392	166	0
機械システム工学科	24	58	180	394	270	0
電気電子工学科	30	64	212	436	176	0
都市工学科	76	96	208	298	164	0
理工学科	404	690	2544	2466	592	0

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	0	6	26	174	44	0
物理科学科	6	4	32	140	58	0
知能情報システム学科	40	54	212	644	164	0
機能物質化学科	8	48	86	522	212	0
機械システム工学科	20	34	136	432	304	0
電気電子工学科	10	20	74	582	232	0
都市工学科	36	30	106	450	220	0
理工学科	96	260	1236	3952	1152	0

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20~40%	40~60%	60~80%	80%以上	回答なし
数理科学科	1	0	6	15	90	0
物理科学科	0	4	3	13	115	0
知能情報システム学科	1	1	9	53	404	0
機能物質化学科	1	2	6	36	503	0
機械システム工学科	0	3	5	31	408	0
電気電子工学科	0	1	6	87	598	0
都市工学科	10	4	4	29	399	0
理工学科	2	13	35	257	3652	0

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
数理科学科	6	33	45	19	9	0
物理科学科	8	31	48	23	25	0
知能情報システム学科	25	160	163	75	45	0
機能物質化学科	30	162	163	100	93	0
機械システム工学科	11	113	149	83	91	0
電気電子工学科	28	179	279	128	78	0
都市工学科	59	130	96	70	91	0
理工学科	459	1374	1360	485	281	0

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
数理科学科	12	2	30	23	21	24	0
物理科学科	17	13	39	41	12	13	0
知能情報システム学科	31	30	100	154	114	39	0
機能物質化学科	63	28	101	147	158	51	0
機械システム工学科	21	16	80	151	116	63	0
電気電子工学科	24	50	125	201	172	120	0
都市工学科	31	30	91	136	123	35	0
理工学科	276	188	768	1248	1058	421	0

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
数理科学科	2	6	11	62	31	0
物理科学科	2	4	20	78	31	0
知能情報システム学科	17	15	72	314	50	0
機能物質化学科	30	19	62	348	89	0
機械システム工学科	18	7	71	232	119	0
電気電子工学科	7	21	68	408	188	0
都市工学科	24	9	66	280	67	0
理工学科	111	85	724	2439	600	0

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	3	0	6	13	54	36	0
物理科学科	0	1	1	19	85	29	0
知能情報システム学科	2	5	16	99	274	72	0
機能物質化学科	29	4	9	74	325	107	0
機械システム工学科	1	2	17	77	198	152	0
電気電子工学科	2	1	4	94	397	194	0
都市工学科	7	0	5	103	247	84	0
理工学科	48	34	112	799	2331	635	0

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	19	0	1	6	44	42	0
物理科学科	13	1	0	9	71	41	0
知能情報システム学科	36	1	13	58	243	117	0
機能物質化学科	72	2	7	70	265	132	0
機械システム工学科	36	3	9	77	177	145	0
電気電子工学科	83	2	3	85	304	215	0
都市工学科	70	0	4	106	175	91	0
理工学科	502	31	108	679	1938	701	0

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	0	0	9	54	49	0
物理科学科	0	2	11	71	51	0
知能情報システム学科	4	10	58	284	112	0
機能物質化学科	13	4	60	318	153	0
機械システム工学科	2	4	67	184	190	0
電気電子工学科	0	4	63	360	265	0
都市工学科	2	3	74	242	125	0
理工学科	22	92	665	2315	865	0

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していない/把握しているが不明	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	4	0	9	13	55	31	0
物理科学科	4	4	9	34	58	26	0
知能情報システム学科	19	2	11	95	293	48	0
機能物質化学科	44	13	24	112	276	79	0
機械システム工学科	18	3	15	97	221	93	0
電気電子工学科	6	8	20	112	399	147	0
都市工学科	22	5	22	127	215	55	0
理工学科	120	32	145	1072	2067	523	0

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバス内容把握していない/把握しているが不明	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	13	0	5	10	56	28	0
物理科学科	7	0	1	22	76	29	0
知能情報システム学科	37	2	5	64	285	75	0
機能物質化学科	55	7	6	65	308	107	0
機械システム工学科	16	0	6	79	198	148	0
電気電子工学科	20	1	3	68	396	204	0
都市工学科	26	0	3	73	275	69	0
理工学科	216	22	62	727	2309	623	0

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	0	2	27	53	30	0
物理科学科	0	2	38	63	32	0
知能情報システム学科	4	14	91	260	99	0
機能物質化学科	14	12	119	281	122	0

機械システム工学科	3	12	106	178	148	0
電気電子工学科	7	16	142	321	206	0
都市工学科	9	9	111	234	83	0
理工学科	51	93	889	2160	766	0

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	0	14	15	36	47	0
物理科学科	1	18	33	51	32	0
知能情報システム学科	15	59	132	168	94	0
機能物質化学科	19	34	141	238	116	0
機械システム工学科	2	19	110	162	154	0
電気電子工学科	12	42	156	274	208	0
都市工学科	26	35	132	171	82	0
理工学科	103	282	1129	1830	615	0

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理科学科	0	2	8	60	42	0
物理科学科	0	4	12	79	40	0
知能情報システム学科	2	18	64	282	102	0
機能物質化学科	3	18	46	334	147	0
機械システム工学科	3	9	68	189	178	0
電気電子工学科	3	13	64	382	230	0
都市工学科	3	7	79	254	103	0
理工学科	44	121	632	2320	842	0

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20~40%	40~60%	60~80%	80%以上	回答なし
数学コース	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	91.7%	0.0%
物理学コース	0.0%	0.0%	0.0%	37.5%	62.5%	0.0%
データサイエンスコース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
知能情報工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	7.3%	92.7%	0.0%
機能材料化学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
機械エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
機械システム工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
電気電子工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	98.9%	0.0%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
数学コース	0.0%	12.5%	20.8%	4.2%	62.5%	0.0%
物理学コース	0.0%	0.0%	12.5%	25.0%	62.5%	0.0%
データサイエンスコース	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
知能情報工学コース	7.3%	29.3%	43.9%	14.6%	4.9%	0.0%
機能材料化学コース	0.0%	12.5%	47.2%	19.4%	20.8%	0.0%
機械エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	66.7%	20.0%	13.3%	0.0%
機械システム工学コース	0.0%	38.5%	46.2%	7.7%	7.7%	0.0%
電気電子工学コース	4.3%	23.7%	26.9%	18.3%	26.9%	0.0%
都市基盤工学コース	10.0%	10.0%	20.0%	20.0%	40.0%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	3.4%	17.2%	79.3%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
数学コース	0.0%	25.0%	4.2%	25.0%	16.7%	29.2%	0.0%
物理学コース	12.5%	0.0%	12.5%	37.5%	12.5%	25.0%	0.0%
データサイエンスコース	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
知能情報工学コース	0.0%	0.0%	17.1%	22.0%	51.2%	9.8%	0.0%
機能材料化学コース	0.0%	4.2%	36.1%	29.2%	13.9%	16.7%	0.0%
機械エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	6.7%	60.0%	26.7%	6.7%	0.0%
機械システム工学コース	3.8%	7.7%	34.6%	42.3%	11.5%	0.0%	0.0%
電気電子工学コース	1.1%	1.1%	18.3%	24.7%	23.7%	31.2%	0.0%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	10.0%	30.0%	20.0%	40.0%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	3.4%	3.4%	20.7%	72.4%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
数学コース	0.0%	0.0%	8.3%	33.3%	58.3%	0.0%
物理学コース	0.0%	0.0%	12.5%	62.5%	25.0%	0.0%
データサイエンスコース	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
知能情報工学コース	0.0%	0.0%	7.3%	78.0%	14.6%	0.0%
機能材料化学コース	0.0%	2.8%	11.1%	66.7%	19.4%	0.0%
機械エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	60.0%	26.7%	13.3%	0.0%
機械システム工学コース	3.8%	7.7%	34.6%	46.2%	7.7%	0.0%
電気電子工学コース	0.0%	0.0%	5.4%	55.9%	38.7%	0.0%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	40.0%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	24.1%	75.9%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数学コース	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	37.5%	58.3%	0.0%
物理学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
データサイエンスコース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
知能情報工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	9.8%	80.5%	9.8%	0.0%
機能材料化学コース	16.7%	0.0%	0.0%	5.6%	52.8%	25.0%	0.0%
機械エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	46.7%	13.3%	0.0%
機械システム工学コース	3.8%	0.0%	11.5%	23.1%	50.0%	11.5%	0.0%
電気電子工学コース	0.0%	0.0%	2.2%	6.5%	51.6%	39.8%	0.0%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	24.1%	75.9%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数学コース	29.2%	0.0%	0.0%	0.0%	20.8%	50.0%	0.0%
物理学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%
データサイエンスコース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
知能情報工学コース	2.4%	0.0%	0.0%	9.8%	68.3%	19.5%	0.0%
機能材料化学コース	11.1%	0.0%	0.0%	15.3%	41.7%	31.9%	0.0%
機械エネルギー工学コース	13.3%	0.0%	0.0%	40.0%	33.3%	13.3%	0.0%
機械システム工学コース	11.5%	0.0%	3.8%	19.2%	42.3%	23.1%	0.0%
電気電子工学コース	8.6%	0.0%	0.0%	6.5%	44.1%	40.9%	0.0%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	40.0%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	17.2%	82.8%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数学コース	0.0%	0.0%	8.3%	37.5%	54.2%	0.0%
物理学コース	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%
データサイエンスコース	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
知能情報工学コース	0.0%	0.0%	14.6%	65.9%	19.5%	0.0%
機能材料化学コース	8.3%	0.0%	12.5%	40.3%	38.9%	0.0%
機械エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%
機械システム工学コース	0.0%	15.4%	23.1%	46.2%	15.4%	0.0%
電気電子工学コース	0.0%	1.1%	7.5%	48.4%	43.0%	0.0%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	10.3%	89.7%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を達成していない(該当なし)	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数学コース	0.0%	4.2%	16.7%	20.8%	12.5%	45.8%	0.0%
物理学コース	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%	75.0%	0.0%
データサイエンスコース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
知能情報工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	24.4%	63.4%	12.2%	0.0%
機能材料化学コース	12.5%	0.0%	0.0%	18.1%	40.3%	29.2%	0.0%
機械エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	46.7%	40.0%	13.3%	0.0%
機械システム工学コース	3.8%	3.8%	11.5%	46.2%	30.8%	3.8%	0.0%
電気電子工学コース	0.0%	0.0%	2.2%	8.6%	59.1%	30.1%	0.0%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%	40.0%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	24.1%	75.9%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数学コース	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	41.7%	54.2%
物理学コース	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	25.0%	62.5%
データサイエンスコース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
知能情報工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	9.8%	73.2%	17.1%
機能材料化学コース	12.5%	0.0%	0.0%	16.7%	44.4%	26.4%
機械エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	46.7%	46.7%	6.7%
機械システム工学コース	3.8%	0.0%	7.7%	30.8%	50.0%	7.7%
電気電子工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	9.7%	54.8%	35.5%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	50.0%	40.0%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.7%	79.3%

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数学コース	4.2%	4.2%	8.3%	33.3%	50.0%	0.0%
物理学コース	0.0%	0.0%	12.5%	25.0%	62.5%	0.0%
データサイエンスコース	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
知能情報工学コース	0.0%	0.0%	24.4%	53.7%	22.0%	0.0%
機能材料化学コース	8.3%	0.0%	25.0%	36.1%	30.6%	0.0%
機械エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	53.3%	33.3%	13.3%	0.0%
機械システム工学コース	0.0%	11.5%	26.9%	53.8%	7.7%	0.0%
電気電子工学コース	0.0%	0.0%	11.8%	46.2%	41.9%	0.0%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	30.0%	70.0%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	24.1%	75.9%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数学コース	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	33.3%	0.0%
物理学コース	0.0%	0.0%	12.5%	25.0%	75.0%	0.0%
データサイエンスコース	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
知能情報工学コース	0.0%	2.4%	14.6%	61.0%	22.0%	0.0%
機能材料化学コース	8.3%	0.0%	25.0%	34.7%	31.9%	0.0%
機械エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%
機械システム工学コース	0.0%	11.5%	38.5%	30.8%	19.2%	0.0%
電気電子工学コース	0.0%	1.1%	8.6%	44.1%	46.2%	0.0%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	10.0%	40.0%	50.0%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	10.3%	89.7%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数学コース	0.0%	8.3%	4.2%	33.3%	54.2%	0.0%
物理学コース	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	87.5%	0.0%
データサイエンスコース	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
知能情報工学コース	0.0%	0.0%	7.3%	75.6%	17.1%	0.0%
機能材料化学コース	0.0%	0.0%	1.4%	47.2%	51.4%	0.0%
機械エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	40.0%	33.3%	26.7%	0.0%
機械システム工学コース	0.0%	7.7%	19.2%	57.7%	15.4%	0.0%
電気電子工学コース	0.0%	1.1%	4.3%	55.9%	38.7%	0.0%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	6.9%	93.1%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20~40%	40~60%	60~80%	80%以上	回答なし
数学コース	0.0%	0.0%	1.1%	8.7%	90.2%	0.0%
物理学コース	1.3%	0.0%	0.0%	7.5%	91.3%	0.0%
データサイエンスコース	0.0%	0.0%	0.0%	27.3%	72.7%	0.0%
知能情報工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	80.0%	0.0%
機能材料化学コース	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	98.7%	0.0%
機械エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
機械システム工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	94.4%	0.0%
電気電子工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	13.7%	86.3%	0.0%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	2.7%	0.0%	97.3%	0.0%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
数学コース	9.8%	28.3%	33.7%	18.5%	9.8%	0.0%
物理学コース	5.0%	21.3%	43.8%	20.0%	10.0%	0.0%
データサイエンスコース	9.1%	0.0%	36.4%	36.4%	18.2%	0.0%
知能情報工学コース	17.1%	14.3%	22.9%	25.7%	20.0%	0.0%
機能材料化学コース	10.7%	22.7%	24.0%	20.0%	22.7%	0.0%
機械エネルギー工学コース	7.7%	38.5%	23.1%	7.7%	23.1%	0.0%
機械システム工学コース	2.8%	16.7%	33.3%	22.2%	25.0%	0.0%
電気電子工学コース	2.9%	20.6%	49.0%	16.7%	10.8%	0.0%
都市基盤工学コース	0.0%	7.1%	14.3%	0.0%	78.6%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	5.4%	13.5%	81.1%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
数学コース	0.0%	5.4%	19.6%	32.6%	30.4%	12.0%	0.0%
物理学コース	1.3%	0.0%	16.3%	27.5%	35.0%	20.0%	0.0%
データサイエンスコース	0.0%	0.0%	27.3%	18.2%	54.5%	0.0%	0.0%
知能情報工学コース	0.0%	0.0%	14.3%	40.0%	40.0%	5.7%	0.0%
機能材料化学コース	8.0%	12.0%	30.7%	29.3%	9.3%	10.7%	0.0%
機械エネルギー工学コース	0.0%	3.8%	50.0%	7.7%	11.5%	26.9%	0.0%
機械システム工学コース	2.8%	11.1%	33.3%	22.2%	8.3%	22.2%	0.0%
電気電子工学コース	2.0%	1.0%	19.6%	29.4%	28.4%	19.6%	0.0%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	42.9%	57.1%	0.0%
建築環境デザインコース	2.7%	0.0%	0.0%	8.1%	8.1%	81.1%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
数学コース	0.0%	1.1%	17.4%	63.0%	18.5%	0.0%
物理学コース	0.0%	0.0%	8.8%	68.8%	22.5%	0.0%
データサイエンスコース	0.0%	0.0%	0.0%	72.7%	27.3%	0.0%
知能情報工学コース	0.0%	0.0%	2.9%	74.3%	22.9%	0.0%
機能材料化学コース	1.3%	5.3%	13.3%	61.3%	18.7%	0.0%
機械エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	26.9%	38.5%	34.6%	0.0%
機械システム工学コース	0.0%	2.8%	25.0%	44.4%	27.8%	0.0%
電気電子工学コース	2.0%	0.0%	5.9%	63.7%	28.4%	0.0%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	71.4%	0.0%
建築環境デザインコース	2.7%	0.0%	2.7%	8.1%	86.5%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数学コース	0.0%	3.3%	2.2%	14.1%	58.7%	21.7%	0.0%
物理学コース	0.0%	1.3%	1.3%	12.5%	53.8%	31.3%	0.0%
データサイエンスコース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	54.5%	45.5%	0.0%
知能情報工学コース	2.9%	2.9%	0.0%	11.4%	60.0%	22.9%	0.0%
機能材料化学コース	6.7%	0.0%	1.3%	5.3%	48.0%	38.7%	0.0%
機械エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	57.7%	38.5%	0.0%
機械システム工学コース	5.6%	0.0%	0.0%	25.0%	41.7%	27.8%	0.0%
電気電子工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	4.9%	65.7%	29.4%	0.0%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	42.9%	57.1%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.1%	91.9%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数学コース	17.4%	3.3%	2.2%	20.7%	38.0%	18.5%	0.0%
物理学コース	17.5%	1.3%	2.5%	15.0%	35.0%	28.8%	0.0%
データサイエンスコース	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	27.3%	63.6%	0.0%
知能情報工学コース	8.6%	5.7%	0.0%	20.0%	40.0%	25.7%	0.0%
機能材料化学コース	6.7%	0.0%	0.0%	14.7%	42.7%	36.0%	0.0%
機械エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	53.8%	46.2%	0.0%
機械システム工学コース	2.8%	0.0%	0.0%	8.3%	44.4%	44.4%	0.0%
電気電子工学コース	7.8%	0.0%	0.0%	7.8%	55.9%	28.4%	0.0%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	28.6%	64.3%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.1%	91.9%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数学コース	3.3%	5.4%	19.6%	46.7%	25.0%	0.0%
物理学コース	0.0%	0.0%	13.8%	50.0%	36.3%	0.0%
データサイエンスコース	0.0%	0.0%	9.1%	45.5%	45.5%	0.0%
知能情報工学コース	2.9%	0.0%	5.7%	60.0%	31.4%	0.0%
機能材料化学コース	1.3%	1.3%	8.0%	42.7%	46.7%	0.0%
機械エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
機械システム工学コース	0.0%	2.8%	11.1%	47.2%	38.9%	0.0%
電気電子工学コース	0.0%	0.0%	6.9%	62.7%	30.4%	0.0%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	85.7%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を達成していない(該当なし)	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数学コース	2.2%	2.2%	4.3%	15.2%	57.6%	18.5%	0.0%
物理学コース	0.0%	2.5%	0.0%	8.8%	56.3%	32.5%	0.0%
データサイエンスコース	0.0%	0.0%	0.0%	18.2%	45.5%	36.4%	0.0%
知能情報工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	17.1%	57.1%	25.7%	0.0%
機能材料化学コース	4.0%	0.0%	0.0%	16.0%	60.0%	20.0%	0.0%
機械エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	53.8%	38.5%	0.0%
機械システム工学コース	13.9%	0.0%	8.3%	25.0%	27.8%	25.0%	0.0%
電気電子工学コース	3.9%	1.0%	0.0%	13.7%	62.7%	18.6%	0.0%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	42.9%	57.1%	0.0%
建築環境デザインコース	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	10.8%	86.5%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数学コース	0.0%	1.1%	1.1%	10.9%	62.0%	25.0%
物理学コース	0.0%	1.3%	2.5%	13.8%	46.3%	36.3%
データサイエンスコース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	63.6%	36.4%
知能情報工学コース	2.9%	2.9%	0.0%	5.7%	62.9%	25.7%
機能材料化学コース	8.0%	0.0%	0.0%	14.7%	54.7%	22.7%
機械エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	61.5%	38.5%
機械システム工学コース	13.9%	2.8%	0.0%	16.7%	33.3%	33.3%
電気電子工学コース	3.9%	0.0%	0.0%	5.9%	62.7%	27.5%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%
建築環境デザインコース	2.7%	0.0%	0.0%	2.7%	13.5%	81.1%

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数学コース	3.3%	1.1%	13.0%	51.1%	31.5%	0.0%
物理学コース	3.8%	0.0%	15.0%	48.8%	32.5%	0.0%
データサイエンスコース	0.0%	0.0%	27.3%	45.5%	27.3%	0.0%
知能情報工学コース	2.9%	2.9%	20.0%	60.0%	14.3%	0.0%
機能材料化学コース	1.3%	0.0%	22.7%	45.3%	30.7%	0.0%
機械エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	7.7%	53.8%	38.5%	0.0%
機械システム工学コース	0.0%	5.6%	25.0%	41.7%	27.8%	0.0%
電気電子工学コース	0.0%	1.0%	13.7%	59.8%	25.5%	0.0%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	21.4%	78.6%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	8.1%	91.9%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数学コース	13.0%	6.5%	25.0%	37.0%	18.5%	0.0%
物理学コース	1.3%	3.8%	32.5%	35.0%	27.5%	0.0%
データサイエンスコース	0.0%	0.0%	18.2%	45.5%	36.4%	0.0%
知能情報工学コース	2.9%	2.9%	2.9%	51.4%	40.0%	0.0%
機能材料化学コース	1.3%	5.3%	22.7%	37.3%	33.3%	0.0%
機械エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	3.8%	46.2%	50.0%	0.0%
機械システム工学コース	0.0%	2.8%	22.2%	19.4%	55.6%	0.0%
電気電子工学コース	0.0%	4.9%	16.7%	54.9%	23.5%	0.0%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	71.4%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%	97.3%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数学コース	5.4%	5.4%	14.1%	48.9%	26.1%	0.0%
物理学コース	2.5%	0.0%	10.0%	47.5%	40.0%	0.0%
データサイエンスコース	0.0%	0.0%	0.0%	54.5%	45.5%	0.0%
知能情報工学コース	2.9%	0.0%	8.6%	65.7%	22.9%	0.0%
機能材料化学コース	0.0%	0.0%	1.3%	50.7%	48.0%	0.0%
機械エネルギー工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	53.8%	46.2%	0.0%
機械システム工学コース	0.0%	2.8%	13.9%	50.0%	33.3%	0.0%
電気電子工学コース	0.0%	0.0%	6.9%	67.6%	25.5%	0.0%
都市基盤工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	21.4%	78.6%	0.0%
建築環境デザインコース	0.0%	0.0%	0.0%	5.4%	94.6%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20~40%	40~60%	60~80%	80%以上	回答なし
数理学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	87.5%	0.0%
知能情報システム学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	10.5%	89.5%	0.0%
循環物質化学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	97.5%	0.0%
電気電子工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	87.5%	0.0%
都市工学専攻	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	95.5%	0.0%
先端融合工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	83.3%	0.0%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
数理学専攻	0.0%	12.5%	37.5%	12.5%	37.5%	0.0%
知能情報システム学専攻	5.3%	21.1%	52.6%	21.1%	0.0%	0.0%
循環物質化学専攻	5.0%	0.0%	30.0%	17.5%	47.5%	0.0%
電気電子工学専攻	12.5%	25.0%	25.0%	12.5%	25.0%	0.0%
都市工学専攻	0.0%	4.5%	40.9%	9.1%	45.5%	0.0%
先端融合工学専攻	16.7%	16.7%	0.0%	16.7%	50.0%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
数理学専攻	0.0%	12.5%	12.5%	25.0%	12.5%	37.5%	0.0%
知能情報システム学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	36.8%	52.6%	10.5%	0.0%
循環物質化学専攻	10.0%	7.5%	20.0%	20.0%	15.0%	27.5%	0.0%
電気電子工学専攻	25.0%	12.5%	25.0%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%
都市工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	22.7%	27.3%	50.0%	0.0%
先端融合工学専攻	50.0%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
数理学専攻	0.0%	0.0%	12.5%	37.5%	50.0%	0.0%
知能情報システム学専攻	0.0%	0.0%	5.3%	78.9%	15.8%	0.0%
循環物質化学専攻	5.0%	7.5%	5.0%	65.0%	17.5%	0.0%
電気電子工学専攻	0.0%	0.0%	25.0%	62.5%	12.5%	0.0%
都市工学専攻	0.0%	0.0%	4.5%	27.3%	68.2%	0.0%
先端融合工学専攻	33.3%	0.0%	33.3%	16.7%	16.7%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
知能情報システム学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	78.9%	15.8%	0.0%
循環物質化学専攻	32.5%	0.0%	0.0%	5.0%	30.0%	32.5%	0.0%
電気電子工学専攻	12.5%	0.0%	0.0%	37.5%	25.0%	25.0%	0.0%
都市工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	22.7%	72.7%	0.0%
先端融合工学専攻	16.7%	0.0%	16.7%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理学専攻	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	37.5%	37.5%	0.0%
知能情報システム学専攻	5.3%	0.0%	0.0%	5.3%	73.7%	15.8%	0.0%
循環物質化学専攻	30.0%	0.0%	0.0%	7.5%	27.5%	35.0%	0.0%
電気電子工学専攻	12.5%	0.0%	12.5%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%
都市工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	22.7%	72.7%	0.0%
先端融合工学専攻	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%	66.7%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	62.5%	37.5%	0.0%
知能情報システム学専攻	0.0%	0.0%	15.8%	68.4%	15.8%	0.0%
循環物質化学専攻	25.0%	0.0%	12.5%	25.0%	37.5%	0.0%
電気電子工学専攻	0.0%	12.5%	25.0%	62.5%	0.0%	0.0%
都市工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	27.3%	72.7%	0.0%
先端融合工学専攻	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	66.7%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を達成していない/該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	37.5%	37.5%	0.0%
知能情報システム学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	31.6%	52.6%	15.8%	0.0%
循環物質化学専攻	32.5%	0.0%	0.0%	7.5%	30.0%	30.0%	0.0%
電気電子工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	62.5%	12.5%	0.0%
都市工学専攻	0.0%	4.5%	0.0%	4.5%	31.8%	59.1%	0.0%
先端融合工学専攻	33.3%	16.7%	0.0%	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を踏襲していない/該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	37.5%	50.0%	0.0%
知能情報システム学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	73.7%	21.1%	0.0%
循環物質化学専攻	35.0%	0.0%	0.0%	12.5%	25.0%	27.5%	0.0%
電気電子工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	37.5%	37.5%	25.0%	0.0%
都市工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	31.8%	59.1%	0.0%
先端融合工学専攻	33.3%	0.0%	16.7%	33.3%	0.0%	16.7%	0.0%

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
知能情報システム学専攻	0.0%	0.0%	10.5%	57.9%	31.6%	0.0%
循環物質化学専攻	25.0%	0.0%	15.0%	20.0%	40.0%	0.0%
電気電子工学専攻	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
都市工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	22.7%	77.3%	0.0%
先端融合工学専攻	16.7%	16.7%	50.0%	0.0%	16.7%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理学専攻	12.5%	12.5%	12.5%	25.0%	37.5%	0.0%
知能情報システム学専攻	0.0%	0.0%	10.5%	68.4%	21.1%	0.0%
循環物質化学専攻	25.0%	2.5%	10.0%	22.5%	40.0%	0.0%
電気電子工学専攻	0.0%	0.0%	25.0%	37.5%	37.5%	0.0%
都市工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	22.7%	77.3%	0.0%
先端融合工学専攻	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理学専攻	0.0%	0.0%	12.5%	50.0%	37.5%	0.0%
知能情報システム学専攻	0.0%	0.0%	5.3%	73.7%	21.1%	0.0%
循環物質化学専攻	0.0%	0.0%	7.5%	55.0%	37.5%	0.0%
電気電子工学専攻	0.0%	0.0%	25.0%	62.5%	12.5%	0.0%

都市工学専攻	0.0%	0.0%	4.5%	13.6%	81.8%	0.0%
先端融合工学専攻	0.0%	16.7%	33.3%	16.7%	33.3%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20~40%	40~60%	60~80%	80%以上	回答なし
数理学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
知能情報システム学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
循環物質化学専攻	2.6%	0.0%	0.0%	2.6%	94.7%	0.0%
電気電子工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	85.7%	0.0%
都市工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
先端融合工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
数理学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
知能情報システム学専攻	0.0%	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%
循環物質化学専攻	36.8%	0.0%	21.1%	21.1%	21.1%	0.0%
電気電子工学専攻	0.0%	7.1%	39.3%	14.3%	39.3%	0.0%
都市工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
先端融合工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
数理学専攻	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
知能情報システム学専攻	0.0%	20.0%	0.0%	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%
循環物質化学専攻	39.5%	2.6%	13.2%	13.2%	21.1%	10.5%	0.0%
電気電子工学専攻	14.3%	21.4%	39.3%	14.3%	10.7%	0.0%	0.0%
都市工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
先端融合工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
数理学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
知能情報システム学専攻	0.0%	20.0%	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%
循環物質化学専攻	2.6%	5.3%	7.9%	57.9%	26.3%	0.0%
電気電子工学専攻	0.0%	3.6%	14.3%	64.3%	17.9%	0.0%
都市工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
先端融合工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
知能情報システム学専攻	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	40.0%	20.0%	0.0%
循環物質化学専攻	47.4%	0.0%	0.0%	5.3%	28.9%	18.4%	0.0%
電気電子工学専攻	3.6%	3.6%	7.1%	21.4%	39.3%	25.0%	0.0%
都市工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
先端融合工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
知能情報システム学専攻	20.0%	0.0%	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%
循環物質化学専攻	36.8%	0.0%	0.0%	5.3%	39.5%	18.4%	0.0%
電気電子工学専攻	3.6%	7.1%	0.0%	3.6%	35.7%	50.0%	0.0%
都市工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
先端融合工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
知能情報システム学専攻	0.0%	40.0%	0.0%	60.0%	0.0%	0.0%
循環物質化学専攻	28.9%	0.0%	10.5%	44.7%	15.8%	0.0%
電気電子工学専攻	0.0%	0.0%	3.6%	42.9%	53.6%	0.0%
都市工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
先端融合工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を達成していない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
知能情報システム学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%
循環物質化学専攻	44.7%	0.0%	0.0%	13.2%	31.6%	10.5%	0.0%
電気電子工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	60.7%	25.0%	0.0%
都市工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
先端融合工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を踏襲していない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
知能情報システム学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%
循環物質化学専攻	47.4%	0.0%	0.0%	13.2%	26.3%	13.2%	0.0%
電気電子工学専攻	0.0%	0.0%	7.1%	7.1%	60.7%	25.0%	0.0%
都市工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
先端融合工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
知能情報システム学専攻	0.0%	40.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%
循環物質化学専攻	39.5%	2.6%	21.1%	21.1%	15.8%	0.0%
電気電子工学専攻	3.6%	0.0%	42.9%	42.9%	10.7%	0.0%
都市工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
先端融合工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
知能情報システム学専攻	20.0%	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%
循環物質化学専攻	34.2%	0.0%	15.8%	28.9%	21.1%	0.0%
電気電子工学専攻	0.0%	0.0%	7.1%	42.9%	50.0%	0.0%
都市工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
先端融合工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
数理学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
知能情報システム学専攻	0.0%	40.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%
循環物質化学専攻	0.0%	0.0%	5.3%	63.2%	31.6%	0.0%
電気電子工学専攻	3.6%	0.0%	7.1%	60.7%	28.6%	0.0%

都市工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
先端融合工学専攻	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20~40%	40~60%	60~80%	80%以上	回答なし
応用生物科学科	0.6%	0.0%	0.6%	2.5%	96.4%	0.0%
生物環境保全学コース	0.0%	1.6%	0.0%	2.4%	96.0%	0.0%
資源循環生産学コース	0.5%	0.0%	0.0%	3.8%	95.6%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	0.0%	2.9%	2.9%	94.1%	0.0%
生命機能科学科	0.0%	0.0%	0.0%	4.0%	96.0%	0.0%
生物資源科学科	0.7%	0.0%	0.7%	2.1%	96.5%	0.0%
生物科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
食資源環境科学コース	0.7%	0.0%	1.4%	3.5%	94.3%	0.0%
生命機能科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	0.7%	0.0%	0.7%	1.4%	97.1%	0.0%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
応用生物科学科	13.3%	49.0%	25.3%	7.0%	5.3%	0.0%
生物環境保全学コース	4.0%	20.6%	31.0%	31.7%	12.7%	0.0%
資源循環生産学コース	34.4%	28.4%	19.1%	9.8%	8.2%	0.0%
地域社会開発学コース	11.8%	17.6%	32.4%	11.8%	26.5%	0.0%
生命機能科学科	9.7%	45.4%	29.1%	7.4%	8.3%	0.0%
生物資源科学科	9.2%	32.6%	39.0%	14.2%	5.0%	0.0%
生物科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
食資源環境科学コース	21.3%	53.2%	20.6%	3.5%	1.4%	0.0%
生命機能科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	45.7%	40.0%	10.0%	1.4%	2.9%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
応用生物科学科	10.7%	11.2%	31.4%	26.9%	15.0%	4.8%	0.0%
生物環境保全学コース	24.6%	5.6%	15.9%	24.6%	24.6%	4.8%	0.0%
資源循環生産学コース	9.8%	8.7%	30.1%	25.7%	15.8%	9.8%	0.0%
地域社会開発学コース	11.8%	8.8%	32.4%	26.5%	11.8%	8.8%	0.0%
生命機能科学科	16.3%	10.9%	37.1%	20.0%	10.3%	5.4%	0.0%
生物資源科学科	9.2%	6.4%	29.1%	36.9%	14.2%	4.3%	0.0%
生物科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
食資源環境科学コース	8.5%	11.3%	36.2%	33.3%	7.1%	3.5%	0.0%
生命機能科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	7.9%	10.7%	22.9%	33.6%	16.4%	8.6%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
応用生物科学科	1.1%	5.9%	15.8%	62.9%	14.3%	0.0%
生物環境保全学コース	6.3%	1.6%	15.1%	57.1%	19.8%	0.0%
資源循環生産学コース	4.9%	6.6%	9.8%	61.2%	17.5%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	5.9%	14.7%	58.8%	20.6%	0.0%
生命機能科学科	6.9%	6.6%	22.9%	53.7%	10.0%	0.0%
生物資源科学科	5.7%	8.5%	25.5%	54.6%	5.7%	0.0%
生物科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
食資源環境科学コース	2.8%	14.9%	19.1%	58.2%	5.0%	0.0%
生命機能科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	4.3%	14.3%	20.7%	54.3%	6.4%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	0.4%	0.4%	1.3%	16.8%	65.0%	16.2%	0.0%
生物環境保全学コース	0.8%	0.0%	0.8%	11.1%	59.5%	27.8%	0.0%
資源循環生産学コース	5.5%	0.0%	1.1%	15.3%	63.9%	14.2%	0.0%
地域社会開発学コース	2.9%	0.0%	0.0%	8.8%	64.7%	23.5%	0.0%
生命機能科学科	1.4%	0.3%	1.4%	27.4%	51.7%	17.7%	0.0%
生物資源科学科	2.1%	0.7%	0.0%	24.1%	62.4%	10.6%	0.0%
生物科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
食資源環境科学コース	1.4%	0.7%	2.8%	19.1%	60.3%	15.6%	0.0%
生命機能科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	0.7%	2.1%	5.0%	30.0%	51.4%	10.7%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	15.2%	0.4%	0.6%	14.7%	49.7%	19.4%	0.0%
生物環境保全学コース	6.3%	0.0%	0.0%	8.7%	49.2%	35.7%	0.0%
資源循環生産学コース	13.7%	0.0%	0.0%	9.8%	52.5%	24.0%	0.0%
地域社会開発学コース	23.5%	0.0%	0.0%	5.9%	47.1%	23.5%	0.0%
生命機能科学科	20.9%	0.3%	1.4%	19.1%	41.7%	16.6%	0.0%
生物資源科学科	12.8%	0.0%	5.0%	19.1%	47.5%	15.6%	0.0%
生物科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

食資源環境科学コース	23.4%	0.0%	0.7%	18.4%	42.6%	14.9%	0.0%
生命機能科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	22.9%	0.0%	1.4%	26.4%	38.6%	10.7%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	0.0%	0.6%	7.6%	59.2%	32.6%	0.0%
生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	7.9%	46.8%	45.2%	0.0%
資源循環生産学コース	1.1%	0.0%	8.2%	56.3%	34.4%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	2.9%	5.9%	55.9%	35.3%	0.0%
生命機能科学科	0.0%	0.9%	14.0%	58.6%	26.6%	0.0%
生物資源科学科	1.4%	2.1%	19.1%	59.6%	17.7%	0.0%
生物科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
食資源環境科学コース	1.4%	2.8%	13.5%	61.7%	20.6%	0.0%
生命機能科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	0.0%	0.7%	8.6%	65.0%	25.7%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	3.4%	0.8%	3.6%	29.5%	52.8%	9.9%	0.0%
生物環境保全学コース	4.0%	3.2%	3.2%	28.6%	52.4%	8.7%	0.0%
資源循環生産学コース	9.3%	0.0%	4.4%	27.9%	44.8%	13.7%	0.0%
地域社会開発学コース	5.9%	0.0%	0.0%	14.7%	64.7%	14.7%	0.0%
生命機能科学科	6.3%	1.1%	6.0%	33.1%	42.3%	11.1%	0.0%
生物資源科学科	6.4%	2.1%	5.7%	35.5%	46.1%	4.3%	0.0%
生物科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
食資源環境科学コース	7.8%	2.1%	5.7%	29.8%	44.0%	10.6%	0.0%
生命機能科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	6.4%	2.9%	4.3%	27.1%	49.3%	10.0%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	10.9%	0.6%	2.3%	12.6%	60.0%	13.7%	0.0%
生物環境保全学コース	19.0%	0.0%	0.0%	12.7%	50.0%	18.3%	0.0%
資源循環生産学コース	16.4%	0.5%	1.1%	15.3%	50.8%	15.8%	0.0%
地域社会開発学コース	17.6%	0.0%	2.9%	5.9%	58.8%	14.7%	0.0%
生命機能科学科	11.7%	0.0%	0.9%	23.4%	49.4%	14.6%	0.0%
生物資源科学科	8.5%	0.7%	2.1%	12.1%	66.7%	9.9%	0.0%
生物科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
食資源環境科学コース	9.2%	5.0%	5.0%	19.9%	51.1%	9.9%	0.0%
生命機能科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	7.9%	0.0%	0.0%	10.7%	59.3%	22.1%	0.0%

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	0.0%	2.5%	18.7%	56.2%	22.7%	0.0%
生物環境保全学コース	1.6%	2.4%	19.0%	52.4%	24.6%	0.0%
資源循環生産学コース	3.3%	4.9%	30.1%	41.5%	20.2%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	5.9%	14.7%	61.8%	17.6%	0.0%
生命機能科学科	1.1%	3.4%	21.7%	51.1%	22.6%	0.0%
生物資源科学科	2.1%	3.5%	24.1%	57.4%	12.8%	0.0%
生物科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
食資源環境科学コース	3.5%	9.2%	29.1%	46.1%	12.1%	0.0%
生命機能科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	1.4%	0.7%	20.7%	57.9%	19.3%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	4.4%	16.8%	27.8%	36.4%	14.7%	0.0%
生物環境保全学コース	0.8%	7.1%	19.0%	42.9%	30.2%	0.0%
資源循環生産学コース	1.6%	3.8%	24.0%	47.5%	23.0%	0.0%
地域社会開発学コース	2.9%	5.9%	8.8%	61.8%	20.6%	0.0%
生命機能科学科	5.1%	10.6%	36.3%	29.1%	18.9%	0.0%
生物資源科学科	5.0%	12.1%	26.2%	51.8%	5.0%	0.0%
生物科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
食資源環境科学コース	1.4%	12.1%	17.7%	53.9%	14.9%	0.0%
生命機能科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	4.3%	11.4%	22.1%	52.1%	10.0%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	0.0%	3.2%	10.1%	62.7%	24.0%	0.0%

生物環境保全学コース	0.8%	2.4%	7.9%	45.2%	43.7%	0.0%
資源循環生産学コース	1.1%	1.6%	7.1%	57.9%	32.2%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	2.9%	2.9%	52.9%	41.2%	0.0%
生命機能科学科	0.6%	1.7%	21.1%	55.4%	21.1%	0.0%
生物資源科学科	2.1%	5.0%	14.9%	68.1%	9.9%	0.0%
生物学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
食資源環境科学コース	1.4%	2.8%	15.6%	66.0%	14.2%	0.0%
生命機能科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	1.4%	5.0%	12.1%	60.7%	20.7%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
応用生物科学科	2.1%	0.0%	0.0%	3.4%	94.5%	0.0%
生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	1.1%	4.3%	94.7%	0.0%
資源循環生産学コース	0.0%	0.0%	1.1%	4.4%	94.4%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	0.0%	0.0%	10.3%	89.7%	0.0%
生命機能科学科	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	98.8%	0.0%
生物資源科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生物科学コース	0.9%	0.0%	0.0%	1.7%	97.4%	0.0%
食資源環境科学コース	0.9%	0.9%	0.0%	1.8%	96.5%	0.0%
生命機能科学コース	0.2%	0.2%	0.2%	3.2%	96.1%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	0.0%	0.9%	0.0%	0.9%	98.2%	0.0%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
応用生物科学科	9.8%	37.9%	37.0%	5.1%	10.2%	0.0%
生物環境保全学コース	8.5%	30.9%	44.7%	9.6%	6.4%	0.0%
資源循環生産学コース	15.6%	41.1%	20.0%	8.9%	14.4%	0.0%
地域社会開発学コース	12.8%	35.9%	28.2%	15.4%	7.7%	0.0%
生命機能科学科	3.7%	30.6%	29.3%	14.0%	22.3%	0.0%
生物資源科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生物科学コース	15.7%	48.7%	27.8%	6.1%	1.7%	0.0%
食資源環境科学コース	6.1%	33.3%	41.2%	13.2%	6.1%	0.0%
生命機能科学コース	8.8%	37.5%	30.8%	15.9%	6.9%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	17.9%	50.9%	25.0%	3.6%	2.7%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
応用生物科学科	6.8%	8.9%	24.7%	28.5%	19.6%	11.5%	0.0%
生物環境保全学コース	23.4%	4.3%	12.8%	27.7%	25.5%	6.4%	0.0%
資源循環生産学コース	14.4%	3.3%	32.2%	18.9%	20.0%	11.1%	0.0%
地域社会開発学コース	2.6%	12.8%	51.3%	12.8%	17.9%	2.6%	0.0%
生命機能科学科	6.6%	3.7%	31.8%	31.8%	20.2%	5.8%	0.0%
生物資源科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生物科学コース	6.1%	9.6%	27.0%	30.4%	20.0%	7.0%	0.0%
食資源環境科学コース	7.9%	7.9%	21.9%	36.8%	15.8%	9.6%	0.0%
生命機能科学コース	4.7%	6.7%	24.4%	34.9%	21.3%	8.0%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	9.8%	8.0%	26.8%	27.7%	18.8%	8.9%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
応用生物科学科	2.6%	2.6%	15.3%	64.7%	14.9%	0.0%
生物環境保全学コース	4.3%	5.3%	17.0%	55.3%	18.1%	0.0%
資源循環生産学コース	2.2%	7.8%	11.1%	66.7%	12.2%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	0.0%	20.5%	71.8%	7.7%	0.0%
生命機能科学科	1.2%	2.9%	16.1%	66.9%	12.8%	0.0%
生物資源科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生物科学コース	5.2%	7.8%	10.4%	65.2%	11.3%	0.0%
食資源環境科学コース	2.6%	12.3%	11.4%	59.6%	14.0%	0.0%
生命機能科学コース	2.8%	5.6%	14.0%	65.5%	12.1%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	1.8%	4.5%	11.6%	68.8%	13.4%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	2.6%	0.0%	1.7%	19.6%	58.3%	17.9%	0.0%
生物環境保全学コース	2.1%	0.0%	0.0%	11.7%	59.6%	26.6%	0.0%
資源循環生産学コース	0.0%	1.1%	0.0%	17.8%	60.0%	21.1%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	2.6%	0.0%	12.8%	71.8%	12.8%	0.0%
生命機能科学科	0.8%	0.0%	1.2%	17.8%	54.5%	25.6%	0.0%
生物資源科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生物科学コース	0.9%	0.0%	3.5%	18.3%	64.3%	13.0%	0.0%
食資源環境科学コース	0.0%	2.6%	4.4%	15.8%	61.4%	15.8%	0.0%
生命機能科学コース	1.1%	2.4%	4.5%	17.9%	61.2%	12.9%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	0.9%	0.0%	0.0%	14.3%	72.3%	12.5%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	9.8%	0.0%	0.0%	12.8%	55.7%	21.7%	0.0%
生物環境保全学コース	1.1%	0.0%	0.0%	7.4%	53.2%	38.3%	0.0%
資源循環生産学コース	6.7%	0.0%	1.1%	6.7%	60.0%	25.6%	0.0%
地域社会開発学コース	17.9%	0.0%	2.6%	5.1%	56.4%	17.9%	0.0%
生命機能科学科	16.5%	0.0%	0.4%	14.9%	46.3%	21.9%	0.0%
生物資源科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生物科学コース	19.1%	0.0%	0.9%	22.6%	43.5%	13.9%	0.0%

食資源環境科学コース	13.2%	0.0%	3.5%	7.0%	50.0%	26.3%	0.0%
生命機能科学コース	19.2%	0.9%	2.8%	22.2%	42.5%	12.5%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	21.4%	0.0%	0.0%	16.1%	49.1%	13.4%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	0.0%	0.9%	11.9%	59.1%	28.1%	0.0%
生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	5.3%	47.9%	46.8%	0.0%
資源循環生産学コース	0.0%	0.0%	4.4%	65.6%	30.0%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	0.0%	5.1%	74.4%	20.5%	0.0%
生命機能科学科	0.4%	0.4%	7.9%	61.6%	29.8%	0.0%
生物資源科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生物科学コース	0.9%	0.0%	12.2%	67.0%	20.0%	0.0%
食資源環境科学コース	0.9%	3.5%	9.6%	65.8%	20.2%	0.0%
生命機能科学コース	1.7%	3.0%	16.4%	65.3%	13.6%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	0.0%	0.0%	5.4%	68.8%	25.9%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	4.3%	0.4%	0.9%	23.8%	56.6%	14.0%	0.0%
生物環境保全学コース	8.5%	0.0%	2.1%	11.7%	54.3%	23.4%	0.0%
資源循環生産学コース	2.2%	0.0%	1.1%	20.0%	60.0%	16.7%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	0.0%	0.0%	35.9%	56.4%	7.7%	0.0%
生命機能科学科	2.5%	0.0%	1.7%	24.4%	60.7%	10.7%	0.0%
生物資源科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生物科学コース	6.1%	1.7%	5.2%	27.0%	49.6%	10.4%	0.0%
食資源環境科学コース	3.5%	2.6%	6.1%	21.9%	55.3%	10.5%	0.0%
生命機能科学コース	6.5%	1.9%	3.7%	26.7%	52.4%	8.8%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	7.1%	0.9%	1.8%	25.0%	55.4%	9.8%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	7.7%	0.4%	1.3%	16.6%	57.4%	16.6%	0.0%
生物環境保全学コース	21.3%	0.0%	1.1%	4.3%	55.3%	18.1%	0.0%
資源循環生産学コース	11.1%	1.1%	2.2%	11.1%	58.9%	15.6%	0.0%
地域社会開発学コース	5.1%	0.0%	0.0%	15.4%	71.8%	7.7%	0.0%
生命機能科学科	8.7%	0.0%	0.0%	21.1%	51.7%	18.6%	0.0%
生物資源科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生物科学コース	8.7%	0.0%	5.2%	9.6%	62.6%	13.9%	0.0%
食資源環境科学コース	7.9%	0.0%	1.8%	14.9%	64.0%	11.4%	0.0%
生命機能科学コース	6.7%	2.4%	2.2%	14.4%	61.6%	12.7%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	11.6%	0.0%	0.0%	10.7%	61.6%	16.1%	0.0%

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	0.4%	6.0%	21.3%	54.5%	17.9%	0.0%
生物環境保全学コース	1.1%	3.2%	11.7%	46.8%	37.2%	0.0%
資源循環生産学コース	3.3%	5.6%	22.2%	50.0%	18.9%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	0.0%	23.1%	66.7%	10.3%	0.0%
生命機能科学科	0.8%	0.8%	30.2%	47.5%	20.7%	0.0%
生物資源科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生物科学コース	3.5%	7.0%	19.1%	58.3%	12.2%	0.0%
食資源環境科学コース	0.0%	2.6%	10.5%	63.2%	23.7%	0.0%
生命機能科学コース	1.5%	5.4%	15.7%	60.6%	16.8%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	0.0%	0.9%	8.9%	58.0%	32.1%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	2.6%	12.3%	16.2%	48.1%	20.9%	0.0%
生物環境保全学コース	2.1%	3.2%	11.7%	46.8%	36.2%	0.0%
資源循環生産学コース	2.2%	3.3%	15.6%	56.7%	22.2%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	5.1%	28.2%	46.2%	20.5%	0.0%
生命機能科学科	2.1%	4.1%	28.1%	45.5%	20.2%	0.0%
生物資源科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生物科学コース	7.8%	25.2%	29.6%	28.7%	8.7%	0.0%
食資源環境科学コース	0.9%	0.9%	4.4%	43.9%	50.0%	0.0%
生命機能科学コース	6.7%	19.4%	30.2%	34.7%	9.1%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	5.4%	21.4%	27.7%	31.3%	14.3%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
応用生物科学科	0.0%	3.4%	6.0%	66.0%	24.7%	0.0%

生物環境保全学コース	0.0%	0.0%	2.1%	52.1%	45.7%	0.0%
資源循環生産学コース	0.0%	1.1%	5.6%	63.3%	30.0%	0.0%
地域社会開発学コース	0.0%	2.6%	10.3%	64.1%	23.1%	0.0%
生命機能科学科	0.4%	1.2%	6.6%	58.7%	33.1%	0.0%
生物資源科学科	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
生物学コース	0.9%	1.7%	16.5%	60.0%	20.9%	0.0%
食資源環境科学コース	0.9%	7.9%	8.8%	65.8%	16.7%	0.0%
生命機能科学コース	2.2%	6.5%	15.5%	61.6%	14.2%	0.0%
国際・地域マネジメントコース	0.0%	1.8%	17.0%	63.4%	17.9%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
農学研究科	1.0%	2.0%	0.0%	3.9%	93.1%	0.0%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
農学研究科	1.0%	43.1%	25.5%	16.7%	13.7%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
農学研究科	5.9%	2.0%	53.9%	14.7%	13.7%	9.8%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
農学研究科	0.0%	4.9%	34.3%	32.4%	28.4%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	1.0%	0.0%	0.0%	19.6%	32.4%	47.1%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	36.3%	60.8%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	0.0%	0.0%	7.8%	31.4%	60.8%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	3.9%	0.0%	2.9%	14.7%	52.0%	26.5%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	1.0%	0.0%	1.0%	22.5%	44.1%	31.4%	0.0%

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	0.0%	0.0%	17.6%	36.3%	46.1%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	2.0%	1.0%	13.7%	29.4%	53.9%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	0.0%	1.0%	7.8%	35.3%	55.9%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
農学研究科	0.0%	0.0%	0.0%	3.5%	96.5%	0.0%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
農学研究科	4.4%	14.0%	28.1%	18.4%	35.1%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
農学研究科	7.9%	0.9%	14.9%	23.7%	21.9%	30.7%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
農学研究科	0.0%	0.0%	14.9%	35.1%	50.0%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	0.0%	0.0%	0.0%	12.3%	25.4%	62.3%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	1.8%	0.0%	0.0%	6.1%	20.2%	71.9%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	0.0%	0.0%	5.3%	27.2%	67.5%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	0.0%	0.0%	0.0%	13.2%	35.1%	51.8%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	2.6%	0.0%	0.0%	18.4%	27.2%	51.8%	0.0%

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	0.0%	0.0%	21.9%	29.8%	48.2%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	0.0%	0.0%	14.9%	27.2%	57.9%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
農学研究科	0.0%	0.0%	3.5%	34.2%	62.3%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20~40%	40~60%	60~80%	80%以上	回答なし
専攻共通	9.6%	0.0%	0.0%	5.8%	84.6%	0.0%
生体医工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
健康機能分子科学コース	2.8%	0.0%	5.6%	2.8%	88.9%	0.0%
医科学コース	39.3%	3.6%	0.0%	10.7%	46.4%	0.0%
総合看護科学コース	4.9%	0.0%	2.4%	0.0%	92.7%	0.0%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
専攻共通	5.8%	5.8%	21.2%	30.8%	36.5%	0.0%
生体医工学コース	6.7%	66.7%	13.3%	6.7%	6.7%	0.0%
健康機能分子科学コース	8.3%	13.9%	30.6%	13.9%	33.3%	0.0%
医科学コース	3.6%	3.6%	32.1%	35.7%	25.0%	0.0%
総合看護科学コース	2.4%	2.4%	14.6%	34.1%	46.3%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
専攻共通	0.0%	0.0%	21.2%	26.9%	32.7%	19.2%	0.0%
生体医工学コース	0.0%	13.3%	13.3%	53.3%	13.3%	6.7%	0.0%
健康機能分子科学コース	5.6%	8.3%	11.1%	22.2%	22.2%	30.6%	0.0%
医科学コース	3.6%	3.6%	25.0%	46.4%	17.9%	3.6%	0.0%
総合看護科学コース	2.4%	0.0%	12.2%	7.3%	41.5%	36.6%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
専攻共通	0.0%	1.9%	7.7%	65.4%	25.0%	0.0%
生体医工学コース	0.0%	0.0%	6.7%	73.3%	20.0%	0.0%
健康機能分子科学コース	5.6%	2.8%	8.3%	47.2%	36.1%	0.0%
医科学コース	3.6%	0.0%	10.7%	67.9%	17.9%	0.0%
総合看護科学コース	2.4%	2.4%	4.9%	78.0%	12.2%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
専攻共通	3.8%	0.0%	3.8%	11.5%	53.8%	26.9%	0.0%
生体医工学コース	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	80.0%	13.3%	0.0%
健康機能分子科学コース	2.8%	0.0%	0.0%	8.3%	38.9%	50.0%	0.0%
医科学コース	3.6%	0.0%	0.0%	21.4%	50.0%	25.0%	0.0%
総合看護科学コース	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	53.7%	43.9%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
専攻共通	15.4%	1.9%	1.9%	11.5%	34.6%	34.6%	0.0%
生体医工学コース	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	80.0%	13.3%	0.0%
健康機能分子科学コース	2.8%	0.0%	0.0%	2.8%	47.2%	47.2%	0.0%
医科学コース	3.6%	0.0%	3.6%	10.7%	35.7%	46.4%	0.0%
総合看護科学コース	4.9%	0.0%	0.0%	2.4%	31.7%	61.0%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
専攻共通	0.0%	1.9%	15.4%	48.1%	34.6%	0.0%
生体医工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%
健康機能分子科学コース	0.0%	0.0%	5.6%	47.2%	47.2%	0.0%
医科学コース	0.0%	3.6%	7.1%	46.4%	42.9%	0.0%
総合看護科学コース	2.4%	0.0%	0.0%	39.0%	58.5%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため達成できなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
専攻共通	0.0%	0.0%	0.0%	23.1%	57.7%	19.2%	0.0%
生体医工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%
健康機能分子科学コース	8.3%	0.0%	2.8%	13.9%	38.9%	36.1%	0.0%
医科学コース	0.0%	7.1%	0.0%	14.3%	67.9%	10.7%	0.0%
総合看護科学コース	2.4%	0.0%	0.0%	12.2%	63.4%	22.0%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため把握できなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
専攻共通	1.9%	0.0%	0.0%	9.6%	67.3%	21.2%	0.0%
生体医工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%
健康機能分子科学コース	8.3%	5.6%	0.0%	19.4%	36.1%	30.6%	0.0%
医科学コース	0.0%	3.6%	0.0%	10.7%	60.7%	25.0%	0.0%
総合看護科学コース	2.4%	0.0%	0.0%	2.4%	46.3%	48.8%	0.0%

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
専攻共通	0.0%	3.8%	7.7%	63.5%	25.0%	0.0%
生体医工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	86.7%	13.3%	0.0%
健康機能分子科学コース	0.0%	0.0%	27.8%	36.1%	36.1%	0.0%
医科学コース	0.0%	3.6%	14.3%	28.6%	53.6%	0.0%
総合看護科学コース	2.4%	0.0%	4.9%	36.6%	56.1%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
専攻共通	7.7%	13.5%	19.2%	28.8%	30.8%	0.0%
生体医工学コース	6.7%	6.7%	6.7%	66.7%	13.3%	0.0%
健康機能分子科学コース	0.0%	0.0%	19.4%	36.1%	44.4%	0.0%
医科学コース	0.0%	0.0%	17.9%	32.1%	50.0%	0.0%
総合看護科学コース	2.4%	0.0%	0.0%	22.0%	75.6%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
専攻共通	1.9%	3.8%	9.6%	50.0%	34.6%	0.0%
生体医工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	73.3%	26.7%	0.0%
健康機能分子科学コース	0.0%	0.0%	11.1%	41.7%	47.2%	0.0%
医科学コース	0.0%	0.0%	7.1%	46.4%	46.4%	0.0%
総合看護科学コース	2.4%	0.0%	2.4%	24.4%	70.7%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20~40%	40~60%	60~80%	80%以上	回答なし
専攻共通	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%	81.8%	0.0%
生体医工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
健康機能分子科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
医科学コース	18.5%	3.7%	3.7%	14.8%	59.3%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	0.0%	7.1%	9.5%	83.3%	0.0%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
専攻共通	0.0%	9.1%	36.4%	27.3%	27.3%	0.0%
生体医工学コース	15.4%	23.1%	30.8%	15.4%	15.4%	0.0%
健康機能分子科学コース	0.0%	21.7%	32.6%	10.9%	34.8%	0.0%
医科学コース	3.7%	11.1%	25.9%	48.1%	11.1%	0.0%
総合看護科学コース	2.4%	21.4%	4.8%	38.1%	33.3%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
専攻共通	0.0%	9.1%	9.1%	54.5%	18.2%	9.1%	0.0%
生体医工学コース	7.7%	7.7%	46.2%	38.5%	0.0%	0.0%	0.0%
健康機能分子科学コース	8.7%	0.0%	19.6%	19.6%	26.1%	26.1%	0.0%
医科学コース	0.0%	0.0%	18.5%	33.3%	40.7%	7.4%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	0.0%	2.4%	21.4%	54.8%	21.4%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
専攻共通	0.0%	9.1%	18.2%	54.5%	18.2%	0.0%
生体医工学コース	7.7%	0.0%	15.4%	69.2%	7.7%	0.0%
健康機能分子科学コース	8.7%	0.0%	10.9%	50.0%	30.4%	0.0%
医科学コース	0.0%	0.0%	3.7%	59.3%	37.0%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	0.0%	2.4%	76.2%	21.4%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
専攻共通	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	54.5%	36.4%	0.0%
生体医工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%	53.8%	30.8%	0.0%
健康機能分子科学コース	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	58.7%	39.1%	0.0%
医科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%	51.9%	44.4%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	54.8%	45.2%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
専攻共通	0.0%	0.0%	0.0%	27.3%	27.3%	45.5%	0.0%
生体医工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	61.5%	30.8%	0.0%
健康機能分子科学コース	10.9%	0.0%	0.0%	2.2%	47.8%	39.1%	0.0%
医科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	48.1%	51.9%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%	31.0%	66.7%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
専攻共通	0.0%	0.0%	0.0%	54.5%	45.5%	0.0%
生体医工学コース	0.0%	0.0%	7.7%	53.8%	38.5%	0.0%
健康機能分子科学コース	0.0%	0.0%	2.2%	45.7%	52.2%	0.0%
医科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	48.1%	51.9%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	31.0%	69.0%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していない/把握しているが不明	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
専攻共通	0.0%	0.0%	0.0%	18.2%	63.6%	18.2%	0.0%
生体医工学コース	0.0%	0.0%	0.0%	30.8%	61.5%	7.7%	0.0%
健康機能分子科学コース	8.7%	0.0%	0.0%	4.3%	52.2%	34.8%	0.0%
医科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	51.9%	37.0%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	73.8%	21.4%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していない/把握しているが不明	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
専攻共通	0.0%	0.0%	0.0%	18.2%	36.4%	45.5%	0.0%
生体医工学コース	7.7%	0.0%	0.0%	23.1%	53.8%	15.4%	0.0%
健康機能分子科学コース	8.7%	0.0%	0.0%	2.2%	54.3%	34.8%	0.0%
医科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	48.1%	51.9%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	71.4%	28.6%	0.0%

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
専攻共通	0.0%	0.0%	0.0%	45.5%	54.5%	0.0%
生体医工学コース	0.0%	0.0%	30.8%	61.5%	7.7%	0.0%
健康機能分子科学コース	0.0%	0.0%	6.5%	52.2%	41.3%	0.0%
医科学コース	0.0%	0.0%	7.4%	33.3%	59.3%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	0.0%	7.1%	54.8%	38.1%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
専攻共通	0.0%	0.0%	9.1%	54.5%	36.4%	0.0%
生体医工学コース	0.0%	7.7%	15.4%	46.2%	30.8%	0.0%
健康機能分子科学コース	0.0%	0.0%	15.2%	43.5%	41.3%	0.0%
医科学コース	0.0%	0.0%	22.2%	40.7%	37.0%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	38.1%	61.9%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
専攻共通	0.0%	0.0%	0.0%	27.3%	72.7%	0.0%
生体医工学コース	0.0%	0.0%	15.4%	23.1%	61.5%	0.0%
健康機能分子科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	34.8%	65.2%	0.0%
医科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	48.1%	51.9%	0.0%
総合看護科学コース	0.0%	0.0%	0.0%	26.2%	73.8%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20~40%	40~60%	60~80%	80%以上	回答なし
外国語科目	0.6%	0.1%	0.8%	8.6%	89.9%	0.0%
体育実技	0.6%	0.0%	0.6%	1.7%	97.2%	0.0%
情報リテラシー科目	0.3%	0.5%	1.4%	6.7%	91.2%	0.0%
自然科学と技術の分野	0.6%	1.1%	1.8%	12.2%	84.4%	0.0%
文化の分野	1.0%	0.9%	0.7%	12.6%	84.9%	0.0%
現代社会の分野	1.3%	0.6%	1.3%	8.6%	88.1%	0.0%
環境コース	0.0%	0.0%	0.8%	9.5%	89.7%	0.0%
文化と共生コース	0.0%	0.0%	1.8%	9.0%	89.2%	0.0%
生活と科学コース	0.0%	0.5%	0.0%	8.1%	91.4%	0.0%
医療・福祉と社会コース	0.0%	0.0%	0.9%	5.8%	93.3%	0.0%
地域・佐賀学コース	0.9%	0.9%	0.0%	13.6%	84.5%	0.0%
サブスペシャルティコース	0.0%	0.0%	1.0%	14.1%	84.8%	0.0%
人間と社会コース	0.0%	0.0%	1.0%	14.1%	84.8%	0.0%
大学院教養教育科目	0.0%	1.1%	1.1%	10.2%	87.5%	0.0%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
外国語科目	5.7%	33.4%	38.1%	14.6%	8.2%	0.0%
体育実技	68.8%	15.3%	10.2%	0.6%	5.1%	0.0%
情報リテラシー科目	21.3%	30.0%	24.4%	14.4%	9.9%	0.0%
自然科学と技術の分野	17.4%	42.3%	25.7%	9.5%	5.1%	0.0%
文化の分野	17.2%	40.9%	26.1%	9.5%	6.3%	0.0%
現代社会の分野	20.1%	38.4%	22.6%	9.3%	9.6%	0.0%
環境コース	11.9%	43.7%	28.6%	11.9%	4.0%	0.0%
文化と共生コース	3.6%	21.6%	42.3%	20.7%	11.7%	0.0%
生活と科学コース	13.1%	36.5%	30.2%	13.1%	7.2%	0.0%
医療・福祉と社会コース	31.8%	33.2%	19.7%	12.1%	3.1%	0.0%
地域・佐賀学コース	10.0%	34.5%	27.3%	15.5%	12.7%	0.0%
サブスペシャルティコース	10.1%	34.3%	29.3%	11.1%	15.2%	0.0%
人間と社会コース	10.1%	34.3%	29.3%	11.1%	15.2%	0.0%
大学院教養教育科目	8.5%	33.0%	31.3%	11.9%	15.3%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
外国語科目	12.2%	9.9%	28.4%	25.6%	15.5%	8.4%	0.0%
体育実技	26.7%	11.4%	27.8%	17.6%	11.4%	5.1%	0.0%
情報リテラシー科目	16.5%	9.7%	27.3%	26.1%	14.4%	5.9%	0.0%
自然科学と技術の分野	9.5%	8.0%	23.0%	29.4%	20.1%	10.1%	0.0%
文化の分野	13.9%	9.9%	26.8%	25.2%	16.5%	7.6%	0.0%
現代社会の分野	12.2%	9.7%	24.2%	28.0%	18.0%	8.0%	0.0%
環境コース	7.9%	6.3%	21.4%	30.2%	26.2%	7.9%	0.0%
文化と共生コース	4.5%	3.6%	15.3%	27.9%	26.1%	22.5%	0.0%
生活と科学コース	8.1%	10.4%	17.1%	34.2%	21.2%	9.0%	0.0%
医療・福祉と社会コース	20.6%	7.6%	20.6%	30.5%	16.1%	4.5%	0.0%
地域・佐賀学コース	5.5%	7.3%	20.0%	28.2%	25.5%	13.6%	0.0%
サブスペシャルティコース	5.1%	6.1%	24.2%	30.3%	18.2%	16.2%	0.0%
人間と社会コース	5.1%	6.1%	24.2%	30.3%	18.2%	16.2%	0.0%
大学院教養教育科目	10.2%	9.1%	23.3%	24.4%	19.9%	13.1%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
外国語科目	4.4%	5.9%	17.6%	57.1%	15.1%	0.0%
体育実技	8.5%	5.7%	16.5%	56.3%	13.1%	0.0%
情報リテラシー科目	6.6%	6.5%	22.8%	53.7%	10.3%	0.0%
自然科学と技術の分野	4.7%	6.5%	17.7%	57.4%	13.8%	0.0%
文化の分野	5.7%	5.3%	17.7%	57.9%	13.4%	0.0%
現代社会の分野	5.0%	3.6%	19.8%	57.4%	14.1%	0.0%
環境コース	5.6%	3.2%	15.9%	65.9%	9.5%	0.0%
文化と共生コース	1.8%	2.7%	7.2%	58.6%	29.7%	0.0%
生活と科学コース	5.4%	3.6%	15.3%	64.4%	11.3%	0.0%
医療・福祉と社会コース	7.2%	6.7%	21.1%	56.1%	9.0%	0.0%
地域・佐賀学コース	2.7%	1.8%	10.9%	69.1%	15.5%	0.0%
サブスペシャルティコース	4.0%	5.1%	12.1%	55.6%	23.2%	0.0%
人間と社会コース	4.0%	5.1%	12.1%	55.6%	23.2%	0.0%
大学院教養教育科目	2.3%	4.5%	13.1%	63.6%	16.5%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	2.0%	1.4%	4.0%	19.8%	52.2%	20.5%	0.0%
体育実技	1.1%	0.0%	3.4%	19.3%	47.2%	29.0%	0.0%
情報リテラシー科目	2.0%	1.4%	4.5%	24.2%	51.2%	16.7%	0.0%
自然科学と技術の分野	1.4%	0.8%	1.7%	20.9%	54.8%	20.6%	0.0%

文化の分野	2.2%	0.5%	3.2%	20.0%	53.3%	20.8%	0.0%
現代社会の分野	2.2%	0.5%	2.7%	19.5%	55.9%	19.3%	0.0%
環境コース	0.8%	1.6%	1.6%	19.0%	63.5%	13.5%	0.0%
文化と共生コース	0.0%	0.0%	1.8%	7.2%	47.7%	43.2%	0.0%
生活と科学コース	1.4%	1.4%	2.3%	23.0%	56.8%	15.3%	0.0%
医療・福祉と社会コース	3.1%	0.0%	1.8%	17.9%	53.4%	23.8%	0.0%
地域・佐賀学コース	0.9%	0.0%	2.7%	14.5%	60.9%	20.9%	0.0%
サブスペシャルティコース	1.0%	1.0%	2.0%	15.2%	56.6%	24.2%	0.0%
人間と社会コース	1.0%	1.0%	2.0%	15.2%	56.6%	24.2%	0.0%
大学院教養教育科目	0.0%	0.0%	4.0%	14.2%	54.5%	27.3%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	13.2%	1.3%	1.9%	18.2%	43.9%	21.4%	0.0%
体育実技	11.4%	0.0%	1.7%	12.5%	44.9%	29.5%	0.0%
情報リテラシー科目	12.0%	2.0%	3.5%	15.9%	44.6%	22.0%	0.0%
自然科学と技術の分野	19.4%	0.3%	1.5%	19.4%	41.1%	18.3%	0.0%
文化の分野	17.4%	0.5%	2.0%	18.8%	41.1%	20.2%	0.0%
現代社会の分野	20.9%	0.4%	1.9%	22.8%	39.3%	14.7%	0.0%
環境コース	14.3%	0.8%	0.0%	15.9%	57.1%	11.9%	0.0%
文化と共生コース	4.5%	0.0%	1.8%	2.7%	46.8%	44.1%	0.0%
生活と科学コース	17.1%	1.4%	3.2%	23.0%	41.0%	14.4%	0.0%
医療・福祉と社会コース	14.3%	0.0%	0.4%	14.3%	48.0%	22.9%	0.0%
地域・佐賀学コース	10.9%	0.9%	0.9%	14.5%	43.6%	29.1%	0.0%
サブスペシャルティコース	13.1%	2.0%	2.0%	9.1%	45.5%	28.3%	0.0%
人間と社会コース	13.1%	2.0%	2.0%	9.1%	45.5%	28.3%	0.0%
大学院教養教育科目	3.4%	0.0%	2.3%	10.8%	51.7%	31.8%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	1.0%	2.0%	13.9%	52.4%	30.7%	0.0%
体育実技	0.0%	0.0%	6.8%	44.3%	48.9%	0.0%
情報リテラシー科目	1.3%	3.7%	18.4%	55.4%	21.3%	0.0%
自然科学と技術の分野	0.9%	0.3%	11.4%	58.1%	29.3%	0.0%
文化の分野	1.0%	0.6%	12.1%	50.4%	36.0%	0.0%
現代社会の分野	0.9%	1.6%	14.5%	54.2%	28.8%	0.0%
環境コース	0.8%	0.8%	13.5%	55.6%	29.4%	0.0%
文化と共生コース	0.0%	0.0%	4.5%	36.0%	59.5%	0.0%
生活と科学コース	1.4%	2.7%	17.6%	59.5%	18.9%	0.0%
医療・福祉と社会コース	0.0%	0.0%	5.8%	52.0%	42.2%	0.0%
地域・佐賀学コース	0.9%	0.0%	7.3%	56.4%	35.5%	0.0%
サブスペシャルティコース	0.0%	0.0%	13.1%	46.5%	40.4%	0.0%
人間と社会コース	0.0%	0.0%	13.1%	46.5%	40.4%	0.0%
大学院教養教育科目	0.0%	2.3%	6.3%	46.0%	45.5%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	6.1%	1.3%	4.2%	27.6%	47.9%	13.0%	0.0%
体育実技	9.7%	0.0%	0.6%	18.2%	52.8%	18.8%	0.0%
情報リテラシー科目	7.2%	0.6%	3.5%	24.9%	52.8%	11.0%	0.0%
自然科学と技術の分野	8.1%	1.2%	3.3%	27.6%	49.1%	10.7%	0.0%
文化の分野	7.5%	1.4%	4.2%	25.7%	48.3%	12.9%	0.0%
現代社会の分野	6.7%	1.0%	3.0%	27.2%	50.5%	11.6%	0.0%
環境コース	4.0%	0.8%	3.2%	26.2%	54.8%	11.1%	0.0%
文化と共生コース	3.6%	0.0%	0.9%	12.6%	50.5%	32.4%	0.0%
生活と科学コース	5.0%	2.3%	4.5%	23.9%	53.2%	11.3%	0.0%
医療・福祉と社会コース	9.9%	0.0%	0.0%	14.3%	54.7%	21.1%	0.0%
地域・佐賀学コース	3.6%	0.0%	1.8%	16.4%	61.8%	16.4%	0.0%
サブスペシャルティコース	5.1%	1.0%	2.0%	26.3%	43.4%	22.2%	0.0%
人間と社会コース	5.1%	1.0%	2.0%	26.3%	43.4%	22.2%	0.0%
大学院教養教育科目	2.8%	0.6%	2.3%	18.8%	57.4%	18.2%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	12.3%	1.0%	2.6%	19.1%	47.4%	17.6%	0.0%
体育実技	18.8%	0.0%	0.6%	15.9%	44.9%	19.9%	0.0%
情報リテラシー科目	15.1%	0.3%	1.1%	18.7%	50.1%	14.8%	0.0%
自然科学と技術の分野	11.0%	0.5%	1.2%	15.9%	54.2%	17.3%	0.0%
文化の分野	12.7%	0.2%	1.4%	16.4%	50.9%	18.5%	0.0%
現代社会の分野	12.0%	0.6%	2.1%	17.6%	53.2%	14.5%	0.0%
環境コース	7.9%	0.8%	0.8%	17.5%	58.7%	14.3%	0.0%
文化と共生コース	9.0%	0.0%	0.9%	9.9%	41.4%	38.7%	0.0%
生活と科学コース	9.0%	1.4%	0.5%	13.5%	55.4%	20.3%	0.0%
医療・福祉と社会コース	14.3%	0.0%	0.0%	13.9%	50.2%	21.5%	0.0%

地域・佐賀学コース	3.6%	0.0%	0.9%	10.0%	65.5%	20.0%	0.0%
サブスペシャルティコース	9.1%	0.0%	1.0%	14.1%	50.5%	25.3%	0.0%
人間と社会コース	9.1%	0.0%	1.0%	14.1%	50.5%	25.3%	0.0%
大学院教養教育科目	6.3%	0.0%	0.6%	13.1%	56.8%	23.3%	0.0%

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	1.6%	3.3%	20.0%	51.5%	23.6%	0.0%
体育実技	14.2%	8.0%	42.0%	25.0%	10.8%	0.0%
情報リテラシー科目	1.1%	2.4%	17.4%	54.3%	24.8%	0.0%
自然科学と技術の分野	2.6%	1.8%	20.0%	52.9%	22.8%	0.0%
文化の分野	2.5%	2.7%	20.3%	48.6%	25.9%	0.0%
現代社会の分野	2.4%	2.2%	23.4%	51.8%	20.2%	0.0%
環境コース	0.8%	1.6%	19.8%	57.9%	19.8%	0.0%
文化と共生コース	0.0%	0.9%	10.8%	40.5%	47.7%	0.0%
生活と科学コース	1.8%	2.3%	17.6%	55.4%	23.0%	0.0%
医療・福祉と社会コース	0.9%	2.7%	17.0%	52.0%	27.4%	0.0%
地域・佐賀学コース	2.7%	1.8%	9.1%	60.0%	26.4%	0.0%
サブスペシャルティコース	1.0%	2.0%	9.1%	51.5%	36.4%	0.0%
人間と社会コース	1.0%	2.0%	9.1%	51.5%	36.4%	0.0%
大学院教養教育科目	0.6%	2.3%	17.6%	53.4%	26.1%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	0.6%	1.5%	9.3%	45.1%	43.5%	0.0%
体育実技	5.7%	5.7%	27.3%	31.3%	30.1%	0.0%
情報リテラシー科目	6.3%	14.7%	32.6%	34.6%	11.8%	0.0%
自然科学と技術の分野	5.9%	13.5%	33.6%	32.7%	14.3%	0.0%
文化の分野	4.8%	6.8%	19.7%	45.7%	23.0%	0.0%
現代社会の分野	6.9%	11.9%	32.4%	35.6%	13.2%	0.0%
環境コース	1.6%	1.6%	15.9%	47.6%	33.3%	0.0%
文化と共生コース	0.0%	0.9%	1.8%	27.0%	70.3%	0.0%
生活と科学コース	6.8%	10.4%	18.9%	40.1%	23.9%	0.0%
医療・福祉と社会コース	0.4%	3.1%	15.7%	41.7%	39.0%	0.0%
地域・佐賀学コース	2.7%	6.4%	12.7%	35.5%	42.7%	0.0%
サブスペシャルティコース	1.0%	3.0%	10.1%	47.5%	38.4%	0.0%
人間と社会コース	1.0%	3.0%	10.1%	47.5%	38.4%	0.0%
大学院教養教育科目	0.6%	1.7%	9.1%	43.2%	45.5%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	1.8%	4.1%	14.3%	51.7%	28.0%	0.0%
体育実技	0.6%	1.1%	6.8%	40.9%	50.6%	0.0%
情報リテラシー科目	1.5%	4.3%	17.1%	54.5%	22.6%	0.0%
自然科学と技術の分野	1.2%	2.1%	11.0%	58.9%	26.9%	0.0%
文化の分野	2.0%	1.8%	9.6%	53.1%	33.5%	0.0%
現代社会の分野	1.4%	2.8%	14.3%	54.9%	26.5%	0.0%
環境コース	2.4%	4.0%	12.7%	57.9%	23.0%	0.0%
文化と共生コース	0.0%	2.7%	4.5%	37.8%	55.0%	0.0%
生活と科学コース	2.3%	3.2%	13.5%	60.8%	20.3%	0.0%
医療・福祉と社会コース	0.0%	0.4%	6.7%	44.8%	48.0%	0.0%
地域・佐賀学コース	1.8%	0.9%	10.0%	56.4%	30.9%	0.0%
サブスペシャルティコース	1.0%	3.0%	9.1%	43.4%	43.4%	0.0%
人間と社会コース	1.0%	3.0%	9.1%	43.4%	43.4%	0.0%
大学院教養教育科目	1.1%	1.7%	6.8%	53.4%	36.9%	0.0%

A-1 出席率はどのくらいですか

	20%未満	20～40%	40～60%	60～80%	80%以上	回答なし
外国語科目	0.2%	0.2%	1.3%	8.4%	89.9%	0.0%
体育実技	0.0%	0.0%	0.0%	4.6%	95.4%	0.0%
情報リテラシー科目	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%	96.3%	0.0%
自然科学と技術の分野	0.6%	0.2%	1.3%	8.6%	89.4%	0.0%
文化の分野	0.4%	0.9%	2.1%	14.0%	82.7%	0.0%
現代社会の分野	1.1%	0.9%	2.0%	10.7%	85.2%	0.0%
環境コース	0.0%	0.0%	0.9%	12.0%	87.0%	0.0%
文化と共生コース	0.0%	0.0%	0.0%	8.2%	91.8%	0.0%
生活と科学コース	1.4%	0.0%	0.0%	11.5%	87.1%	0.0%
医療・福祉と社会コース	0.0%	0.0%	0.0%	4.0%	96.0%	0.0%
地域・佐賀学コース	0.0%	1.0%	0.0%	11.1%	87.9%	0.0%
サブスペシャルティコース	0.0%	0.0%	0.0%	8.7%	91.3%	0.0%
人間と社会コース	0.0%	0.0%	0.0%	8.7%	91.3%	0.0%
大学院教養教育科目	1.3%	0.0%	4.5%	15.5%	78.7%	0.0%

A-2 授業時間外学習(予習や復習、授業時間後に行ったレポート作成など)は、1回の授業ごとにどの程度しましたか

	全くしていない	1時間未満	1時間程度	2時間程度	3時間以上	回答なし
外国語科目	4.4%	35.0%	37.9%	14.8%	7.9%	0.0%
体育実技	72.2%	15.2%	2.6%	6.0%	4.0%	0.0%
情報リテラシー科目	7.4%	48.1%	33.3%	7.4%	3.7%	0.0%
自然科学と技術の分野	16.9%	39.9%	26.4%	10.6%	6.1%	0.0%
文化の分野	20.0%	42.5%	22.7%	8.6%	6.2%	0.0%
現代社会の分野	25.7%	39.1%	18.4%	8.4%	8.3%	0.0%
環境コース	11.1%	49.1%	25.9%	9.3%	4.6%	0.0%
文化と共生コース	0.8%	18.9%	39.3%	21.3%	19.7%	0.0%
生活と科学コース	13.4%	41.1%	29.2%	8.6%	7.7%	0.0%
医療・福祉と社会コース	26.7%	39.1%	20.8%	6.4%	6.9%	0.0%
地域・佐賀学コース	7.1%	30.3%	35.4%	20.2%	7.1%	0.0%
サブスペシャルティコース	11.5%	38.5%	21.2%	11.5%	17.3%	0.0%
人間と社会コース	11.5%	38.5%	21.2%	11.5%	17.3%	0.0%
大学院教養教育科目	5.8%	31.0%	32.9%	16.8%	13.5%	0.0%

A-3 この授業の選択・予習・復習などのためにシラバスを活用しましたか

	シラバスを見ていない	全く活用しなかった	あまり活用しなかった	ときどき活用した	活用した	大いに活用した	回答なし
外国語科目	9.6%	8.4%	27.8%	26.8%	18.7%	8.7%	0.0%
体育実技	23.2%	12.6%	21.2%	18.5%	14.6%	9.9%	0.0%
情報リテラシー科目	11.1%	7.4%	25.9%	29.6%	22.2%	3.7%	0.0%
自然科学と技術の分野	7.6%	4.8%	22.9%	33.3%	21.2%	10.1%	0.0%
文化の分野	9.4%	8.7%	24.3%	27.9%	21.7%	8.1%	0.0%
現代社会の分野	7.6%	6.2%	23.4%	29.1%	24.1%	9.6%	0.0%
環境コース	5.6%	2.8%	25.0%	30.6%	28.7%	7.4%	0.0%
文化と共生コース	8.2%	1.6%	18.0%	24.6%	27.9%	19.7%	0.0%
生活と科学コース	9.1%	5.3%	15.3%	32.5%	28.7%	9.1%	0.0%
医療・福祉と社会コース	11.9%	4.0%	23.3%	25.7%	17.3%	17.8%	0.0%
地域・佐賀学コース	8.1%	3.0%	13.1%	39.4%	27.3%	9.1%	0.0%
サブスペシャルティコース	5.8%	5.8%	21.2%	28.8%	23.1%	15.4%	0.0%
人間と社会コース	5.8%	5.8%	21.2%	28.8%	23.1%	15.4%	0.0%
大学院教養教育科目	9.7%	8.4%	21.3%	28.4%	19.4%	12.9%	0.0%

A-4 この授業の学習到達目標や成績評価基準を把握していますか

	全く把握していない	ほとんど把握していない	どちらともいえない	ある程度は把握している	完全に把握している	回答なし
外国語科目	2.5%	5.1%	16.2%	60.3%	15.9%	0.0%
体育実技	6.0%	1.3%	9.9%	60.3%	22.5%	0.0%
情報リテラシー科目	11.1%	3.7%	22.2%	51.9%	11.1%	0.0%
自然科学と技術の分野	2.8%	5.0%	14.7%	63.5%	14.0%	0.0%
文化の分野	4.6%	5.6%	15.5%	59.7%	14.5%	0.0%
現代社会の分野	3.4%	4.0%	17.0%	60.7%	15.0%	0.0%
環境コース	0.9%	4.6%	18.5%	64.8%	11.1%	0.0%
文化と共生コース	2.5%	2.5%	7.4%	58.2%	29.5%	0.0%
生活と科学コース	2.9%	2.9%	11.0%	67.9%	15.3%	0.0%
医療・福祉と社会コース	2.5%	3.0%	16.8%	60.9%	16.8%	0.0%
地域・佐賀学コース	1.0%	2.0%	11.1%	72.7%	13.1%	0.0%
サブスペシャルティコース	3.8%	6.7%	15.4%	56.7%	17.3%	0.0%
人間と社会コース	3.8%	6.7%	15.4%	56.7%	17.3%	0.0%
大学院教養教育科目	3.9%	4.5%	11.0%	60.0%	20.6%	0.0%

B-1 教員の教育理念に基づいた教育方法や成績評価方法等の説明は有益でしたか

	説明がなかった・該当しない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	0.9%	0.8%	4.7%	18.4%	54.4%	20.8%	0.0%
体育実技	2.0%	0.0%	1.3%	11.9%	49.0%	35.8%	0.0%
情報リテラシー科目	3.7%	3.7%	3.7%	40.7%	40.7%	7.4%	0.0%
自然科学と技術の分野	0.6%	0.9%	1.7%	18.6%	59.6%	18.6%	0.0%

文化の分野	2.2%	1.5%	5.3%	18.2%	54.8%	18.0%	0.0%
現代社会の分野	1.4%	0.6%	3.6%	17.7%	57.2%	19.4%	0.0%
環境コース	0.0%	0.0%	0.9%	18.5%	63.9%	16.7%	0.0%
文化と共生コース	1.6%	0.0%	0.0%	9.0%	41.8%	47.5%	0.0%
生活と科学コース	0.5%	1.4%	1.4%	16.3%	59.8%	20.6%	0.0%
医療・福祉と社会コース	1.0%	0.5%	1.0%	17.8%	55.0%	24.8%	0.0%
地域・佐賀学コース	0.0%	0.0%	0.0%	12.1%	60.6%	27.3%	0.0%
サブスペシャルティコース	0.0%	0.0%	2.9%	22.1%	42.3%	32.7%	0.0%
人間と社会コース	0.0%	0.0%	2.9%	22.1%	42.3%	32.7%	0.0%
大学院教養教育科目	0.6%	0.6%	1.3%	11.0%	52.9%	33.5%	0.0%

B-2 担当教員は、あなたの質問や相談に適切に対応してくれましたか

	質問・相談をしなかった	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	11.5%	0.5%	2.6%	15.9%	45.5%	23.9%	0.0%
体育実技	14.6%	0.0%	1.3%	7.3%	41.7%	35.1%	0.0%
情報リテラシー科目	7.4%	0.0%	3.7%	25.9%	51.9%	11.1%	0.0%
自然科学と技術の分野	13.2%	0.6%	0.9%	18.4%	47.3%	19.6%	0.0%
文化の分野	17.3%	1.0%	2.3%	18.7%	41.6%	19.0%	0.0%
現代社会の分野	19.2%	0.2%	1.7%	19.4%	42.8%	16.7%	0.0%
環境コース	13.0%	0.9%	1.9%	9.3%	56.5%	18.5%	0.0%
文化と共生コース	1.6%	0.0%	0.0%	5.7%	44.3%	48.4%	0.0%
生活と科学コース	12.4%	1.0%	1.9%	16.3%	52.2%	16.3%	0.0%
医療・福祉と社会コース	15.3%	0.5%	1.0%	13.4%	44.1%	25.7%	0.0%
地域・佐賀学コース	12.1%	0.0%	1.0%	13.1%	46.5%	27.3%	0.0%
サブスペシャルティコース	19.2%	0.0%	1.0%	11.5%	31.7%	36.5%	0.0%
人間と社会コース	19.2%	0.0%	1.0%	11.5%	31.7%	36.5%	0.0%
大学院教養教育科目	3.9%	0.6%	0.0%	7.1%	45.8%	42.6%	0.0%

B-3 教員の授業に対する意欲や熱意が感じられましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	0.3%	0.8%	12.5%	55.5%	30.9%	0.0%
体育実技	0.0%	0.0%	6.0%	40.4%	53.6%	0.0%
情報リテラシー科目	3.7%	3.7%	33.3%	51.9%	7.4%	0.0%
自然科学と技術の分野	0.2%	1.1%	11.7%	60.7%	26.3%	0.0%
文化の分野	0.5%	1.5%	12.5%	52.6%	32.9%	0.0%
現代社会の分野	0.9%	1.3%	13.3%	55.2%	29.3%	0.0%
環境コース	0.0%	0.0%	14.8%	56.5%	28.7%	0.0%
文化と共生コース	0.0%	0.0%	5.7%	36.9%	57.4%	0.0%
生活と科学コース	1.0%	1.0%	13.9%	58.9%	25.4%	0.0%
医療・福祉と社会コース	0.0%	0.0%	8.4%	54.0%	37.6%	0.0%
地域・佐賀学コース	0.0%	0.0%	7.1%	52.5%	40.4%	0.0%
サブスペシャルティコース	0.0%	0.0%	9.6%	38.5%	51.9%	0.0%
人間と社会コース	0.0%	0.0%	9.6%	38.5%	51.9%	0.0%
大学院教養教育科目	0.6%	0.0%	6.5%	48.4%	44.5%	0.0%

C-1 この授業の学習到達目標を達成できましたか

	学習到達目標を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	3.8%	0.8%	3.7%	27.3%	51.7%	12.7%	0.0%
体育実技	6.0%	0.0%	0.7%	15.2%	48.3%	29.8%	0.0%
情報リテラシー科目	14.8%	3.7%	11.1%	33.3%	33.3%	3.7%	0.0%
自然科学と技術の分野	4.8%	0.9%	3.7%	22.9%	54.4%	13.2%	0.0%
文化の分野	5.4%	1.2%	4.4%	24.8%	51.3%	13.0%	0.0%
現代社会の分野	4.3%	1.4%	4.2%	24.8%	51.0%	14.2%	0.0%
環境コース	3.7%	0.0%	3.7%	24.1%	59.3%	9.3%	0.0%
文化と共生コース	2.5%	0.0%	0.0%	18.0%	52.5%	27.0%	0.0%
生活と科学コース	2.9%	0.5%	2.9%	21.5%	56.5%	15.8%	0.0%
医療・福祉と社会コース	5.9%	0.0%	1.0%	12.4%	58.9%	21.8%	0.0%
地域・佐賀学コース	2.0%	1.0%	0.0%	20.2%	58.6%	18.2%	0.0%
サブスペシャルティコース	4.8%	0.0%	5.8%	18.3%	51.0%	20.2%	0.0%
人間と社会コース	4.8%	0.0%	5.8%	18.3%	51.0%	20.2%	0.0%
大学院教養教育科目	4.5%	0.6%	1.9%	17.4%	58.1%	17.4%	0.0%

C-2 授業の内容はシラバスに基づいていましたか

	シラバスの内容を把握していないため分からない	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	10.0%	0.5%	2.7%	18.0%	51.9%	16.9%	0.0%
体育実技	13.2%	0.0%	0.7%	13.2%	42.4%	30.5%	0.0%
情報リテラシー科目	14.8%	0.0%	0.0%	25.9%	55.6%	3.7%	0.0%
自然科学と技術の分野	6.9%	0.4%	1.7%	12.5%	62.0%	16.6%	0.0%
文化の分野	9.0%	0.9%	2.6%	18.6%	53.1%	15.8%	0.0%
現代社会の分野	6.3%	0.6%	2.6%	15.3%	55.0%	20.2%	0.0%
環境コース	6.5%	0.9%	0.9%	12.0%	63.9%	15.7%	0.0%
文化と共生コース	6.6%	0.0%	0.0%	10.7%	50.8%	32.0%	0.0%
生活と科学コース	6.2%	0.5%	1.9%	13.4%	56.9%	21.1%	0.0%
医療・福祉と社会コース	7.9%	0.5%	1.0%	11.9%	53.0%	25.7%	0.0%

地域・佐賀学コース	7.1%	1.0%	0.0%	14.1%	56.6%	21.2%	0.0%
サブスペシャルティコース	7.7%	0.0%	1.9%	15.4%	51.9%	23.1%	0.0%
人間と社会コース	7.7%	0.0%	1.9%	15.4%	51.9%	23.1%	0.0%
大学院教養教育科目	7.1%	0.0%	1.3%	11.6%	56.1%	23.9%	0.0%

C-3 教材(教科書、配布資料)やICT環境(LiveCampus、講義配信システム、各授業の講義用Webページ、ネット授業、eラーニングなど)は授業の理解に役立ちましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	0.8%	2.7%	17.3%	53.4%	25.8%	0.0%
体育実技	9.3%	1.3%	41.1%	29.1%	19.2%	0.0%
情報リテラシー科目	0.0%	3.7%	33.3%	48.1%	14.8%	0.0%
自然科学と技術の分野	0.9%	1.9%	19.6%	54.6%	23.1%	0.0%
文化の分野	1.7%	3.2%	23.1%	47.2%	24.8%	0.0%
現代社会の分野	1.9%	3.1%	24.7%	49.2%	21.2%	0.0%
環境コース	0.9%	1.9%	22.2%	60.2%	14.8%	0.0%
文化と共生コース	0.0%	0.8%	10.7%	44.3%	44.3%	0.0%
生活と科学コース	1.0%	1.0%	18.7%	52.6%	26.8%	0.0%
医療・福祉と社会コース	0.5%	4.0%	19.8%	47.5%	28.2%	0.0%
地域・佐賀学コース	0.0%	2.0%	13.1%	53.5%	31.3%	0.0%
サブスペシャルティコース	1.9%	2.9%	12.5%	50.0%	32.7%	0.0%
人間と社会コース	1.9%	2.9%	12.5%	50.0%	32.7%	0.0%
大学院教養教育科目	1.3%	1.3%	18.1%	46.5%	32.9%	0.0%

C-4 この授業では、必要に応じて学生に発言を促したり、グループワークやディスカッションを実施する等、授業内容について学生自身が考えることを促すための配慮がありましたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	0.5%	1.8%	9.6%	49.1%	39.0%	0.0%
体育実技	4.0%	2.0%	24.5%	37.7%	31.8%	0.0%
情報リテラシー科目	7.4%	18.5%	33.3%	29.6%	11.1%	0.0%
自然科学と技術の分野	3.4%	12.1%	31.3%	39.9%	13.4%	0.0%
文化の分野	5.1%	9.0%	24.0%	40.9%	20.9%	0.0%
現代社会の分野	4.8%	9.8%	28.6%	39.3%	17.5%	0.0%
環境コース	0.0%	2.8%	13.9%	46.3%	37.0%	0.0%
文化と共生コース	0.8%	0.0%	6.6%	40.2%	52.5%	0.0%
生活と科学コース	1.0%	3.8%	20.1%	36.4%	38.8%	0.0%
医療・福祉と社会コース	1.0%	6.9%	23.3%	42.1%	26.7%	0.0%
地域・佐賀学コース	0.0%	3.0%	6.1%	48.5%	42.4%	0.0%
サブスペシャルティコース	3.8%	2.9%	7.7%	30.8%	54.8%	0.0%
人間と社会コース	3.8%	2.9%	7.7%	30.8%	54.8%	0.0%
大学院教養教育科目	1.3%	1.9%	11.0%	40.6%	45.2%	0.0%

D-1 この授業は全体として満足できるものでしたか

	全くそう思わない	そう思わない	どちらともいえない	そう思う	全くその通りだと思う	回答なし
外国語科目	1.2%	2.8%	13.5%	55.5%	27.0%	0.0%
体育実技	0.0%	0.0%	4.0%	37.1%	58.9%	0.0%
情報リテラシー科目	0.0%	7.4%	37.0%	48.1%	7.4%	0.0%
自然科学と技術の分野	0.6%	2.0%	10.6%	60.9%	25.9%	0.0%
文化の分野	1.4%	3.6%	15.0%	51.0%	29.0%	0.0%
現代社会の分野	1.1%	2.8%	13.8%	56.2%	26.1%	0.0%
環境コース	0.9%	4.6%	9.3%	62.0%	23.1%	0.0%
文化と共生コース	0.0%	0.8%	4.1%	33.6%	61.5%	0.0%
生活と科学コース	1.0%	1.9%	10.0%	60.8%	26.3%	0.0%
医療・福祉と社会コース	0.0%	1.0%	7.4%	48.0%	43.6%	0.0%
地域・佐賀学コース	0.0%	0.0%	6.1%	53.5%	40.4%	0.0%
サブスペシャルティコース	0.0%	2.9%	4.8%	42.3%	50.0%	0.0%
人間と社会コース	0.0%	2.9%	4.8%	42.3%	50.0%	0.0%
大学院教養教育科目	1.3%	0.6%	5.8%	51.6%	40.6%	0.0%